42836
教科書文庫
4
293
41-1933
2000067150

Kodak Color Control Patches
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Kodak Gray Scale
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak

教科書文庫
4
293
41-1933
2000067150

文學博士　石橋五郎著

新制外國地理

乙表準據

東京
冨山房發行

4a
293
0B8

教科書文庫
4
293
41-1933
2000067150

資料室

文部省檢定濟
昭和八年二月二日　中學校地理科

京都帝國大學教授・神戸商業大學教授
文學博士　石橋五郎著

新制外國地理

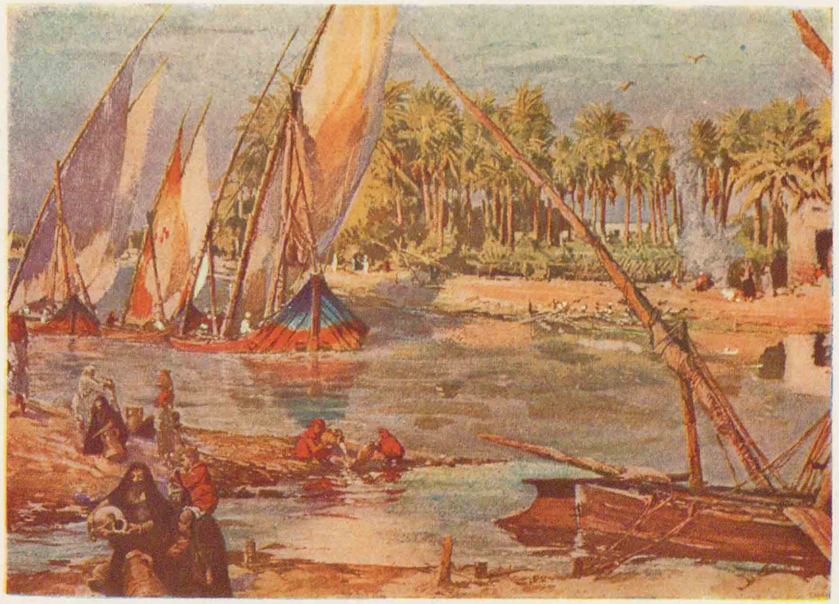
乙表準據

広島大学
教
67150
図書

東京
冨山房發行

広島大学図書
2000067150

アンデス山系　圖はボリヴィア高原の景觀で彼方に聳えるのはボリヴィア山脈中の主峰海拔6915mのイリマニ山　（南アメリカ洲）



ナイル河　圖はナイル河三角洲の景觀であつて交通の便利なるナイル河の分流,肥沃なる河岸の低地・乾燥地・住民の風俗等がよく現はれてゐる。　（アフリカ洲）

例　言

本書は昭和6年4月より新に實行せられた文部省中學校令施行規則教授要目乙表に從つて中學校第三·四學年地理科用教科書として編纂したものであつて,曩に刊行せる『新制日本地理』と姉妹篇をなすもので追つて刊行せんとする『地理學通論』と連絡を保つものである。特に本書の編纂上採れる方針は次の諸點である。

1. 地理科教授の重點を國民思想の涵養といふことの上に置き,外國を觀るに凡て我が國を本位とした。また自然地理にのみ偏せずむしろ人類生活の基調をなす人文事項を重視し,政治·經濟·產業·交通等の項目を比較的詳述した。

2. 注入教授の弊を避け,生徒の思考力を活用せんが爲に,地理的現象の說明には出來るだけ因果關係を示したが,教授時數割合に少なくしかも內容の省略も許されないから,その記載法を努めて簡略にし屢〻因果の一方のみを記載して他の一方を推理せしむる形式をとつた。

3. 各國誌を說くに當つては,地理學的描寫の便より云へば,該地方の地理的事象を地形·氣候·產業·都邑等各

項目に分ち別々に取扱ふを可とするが,支那やアメリカ合衆國の如き大國,若くはドイツの如き國內各地方の特色ある國に於ては該地方內のある地域の一般景觀を知らしめんが爲に,地方を幾つかの單元に分つて綜合的に記載するのを便とする。本書はこの二つの記載法を適宜に折衷採用した。

4. 各洲の總括は單に復習や地域的の總括の爲とのみ見ず,各種の地理的事象や民族·國民の地理的活動等の性質を明に理解せしめ,進んで自ら系統的組織的の知識を構成せしめる爲のものとした。また往々自然地理的事項には科學的解釋を施し,人文地理的事項には學術的說明を加へ,以て後日習得すべき地理學通論の豫備知識を養はしむることとした。

以上の根本方針の外に本書は次の諸點にも意を用ひて編纂した。

1. 新興滿洲國を特に詳述し,支那本部やアメリカ合衆國に相當する頁數を割いた。滿洲國の境域·區劃等は滿洲國政府發行のものに據つた。
2. 地名の發音を統一する爲に,當該地方の正確なる發音または世界で最も廣く行はれる英語の發音によるのを原則とした。國名·首府名は現今我が外務省が諸條約等に用ふる稱呼を採用した。また外國の地名を寫すに舊時代の因習たる漢字を用ふるを廢し凡て片假名によつた。これは外國地名の比較的正確なる發音を示すに必要であるからである。但し因習の久しき著名のものは便宜上括孤內に示した。
3. 地圖は地理學學習上必要缺くべからざるもの故,出來るだけ多くこれを挿入し,殊に自然·人文の兩事項を適確に印象づける爲,多くの標式圖を作つた。これは本書の一大特色と信ずる。また寫眞·圖表の撰定にも出來るだけ意を用ひた。
4. 地名の原語及び人口を細字にて傍註し,人口は萬單位とした。
5. 各國の面積·人口等の諸統計は國際聯盟統計書その他正確な資料によりしかも最近變化したものは最新なるものを採つた。
6. 左横書きを採用し,教室に於ける生徒の習慣に卽せしめ,また諸圖表等の統一に便した。また度·量·衡は凡てメートル法によるのを原則とした。
7. 新に小文字を以つて割註及び脚註を設けて本文の缺を補ふと共に地理的興味を養ふに足る事實及び自然·人文兩方面に於ける基礎的知識または地人相關の理等を示した。

8. 印刷・装釘などにも意を用ひ,生徒の美的情操を涵養することに注意した。

昭和7年9月

著者識す

目次

緒言……1
第一篇　オセアニア洲……5
第一章　序説……5
第二章　オーストラリア……6
第三章　ニュージーランド……11
第四章　太平洋諸島……12
第一節　序説……12
第二節　我が南洋群島……12
第三節　ハワイ諸島……14
第四節　その他の島嶼……16
第五章　オセアニア洲總括……17
第二篇　兩極地方……19
第一章　北極地方……19
第二章　南極地方……21
第三篇　アフリカ洲……22
第一章　序説……22
第二章　北部アフリカ……23
第一節　バーバリ地方……23
第二節　エジプト……25
第三節　サハラ……26

第三章　中部アフリカ…………………………27
第一節　スーダン及び上ギニー地方……27
第二節　下ギニー地方……………………28
第四章　東部アフリカ…………………………29
第一節　北部地方…………………………29
アビシニア　エリトレア及びソマリランド
第二節　東岸地方…………………………30
イギリス領東アフリカ　ポルトガル領東アフリカ
第五章　南部アフリカ…………………………31
第一節　南アフリカ聯邦…………………31
第二節　ベチュアナランド及びローデシア…33
第六章　アフリカの屬島……………………33
マダガスカル島　その他の諸島
第七章　アフリカ洲總括……………………34
第四篇　南アメリカ洲………………………39
第一章　序説…………………………………39
第二章　北西部諸國…………………………40
第一節　コロンビア………………………40
第二節　エクワドル………………………40
第三節　ペルー……………………………41
第四節　ボリヴィア………………………42
第三章　チリー………………………………43

第四章　北部地方……………………………44
ヴェネズエラ　ギアナ
第五章　ブラジル……………………………45
第六章　アルゼンチン………………………48
第七章　パラグヮイ及びウルグヮイ………50
第八章　南アメリカ洲總括…………………51
第五篇　北アメリカ洲………………………56
第一章　序説…………………………………56
第二章　アメリカ合衆國……………………57
第一節　概説………………………………57
第二節　地方誌……………………………63
(東岸地方　五大湖地方　ミシシッピ河流域
西部高地　太平洋岸地方　アラスカ)
第三章　カナダ………………………………70
第四章　メキシコ……………………………73
第五章　中央アメリカ及び西インド諸島…75
第一節　中央アメリカ……………………75
第二節　西インド諸島……………………77
第六章　北アメリカ洲總括…………………78
第六篇　アジア洲……………………………84
第一章　序説…………………………………84
第二章　滿洲…………………………………85

第三章 關東州 …………………………99
第四章 支那 …………………………103
第一節 概說 …………………………103
第二節 支那本部 ……………………109
（北支那 中支那 南支那）
第三節 蒙古 …………………………119
第四節 新疆 …………………………121
第五節 青海 …………………………122
第六節 西藏 …………………………122
第五章 インド支那 …………………123
第一節 概說 …………………………123
第二節 各說 …………………………124
Ⅰイギリス領インド支那（ビルマ・マレー保護領・海峽植民地） Ⅱシアム Ⅲフランス領インド支那
第六章 マレー諸島 …………………128
第一節 概說 …………………………128
第二節 オランダ領東インド ………130
第三節 イギリス領ボルネオ ………132
第四節 フィリッピン群島 …………132
第七章 インド ………………………133
第八章 南西アジア …………………140
第一節 概說 …………………………140

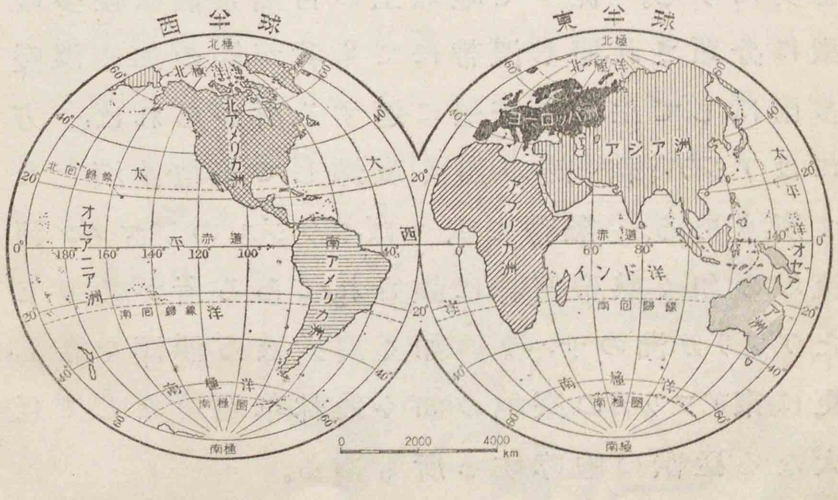
第二節 地方誌 ………………………141
Ⅰイラン地方（アフガニスタン・バルチスタン・ペルシア） Ⅱアラビア Ⅲイラク Ⅳシリア諸國（サイプラス島） Ⅴトルコ
第九章 アジアロシア ………………147
第一節 シベリア ……………………147
第二節 中央アジア …………………153
第三節 コーカシア …………………154
第十章 アジア洲總括 ………………156
第七篇 ヨーロッパ洲 ………………162
第一章 序說 …………………………162
第二章 東部ヨーロッパ ……………163
第一節 ソヴィエット聯邦 …………163
第二節 フィンランド ………………167
第三節 バルト沿岸諸國 ……………168
第三章 北部ヨーロッパ ……………169
第一節 スカンヂナヴィア半島 ……169
（スウェーデン・ノルウェー）
第二節 デンマーク（アイスランド） ……171
第四章 中部ヨーロッパ ……………173
第一節 ドイツ ………………………173
第二節 ポーランド（ダンチッヒ自由市） ……181

第三節　チェッコスロヴァキア …… …… …183
第四節　スイス …… …… …… …… …… …184
第五節　オーストリア(リヒテンスタイン) … …186
第六節　ハンガリー …… …… …… …… …187
第五章　北西ヨーロッパ …… …… …… …188
第一節　オランダ… …… …… …… …… …188
第二節　ベルギー(ルクセンブルグ)… …… …190
第三節　フランス(モナコ) …… …… …… …192
第四節　イギリス… …… …… …… …… …197
第六章　南部ヨーロッパ …… …… …… …204
第一節　概　説 …… …… …… …… …… …204
第二節　イベリア半島 …… …… …… …205
スペイン・ポルトガル・ジブラルタル・アンドラ
第三節　イタリー(サンマリノ・マルタ) …… …208
第四節　バルカン半島 …… …… …… …213
ルーマニア・ユーゴースラヴィア・アルバニア・ギリシア
ブルガリア・ヨーロッパトルコ
第七章　ヨーロッパ洲總括… …… …… …218

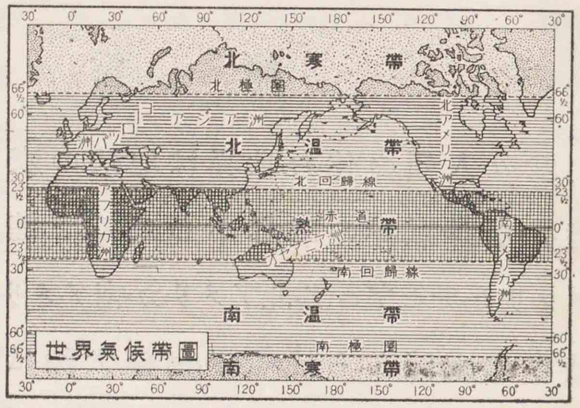
——(終)——

緒　言

我々人類の住む世界は地球の表面上に限られ,陸界・水界・氣界*の三界から成る。陸界はユーラシア・(Eurasia)アフリカ・オセアニア・北アメリカ・南アメリカ及び南極大陸(Antarctica)の六大陸から成るが,南極大陸には未だ人類が住まないので,普通はこれを除き,ユーラシア大陸をアジア・ヨーロッパの二洲に分つて,他の四大陸と合せて六大洲とする。



* 人類は未開の時代には殆ど陸界にのみ生活して來たが船舶の利用によつて先づ水界に活動し更に最近航空機の發明によつて氣界をも征服するに至つた。

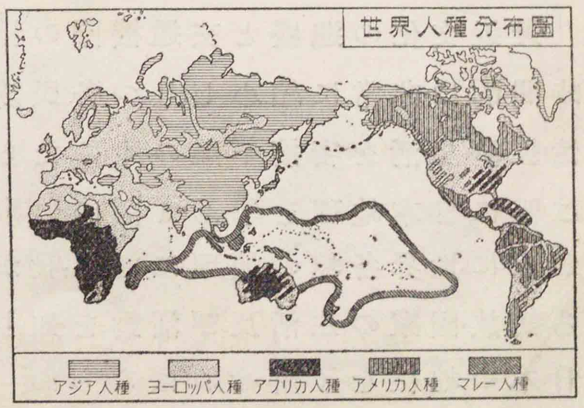


世界氣候帶圖

地球の表面は緯度(Latitude)の高低に從つて氣候に差異を來し,熱帶(Tropical Zone)を中央にして南･北溫帶(Temperate Z)南･北寒帶(Frigid Z.)の五帶に分たれる。併し陸上には土地の高低があり,海洋には寒流･暖流が交錯し,氣界には大氣の流動がある爲に,同緯度にあつても甚だしく氣候狀態を異にする。從つて地球上の自然景觀は幾多の型に分類され,同じ溫帶にても我が國の如く溫暖多雨にして生物の繁殖に適する所があれば,一方にはアジア洲內部の如く乾燥して草地･沙漠をなす所もある。熱帶で云へば,ブラジルのアマゾン河流域の如く熱帶密林に鎖されてゐる所があり,またアフリカ洲のサハラの如く廣大なる沙漠をなし,更に東アフリカの臺地の如く叢林･草地をなして巨大なる猛獸の咆哮する所もある。

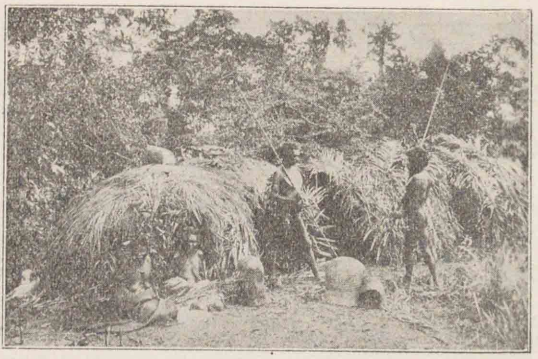
翻つて地球上に住む人類を見んか。その數凡そ18億に及び,ヨーロッパ人種(European Race)(白色人種の外インド西アジアの住民を含む)は最も

多くその數9億に及び,アジア人種(Asiatic R.)(黃色人種)はそれに次いで凡そ6億を占め,アフリカ人種(African R.)(黑色人種)は約2億ある。別にアジア人種に近いアメリカ人種(American R.)とアフリカ人種に近いマレー人種(Malayan R.)とがある。これ等の人種は更に幾多の種族に分れ,各〻その自然的環境に順應して社會的集團をなし,多くは國家を形成する。槪して云へばヨーロッパ人種中の白色人は地球上の最も溫和なる地帶を占領し,活動的で科學文明に長じ,富强な國家を作るものが多いが,熱帶氣候に馴化し得ない缺點を持つ。アジア人種も亦最も多く溫帶に住み,古い文化を有し,氣候の變化に順應する力が强いが,國家として富强なのは我が國のみである。その他の人種は槪ね熱帶または寒帶に住み,文明の程度は甚だ低く,且つ大部分は他人種の支配下にある。



世界人種分布圖

かくて地球上にはその地の自然とそこに住む住民と



未開人の生活を示す北部クインスランド州の村落と文明人の生活を示すイギリスロンドンの市街

によつて種々の地理的景觀を生じ,アフリカ洲の內部やオセアニア洲の島嶼で土人の住む所には全く原始的な自然人文の景觀が見られ,これに反して我が國やヨーロッパ洲諸國・アメリカ合衆國等の如き文明國家では最も進んだ文化景觀の諸相が見られる。

最近文化の進展と交通機關の發達とは世界を時間的に非常に縮小し,且つ各民族及び國家の政治・經濟生活を密接不離のものたらしめた。我々は既に日本地理を學んで國內の事情を詳にしたが,更に世界各地の地理に通じ,我が國と關係のある民族・國家の生活及び活動を知り,世界に於ける日本の地位を了解せねばならぬ。

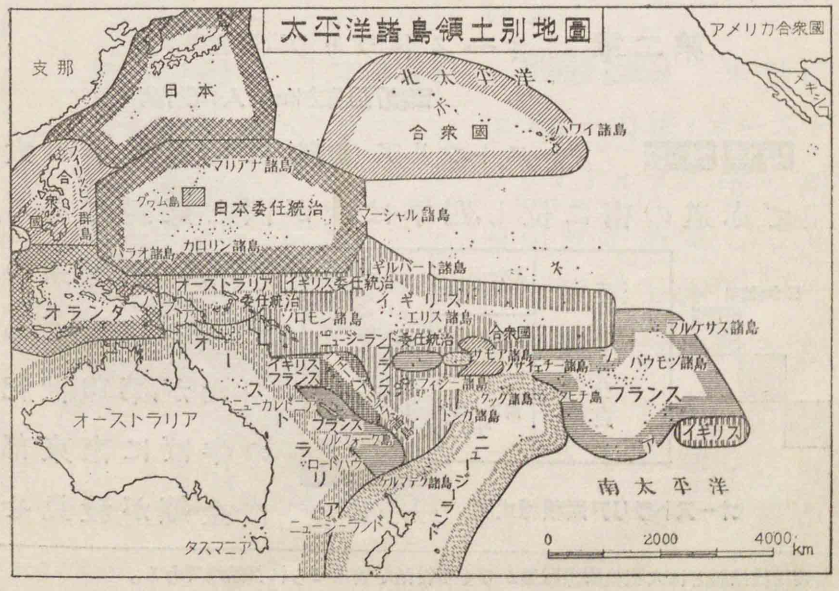
第一篇 オセアニア洲(大洋洲)

Oceania

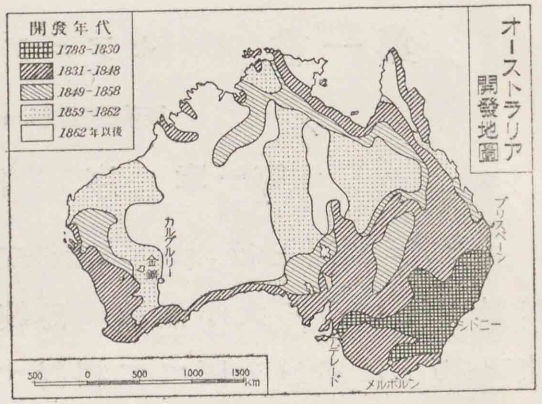
面積898萬方km 人口840萬

第一章 序 說

オセアニア洲とはオーストラリア(Australia)大陸と太平洋(Pacific Ocean)上に散布してゐる大小無數の島嶼との總稱である。東アジアとは赤道を隔てて相對する位置にあり,距離も甚だしく大でないが,中間に濕熱なる地方を挾むので久しく交涉はなかつた。第17世紀の初め,オランダ人が大陸の西岸を發見し,その後イギリス人が主としてオセアニア洲の探檢に從事したの



で,これからこの大陸と附近の島嶼とが人類活動の舞臺となつた。近世に至りイギリスはオセアニア洲の大部分を領し,フランス・ドイツ・アメリカ合衆國等もそれに續いて諸所の島嶼を手に入れたが,世界大戰の結果ドイツはその領土を失ひ,赤道以北の所領諸島嶼は我が國の手に歸し委任統治領*となつた。

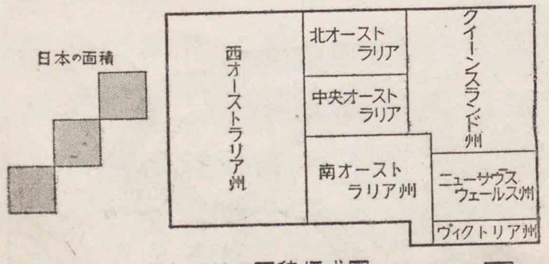


オーストラリア開發地圖

第二章　オーストラリア(濠太剌利)Australia

面積770萬方km　人口637萬

境域・政治　オーストラリア(濠洲)は世界最小の大陸で赤道の南に位し,四季は我が國と反對である。

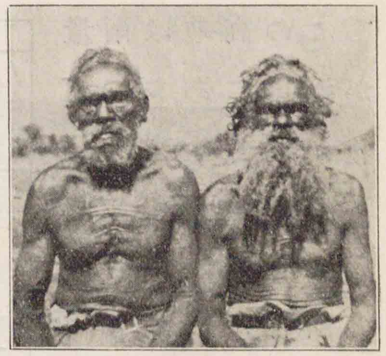


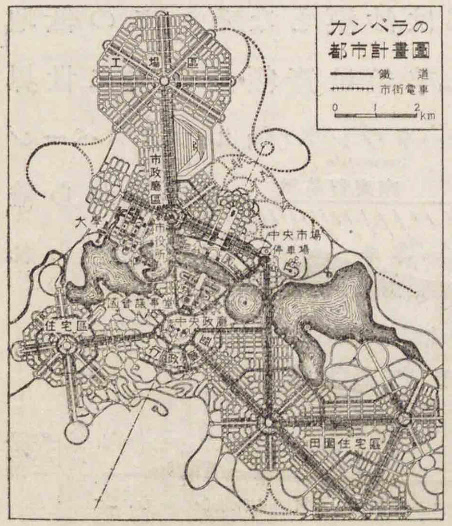
オーストラリア面積標式圖

元は黑奴系の土人の住地であつたが,第19世紀の半ばに南東部に金鑛が發見せ

* 委任統治領とは大戰後國際聯盟からその統治を委任せられた領地である。

られてからイギリスの植民が急に增加して六つの州(ヴィクトリア・ニューサウスウェールス・クィーンスランド・南オーストラリア・西オーストラリア・タスマニア)が別々に發達し,今は經緯線を基とする人爲的境界によりて分れ,合して**オーストラリア聯邦**(Commonwealth of Australia)を組織し,イギリス王任命の總督がこれに臨む。完全な自治を許され,聯邦議會及び陸・海軍を有して殆ど一獨立國の姿をなしてゐる。聯邦*の**首府**をカンベラ(Canberra)といふ。

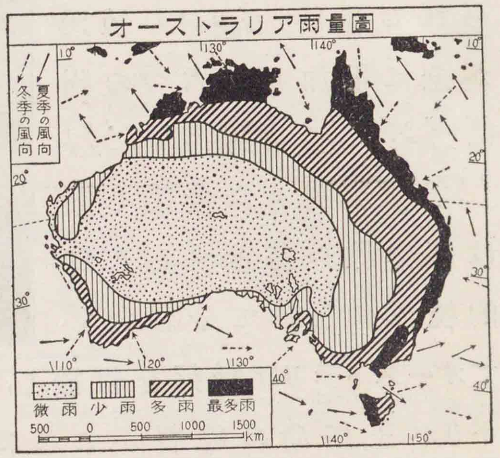

オーストラリアの土人　イギリス人の植民と共に次第にその數を減じ,タスマニア人の如きは全く滅びた



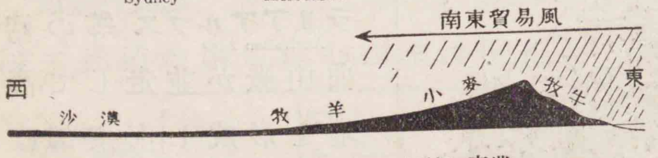
地形・產業　東部には**ブルー山脈**(Blue Mts.)・**オーストラリアアルプス**(Australian Alps)等の褶曲山脈が並走して,高地を形成し,南東部は斷層海岸の地形をなして海に臨み,タスマニア島(Tasmania I)を分離してゐる。貿易風の關係か

* 首府の附近の小地域と北部オーストラリア・中央オーストラリアとは聯邦政廳に直屬する。

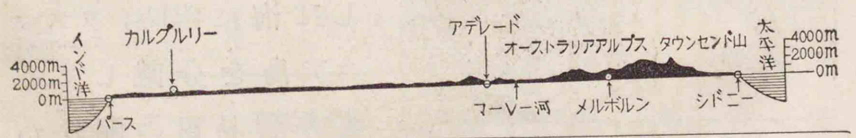
らこの高地は雨量が適度にあつて植物がよく生育し,最もよく開發されてゐて,小麥及び甘蔗の耕作が多い。山地の南東部からは石炭・金・銀を產する。



*中央にはマーレー河(Murray R.)及びその支流ダーリング河(Darling R.)の流域とその北に續く**大鑿井盆地**(サクセイ)とより成る低地があり,草地が多く,西部は沙漠となる。この低地は**牧羊**が盛んに行はれ,羊毛は產額・品質共に世界第一で,シドニー(Sydney)・メルボルン(Melbourne)・タウンスヴィル(Townsville)・ブリスベーン(Brisbane)等から輸出せられる。

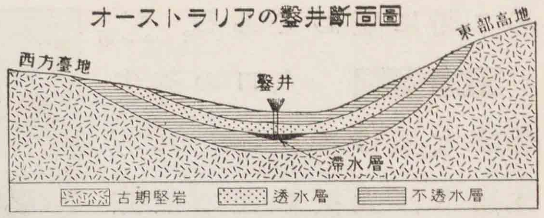


オーストラリア東部の地形と產業

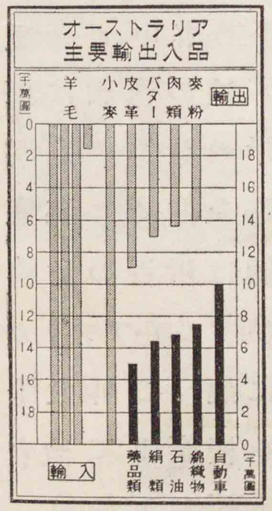
オーストラリア斷面圖


* 中央低地は嘗て一大內海を成してゐたが土地の上昇と氣候の乾燥によつて今日の如くなつた。大鑿井盆地には幾多の鑿井があり中には1500m も掘り下げたものがある。この水は地表水の貯藏と共に牧羊・灌漑に用ひられる。

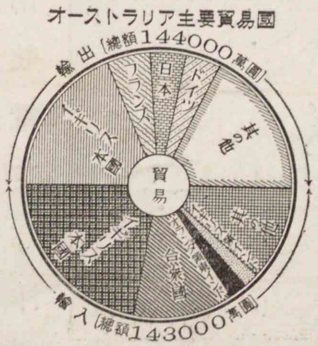
西部は廣大な**臺地**をなし,氣候が著しく乾燥して,草地・沙漠が多く,南西部のみ稍〻降雨があつて小麥が作られる。カルグルリー(Kalgoorlie)・クールガルデー(Coolgardie)附近には金を產する。



海岸線の出入が極めて乏しく,屬島の數も少い。北東部は沈水海岸の地形を示し,海岸に近く珊瑚蟲によりて築かれた約2000kmに亙るオーストラリア大堡礁(Australian Great Barrier Reef)がある。トーレス海峽(Torres Strait)のサースデー(木曜)島(Thursday I.)には眞珠貝を產し,邦人がその採取に從事してゐる。



原料を產しながら工業は未だ幼稚な爲,羊毛・小麥・バター・肉類・皮革等の原料品・食料品を輸出し,自動車・綿毛製品・石油・機械類等の工業品を輸入する。**貿易**はイギリス本國・アメリカ合衆國・フランス・我が國*

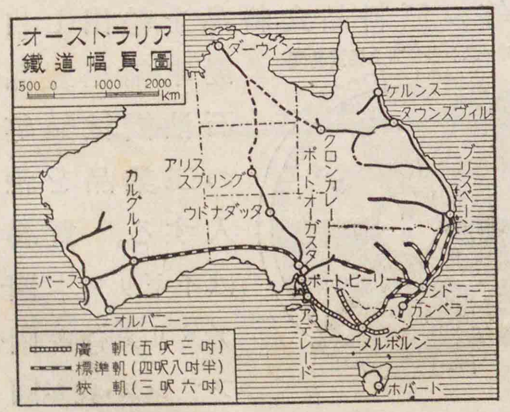


* 我が國へは羊毛・牛脂・亞鉛・小麥等を輸出し絹綿製品・生絲・木材等を輸入する。

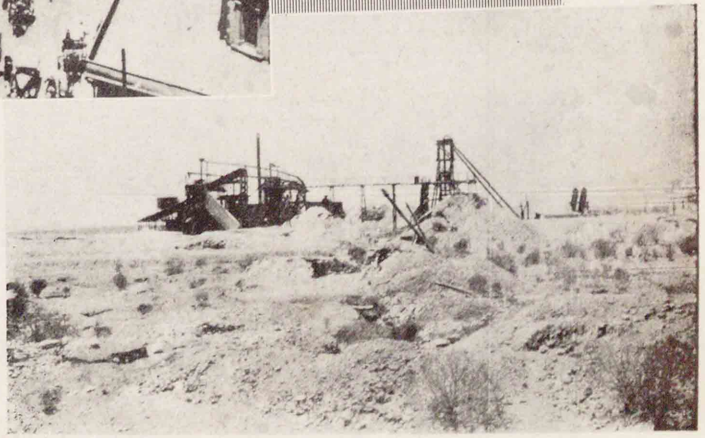
との間に盛んである。

メルボルン市

都邑・交通　人口の約半ばは大都市に住み,それ等の都市は大抵移民の根據地として創立された。シドニー(113)とメルボルン(100)とは共に人口が100萬以上に達し,アデレード(Adelaide(33))・ブリスベーン(31)・パース(Perth(20))及びタスマニアのホバート(Hobart(5))等も重要な都市である。**鐵道***はこれ等の諸港市から内部の生產地帶に至る。東西横斷鐵道は完成されたが,南北縱貫線は計畫工事中である。**海運**も比較的便利である。我が國の汽船は東・南岸の諸港に定期航路を開く。**海底電線**は附近の島嶼及びアジア・アフリカ等に通ずる外,太平洋を横斷してカナダと連つてゐる。



* オーストラリアの鐵道は各州別々に發達したので軌間が一様でなく不便が多い。



上　ポートジャクソン灣を隔ててシドニー市を望む（オーストラリア）

中　アデレード市のキングウィリアム街（オーストラリア）

下　西オーストラリア州の金山（オーストラリア）

ホバート港の風光（タスマニア島）

ニュージーランドアルプスの氷河（ニュージーランド）

ウェリントン港（ニュージーランド）

第三章　ニュージーランド

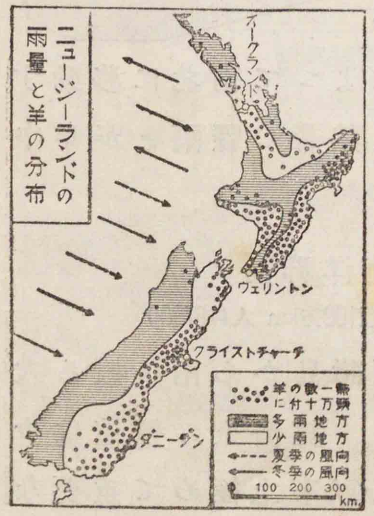
New Zealand

面積27萬方km　人口140萬

マオリ人　文身を施す者多くイギリス人との戰で今は半ば以上滅びた

イギリスの自治植民地で,本國のほぼ對蹠點に當る。**原住民**をマオリ人(Maoris)といふ。

クック(Cook)海峽により南・北の二大島に分れ,北島は火山に富み,**間歇泉**(Geyser)が多く,南島には高峻な南アルプス山脈が縱走して氷河が發達してゐる。**氣候**は溫和で海洋性氣候の好例である。地形と風向との關係から雨量に差を生じ,少雨地方では**牧畜**が盛んで,羊毛の産が多く,凍肉・バター・小麥と共にクライストチャーチ(Christchurch)及び**首府**ウェリントン(Wellington (13))等から輸出される。オークランド(Auckland (21))も貿易が盛んである。



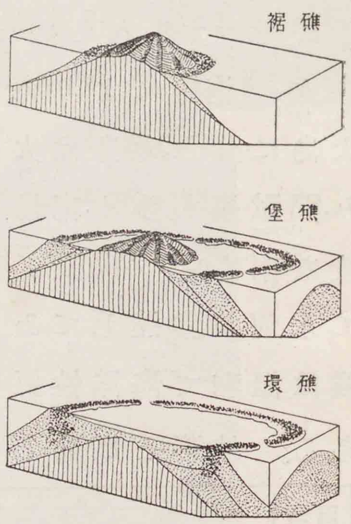
鑛産には石炭・金及びカウリゴム(カウリ松の樹脂の硬化せるもの)がある。

第四章　太平洋諸島

第一節　序　說

海底褶曲山脈の海面に現れた部分から成るもの多く東部の**ポリネシア**(多島の意)・北部の**ミクロネシア**(小島の意)・中部の**メラネシア**(黑人島の意)の三區域に分かれる。
Polynesia　Micronesia　Melanesia

珊瑚礁斷面圖

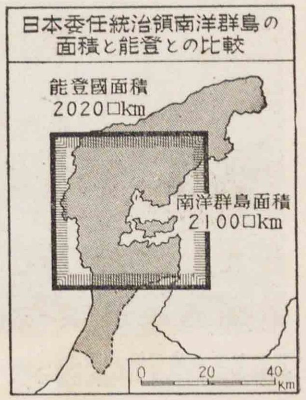


諸島の多くは高い**火山島**であるかまたは低い**珊瑚礁**から成つてゐる。大部分熱帶に在り,北東・南東の兩貿易風と赤道無風帶とが季節によつて南北に移動する。海洋性氣候であるのと,熱帶の**驟雨**とが年中あるのとで暑さは凌ぎ易い。
Coral-reef

第二節　我が南洋群島

面積2100方km　人口67000

ミクロネシアに屬し,小笠原諸島から南に擴る大小1000餘の島嶼から成立つ。經濟上の價値は少いが太平洋中にあり,交通上・軍事上極めて重要な

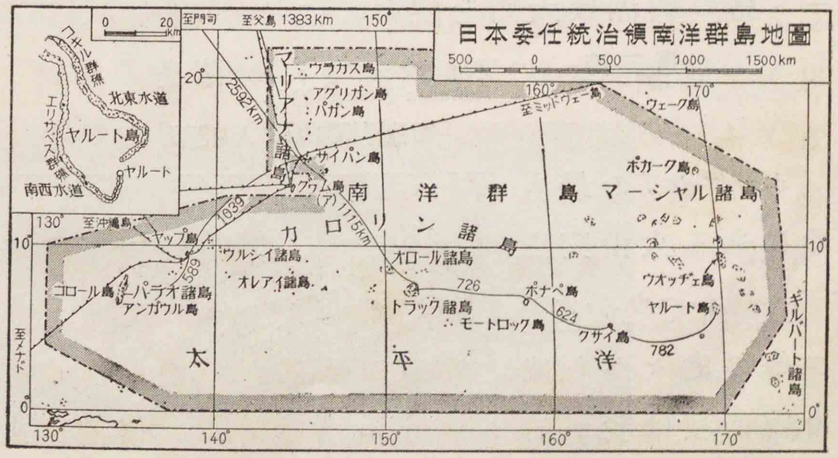


日本委任統治領南洋群島の面積と能登との比較

位置を占める。**住民**は原住土[*]人が大部分を占め,薯根・甘藷・甘蔗・椰子・玉蜀黍等を耕作し,コプラを輸出する。**內地人**は1萬7800人ある。我が國は南洋廳を置いてこれを治める。
Taro　Copra

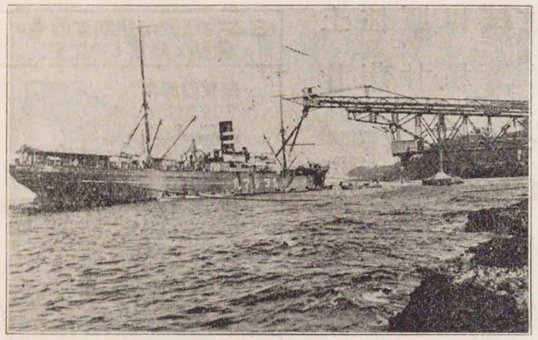
マリアナ諸島は火山列島で,サイパン島はその中心にあたる。その南の**グヮム島**のみはアメリカ合衆國に屬し,海底電線の中繼地及び貯炭所として名高い。
Marianne Is.　Saipan I.　Guam I.

カロリン諸島は火山島または珊瑚礁から成る。ポナペ島が最も大きい。ヤップ島は交通の要路に
Caroline Is.　Ponape I.　Yap I.



日本委任統治領南洋群島地圖

*土人にはカナカ及びカナカと白人の混血たるチャモロがありカナカ族が大多數である。



アンガウル島の燐鑛積出
燐鑛は南洋群島中第一の富源である

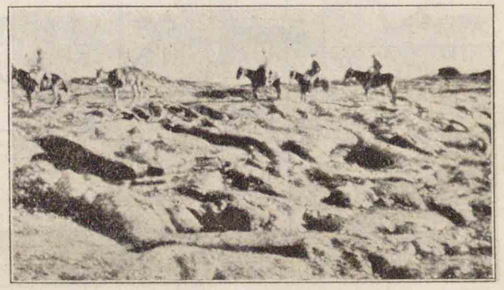
あたり,海底電線の中繼所で,琉球の那覇を經て上海に通ずる外,セレベス及びアメリカ合衆國領グヮム島にも通ずる。高瀬貝を產し,土人は今尙石貨・貝貨を用ひる風がある。

パラオ諸島(Palau Is.)はカロリン諸島の西部を占める一群島で,コロール島(Koror I.)に我が南洋廳がある。アンガウル島(Angaur I.)は燐鑛の產出が多い。

マーシャル諸島(Marshall Is.)は主として珊瑚礁から成り,ヤルート島(Jaluit I.)の礁湖は大船を容れることが出來る。

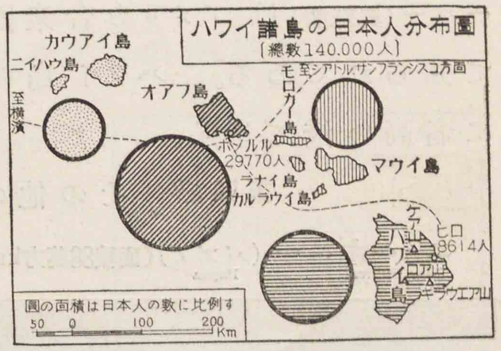
第三節　ハワイ(サンドウィッチ)諸島
Hawaiian (Sandwich) Is.

面積17000方km　人口37萬



熔岩の常に溢れるキラウエア山の噴火口

ポリネシアの最も北にある火山列島で,ハワイ(Hawaii I.)・マウイ(Maui I.)・オアフ(Oahu I.)等の島々から成り,總面積は我が四國にほぼ等しい。ハワイ島は**活火山**

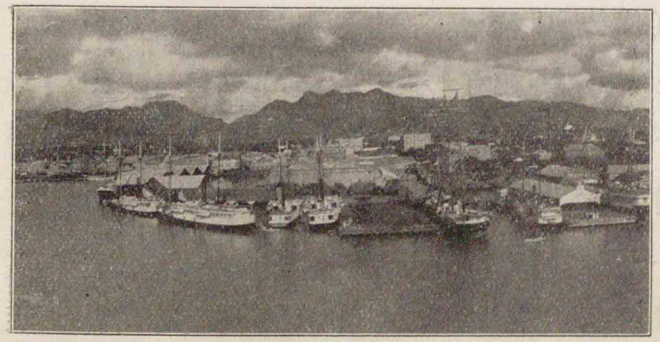


に富み,キラウエア(Kilauea)・ケア(Kea)・ロア(Loa)等が世に知られてゐる。

氣候は,北東貿易風の影響を受けて溫和であり,火山岩の風化による土壤の肥沃なのと相俟つて,植物がよく繁茂し,甘蔗・パイナップル・米・コヒー等を產し,製糖業及びパイナップルの**罐詰業**が盛んである。

土人はカナカ(Khanaka)種であつて,アメリカ合衆國に併合以來人口が減少し,今は2萬に過ぎぬ。住民の中で最も多いのは**日本人**でその數14萬に及び,多くは農耕に從事し,商業を營むものも少くない。

本諸島はアメリカ合衆國の一地方で,**首府**ホノルル(Honolulu)は太平洋の殆ど中央に位し,交通上極めて重要な位置を占め,附近のパールハ(Pearl Harbor)

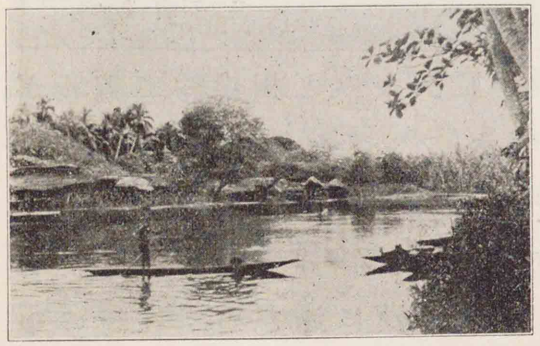


ホノルル港　太平洋航路の要地で我が定期船も寄航し附近に太平洋橫斷の海底電線の中繼所及び大無線電信局もある

ーバー(眞珠灣)はアメリカ合衆國の海軍根據地として知られてゐる。ハワイ島のヒロ(Hilo)は砂糖の輸出に名高い港である。

第四節　その他の島嶼

ニューギニー(New Guinea)(パプア)(Papua)(面積88萬方km人口93萬)世界第二の



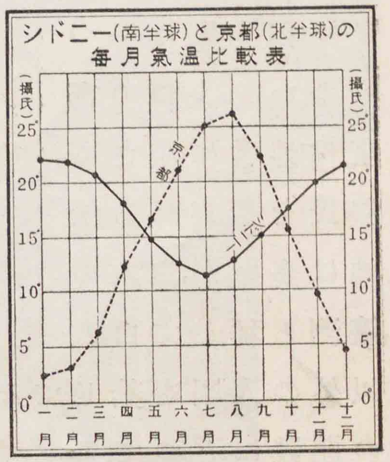
パプア人部落

大島で面積は我が本土の約二倍に當る。西部はオランダ,南東部はイギリスに屬し,北東部は附近の島と共にオーストラリア聯邦の委任統治領となつてゐる。ニュージーランドに續く弧狀新褶曲山脈の一部で大山脈東西に走り,南側に廣い平野があるが,**氣候**が濕熱で,兇暴な**土人**が住む爲に開拓は進まない。籐・椰子・バナナ・極樂鳥を產する。

ニューカレドニア島(New Caledonia)はフランス領で,ニッケルを產し邦人も採掘に從つてゐる。

その他イギリス領**フィジー諸島**(Fiji Is.),ニュージーランド及びアメリカ合衆國に分屬する**サモア諸島**(Samoan Is.)等は何れも南太平洋に於ける交通上の要路に當る。

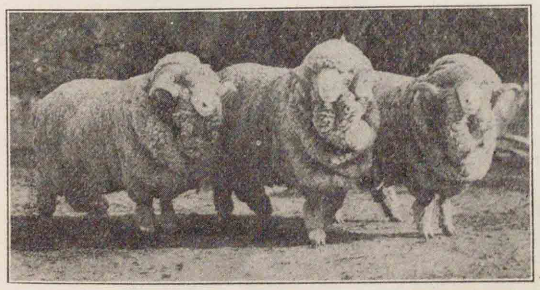
第五章　オセアニア洲總括



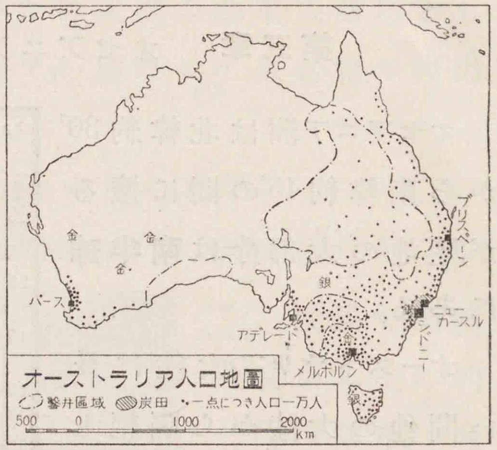
オセアニア洲は北緯約30°から南緯約45°の間に擴るが,陸地の大部分は**南半球**にある。

オーストラリア大陸は長い間他の大陸から隔絕してゐた爲に,珍らしい**生物**が遺り,植物にユーカリ樹(Eucalyptus),動物にカンガルー(Kangaroo)・鴨嘴獸(かものはし)(Duck Bill)・エミュー(Emu)・火食鳥(ひくひ)(Cassowary)等がある。これ等の生物は人類に役立つものが殆どないので,その代りに小麥・玉蜀黍・牛・羊等の有用動・植物がヨーロッパ洲から移されて盛んに增殖してゐる。

住民は約900萬あつて,土人と植民した白人とから成立ち,白人の中ではイギリス人が最も多く,土人は次第に減少する傾向がある。ヨーロッパ人が植民を始めるまでは



オーストラリアの羊
スペインから移したメリノ種



オーストラリア人口地圖

土人の王國も一二存在したが,今は滅びて獨立國は一つもない。**人口**の密度は非常に小さく,移民を受容れる餘地は多いが,**白人の濠洲**と稱して白人以外の入國を禁じてゐる。併しこの政策は濠洲の開發にとつて果して適當か否か大いに疑問視されてゐる。何となれば白人は有色人種に比して暑さに對する抵抗力が弱く,熱帶濠洲に於ける白人の勞働は不可能だからである。

太平洋諸島は我が國・イギリス・フランス・アメリカ合衆國の四大强國が領有する所であつて,產業は發達してゐないが,太平洋上に於ける交通の要路に當るものが多く政治上・軍事上重要視されてゐる。殊に近時これ等列强の政治・經濟上の關係が互に密接になつて來たから,所謂太平洋問題は非常に重要となつた。

ハワイの甘蔗畑（ポリネシア）

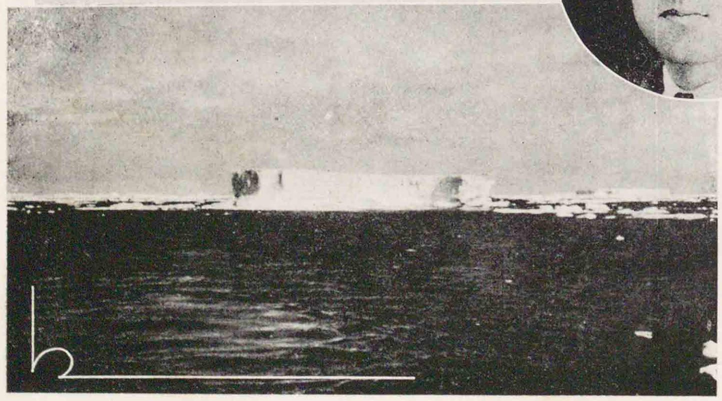
サモア土人の家（ポリネシア）

ハワイ島ヒロの日本語學校（ポリネシア）

ヴィチレヴ島（フィジー諸島）

ペングヴィン島（南極）

アメリカの南極探檢家バード少將



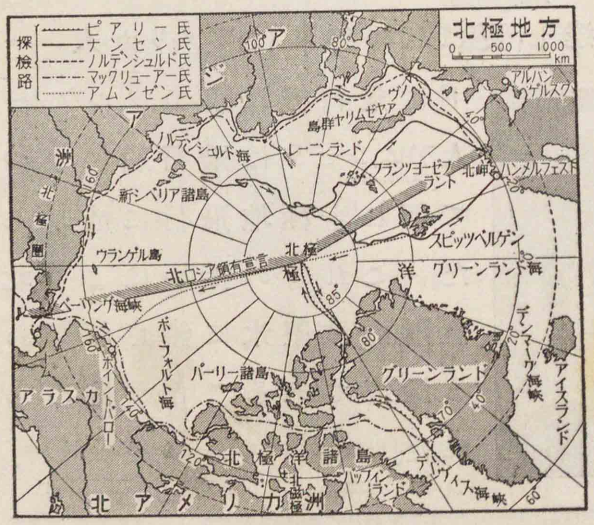
南極の氷山

第二篇 兩極地方

第一章 北極地方
Arctic Region

北極地方は**北極圏内**(Arctic Circle)にあり,ユーラシア・北アメリカ兩大陸の北部によつて圍まれる地方で,北極洋(Arctic Ocean)がその大部分を占める。世界第一の大島**グリーンランド**(Greenland)を初め,スピッツベルゲン(Spitzbergen)・フランツヨーゼフランド(Franz-Josef Land)・ノヴァヤゼムリヤ(Novaya Zemlya)・新シベリア(New Siberia)諸島等がある。

氣候が寒冷で土地の多くは氷冠・氷河に被はれ,海水も凍結せる部分があり,然らざるも**氷山**や流氷が多く,探檢・航海は極めて困難である。ただ北極地方の氣流は航空には都合がよい。



人類の居住に適せず,ノル

* 世界の寒極はパーリー島とシベリアの北東部にあり北磁極はブーシア半島にある。

ウェー領スピッツベルゲンは石炭を產する爲に,近時聚落の發達を見たが,その他には僅かにデンマーク領グリーンランドの西部に*エスキモー人(Eskimos)が住んでゐて鯨·海豹·白熊·白狐·鳥類を狩獵して生活するに過ぎない。

エスキモーの子供

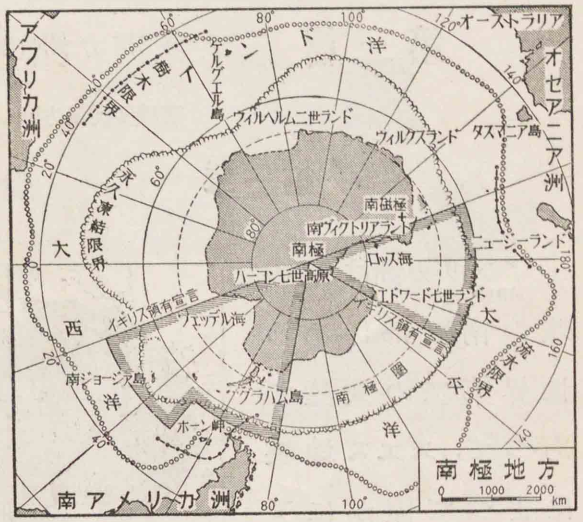
近時極地探檢が盛んとなり,**北東航路**(North-east Passage)·**北西航路**(North-west Passage)等の發見があつて次第にその地理が明かになり,1909年アメリカ人ペアリー(Peary)は犬橇によつて初めて**北極**(North Pole)に到達し,更に1926年には,アメリカ人バード(Bird)は飛行機により,ノルウェー人アムンゼン(Amundsen)は飛行船によつて何れも極地飛行に成功した。これ等の探檢により北極附近は堅氷に鎖されてゐる深海であることが確められた。

ペアリー北極到達

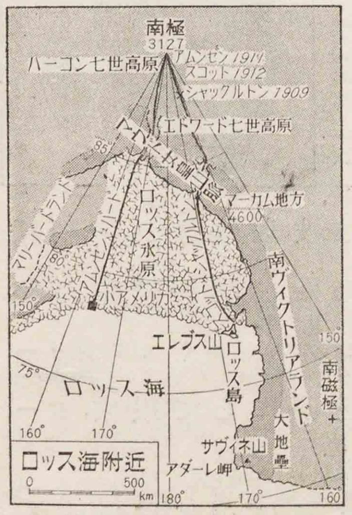
* グリーンランド西岸のエターはエスキモーの部落でスピッツベルゲンのロングイーアと共に人類の定住する北限である。

第二章

南極地方
Antarctic Region



南極地方は**南極圏内**(Antarctic Circle)にあつて,大部分は2500mから3500mの高度を有する**廣大な陸地**から成る。氷冠に被はれた部分が多く,人類は住居せず,海岸には**ペングィン鳥**(Penguin)が群棲し,沿海には鯨が多い。



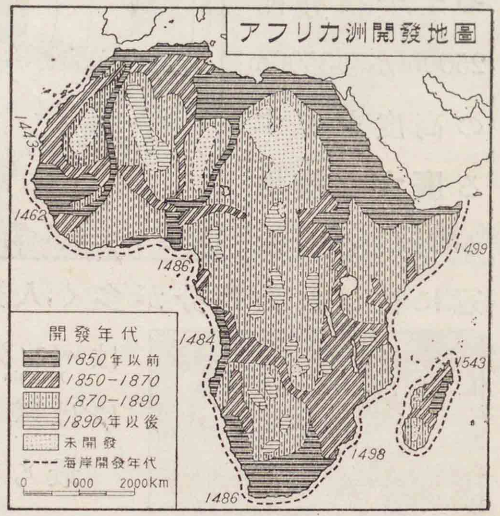
最も新しく發見された地方で1909年にイギリス人シャックルトンは南緯88°23′まで進み,その後アムンゼンとイギリス人スコットとは相前後して南極に達し,1929年アメリカ人バード(Byrd)は飛行機で探檢した。

ヴィクトリアランドとエドワード七世ランドとはロッス海を抱きエレブス火山が聳える。南米の南にはグラハム島があつてウェッデル海を抱く。磁石の南極は南ヴィクトリアランドにある。我が白瀨中尉は1912年ロッス海岸に到達して引返した。

第三篇 アフリカ洲(Africa)(阿弗利加洲)

面積3000萬方km 人口1億5000萬

第一章 序 說

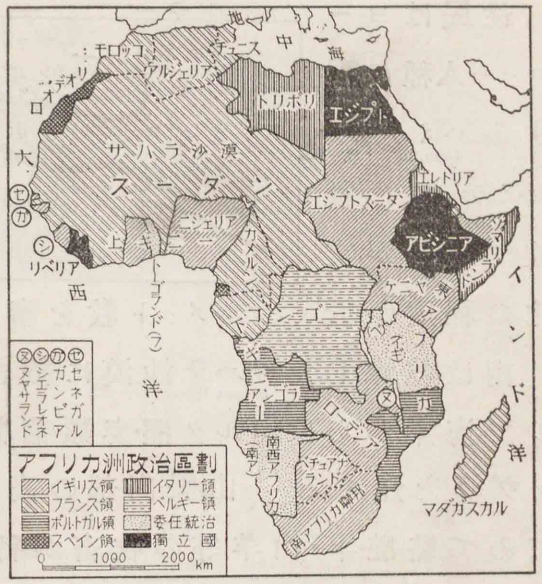


アフリカ洲(Africa)は東半球の南西部にある世界第二の大陸であつて,**スエズ地峽**によつて僅かにアジア洲に連る。

地中海に面した地方は早くから知られてゐたが,內地の大部分は久しく未開發のまま取殘され,所謂*暗黑大陸の名を以て呼ばれてゐた。第19世紀の後半に至り,イギリス人のリヴィングストン(Livingston)やスタンリー(Stanley)等の大探檢家が,內地の事情を明にして以來,ヨーロッパ諸國が競つて各地を占領した。

原住の土人は大陸各部に住むが,何れも勢力無

* アフリカ洲の探檢・植民がおくれたのは北方にはサハラ沙漠があり海岸は不健康地で惡疫が流行しその上河川が航行に適せず土人の中に兇暴なものがある等の理由による。



く,獨立を保つてゐるのは僅かにアビシニア王國・リベリア共和國及びエジプト王國の三つに過ぎぬ。イギリスは最も重要なる部分を領し,フランスは最も大なる地域を占める。その他ベルギー・ポルトガル・イタリー・スペインなども各地を領有してゐる。

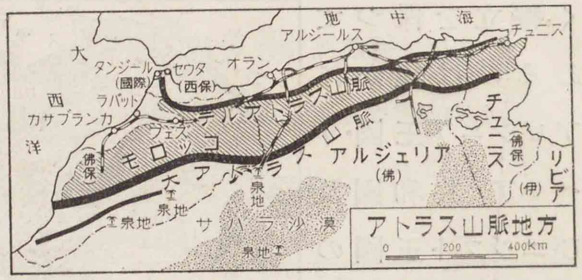
第二章 北部アフリカ

第一節 *バーバリ地方(Barbary)

バーバリ地方は地體構造上南部ヨーロッパの連續であるアトラス山脈(Atlas Mts.)地方と,ガベス(Gabes)・シドラ(Sidra)兩灣に臨むサハラ沙漠の一部とから成る。西部の**モロッコ**(Morocco)の大部分は**アルジェリア**(Algeria)**・チュニス**(Tunis)と共にフランスの保護をうけ,東都の**リビア**(Libya(トリポリ))はイタリーに屬する。

* バーバリ地方の名は昔時アジア洲の南西から移住したバーバリ人から出てゐる。

住民はヨーロッパ人種に屬するハミチック(Hamitic)・セミチック(Semitic)兩種族であるが,文化の程度が低く,マホメット教を奉じてゐる。



南は乾燥した**サハラ**沙漠(Sahara Desert)に續き,北は降雨があつて,海岸からはコルク樫・麥類・葡萄・デート椰子(Date-Palm)・オリーヴ等を產する。山脈內部の高臺は草地をなしてゐて駱駝・羊・山羊等の牧畜が行はれ,またアルファ(Alfa)草(エスパルトともいふ)といふ紙の原料を產する。

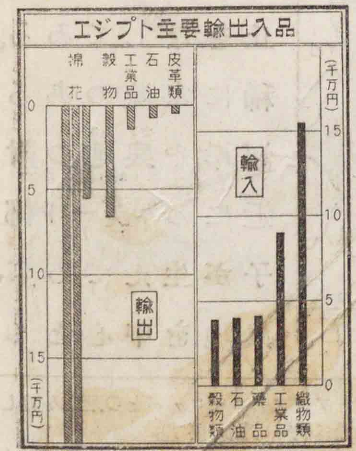
タンジール(Tangier)はモロッコの中立地帶に在つて,商港として著れ,**アルジールス**(Algiers (2 3))は本國フランスとの貿易が盛んに行はれ,葡萄酒・オリーヴ油を輸出する。イタリー領リビアの**トリポリ**(Tripoli)は沙漠地方に至る隊商の發着地として名高い。チュニスの附近には歷史上に名高いカルタゴ(Carthage)の遺跡がある。

バーバリ人

第二節 エジプト(**埃及**)
Egypt

面積100萬方km 人口1400萬

エジプトは**ナイル**河(Nile R.)下流の地域で,氣候が乾燥してゐて,大部分はリビア沙漠の中に入る。ただナイル河沿岸の細長い洪涵平野と,下流の大三角洲とは,河水の定期氾濫(ハンラン)によつて沃土が堆積し,世界最良の綿を產する外,甘蔗・穀物等を出し,人口が非常に稠密である。近時アスワン(Assuan)に大堰堤(エンテイ)を築造して乾季にも耕作し得るに至つた。石油・燐鑛の產もある。



住民はアラブ族とエジプト族とであつて,久しくトルコ・イギリスの勢力のもとにあつたが,世界大戰後1922年に獨立して王國となつた。

首府カイロ(Cairo)は三角洲の頂點に位して通路が集中し,人

口106萬，大陸第一の都市である。附近にはピラミッドその他の遺跡がある。

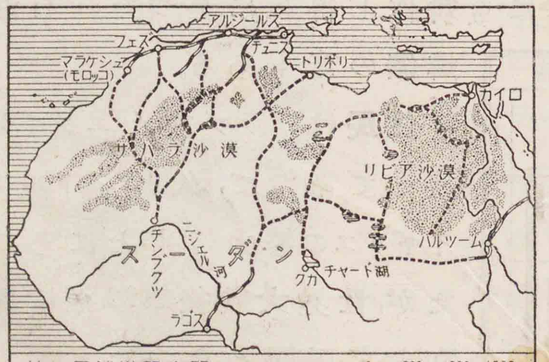
カイロ市

アレクサンドリア(Alexandria (5.7))は古來有名な商港で綿を輸出する。

*スエズ運河(Suez Canal)はスエズ(Suez)とポートサイド(Portsaid (1.0))の間に作られ,東西交通の要路に當る。

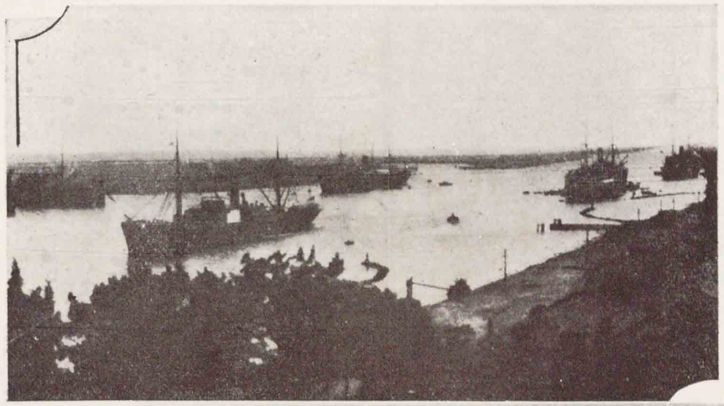
第三節　サハラ (Sahara)

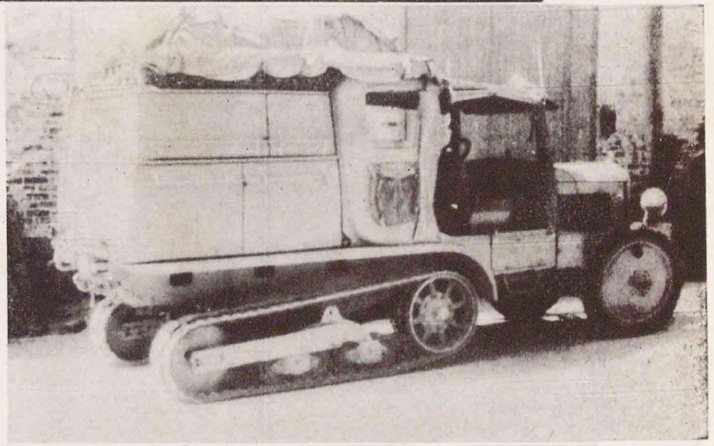
世界第一の**大沙漠**があり,その面積は我が國の10倍に達する。諸所に低い山脈を有する臺地から成り,高い部分は岩石の露出した荒地をなし,低い部分は沙原·沙丘をなしてゐる。稀に水流のある河岸や**泉地**(オアシス Oasis)の附近にのみデート椰子が生えてゐて,泉地を中心とし



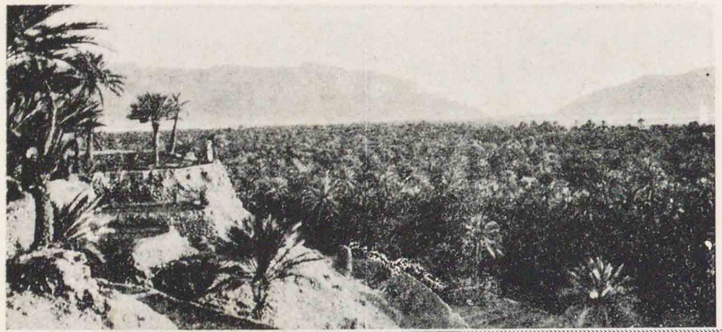
サハラ沙漠隊商路

* 2億圓の金と10箇年の時とを費して1869年に完成しアジアとヨーロッパとの距離を著しく短縮して世界交通に一大革命を起した。船舶の通過に約17時間を要す。


スエズ運河とポートサイド（エジプト）


サハラ沙漠横斷に使用せられる自動車（サハラ）

サハラ沙漠の景觀（サハラ）



オアシス（サハラ）
サハラ沙漠内の

右 アラブ族
左 バンツネグロ族

河馬（アフリカ洲）

た密集聚落を形成し,また隊商の休息所ともなる。

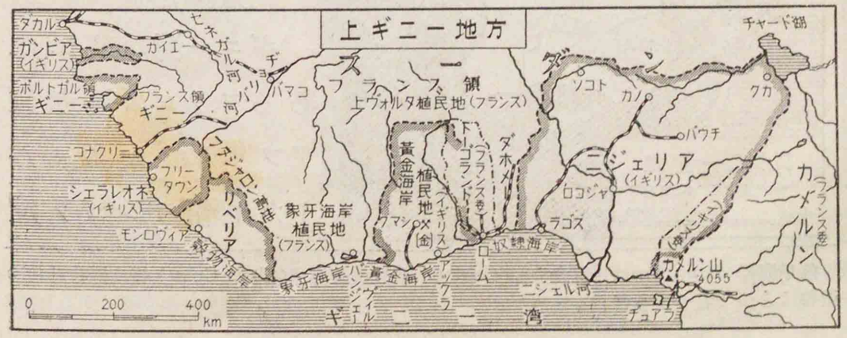
主としてアラビア人が住し,**隊商**(Caravan)によつて沙漠の南北間を往來する。近時スーダン地方の物產がギニー灣から出るやうになつたのと,沙漠橫斷の自動車路が開かれた爲とで,隊商貿易は次第に衰へて來た。フランスは橫斷鐵道の敷設を計畫し,また鑿井によつて荒地を綠野に化せんと努めてゐる。

第三章　中部アフリカ

第一節　スーダン(Sudan)及び上ギニー(Upper Guinea)地方

サハラ沙漠から南の地方で,東はナイル河より,南西はギニー灣(Gulf of Guinea)の北岸に沿ふ。フランスは主に西部のスーダンを領し,イギリスは**エジプトスーダン**(Egyptian Sudan)及び上ギニー地方の**ニジェリア**(Nigeria)その他を有してゐる。

これ等の內地には地味肥沃で開拓し得る所が

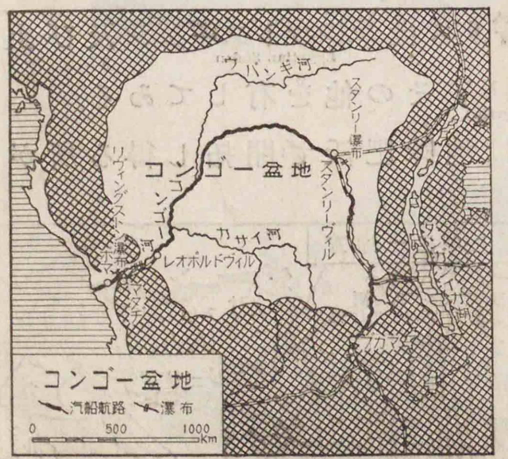


ニジェリア地方の狩夫

多いが,住民は無智の黒奴であり,地形上には北にサハラ沙漠,南に熱帯の密林を控へる爲に,交通が不便で産業は未だ興らない。

*物産としてはマホガニー・落花生・カカオ・椰子實・象牙等の天産物を産するに過ぎぬ。

クカ・チンブクツ・ハルツームは沙漠への推移地帯にあり,隊商貿易の中心地として知られ,ラゴスは商業の中心地である。**リベリア共和國**(面積95000方km　人口約200萬)の首府をモンロヴィアといふ。
Kuka　Timbuktu　Khartum　Lagos　Liberian Republic　Monrovia



第二節
下ギニー地方
Lower Guinea

ギニー灣の東岸にあるフランス領赤道アフリカの大部,ポルトガル領アンゴラ及
Angola

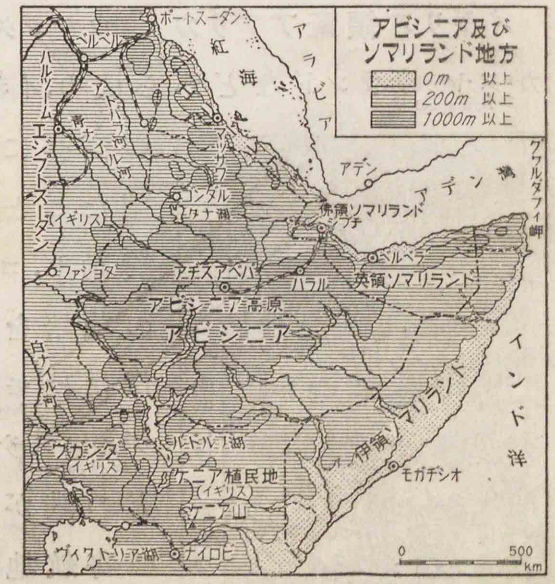
* 象牙海岸(Ivory Coast)・黄金海岸(Gold Coast)・奴隷海岸(Slave Coast)等は探検時代の産物によつて名づけられた。

びその内部のベルギー領コンゴーなどから成る。住民をバンツ族といひ,一般に丈が低い。文化は甚だ幼稚で,互に爭鬪をこととしてゐる。
Belgian Congo　Bantu Negro

熱帯多雨帯にあるが爲に密林に鎖されてゐて生産に乏しい。**ベルギー領コンゴー**は*コンゴー河の大盆地を含み,椰子・コヒー・カカオ等を産し,また近時カタンガ地方の鑛産(金剛石・金・銅)に著れる。
Congo R.

第四章　東部アフリカ

第一節
北部地方



アビシニア(面積90萬方km　人口1000萬)隆起地塊たるアビシニア高臺にある專制王國で,エチオピア王國ともいふ。**住民**はセミチック族であつ
Abyssinia　Ethiopia

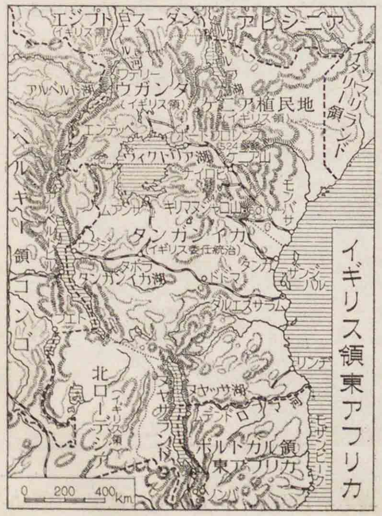
* コンゴー河の中流は水運の便が大きいが下流は臺地から海岸へ出る途中に急湍・瀑布を作る爲に首府レオポルドヴィルとマタヂ間には鐵道を設けて大洋汽船と連絡をとる。上流にも多くの瀑布がある。

て,キリスト教を信ずる。象・牛を飼育し,コヒー・象牙・金等の產がある。**首府**をアヂスアベバ(Addisabeba)といふ。この國は地形と列强勢力の緩衝とで獨立を保つ。

エリトレア(Eritrea)及びソマリランド(Somali Land) 共に紅海(Red Sea)の入口に臨み,エリトレアはイタリーに,ソマリランドはフランス・イギリス・イタリー三國が分領する。フランス領にあるジブチ(Jibuti)は紅海の南口を扼する要港であり,またアビシニアの門戸となつてゐる。

第二節　東岸地方

イギリス領東アフリカ　ウガンダ(Uganda)・ケニア(Kenya)・タンガンイカ(Tanganyika)・ヌヤッサランド(Nyasaland)などから成り,イギリス政府は内地の高臺*に於ける農業の有望なことを認めて植民を奬勵し,コヒー・ゴム・綿などの栽培を行つてゐる。海岸にはモンバサ(Mombasa)・ザンジバル(Zanzibar)・ダルエスサラム(Dar es Salaam)(ダレサラム)などの港があつて,我が商船の寄航地である。この地方は近年我が商品の販路



* 高臺の叢地には羚羊・縞馬・獅子等の野獸が多く火山質土壤の草地では農牧が行はれる。

が次第に開けて來て,綿製品・雜貨を彼れに與へ,マガヂー湖(L. Magadi)から採れる天然ソーダを我が國に輸入する。

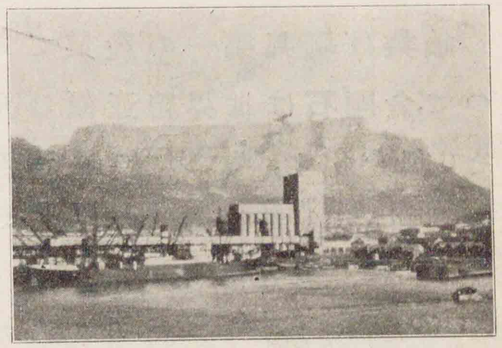
ポルトガル領東アフリカ　甘蔗・綿・コプラを產する。ベイラ(Beira)及びローレンソマルケス(Lourenco Marques)は我が商船の寄航地であつて,モザンビーク(Mozambique)と共に交通上の要地である。

第五章　南部アフリカ

第一節　南アフリカ聯邦

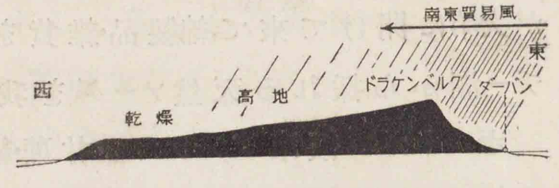
Union of South Africa

面積122萬方km　人口770萬



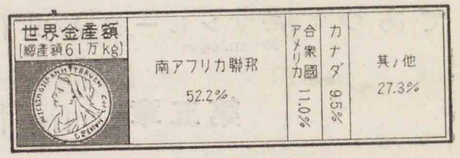
植民・政治　南アフリカを最初に開拓したのはオランダ人であるが,その後イギリスが植民に手をつけ,第19世紀の後半に所謂南阿戰爭(1899—1902年)が起り,その結果オランダの植民地はイギリスの掌中に歸して,今は喜望岬(Cape of Good Hope)・ナタール(Natal)・オレンジ自由州(Orange Free State)・トランスヴァール(Transvaal)の四洲が**南アフリカ聯邦**を組織し,聯邦政廳をプレトリア(Pretoria)に,聯邦議會をケープタウン(Cape Town)に置いて本國から自治を許されてゐる。

ケープタウン



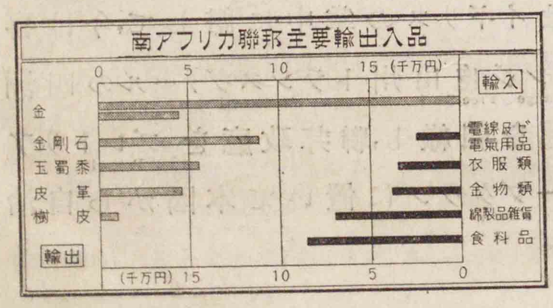
南部アフリカの地形と氣候

産業・交通　東は高い卓狀地で南東部の海岸地方には降雨が適度にあり,小麥・玉蜀黍・甘蔗・果物類の產が多く,內地の高臺は氣候が乾燥してゐて牛・羊・駝鳥などの飼育が盛んに行はれる。



鑛業は聯邦第一の產業であつて,**金剛石**は世界總產額の凡そ6割を出し,キンバーリー (Kimberley) 附近に多い。金鑛はウィトウォータースランド (Witwatersrand) 地方に多く,世界金產額の約5割を產する。**ヨハネスブルグ** (Johannesburg (30)) は產金地の中心都市である。

南東岸のダーバン (Durban)・ポートエリザベス (Port Elizabeth) などは聯邦の門戸をなし,貿易が行はれる。**ケープタウン** (23) はアフリカ縱貫鐵道の起點であつて,ダ



ーバン (16) と共に我が商船の寄航地に當り,我が國へは羊毛を輸出し,我が國からは綿製品を輸入する。

第二節　ベチュアナランド及びローデシア

ベチュアナランド (Bechuana Land) はカラハリ沙漠 (Kalahari Desert) の附近を占め,駝鳥羽毛・金等を產し,その北のローデシア (Rhodesia) は開拓者セシル (Cecil)ローヅ (Rhodes) の名に因んだもので,雨量も可なりあつて,農・牧に適する。金の產出も多い。

附南西アフリカ (South West Africa)　南アフリカ聯邦の委任統治領で,土地は不毛であるが,銅・金剛石及び牛・羊を產する。

第六章　アフリカの屬島

マダガスカル島 (Madagascar I.) (面積92萬方km　人口361萬)　フランスに屬し,もと東アフリカ臺地の一部分であつたが,古い時代に分離して深いモザンビーク海峽 (Mozambique Channel) を生じた爲に,その生物には擬猴類・旅人木など特殊なものがある。

住民はマレー人種に屬するホヴァ族 (Hovas) が多く,主として東部に住んで米を主食とする。

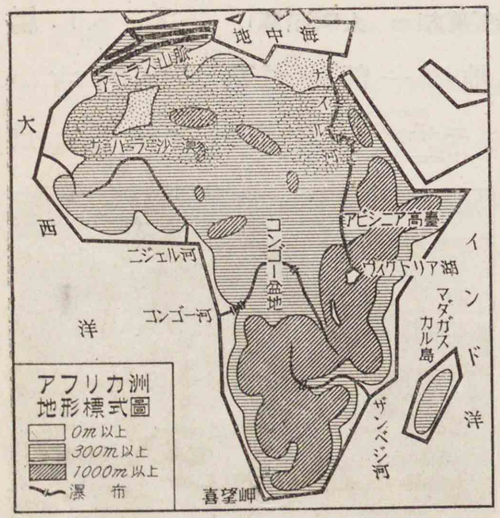
マダガスカル島の米搗き　南東の貿易風をうけるインド洋の側で米の收穫は多い

首府をアンタナナリヴォ (Antananarivo) といふ。

その他の諸島　レユニオン (Reunion I.) 島はフランスに,モーリシアス (Mauritius I.) 島はイギリスに屬し,共に火山島であつて甘蔗の栽培が盛んである。大西洋中にあるセントヘレナ (St. Helena I.) 島はイギリス領である。

大陸の北西海洋中にあるマデイラ (Madeira I.) 諸島とヴェルデ (Verde Is.) 諸島とはポルトガルに屬し,カナリー (Canary Is.) 諸島はスペインに屬して,何れも世界發見史に名高く,海底電線の中繼地または大西洋航路の寄航地に當る。

第七章　アフリカ洲總括



地形　オーストラリア大陸の約4倍の**面積**を有する。古い時代から地形の變動をうけることが少かつた爲に,海岸線の出入は極めて少く,全體が*一大高原の狀を呈す

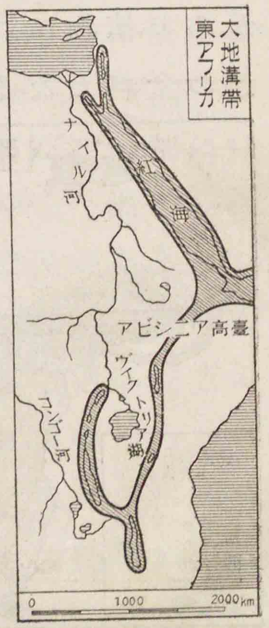
* 高臺の縁が海に向つて急斜する爲海岸から望めば山脈のやうに見える。

アフリカ洲斷面圖

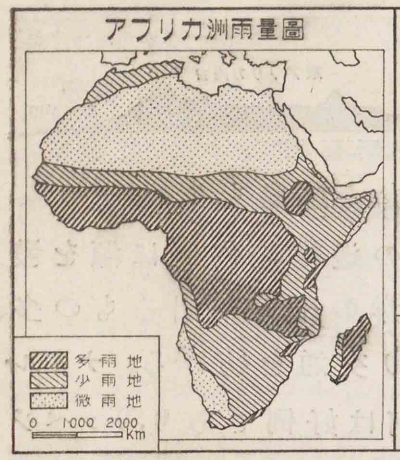
る。従つて海岸線の出入少く,**屬島**も少い。

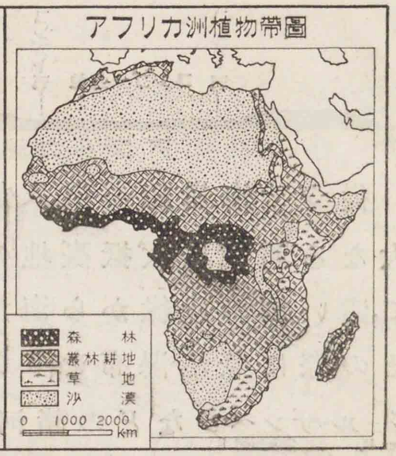
大なる**河流**は大抵臺地の邊縁の內側に源を發して,遠い側の邊縁から海岸の平地へ出るもの多く,その際に急湍・瀑布を作り交通を妨げる。ナイル・ニジェル (Niger R.)・ザンベジ (Zambezi R.) などの諸河は好例であり,ザンベジ河のヴィクトリア瀑布 (Victoria Falls) は雄大で名高い。

東部高臺にはアジア洲から續く大地溝帶 (Great Rift Valley) があつて,多くの湖水を作り,またこれに沿つてキリマヌジャロ (Kilima Njaro)・ケニア (Mt. Kenya) 等の火山が噴出する。

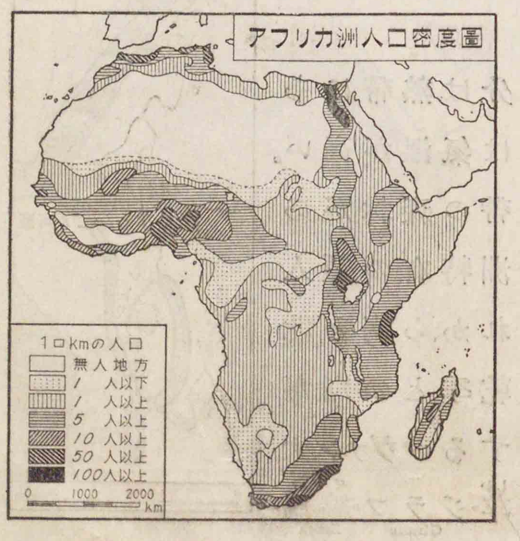


氣候・生物　大部分は熱帶にあつて高地を除いては氣溫が高い。赤道多雨帶には熱帶の森林があり,鳥類・蛇類及び本洲特有の類人猿などがゐる。それから南と北とに行けば,雨季と乾季との別があつて,樹木の疎生する**サヴァンナ**(叢林)・草地となり,羚羊(かもしか)・ジラフ (Giraffe)・縞馬(ゼブラ) (Zebra)・





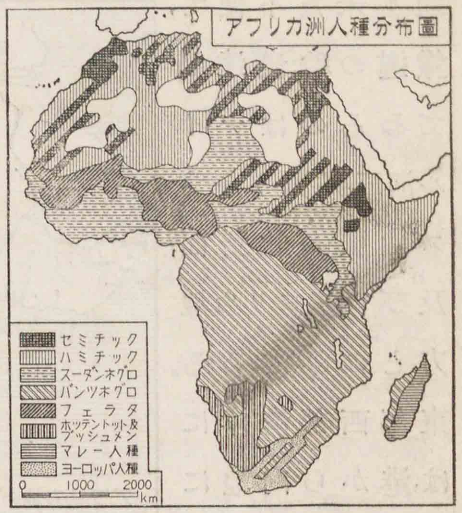
象・獅子・犀・鰐・河馬などの巨大な動物が住む。更に進めば沙漠となり,動物には駱駝(沙漠の船といふ)及び駝鳥があり,植物にはデート椰子があつて沙漠に住む人達の食料となる。



近時ヨーロッパ人によつて有用植物(綿・甘蔗・コーヒー)や家畜が繁殖してゐる。

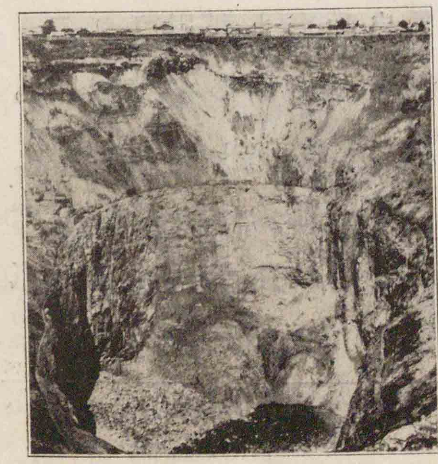
人口・種族 總人口は1億5000萬に上るが,土地が廣い爲に人口の密度は小で,1方kmにつき

約4人に過ぎない。



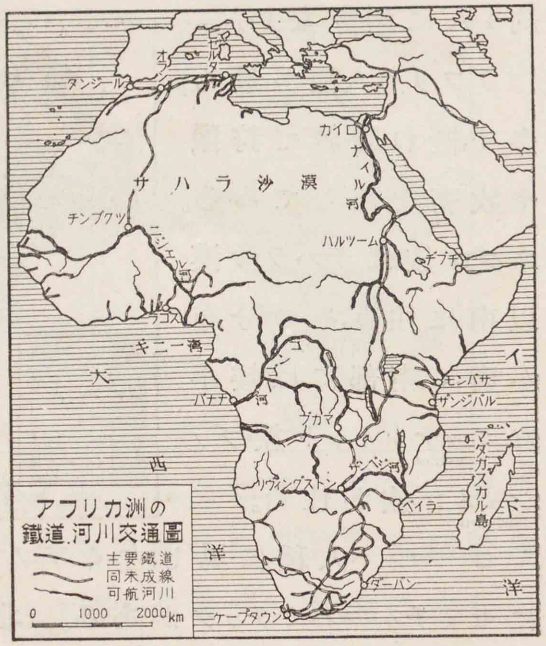
アフリカ人種が最も多く,概ね野蕃で狩獵や牧畜をなしてゐる。**ネグロ**族はサハラ沙漠以南に住み,その分布が廣く,南部には矮小なホッテントット(Hottentot)族・ブッシュメン(Bushmen)族が住む。

ヨーロッパ人種に屬し,古くアフリカ洲へ來たものにセミチック・ハミチックがある。北部地方に住み,農・牧を營む。アフリカ人種との境界地方にはフェラタ(Fellata)族の如き混血族が多い。別に北部及び南部には近時ヨーロッパ洲から移住した植民がある。


南阿のダイアモンド鑛

産業・交通 地中海沿岸の一部と南部地方の農業・牧畜,南部地方の鑛業の外には見るべき産業は無く,未開拓の處が多い。從つて交

通も未だ不便で，**鐵道**の稍〻發達してゐるのはナイル河三角洲・アトラス山脈の北斜面及び南アフリカ地方とのみである。東部西部海岸には,港から内地に向ふ孤立した鐵道が所々にある。



アフリカ洲の鐵道.河川交通圖

イギリス經營の**大陸縱貫線**も大部分完成した。

内地の交通機關には北部に駱駝,中部に擔夫(タンプ),南部に家畜がある。近時は自動車も利用される。

*諸大河及び大湖には汽船の便があり,航空路もコンゴー盆地·南アフリカ等に設けられた。

海岸には良港が少いので,航運は餘り盛んでないが,北部と南東部とには定期航路が開け,我が汽船も定期に寄航する。

* ナイル・ニジェル・コンゴーなどの河川で急湍・瀑布のある部分は汽船の航行が出來ないので自動車や汽車で汽船の連絡をつけてゐる。

第四篇　南アメリカ洲（南亞米利加洲）
South America
面積1900萬方km　人口7900萬

第一章　序　　說

西半球の南部を占める大陸で,我が國から最も遠い大陸である。北アメリカ洲と共に*新大陸または**新世界**と呼ばれる。

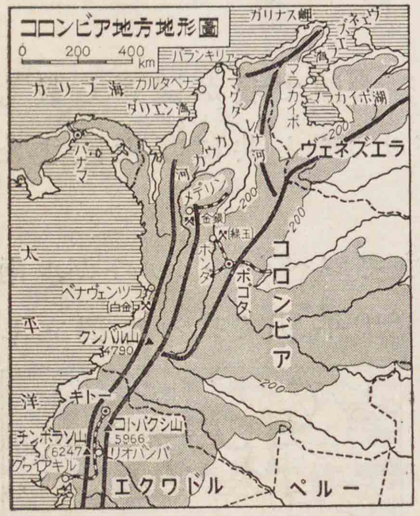
大陸の大部分は近代までスペイン・ポルトガル兩國の**植民地**であつたが,1810年以來次々に獨立して,今は北部のギアナを除くほか,ことごとく獨立して**10個の共和國**に分れる。その中アルゼンチン・ブラジル・チリーの所謂A・B・C三國が稍〻振つてゐるが,北アメリカ合衆國の汎米政策は政治上に於ても經濟上に於ても本大陸をその支配下

南アメリカ洲政治區劃圖

* コロンブスは新大陸を發見しながら新大陸であることを知らずに死んだアメリカの名は後にこの地方を探檢したアメリゴヴェスプッチの名に因んだものである。

におかんとしてゐる。

第二章　北西部諸國



第一節　コロンビア (Colombia)

面積130萬方km　人口810萬

アンデス山系(Andes Mts.)が數條に分れて走りその間を流れる**マグダレナ河**(Magdalena R.)の縱谷は**カリブ海**(Caribbean Sea)から内部への主要通路をつくる。

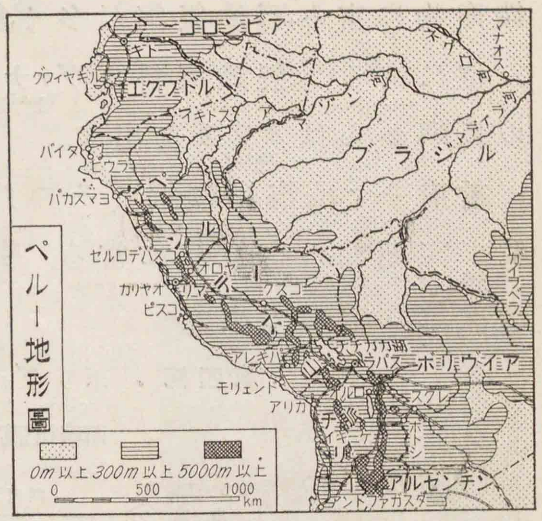
山中には白金*・金・エメラルド・石油等の產があり,山麓にはコヒーを產し,平野には牧牛が行はれる。**首府**ボゴタ(Bogota (24))は山間の高地にあり,第16世紀の半ばにスペイン人の征服者が創立した都市である。

第二節　エクワドル (Ecuador)

面積30萬方km　人口200萬

赤道が本國内を橫切るが爲に國名をエクワドル(赤道の意)といふ。國内には火山が多く,チンボラソ(Mt. Chimborazo)・コトパクシ(Mt. Cotopaxi)等の高山が聳えてゐる。

* コロンビアは白金が初めて發見された所で今尙ロシアと共に世界の二大產地である。エメラルドは金剛石よりも高價と云はれコロンビアは世界に於ける唯一の產地といつてよい。



低地では**カカオ・コヒー・甘蔗**などが出來る。パナマ帽はこの地方の特產である。

首府キトー(Quito (8))は海拔3000mの高所にあつて氣候が溫和である。

ペルーの銀山　交通の不便なことがよく現はれてゐる

第三節　ペルー(秘露) (Peru)

面積138萬方km　人口614萬

北東部を除くの外大部分はアンデス山系に屬し,氣候は割合に溫和*である。北部・東部は降雨が多く,南部は乾燥して灌漑によつて耕作する。

甘蔗・綿・煙草・コヒー・規那を產する。

* 氣候が溫和な爲昔時インカ族と稱するアメリカインド人の一派があつて文化が進み今のチチカカ湖畔のクスコを中心としてインカ帝國を建て軍隊・道路・驛傳の制を有してゐたがスペイン人の渡來と共にその勢を失つた。

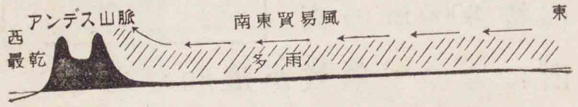
鑛產物に富み,石油·銀·銅が多く,**銀**の產出は世界第三位にある。製鐵原料のヴァナヂウム(Vanadium)を產し,海岸の島嶼からは**グワノ**(Guano)を出す。

首府リマ(Lima (30))は海岸に近くその外港たるカリャオ(Callao)は我が定期船の寄航地に當る。近時我が國の移民が次第に增して來た。

第四節　ボリヴィア(Bolivia)

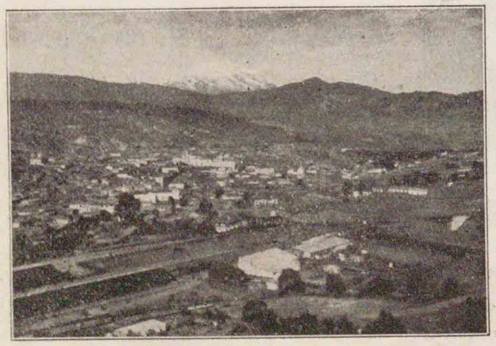
面積183萬方km　人口286萬

內陸國である。南西部はアンデス山系中の廣い高地をなし,氣候が乾燥してゐて,羊·リャマ等の牧畜が行はれ,また諸種の鑛物に富み,**錫**の產出は世界第二位である。北東はアマゾン(Amazon R.)河の支流マデイラ(Madeira R.)河の流域で,密林にとざされ,ゴムの產が多い。



南アメリカ洲の地形と氣候(左方がボリヴィア附近)

チチカカ湖(L. Titicaca)は海拔3800 m の高所にあり,附近に**首府**のラパス(La Paz)がある。


ラパス市　附近のチチカカ湖は歷史時代になつてから面積が小さくなつた

第三章　チリー(Chile)(智利)

面積75萬方km　人口440萬

細長い山勝な國で,火山や**地震**も多く,我が國に似た所が多い。北部は熱くて乾燥し,**アタカマ***(Atacama)の如きは不毛の沙漠であるが,世界最大の**硝石**の產地である。中部は地中海性氣候で,小麥·葡萄を產し,高原では牛と羊の飼養が多い。山地から出る**銅**はその產額世界第二位であつて,鐵·石炭もある。南部▲は沈水海岸で峽灣が多く,多雨寒冷であるが,森林が多く牧畜も行はれる。

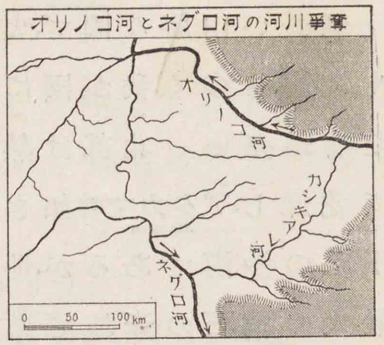
硝石の精製　鑛石を砕いて熱湯に溶解し更に結晶せしめて製する

首府サンチアゴ(Santiago (62))は內地にあり,その外港ヴァルパライソ(Valparaiso (23))は海岸交通の衝に當り,北方のイキーケ(Iquique)と共に我が郵船が寄航する。

* アタカマ沙漠は海面上1000—4000m の高所にあり沙漠內の硝石は嘗て埋沒した鹽類が降雨のない爲に流されずに堆積して出來たものである。

▲ マゼラン海峽に臨むマガリエンス(プンタアレナス)は世界最南の都市である。

第四章 北部地方



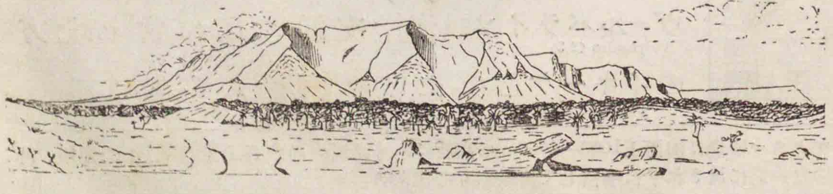
リヤノスの南部は地形が低平で河川爭奪が行はれる

ヴェネズエラ(Venezuela)(面積102萬方km 人口305萬) 北西のアンデス山系の支脈と南東部のギアナ(Guiana)山地との間に廣いオリノコ河(Orinoco R.)の平野が展け,その一部はリヤノス(Llanos)の草地であつて山羊・牛の牧畜が行はれる。またこの國の主要產物たる**コヒー**を產する。

マラカイボ湖(L. Maracaibo)畔に產する**石油**はその產出高が世界第三位にある。アスファルトの產出も多い。

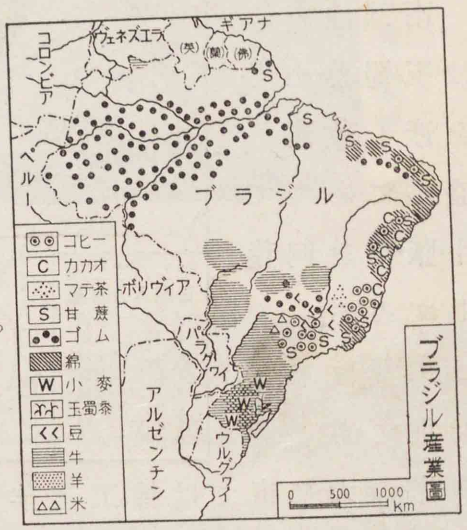
首府カラカス(Caracas)(14)は海岸に近い臺地の上にある。

ギアナ(Guiana)(面積47萬方km 人口50萬) 本大陸で**ヨーロッパ人**の**植民地**として殘つてゐる唯一の地方である。イギリス・オランダ・フランスに分屬する。大部分ギアナ山地で開拓が進まず,甘蔗・カカオ・砂金を產する。


ギアナ山地(西部のリヤノスから眺めたものである)

第五章 ブラジル(Brazil)(伯剌西爾)

面積851萬方km 人口3900萬



ブラジル產業圖

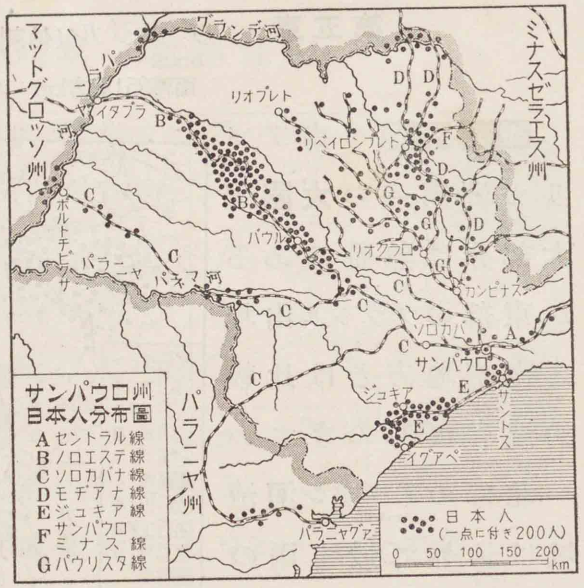
地文・產業 南アメリカ洲第一の**大國**で大部分は熱帶にあるが,東部のブラジル山地と南部地方とは比較的溫和でしのぎよい。

北部の*アマゾン河(Amazon R.)流域は世界で最も雨の多い地方であつて,所謂**セルヴァス**(Selvas)の密林をなし,ゴムの產が多く,**天然ゴム**の產額は世界で一番多い。

ブラジル山地は波浪狀をなし,北部のカンポス(Campos)と呼ぶ地方は物產は少いが,南部はコヒー・綿・甘蔗・米などの耕作に適し,特に**コヒー**は世界總產額の7割を占め,**サンパウロ州**(Sao Paulo)がその中心である。本邦の移民は多くコヒーの栽培に從事してゐる。またこの山地には金・金剛石・マンガン・鐵鑛などもあるが,石

* アマゾン河は水量流域の大なること世界第一でセルヴァスの密林には熱帶性の喬木・灌木が密生し多くの寄生植物と爬蟲類・昆蟲類があり猛獸はゐない。アマゾン流域には未開拓の所が多く我が國人は近時この地方へ植民を企ててゐる。

炭がないので冶金が出來ぬ。

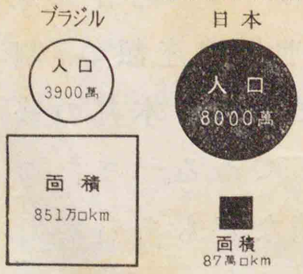


南部地方には玉蜀黍・小麥を產し,**牧畜**が盛んであつて,牛・豚・羊を飼養してゐる。

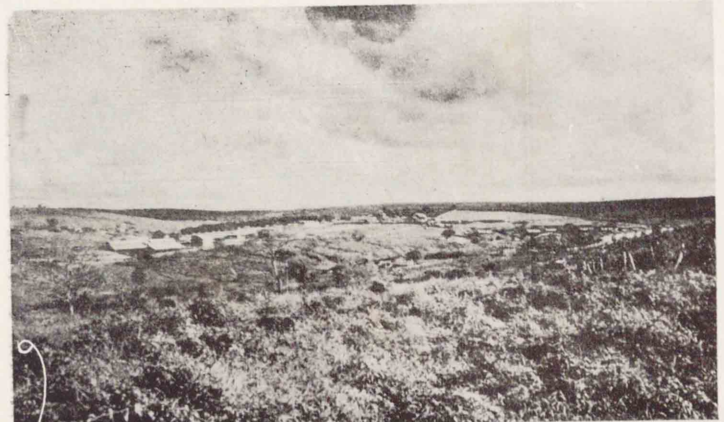
工業は未だ幼稚であるが,海岸の大都市では綿工業・羊毛工業等が行はれる。

住民・都邑 もとポルトガルの領地であつたので,**ポルトガル人の子孫**及びそれとアメリカインド人・ネグロ人との雜種が多い。國土が廣大で人口が少い爲に,ヨーロッパ各地からの移民が多く,*我が國人もまた移住し,今やその數12萬餘人に及んでゐる。主としてサンパウロ州に住みコヒー・米・綿などの栽培に從事する。

ブラジルと日本の面積人口比較



* 各國が我が移民を禁じてゐる今日ブラジルは大いに我が國人の發展すべき地である。

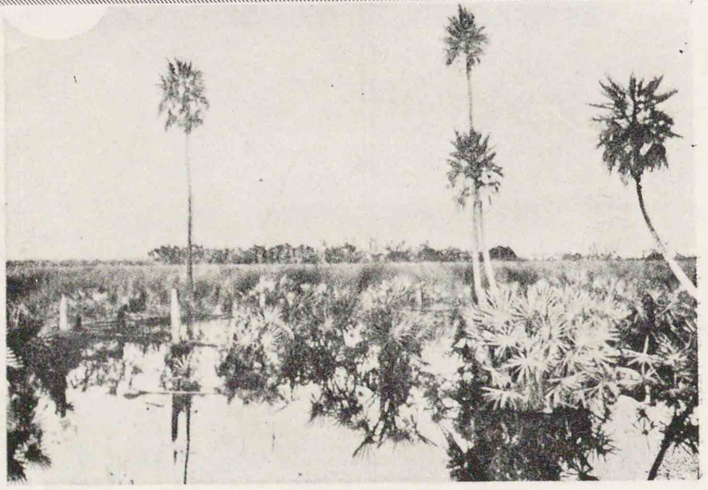

サンパウロ州の日本移民部落（ブラジル）

リオデジャネイロ港の風景（ブラジル）

サントス港（ブラジル）

アマゾン河イキトス附近に於ける（ブラジル）

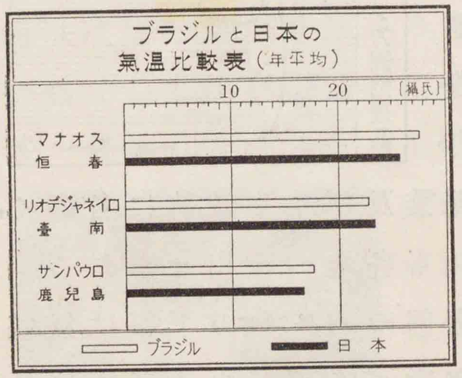
ブェノスアイレス市（アルゼンチン）

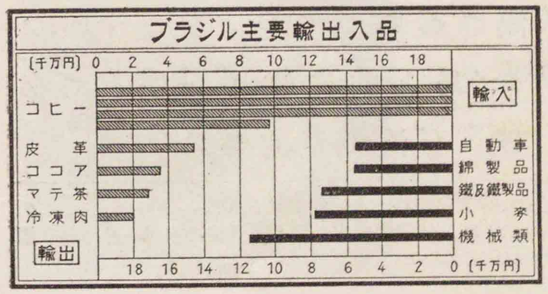


シャコの景観（アルゼンチン）

コヒー採取　收穫は5月乃至8月で實を乾燥してから輸出する

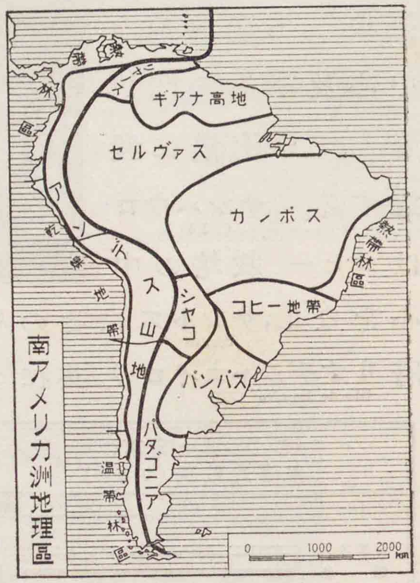
都邑は鐵道と共に主として南東部臺地の生產地帶の中心及びその門戶としての海港に發達する。**サンパウロ**(104)はコヒー栽培の中心をなし,**サントス**(Santos)はその外港で,首府**リオデジャネイロ**(Rio de Janeiro (200))と共にコヒーの輸出が甚だ多く,また共に我が汽船の寄航地に當つて,我が陶磁器・ボタン等を輸入し,彼のコヒー・水晶を輸出する。北方のバイア(Bahia (32))からはカカオ・煙草を輸出し,アマゾン河中流のマナオス(Manaos)及び河口のパラ(Para)(ベーレン)は共に野生ゴムの輸出が多い。





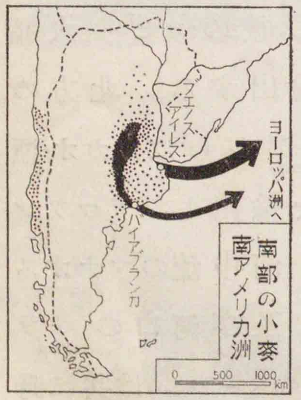
第六章 アルゼンチン(亞爾然丁)
Argentine
面積297萬方km 人口1000萬

地文・產業 本洲の南部を占める大國で,國の大部分は溫和で文化の發達に適してゐる。



南アメリカ洲地理圖

北部は*シャコ(Chaco)と稱する林野で,亞熱帶的氣候を呈し,綿を產する。中部は▲パンパス(Pampas)と稱する草地で,氣候が溫暖であり,農・牧が盛んに行はれ,小麥・玉蜀黍及び羊・牛は特に名高く,何れも各地へ輸出せられる。



南部南アメリカ洲の小麥

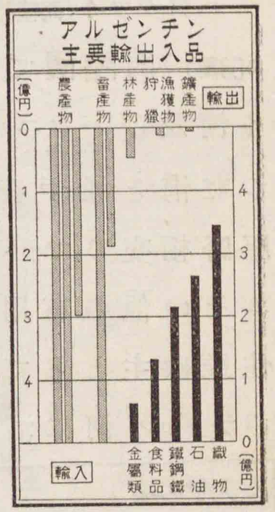
南部の**パタゴニア**(Patagonia)平原は氣候が寒冷で降雨が少く所々に沙漠さへあつて荒地をなすが,フエゴ島(Tierra del Fuego)と共に牧羊が盛んである。石油の產もある。

* シャコにはケブラチョ樹を產し皮なめしの原料として輸出せられる。
▲ パンパス地方の小村をエスタンシアと呼び牧場主の家を圍んで牧夫の家がありその周圍に廣い牧場がある。

パタゴニア附近の地形と氣候

工業は盛んでなく,產物は原料のまま海外に送られるものが多い。

住民・都邑 スペイン人の子孫が多く,イタリー人も多い。ブラジルと同樣に合衆共和國で,產業の發達著しく,交通も大陸中最も進み,世界富國の一つに數へられる。



首府**ブエノスアイレス**(Buenos Aires (205))は**ラプラタ**(Rio de la Plata)河口に位し,南半球第一の都市で,帝都としては東偏重心型に屬する。貿易の大中心をなし我が南米航路の終點に當る。我が國からは綿織物・絹織物を輸入し,羊毛を我が國へ送る。バイアブランカ(Bahia Blanca)は農業地帶南部の出口であつて小麥を輸出する。

パタゴニア人 パタゴニア及びフエゴ島に住し體格の偉大で知られてゐる

フォークランド諸島(Falkland Is.) イギリスに屬し,氣候が寒冷で耕作に

適しないが,牧羊は盛んである。

第七章　パラグヮイ及びウルグヮイ
Paraguay　Uruguay

パラグヮイ(面積45萬方km 人口83萬) **内陸國**でパラグヮイ河(Paraguay R.)及びパラニャ河(Parana R.)によつて海と通ずる。森林・原野相交り,**マテ・ゴム**その他の有用植物を產し,牧牛も盛んである。住民は主として土人である。**首府**アスンシヨン(Asuncion (14))はパラグヮイ河に沿ふ河港である。

アスンシヨン

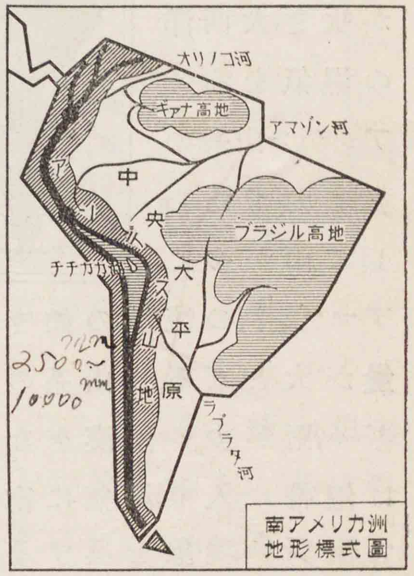
ウルグヮイ (面積19萬方km 人口173萬) 南アメリカ洲**最小の國**である。*パンパス地方の一部をなして,**牧畜**・農業が行はれ,羊の數は人口に8倍する。**首府**モンテヴィデオ(Montevideo (46))は海陸の交通が便で,肉類・羊毛・肉エキス・小麥を輸出する。我が定期船の寄航地である。

南アメリカ洲羊分布圖

* パンパス地方にはアルファルファ草といふ乾燥した地方に適する草が茂つてゐる。

第八章　南アメリカ洲總括

地形　西部の**アンデス**(Andes Mts.)**山系**は新しい褶曲山脈で長大なことは世界第一であり,內部に深谷・臺地・湖水を湛へ,中央部は內陸流域をなしてゐる。また火山脈を伴ひ屢〻大地震がおこる。

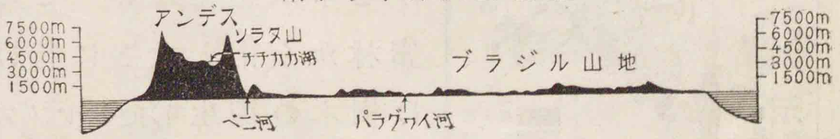


南アメリカ洲地形標式圖

東部の**ブラジル山地**と**ギアナ高地**とは何れも*古い地塊が削磨されて出來た臺地である。**中央低地**はオリノコ・アマゾン・ラプラタ三大河の流域に擴る大平原で,非常に低平である。

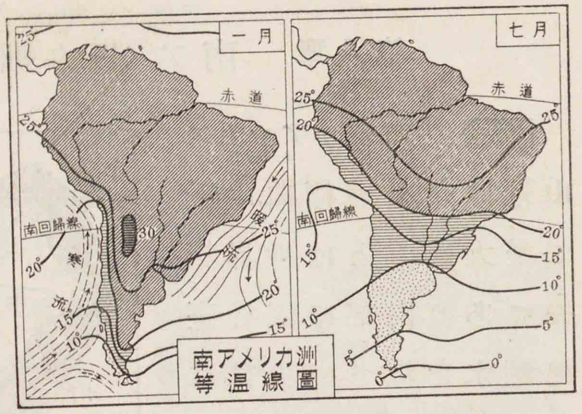
氣候・生物　北部の熱帶では,大體赤道を挾んで

南アメリカ洲断面圖



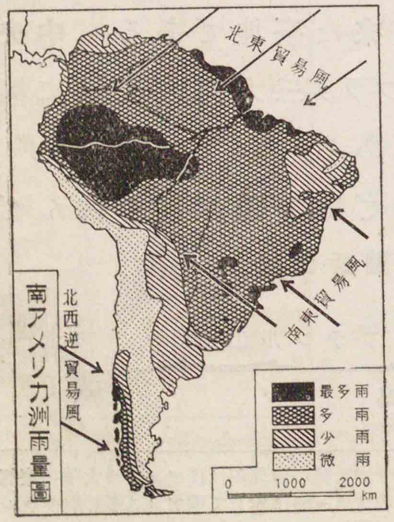
* アフリカ大陸を中央にして東にはオーストラリア大陸の西部西にはアメリカ大陸の東部が何れも同様な臺地狀地形をなしまたアフリカのギニー灣に對して南アメリカのブラジル山地が突出してゐるのを大陸漂移說によつて說く學者がある。

北東貿易風と南東貿易風とが吹き,大西洋の濕氣を遠くアンデス山系の麓までもたらして雨が多く,



南アメリカ洲等溫線圖

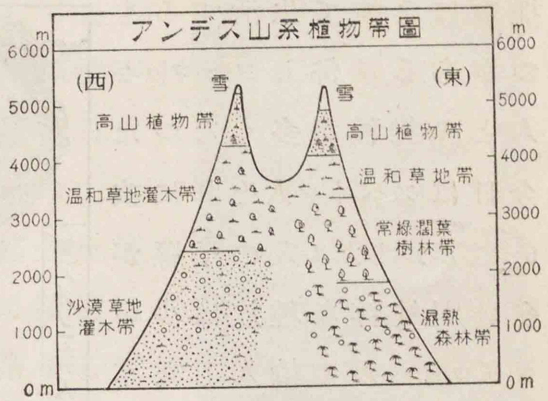
アマゾン河の流域の如きは內地に入るに從つて**雨量**が大となる。山系の西側は寒流の爲に氣溫が低く,雨が少く沙漠をなす所もある。大陸の南部は溫帶に入り,濕氣に富む西風が常に吹く爲北部と反對の現象を呈する。



南アメリカ洲雨量圖

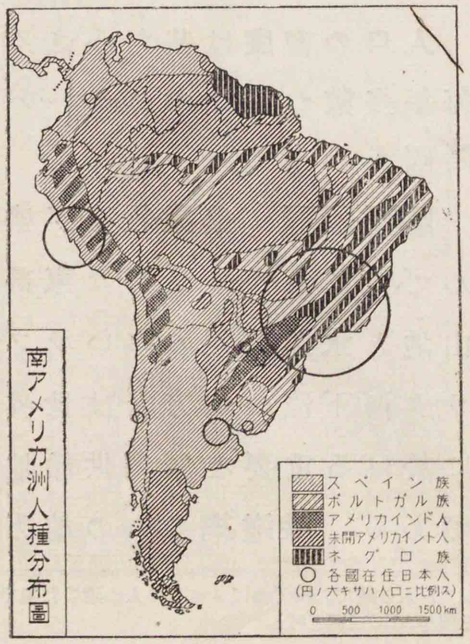
濕熱な北部には熱帶の密林が廣く分布し,交通·探檢を妨げる。アンデス山系の東側では爲に國境に關する爭が絕えない。この密林から南と北とに行けば樹木の疎生したリヤノス及びシャコと呼ぶ草地となる。

西部の海岸にある細長い乾燥地帶では**植物**は生育せず,南部の溫帶では山地に森林,平地に草原をなす。



アンデス山系では種々の植物の垂直的分布が見られる。

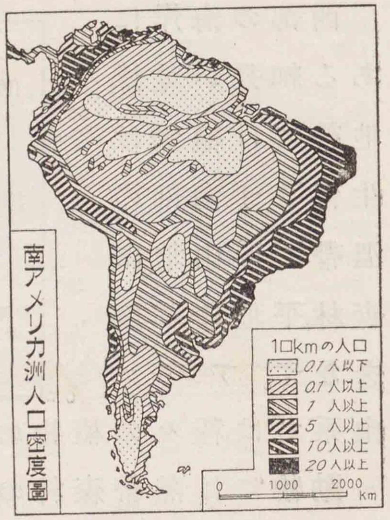
動物には熱帶森林の中にジャグワル(Jaguar)·ピューマ(Puma)·大蛇·この大陸特有のナマケモノ(Sloth)·アリクヒ(Ant-eater)等が棲み,鰐·海牛等もゐる。草原にはアメリカ駝鳥が棲み,アンデス山中にはコンドル(Condor)鳥及び駄用として重要なリャマ(Llama),毛を供給するアルパカ(Alpaca)などを產する。



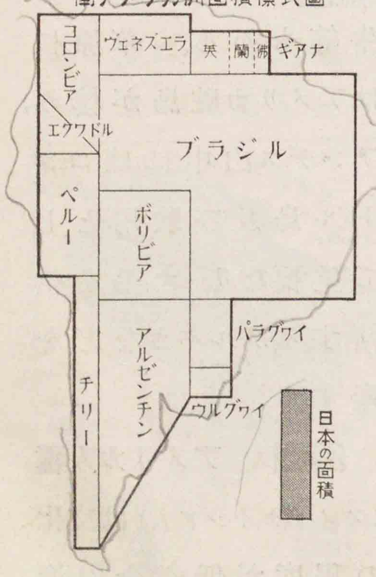
南アメリカ洲人種分布圖

住民 **アメリカ人種**(アメリカインド人)は文化の程度が低く,今尚漁業·狩獵及び天產物の

採取によつて生活するものがある。併しヨーロッパ人との雜種が多くなつた。今日は*スペイン人それに次いでポルトガル人の子孫が多いが,純粹な種族は少い。ヨーロッパ人の輸入したネグロ族の子孫もある。政治上では*10個の共和國に分れ,歐·米列强の領地は少い。



南アメリカ洲人口密度圖

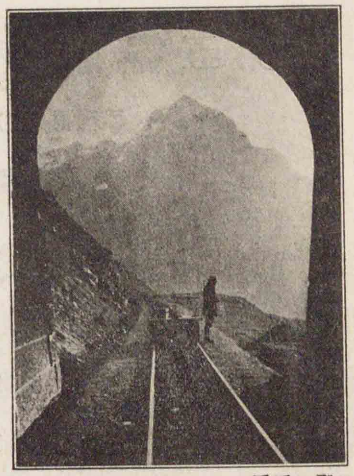
南アメリカ洲面積標式圖


人口の密度は甚だ小さく毎年多數の移民がヨーロッパ諸國から來る。

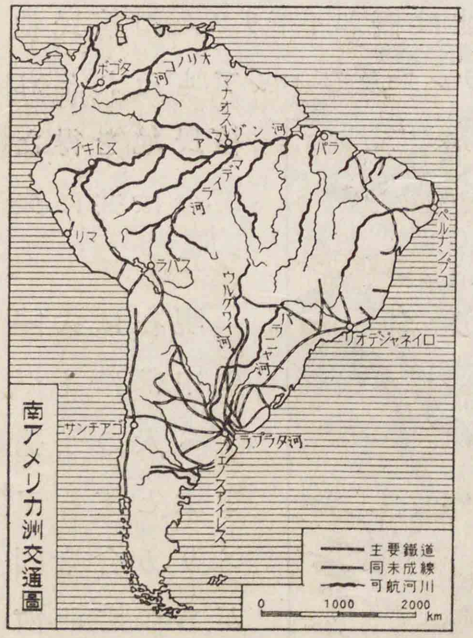
産業·交通 **農業·牧畜**が盛んで,特に氣候の良好な東部山地と水運の便の多いラプラタ河下流の地方とは世界に於ける重要な原料供給地である。**鐵道網**もこの地方

* 10個の共和國の中ブラジルのみポルトガル人の建てた國で他はスペイン人の建てた國である。アルゼンチン·ブラジル·チリー三國をABC三國と呼ぶ。

に最もよく發達してゐる。


アンデス横斷鐵道

アンデス山系には**鑛業**が行はれ,且つ熱帶諸國の首府は冷涼な高臺にあるので,海岸の港とこれ等の都邑を連ねる鐵道が部分的に發達してゐる。東西を連絡する鐵道の一つは早く開通したが,南北縱貫鐵道はまだ切れ切れであり,その代りに航空路が東西岸に近く南北を連ねる。



南アメリカ洲交通圖

アマゾン河は遠くアンデス山麓まで汽船を通ずるがまだ十分利用されない。

海運はヨーロッパ洲及び北アメリカ洲との間に盛んであり,我が汽船も東·西兩岸に定期航路を開く。

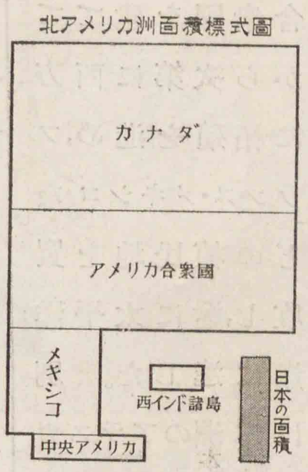
第五篇 北アメリカ洲(北亞米利加洲)
North America

面積2200萬方km 人口1億6200萬

第一章 序説

北アメリカ洲は西半球の北部を占める大陸で,地形上南アメリカ洲に似た所が多い。コロンブス(Columbus)の發見以後先づスペイン人が開發に手をつけ,それに次いで來たフランス人は大陸を縦斷せんとし,イギリス人は大陸を横斷せんとしたが,イギリス人の横斷政策が勝つて,中部以北は概ねイギリス人の植民地となつた。その他オランダ及びロシアもそれぞれ植民地を得たが,今は共に失つた。

現在は大陸の中部にイギリス人の子孫を主とするアメリカ合衆國があつて北西隅のアラスカ半島をも領有し,北部にはイギリス領カナダが擴り,南部にはスペイン人の子孫を主とするメキシコ及び中央アメリカ諸國が獨立してゐる。西インド諸島は二三の小共和國とアメリカ合衆國やヨーロッパ諸國の植民地とから成る。

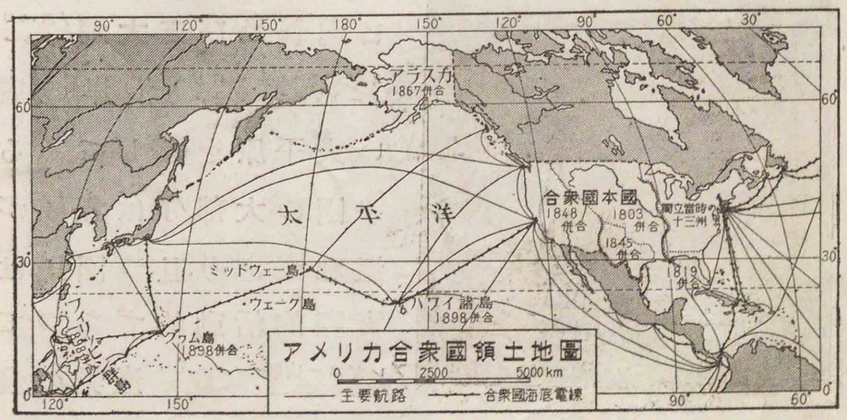


第二章 アメリカ合衆國(米國)
United States of America (U.S.A.)

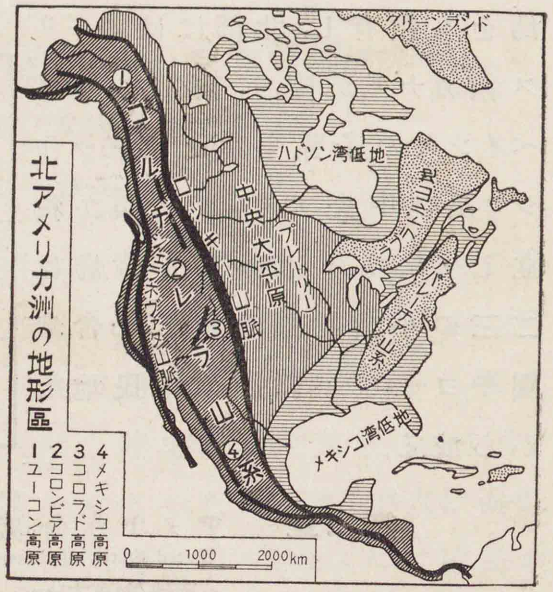
面積784萬方km 人口1億2200萬

第一節 概説

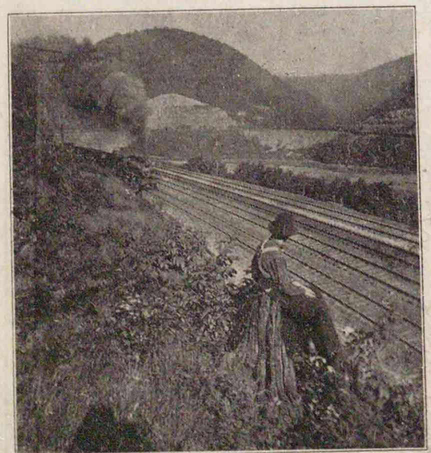
もとイギリスの植民地だつた13州が第18世紀の末に本國の課税に反抗して遂に獨立し,アメリカ



合衆國を建ててから次第に西方に拓殖を進め,フランス・メキシコなどの植民地を買收し,遂に太平洋岸に達した。別に本洲のアラスカ(Alaska)や海外に多くの領土を有し面積は我が國の12倍に等しい。

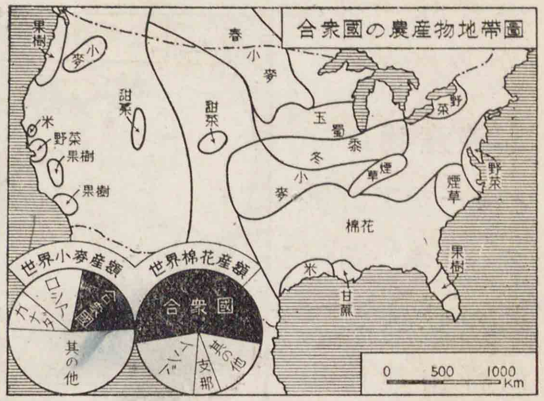


地形・產業 西部には廣大なコルデレラ(Cordillera)山系があり,東には古い褶曲山脈たるアパレーチア(Appalachian Mts.)山系があつて,その中央はミシシッピ(Mississippi R.)河谷及び五大湖(スペリオル・ミシガン・ヒューロン・イーリ・オンタリオ)沿岸の廣い大平原をなしてゐる。

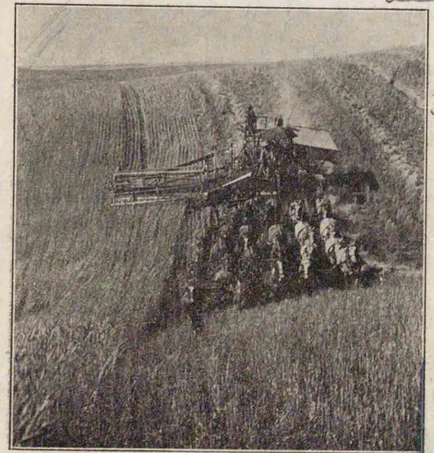

アレガニー山脈 アパレーチア山系の中部にある低い山脈

國の大部分は氣候が溫和であり,且つ國民は實際的活動的であつて產業の發

達は世界第一である。

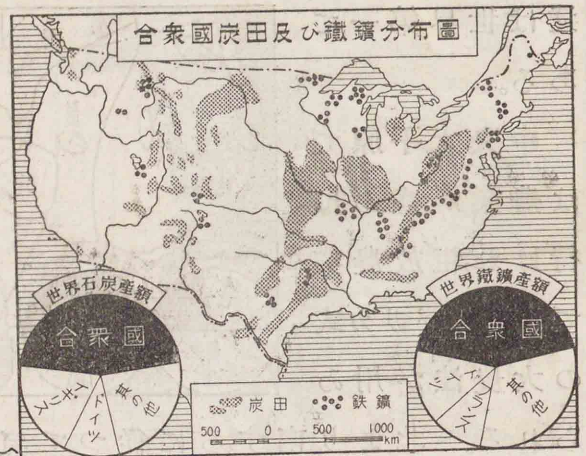


中央大平原では**農業**が盛んに行はれ,粗放農業で所謂アメリカ式の大農法が用ゐられる。北より南するに從つて氣溫・雨量を增し,それに應じて春小麥地帶・玉蜀黍地帶・冬小麥地帶・棉花地帶が連り,亞熱帶的なメキシコ灣(Gulf of Mexico)岸では煙草・甘蔗・米及び果物(柑橘・レモン・パイナップル・ココ椰子)を產する。玉蜀黍・小麥・綿・煙草は世界第一の產額を有し,**綿**は世界總產額の約6割を產する。


小麥の收穫 中央大平原で小麥の產額を增加した一因は機械の使用である

牧畜も盛んで,豚(頭數世界第一)・牛(ロシアに次ぎ世界第二)・羊・馬等が多く,共に玉蜀黍地帶に飼養せられる。生肉貯藏・乳製品の產も多い。

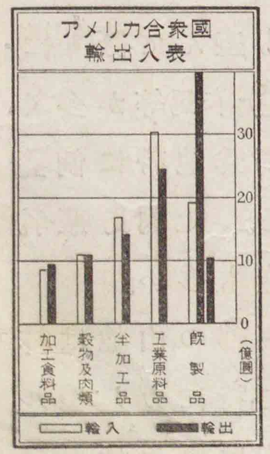
東部・西部の山地は**林業**に秀で,特にカリフォルニア地方は原生林の巨



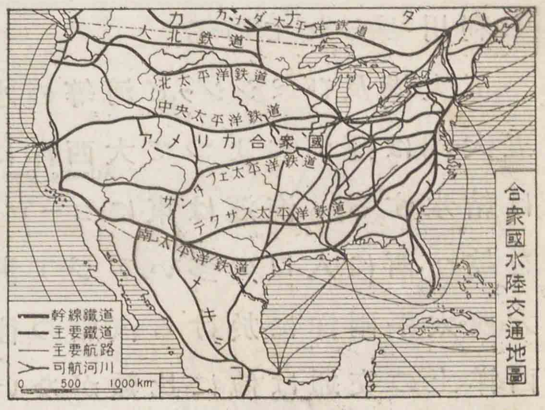
樹を以て名高い。

鑛產物はアパレーチア山脈・スペリオル湖(L. Superior)附近の丘陵及び西部山地に出で,石炭・鐵・石油・銅・亞鉛等は世界第一の產額を有し,その他銀・金・水銀の產も多い。

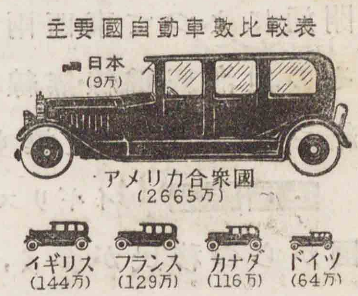
動力・鑛物及び各種原料が豐富な爲,人口の增加と共に各種の**工業**が興り,遂に世界第一の工業國となつた。製鐵・造船・機械製造・製粉・罐詰製造・紡績・製紙等何れも規模が大きい。



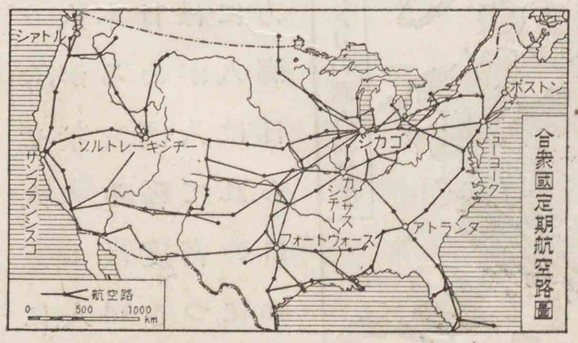
貿易は總額200億圓に達せんとし,常に輸出超過を續けてゐる。綿・自動車・機械・石油・鐵及び銅・小麥・藥・煙草等を輸出し,生絲・コヒー・ゴム・砂糖・紙類等を輸入する。ヨーロッパ諸國及びカナダは重要な取引先であり,我が國とも關係が深



く,我が生絲・絹製品・製茶・罐詰・陶磁器等を輸入し彼れの綿・自動車及び部分品・製材・石油・機械等を輸出する。



交通 **鐵道***の發達が目覺ましく,世界鐵道の3割以上を有する。特に六つの大陸橫斷鐵道は汽船と連絡して東西の海岸を連ねる。鐵道の密度は人口の多い東部・中部に大きく,人口の少い西部に小である。**自動車**の數は世界に冠絕し,定期航空路もよく普及



* 鐵道の發達が目覺ましい一つの理由は未開拓の土地へ鐵道を敷いて次第に植民開拓して行つたからである即ち鐵道が先づ敷かれて後に人と產業とが續いた。日本の如き古い國とは反對の場合が多い。

し利用せられてゐる。

五大湖及びミシシッピ河等の**水運**の便が大きい。五大湖は運河によつて大西洋(Atlantic Ocean)に連絡せられ,冬季は結氷する。海運は東にヨーロッパ洲の大消費地を控へ,西に人口の多いアジア洲に對するが爲に,大西・太平兩洋に於ける汽船の往來が繁く,特に大西洋上の交通は他に比類がない。パナマ運河の開通によつて東・西兩洋の交通が便利になつた。その他海底電線・無線電信は他の大陸との間に連絡され,ラヂオの發達も著しい。

住民・政治　イギリス人の子孫以外にヨーロッパ諸國からの移民が多く,また黑人(ネグロ)は全人口の1割を占める。西部地方には日本人・支那人がゐるが,今日は入國を禁ぜられてゐる。人口の密度は1方kmにつき14人に過ぎず,我が國本土の密度に比す

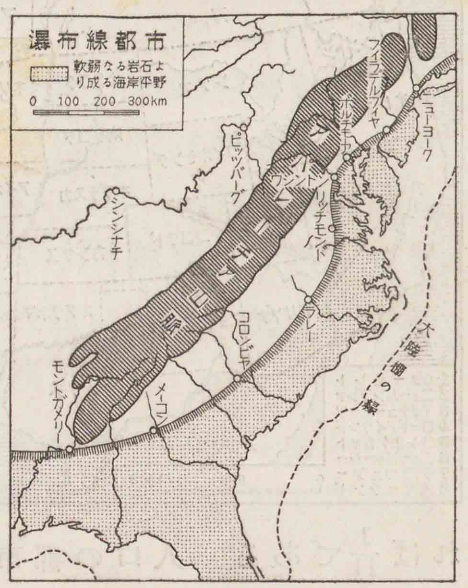
北アメリカ洲人種地圖

れば$\frac{1}{11}$である。人口の都市集中が大で人口3萬以上の都市の數は255に達する。政體は聯邦共和制で1區(District)(中央政府所在地たるコロンビア區)・48州(State)・2地方(Territory)(アラスカとハワイ諸島)から成り,大統領の任期は4箇年で,立法の爲には上・下兩院がある。各州(州界は人爲的境界である)は自治を許されて知事が治めてゐる。*近時國力が大いに進展した。

第二節　地方誌

東岸地方　北部は沈降海岸,南部は隆起海岸である。北部は良港灣に富み,商・工業が盛んに行はれる。海岸平野が終つて硬い岩石から成る山麓

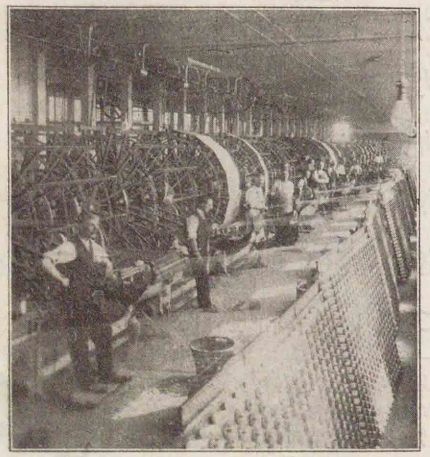
* 米國はもとモンロー主義といつてアメリカ以外の事には關係しないと主張して來たが國力の進展と共に次第に南・北アメリカの實權を握り大戰後は列強を會して軍備制限・太平洋諸島軍備撤廢等を約せしめるに至つた。またパナマ運河地帶を永久に租借する。



臺地が始まる所には,開發當初に發達した瀑布線都市がならぶ。

ニューヨーク(New York)はハドソン(Hudson R.)河口に位し,アパレーチア山脈横斷の溪谷によつて五大湖地方及び中央大平原と通じ世界第一の大貿易港をなす。(貿易額凡そ80億圓)人口692萬,大ロンドンに次ぐ都市で,世界金融の大中心をなし,工業も甚だ盛んである。附近のパターソン(Paterson)は絹織業に著れる。

パターソンの絹織工場　我が輸出生絲の大部分は合衆國へその大部分はパターソンへ

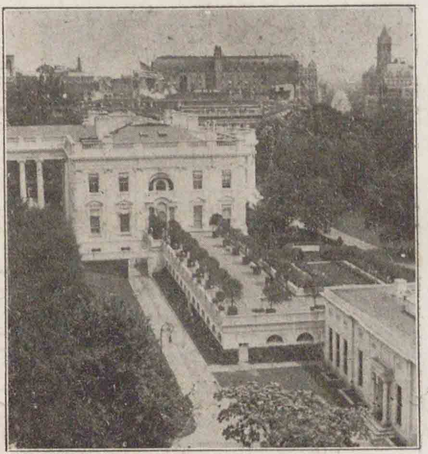


ボストン(Boston (78))は古い貿易港で,學術の中心地としても名高く,その北方のポーツマス(Portsmouth)は日露戰役の講和談判地として聞える。

フィラデルフィア(Philadelphia)の商港は人口196萬,鐵工業が盛んに行はれ,有名な獨

空から觀たニューヨーク市街

林立する摩天樓,アメリカ人自身は之を聳え立つ商業の寺院とも呼んでゐる。

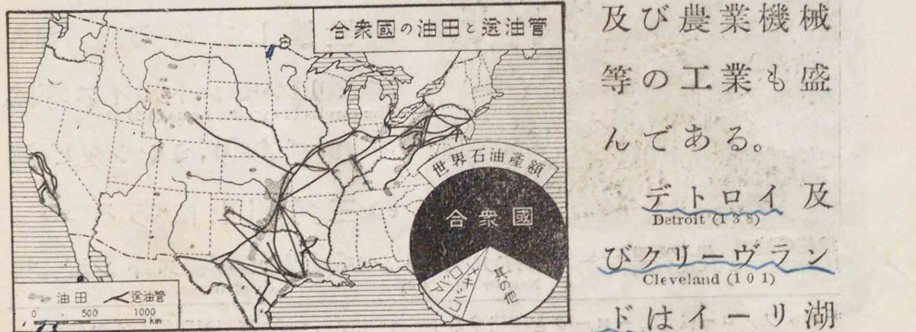


ホワイトハウスと海軍省
ホワイトハウスは大統領の官舎

立閣の史蹟がある。首府ワシントン(Washington (19))は純粹の政治都市で街衢が正しい。ホワイトハウス・國會議事堂等がある。南のリッチモンド(Richmond)はヴァージニア(Virginia)煙草の製造が盛んである。

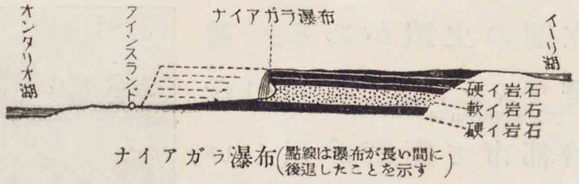
五大湖地方 五大湖の沿岸には農産物集散の爲に多くの港市が發達し,また附近には鐵・石炭・石油・天然ガス及び水力の利用によつて,多くの工業都市が勃興してゐる。

*シカゴ(Chicago)は水・陸交通の要路に當り人口337萬,ミルウォーキー(Milwaukee (57))と共に穀物・肉類の大集散地であつて,鐵道及び農業機械等の工業も盛んである。



デトロイ(Detroit (138))及びクリーヴランド(Cleveland (101))はイーリ湖(L. Erie)

* シカゴは第19世紀の初め人口が僅か數千の小港市に過ぎなかつた。



ナイアガラ瀑布（點線は瀑布が長い間に後退したことを示す）

を挾んで,共に交通の要路に當り,前者は自動車の製造に著れ,後者は鐵工業•造船に名高い。

*バッファロー(Buffalo (5 6))の附近に**ナイアガラ**瀑布(Niagara Falls)がある。

ピッツバーグ(Pittsburgh (6 7))は附近に世界最大の炭田を有し,世界第一の製鐵業地であつて,名高いカーネギーの製鐵所がある。又石油の中心地である

及び天然瓦斯

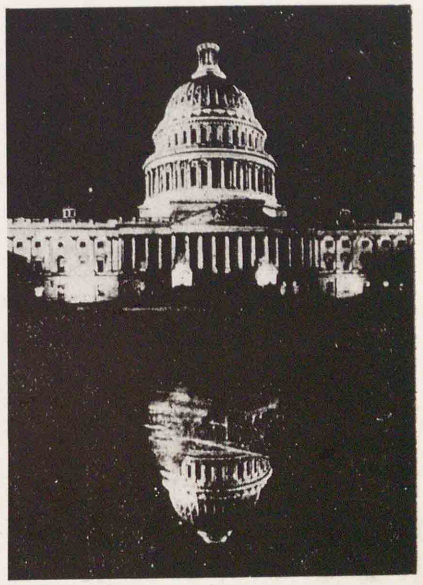
ミシシッピ河流域　ミシシッピ河及びその支流ミズーリー(Missouri R.)•アーカンソー(Arkansas R.)•オハイオ(Ohio R.)河等の流域である。

棉花の摘取　黑人の勞働者は棉花地帶になくてならぬ資本

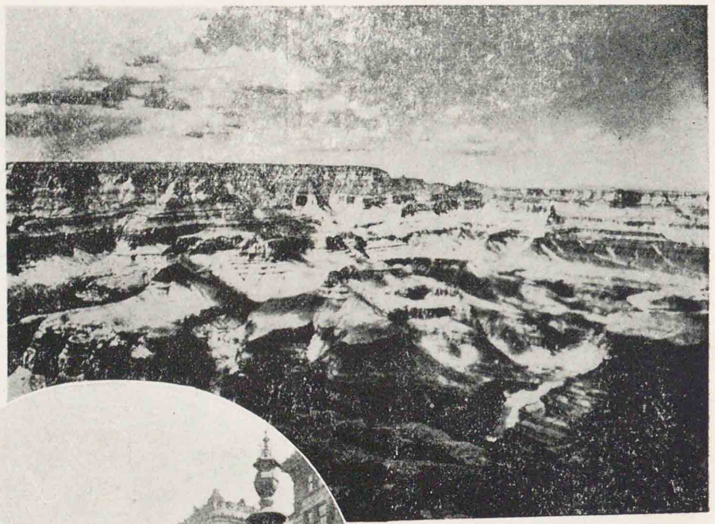
世界の大農場•大牧場であつて,それ等の產物の集散及び附隨工業の發達の爲に多くの中都市が發達してゐる。ミネアポリス(Minneapolis (4 6))•セントルイス(St. Louis (8 2))等はそれであり,ミシシッピ河の三角洲上にあるニューオルリーンズ(New Orleans (4 6))はガルヴェストン(Galveston)と共

* バッファローはニューヨークと連絡するイーリ運河•バージ運河が開通してからニューヨークと共に俄に榮えた都市で穀物•鑛物•木材の大集散地である。ナイアガラ瀑布は雄大で知られ發電に利用せられる。

シカゴ市とシカゴ河
（アメリカ合衆國）


ワシントン國會議事堂の夜景
（アメリカ合衆國）

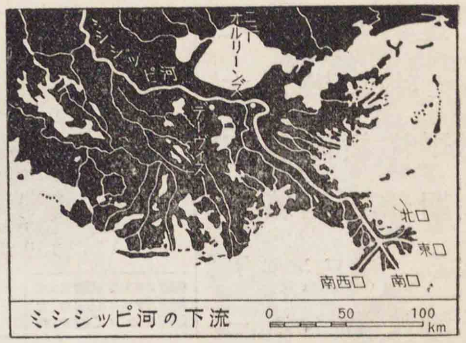
摩天樓の聳立するニューヨーク市の中心マンハッタン
（アメリカ合衆國）



上　コロラド大峽谷の大觀
（アメリカ合衆國）

中　サンフランシスコ市
マーケット街
（アメリカ合衆國）

下　シアトル市街
（アメリカ合衆國）

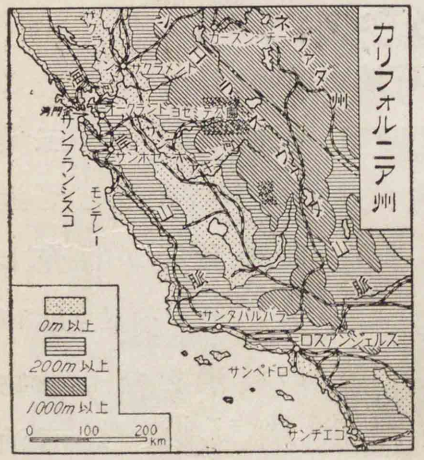


ミシシッピ河の下流

に綿の輸出が盛んである。

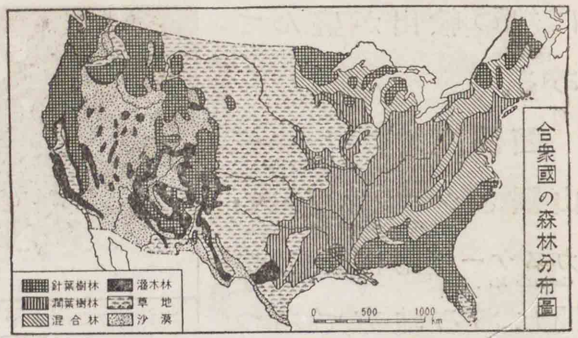
西部高地　ロッキー(Rocky Mts.)山脈とシエラネヴァダ(Sierra Nevada Mts.)・カスケード(Cascade Mts.)兩山脈との間にある地方であつて,廣大な高地をなし,コロンビア(Columbia)の熔岩臺地及びコロラド(Colorado)の高原,グレートソルト(Great Salt)*盆地等を抱き,雄大な景色に富む。雨量が少く所々に沙漠があり,僅かに牧畜と灌漑による農業が行はれる。鑛產に富む。

太平洋岸地方　最も遲れて開發された地方である。我が國から最も近い爲に,邦人が多く住んでゐる。



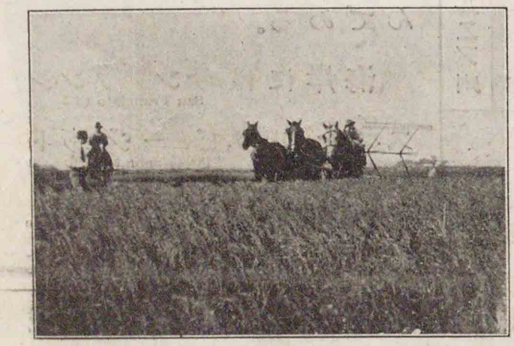
海岸には**サンフランシスコ**(San Francisco (62))を初め,ピュージェットサウンド(Puget Sound)灣內にあるシアトル(Seattle (36))・タコマ(Tacoma (10))等の港市が發達してゐて,大陸横斷鐵

* グレートソルト湖は氣候の乾燥の爲に面積が小さくなり遂に出口を持たぬ鹹湖となつた。北方のイェローストン國立公園は熱泉・間歇泉・峽谷・熔岩流・瀑布・森林・湖等の雄大な景色に富み南方のコロラド峽谷は地形の雄大なる景に知られる。



合衆國の森林分布圖

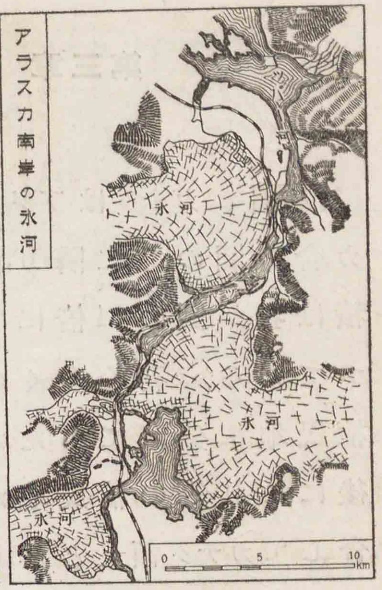
道の起點をなし,共に我が太平洋横斷の定期船と連絡する。コロンビア河(Columbia R.)に沿ふポートランド(Portland)は鮭の産が多く,シアトル・タコマと共に木材(我が國に來るメリケン松等)・小麥を輸出する。南部は地中海性氣候を呈し,*カリフォルニア盆地は小麥・柑橘類・葡萄・米等を產する。我が國人の農業に從事するものが多い。サクラメント(Sacramento)はこの地方の中心をなし,商業が盛んである。南方のロスアンジェルス(Los Angeles (123))は太平洋岸第一の大都市で,附近に大石油井が發見されたのと氣候がフィルム工業に適するのとで近時の發展が目覺しい。サンペドロ(San Pedro)は市の外港をなし,果物と石油


カリフォルニア州に於ける邦人の米作

* カリフォルニアに於ける我が國人は多く農業・果樹栽培に從事し特に蔬菜の栽培に秀でてゐる。南方のインペリアル盆地は氣候酷熱で不毛の地であつたが邦人の努力によつて開拓され綿を產することが多い。

とを輸出する。

*アラスカ ベーリング海峽(Bering Strait)を隔ててアジア洲に對し,大陸第一の高峰マッキンレー山(Mt. Mackinley)が聳える。氣候が嚴寒であつて,多くの氷河があるが,太平洋岸は黑潮の影響を受けて割合に溫和であり,木材を產する。沿海には鮭の產が多く,プリビロフ島(Pribilof I.)は膃肭臍獸の棲息所である。



アラスカ南岸の氷河

アラスカ土人の部落

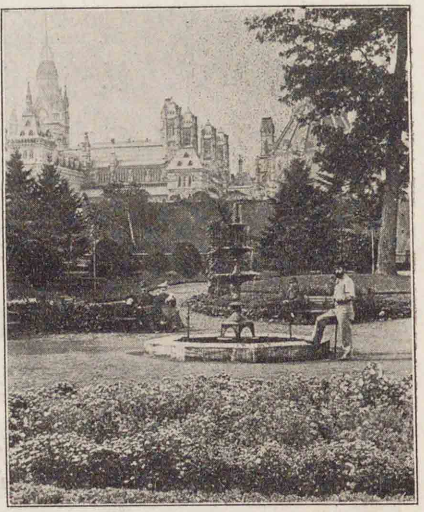
ユーコン河(Yukon R.)流域は金を產し,フェアーバンクス(Fairbanks)及びノーム(Nome)はその中心地である。

南方のジュノー(Juneau)はこの地方の首府であり,アリューシアン諸島(Aleutian Is.)にはダッチハーバー(Dutchharbour)の軍港がある。近時我が千島方面への航空路が開拓された。

* 1867年にアメリカ合衆國がロシアから買收した頃は不毛の地として顧みられなかつたが1897年金鑛發見以來俄に注意せられるに至つた。併し面積は我が國の2倍以上ありながら人口は6萬に達しない。

第三章 カナダ(加奈陀)
Canada

面積983萬方km 人口980萬


オッタワの政廳

政治 カナダはアメリカ合衆國の北に隣り,面積は我が國の14倍に當つてゐる。初め多くの植民地に分れてゐたが,後にこれ等の植民地が合してカナダ領土と稱し,イギリスの重要な植民地の一つとなつた。

現在は**自治**を許され,イギリス王の任命する總督が政權を統べてゐる。**首府**はオッタワ(Ottawa (13))にある。

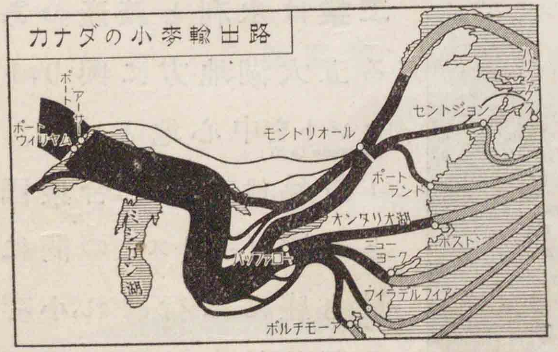
東部にあるニューファンドランドのみは附近のラブラドル地方と共に別にイギリスの植民地として知事があり,また自治を許されてゐる。

住民はイギリス人の子孫以外に,セントローレンス(St. Lawrence R.)河下流地方に大陸最初の開拓者たるフランス人の子孫があり,ケベック(Quebec (13))はその中心である。北部地方には少數のエスキモーが住んでゐる。

カナダ産業交通圖

産業 中央大平原はアメリカ合衆國から續いてゐて,氣候は一般に寒冷であるが,農業と牧畜は盛んに行はれ,**世界の大穀倉**となり小麥・燕麥等の産が多く,品種の改良によつて生産地帶が次第に北方に延びてゐる。**牧畜**は牛・豚が最も多く,バター・チーズ・肉類等は盛んに輸出せられる。ウィニペグ(Winnipeg (26))はこれ等産物の集散地である。

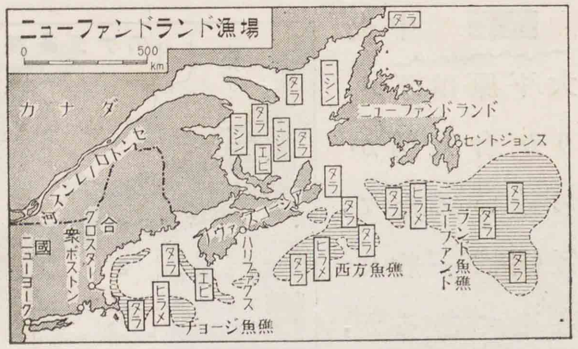
南東部のラブラドル(Labrador)山地及び西岸のコルデレラ山系は雨量が割合に多く,**森林**に富み,*木材の産が多い。オッタワ附近にはパルプ・製紙業が興つてゐる。北方の寒帶林には毛皮を産する。



カナダの小麥輸出路

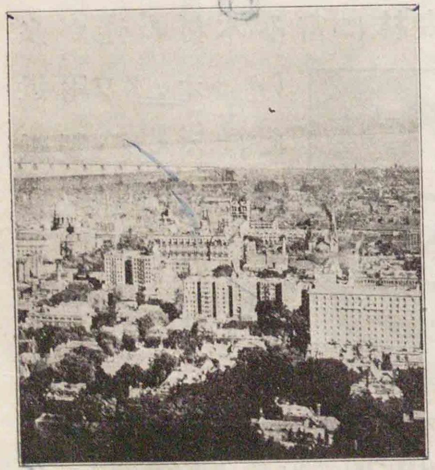
ノヴァスコーシァ
Nova Scotia

* カナダの林業が盛んな一つの理由は冬季の氷雪が材木の運搬を容易ならしめること及び冬季は農業地方に於ける勞働者が暇になつて林業に轉じて來る爲に勞働力が多くなること等である。



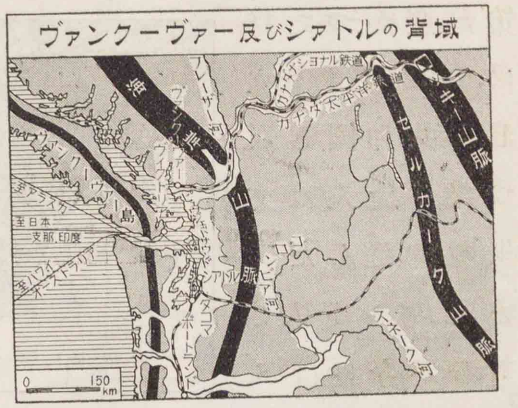
半島からニューファンドランド(Newfoundland)島へかけては所謂ニューファンドランド魚礁(Bank)があつて,鱈·鰊等の**水産**が多く,ニューファンドランドの**首府**セントジョンス(St. Johns)はアメリカ合衆國のグロスター(Gloucester)と共に漁港である。西部のフレザー河(Fraser R.)からは鮭を產し,罐詰業が盛んに興つてゐる。邦人の漁業に從ふものが多い。

鑛產には,アラスカとの境に近いクロンダイク(Klondike)地方の金,オンタリオ湖(L. Ontario)附近の金·銅·ニッケル·鉛,西岸·東岸の石炭が主なものである。**工業**は水利と鑛產のある五大湖地方に興り,トロント(Toronto (58))を中心地とする。


モントリオール　冬季セントローレンス河が氷結するが夏季は大なる貿易港

貿易はアメリカ合衆國と本國イギリスとの間に最も盛んに行はれ,小麥·乳製品等を輸出し,鐵·石炭·綿製品を輸入する。我が

國へは小麥·木材·鉛等を輸出し,生絲及び絹製品·茶·陶磁器等を輸入する。



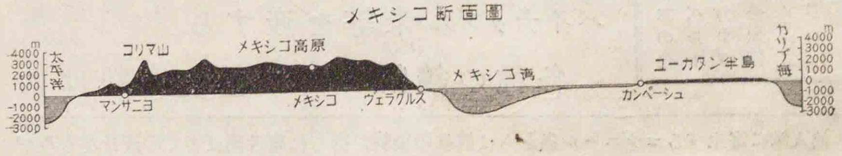
交通 東岸にはセントローレンス河の溺谷に發達したこの國第一の都市**モントリオール**(Montreal (99))とノヴァスコーシァ半島の不凍港ハリファクス(Halifax)の港市があり,西岸には沈降多島海岸に發達した*ヴァンクーヴァー(Vancouver (15))及びプリンスルパート(Prince Rupert)の港市がある。これ等兩岸を連ぬる鐵道にはカナダ太平洋鐵道(Canadian Pacific Railway)(セントジョン·ヴァンクーヴァー)とカナダ國民鐵道(Canadian National Railway)(ハリファクス·プリンスルパート)とがある。

第四章 メキシコ

Mexico

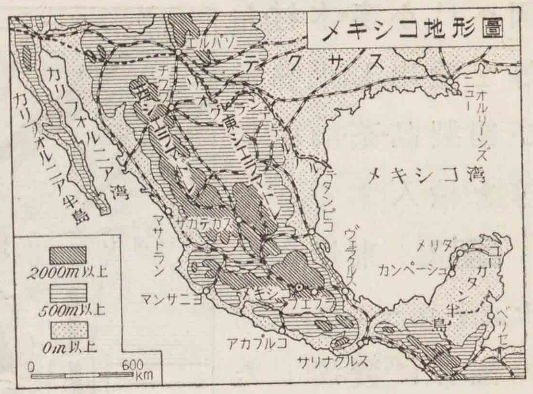
面積200萬方km 人口1490萬

もとスペインの植民地であつたが,本國の植民政

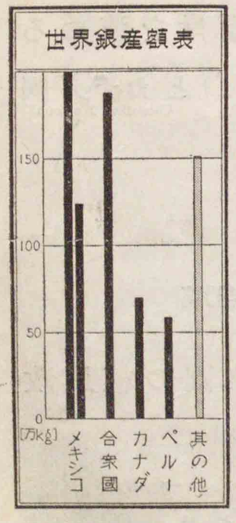


* ヴァンクーヴァーは我が國から本大陸を經てヨーロッパに至る最捷路に當る。

策が惡かつた爲に,1821年に獨立して共和國となつた。**土人**は文化の稍〻進んだアメリカインド人(American Indian)であるが今日はメスチゾ(Mestizo)といふスペイン人との雜種が多い。



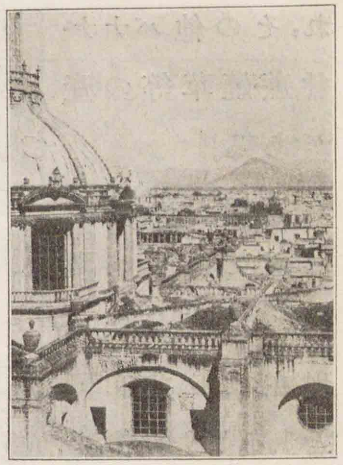
コルヂレラ(Cordillera)山系は東・西二條の山脈に分れて,その間に氣候の溫和な乾燥した**高原**を抱き,雨の多い所では玉蜀黍・小麥・綿等の耕作が行はれ,雨の乏しい草原では牛・馬・山羊等の牧畜が行はれる。仙人掌*(サボテン)・龍舌蘭の栽培も高原で行はれる。



高原の兩斜面は氣候が亞熱帶的で,コヒーの栽培が行はれ,低地は熱帶植物が生育して煙草・甘蔗・バナナ・パイナップル・米等を產する。

各種の**鑛物**に富み,**銀**の產額は世

* 仙人掌に寄生するコチニール蟲からは眞紅の染料が得られ龍舌蘭は多くの液汁を含みプルケといふ國民的飲料が造られその葉から採られるヘネケン麻(シーザル麻)は重要輸出品であつてユーカタン半島に多い。



メキシコ市　2300mの高原にあり周圍は肥沃で人口の最も稠密な部分

界第一位にあり,タンピコ(Tampico)附近の**石油**も著れる。

海岸にある貿易港を除いて,**都邑**の多くは氣候の比較的溫和な高原で飲料水の得易い場所にある。**首府**メキシコ(Mexico City(91))は鐵道を大西洋岸のヴェラクルス(Vera Cruz)その他に通じ,交通が便利である。テワンテペク(Tehuantepec)地峽鐵道の南端なるサリナクルス(Salina Cruz)はマンサニヨ(Manzanillo)と共に我が定期船の寄航地である。この國の南部地方には邦人の農業に從事するものが多い。

第五章　中央アメリカ(Central America)及び西インド諸島(West Indies)

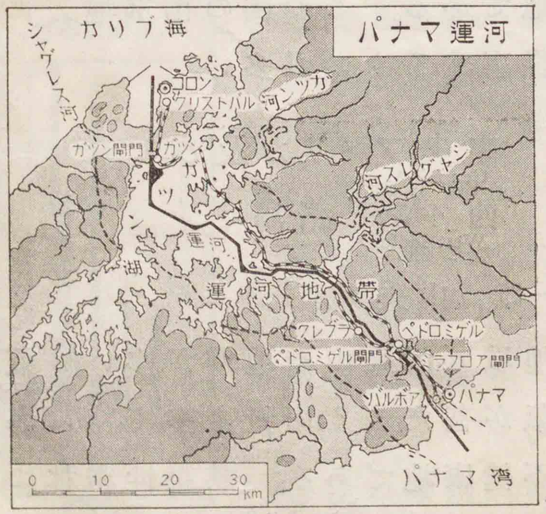
第一節　中央アメリカ

槪ね高臺性の地域で,活火山や地震が多い。**氣候**は熱帶性で暑氣が甚だしく,雨量も多く,特に海岸地方は濕熱で不健康地である。熱帶性密林に被はれた部分が多く,マホガニー・蘇枋(スハウ)・ゴム等を產出する。山の斜面では木蔭にコヒーの栽培が行は

れ,その他バナナ・甘蔗・煙草等の產がある。

住民はメキシコに似てゐる。教育の程度が低く,現在は6共和國と1イギリス領とから成つてゐるが,統一が困難で反亂が相次いで起つてゐる。

イギリス領ホンヂュラス(Honduras)・**グワテマラ**(Guatemara)・**ホンヂュラス**・**サルヴァドル**(Salvador)は北部を,**ニカラグワ**(Nicaragua)・**コスタリカ**(Costa Rica)は中部を,**パナマ**(Panama)は南部を占める。*パナマ運河(Panama Canal)はパナマ地峽(Isthmus of Panama)を切開いて,太平・大西兩洋間の航路を短縮し,世界の

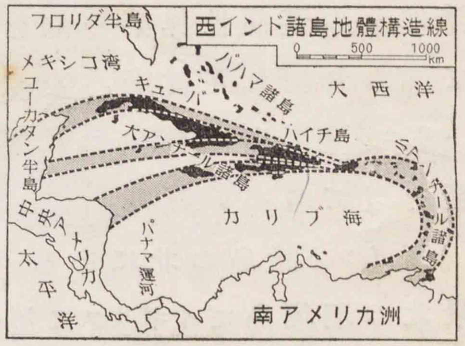


* パナマ運河はフランスの失敗の後を受けてアメリカ政府が1906年から1914年にかけて閘門式運河の開鑿に成功した。全長80km中約24kmが海面と等しく他は26mの水位を保つ。アメリカ合衆國は運河の兩側8kmを永久租借して防備を嚴重にしてゐる。

通商・交通上に一新紀元を開いた。

第二節

西インド諸島



メキシコ灣口から南アメリカのオリノコ河口に延びる海底山脈の列島で,カリブ海(Caribbean Sea)を抱く。イギリス領バハマ諸島(Bahama Is.)中にはサンサルヴァドル島(San Salvador I.)がある。大アンチールス諸島(Greater Antilles Is.)中には**キューバ**(Cuba)(面積11萬方km 人口5萬)・**ハイチ**(Haiti)・**ドミニカ**(Dominica)の三共和國と,イギリス領ジャマイカ島(Jamaica I.)・アメリカ合衆國領ポルトリコ島(Porto Rico I.)等があり,小アンチールス諸島(Lesser Antilles Is.)はヨーロッパ諸國やアメリカ合衆國の分領する所で主として*火山島から成り,屢地震に襲はれる。

人口25000人中僅か2人生存したといふサンピエール町の慘害

住民は中央アメリカと大差はないが,黑人やその雜種も多い。

北東貿易風帶に屬し甘蔗・

* 1902年マルチニック島ペレ火山が瀑發し麓のサンピエール町は全滅した。

コヒー・煙草・バナナ等の產が多く,特にキューバの**砂糖**はその產額世界第一位を占め,**煙草**も良質を以て知られ,何れも首府ハヴァナ(Havana)から輸出せられる。トリニダード島(Trinidad I.)はイギリスに屬し,石油・アスファルトの產を以て名高い。

西インド諸島の北にあるバーミューダ諸島(Bermudas Is.)は世界最北の珊瑚島でイギリスに屬し,海軍の根據地である。避寒地としても知られる。

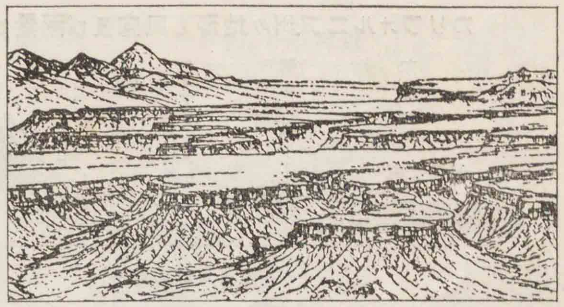
第六章 北アメリカ洲總括

地形 東部は古いローレンシア高臺とアパレーチア山系とから成り,アパレーチア山系の北部は沈降*海岸で溺谷が發達する。西部のコルヂレラ山系は幾條もの山脈が竝行して走り,その間に高原・臺地及び海岸に近く陷落地帶を抱き,最も幅の廣い部分は1600 km以上に達し,殆ど大陸の $\frac{1}{3}$ の幅を占め

北アメリカ洲斷面圖

* ニューファンドランドは沈降の結果大陸から分離したものであり ニューヨーク市の如きは今も尙年々僅かづつ地盤が下つてゐる。

る。高原・臺地を切つて流れる河谷は,成生が新しいので多くは深い峽谷を作る。



コロラド峽谷の地形

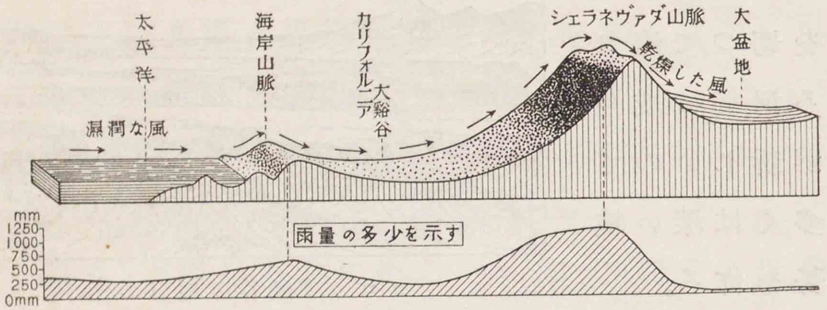
中央大平原の北半は舊氷河*の被覆地域にあり,その結果多くの湖沼や丘陵を作つた。

氣候・生物 地形と海流の影響により,同緯度でも氣候が非常に異なる。太平洋岸は黑潮の影響を受けて氣候が溫和であり,且つ南部を除いては偏西風帶に屬するが故に雨量も多いが,內部に入るに從つて乾燥する。

大西洋岸の大部分は**メキシコ灣流**の影響を受けて溫和であるが北部はラブラドル海流に洗はれ,比較的寒冷である。二つの海流の出會ふノヴァスコーシァ半島からニューファンドランド

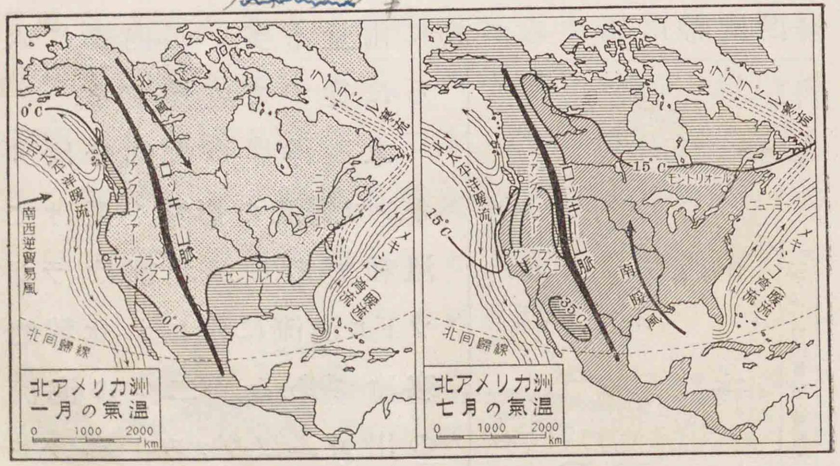
* 大陸の北半が南半よりも海岸線の出入島嶼に富むのも一つは氷河の作用といふ。

カリフォルニア州の地形と風向及び雨量との關係を示す圖



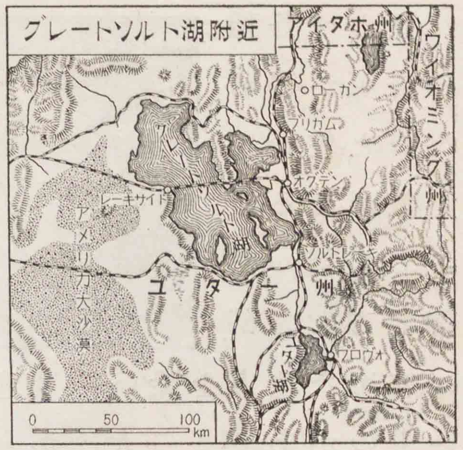
一帶にかけては濃霧で名高く,航行の障害となる。

中部の低地は一般に*大陸性氣候を呈し,雨量は北に行くに從つて少い。中央アリメカと西インド諸島とは熱帶にあつて雨量も豐かであるが,北極洋岸は嚴寒で**凍土帶**をなしてゐる。



北アメリカ洲 一月の氣温　　北アメリカ洲 七月の氣温

* 北アメリカでは山脈が南北に走るので熱い南方からの風や寒い北方からの風が突然に吹きこんで暴風雨や氣候の激變を起し時として家屋・人畜・作物に大害を及ぼすことがある。アメリカ合衆國でトルナドーと呼ぶ風はこの一種である。



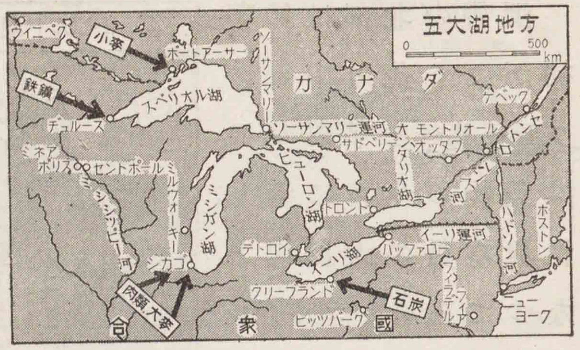
溫帶の北部は針葉樹がよく茂り,中部の**プレーリー**(Prairie)と呼ぶ草原は穀物の生育に適し,世界有數の大農場となつてゐる。コルヂレラ山系中の高臺は氣候が乾燥しグレートソルト湖やアメリカ大沙漠を作る。植物には仙人掌・龍舌蘭の如きものがある。熱帶の海岸には マホガニー その他の有用材が多い。

野牛　ロッキー山中に棲むアメリカ固有の野獸

*動物には北に白熊・馴鹿が住み,大陸特有の海狸(Beaver)は溫帶林に,プレーリー犬(Prairie dog)・野牛(Bison)は中部草原に,ピューマ(Puma)・響尾蛇(Rattle-Snake)は南部に棲んでゐる。

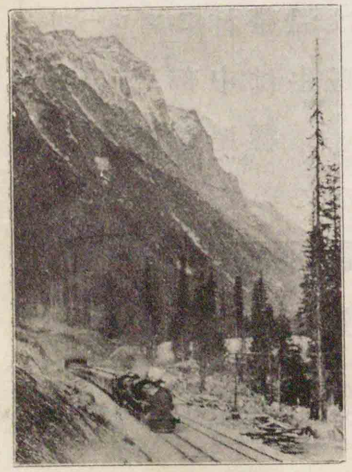
產業・交通　開發が新しいにもか

* 新大陸に元からあつた動・植物には役に立つものが少かつたので白人は牛・豚・羊・麥・綿・甘蔗・コヒー・米等を舊大陸から移した結果今では反つて舊大陸へ輸出してゐる。また新大陸から舊大陸へ移したものには玉蜀黍・煙草・馬鈴薯・七面鳥等がある。

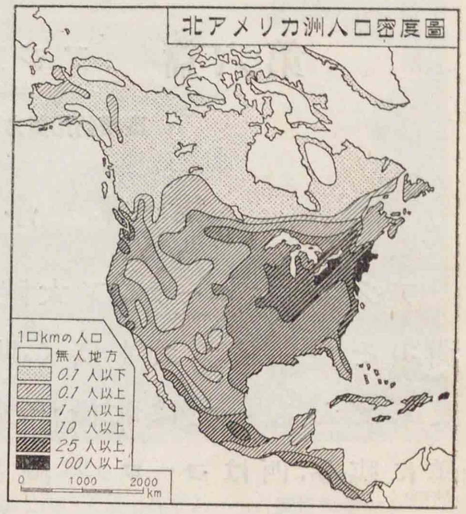


かはらず各種の資源が豐富なのと,住民に元氣があるのとで,南部の熱帶地方と北部の寒冷な地方を除いては產業の發達はめざましいものがあり,この大陸から出て行く原料品や製造品は世界の市場を壓するやうになつた。

產業の發達を一層助長したのは交通網の發達である。**鐵道**の延長は世界全體の$\frac{1}{3}$以上に及び,五大湖その他の內陸水路と相俟つて交通の便を與へる。太平·大西兩洋を連絡する**大陸橫斷鐵道**はその數が10條に近く,パナマ運河の開通によつて直接東·西兩洋を連絡する航路も開けた。


カナダの大陸橫斷鐵道

住民·政治 白人が大部分を占める。原住民はアメリカインド人であり,白人との雜種も多い。北部には



アジア大陸から移住したと思はれるエスキモー人が住んでゐる。南部の暑い地方は白人の勞働に適しないので,第16世紀以來アフリカ洲から多くの黑人が輸入せられた。日本人·支那人も西部地方に移住してゐる。

人口密度の大小は產業發達の段階と比例する。全體としての密度はまだ甚だ小であるが,アメリカ合衆國やカナダでは近時有色人種の**移民**を禁止し,白人の移民にも制限を行つてゐる。

南アメリカ洲と同樣に最初はヨーロッパ諸國の植民地として開かれた所であるが,次第に獨立し,イギリス領カナダも自治植民地として漸次國際的位置を認められて來た。獨立國の多くはアメリカ合衆國に範を取つて共和政體をなしてゐるが,その多くは名のみの獨立國であつて,アメリカ合衆國の勢力の下に置かれてゐる。

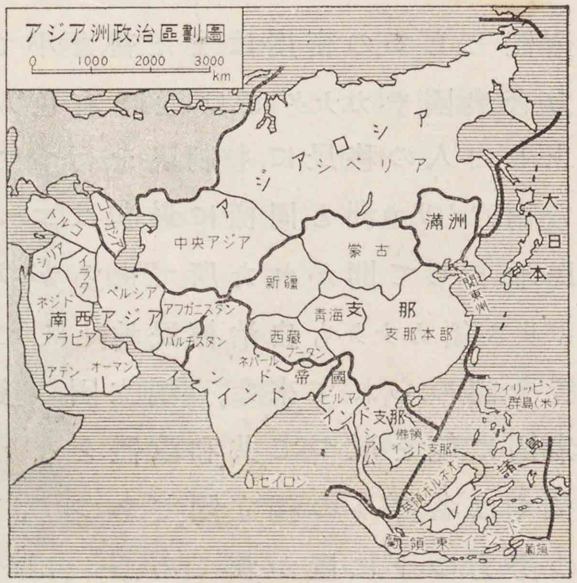
第六篇　アジア洲(亞細亞洲)
Asia

面積4370萬方km　人口10億770萬

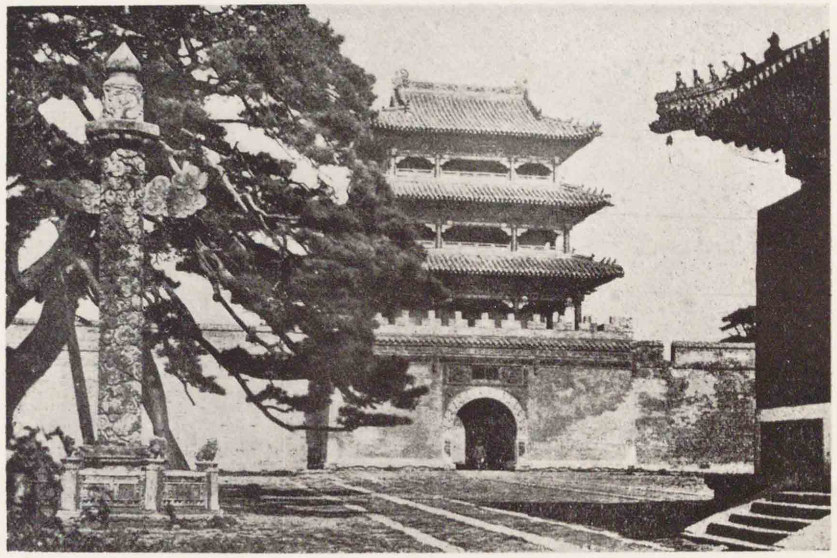
第一章　序　説

アジア洲はユーラシア(Eurasia)大陸の大部分を占め,六大洲中その面積が最も廣く,世界全陸地の凡そ$\frac{1}{3}$に及んでゐる。北は北極洋(Arctic Ocean),東は太平洋(Pacific Ocean),南はインド洋(Indian Ocean)に臨み,西はヨーロッパ洲と續き,スエズ地峽(Isthmus of Suez)によつてアフリカ洲と連る。

面積が廣大で地形が複雜な爲に,氣候・生物・産業及び人文現象の多種多樣なことは他に比類がない。



現在では我が國を除いた大部分の地方は,世界列强の勢力の下にある。



奉天の北陵

奉天城の北約 4km にある淸朝第二代の太宗の廟であつて，廣漠たる平原の中に古松鬱蒼たる一地域を現出してゐる。　(滿洲奉天省)

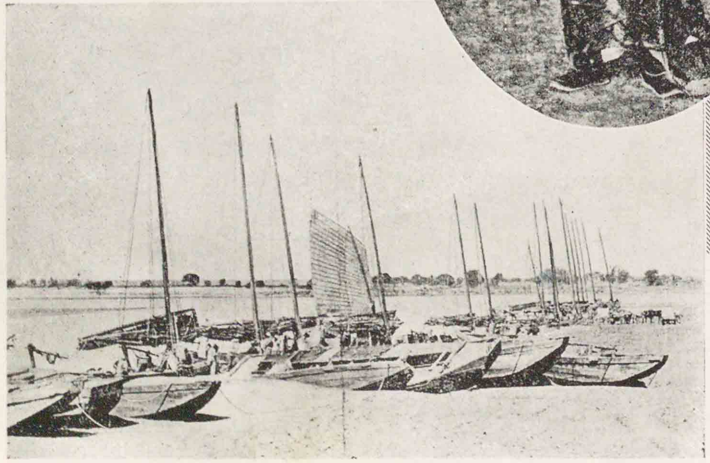
ハイラルの駱駝

內蒙古から外蒙古にかけての交通機關として駱駝の隊商は，自動車の使用によつて幾分その價値を減じたとは云へ，今尙半沙漠の大陸に於ける最もふさはしき景觀の一つである。　(滿洲興安省)

上　遼陽の寺塔
南滿洲の各地に見られる特殊の景觀である。（滿洲）

中　蒙古人の風俗
圖は上流階級の青年である。（蒙古）

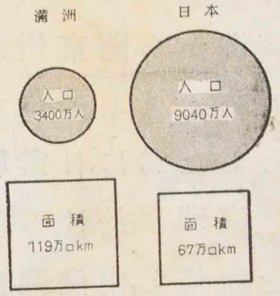
下　遼河と戎克
鐵嶺の河港たる馬峰溝に於ける景。（滿洲）

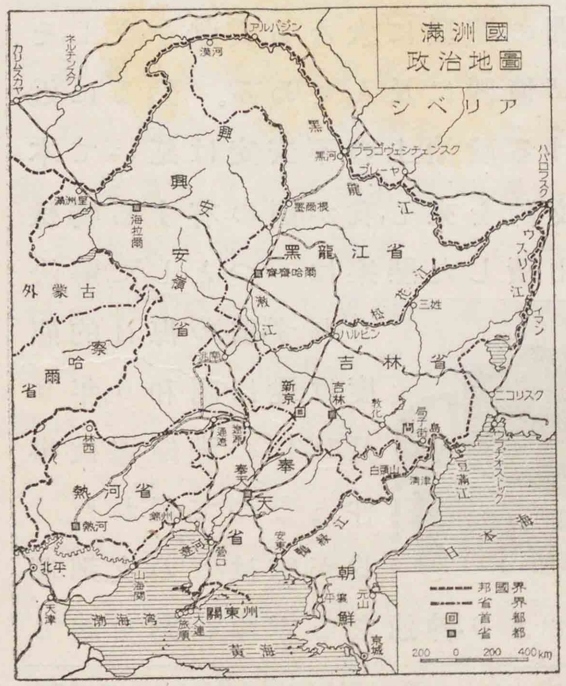


第二章　滿　　洲
Manchuria

面積119萬方km　人口3400萬

境域　滿洲は我が朝鮮の北西部に在る**新興國**であつて,奉天·吉林·黑龍江·熱河·興安の5省に分たれる。面積は我が國の1.7倍に及ぶけれども,人口は約$\frac{1}{3}$に過ぎない。

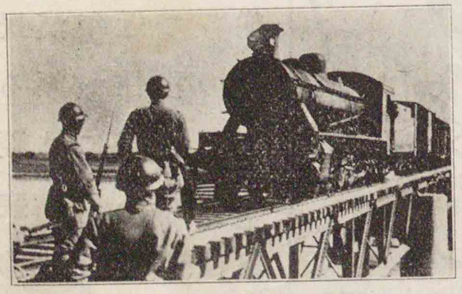




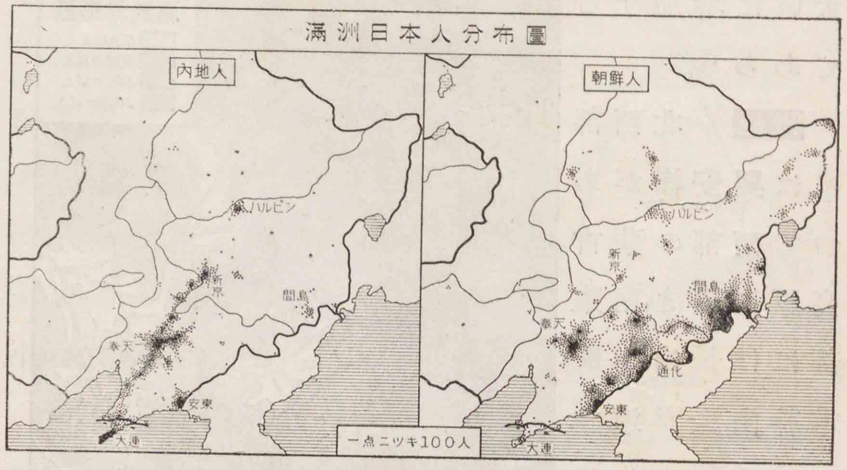
住民·政治　この地はもと滿洲族(Manchus)の住んでゐた所であるが,清朝以來支那に屬し,從つて近年漢民族の*移住が頗る多く,西部には蒙古族(Mongols)がある。**宗教**は儒教·道教·佛教·喇嘛教·回教(Mahammedanism)等が行はれる。

* 滿洲國の興る前漢民族の滿洲移住は1箇年30—100萬人に及びその半ばは定着した。

ロシアがシベリアの拓殖を行ふやうになつてから,黒龍江(Amur R.)とその支流烏蘇里江(Usuri R.)とを以て露・支の境界と定めたが,ロシアの南下策は尚止まず,遂に南滿洲(South Manchuria)から關東州に下り,朝鮮をその勢力範圍たらしめんとし,延いては我が國の獨立をも危くせんとした爲に,日露戰爭が起つた。その結果我が國は滿洲に於けるロシアの利權を受けつぎ,關東州を租借し,南滿洲に於ける鐵道・鑛山・森林等に關する權益を得て,滿洲の開發に大なる貢献をなし,その投資額は實に15億圓に及んでゐる。然るに近時支那本部に於ける政治上の不安定は延いて本地方の統治にも支障を來し,我が國の有する**特殊權益**[*]は蹂躪され,山積した懸案は一つとして解決されず,彼の侮日的態度は遂に昭和6年9月18日の滿鐵爆破事件となつて現れた。我が軍はこの支那側の挑戰により,神速なる軍事行動を起し


鐵道守備兵

* 滿・蒙に於ける我が權益の主なるものは(一)關東州租借(二)中立地帶の設定(三)滿鐵附屬地(四)鐵道經營及び敷設權(五)守備兵駐屯權(六)戰死者墳墓及び忠魂碑保護要求權(七)鑛山採掘權(八)鴨綠江森林採伐權(九)土地商租權(十)間島に於ける鮮人雜居權等である。



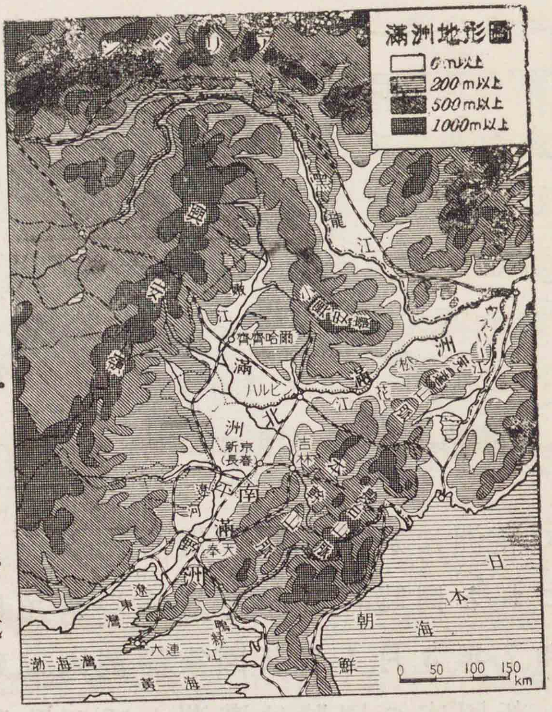
て,滿洲に於ける舊軍閥を殆ど完全に掃蕩した。これと同時に三千萬民衆の要望によつて,我が**昭和7年3月1日**新國家滿洲國が建設せられた。

新國家の國號は**滿洲**と呼び,政體は立憲共和制(事實は共和國と帝政との中間制)で元首を**執政**と云ひ,**首府**を新京(長春)(Hsinking (Changchun))に置く。元首の諮詢機關に參議府があり,政府の組織は3院8部[*]より成る。我が國からは特命全權大使を送つて親密なる關係を保つてゐる。國民は滿洲及び蒙古(Meng-ku)に現住する民族を以て構成し,各民族は平等待遇を受ける。現在我が邦人の住するものは內地人11萬(別に關東州に11萬あり)朝鮮人80萬あり,將來

* 3院は國務院(總理)立法院(院長)監察院(院長)から成り國務院の下に外交部・民政部・軍政部・財政部・實業部・交通部・文政部・司法部の8部があり何れも總長が統べる。

大いに增加するであらう。

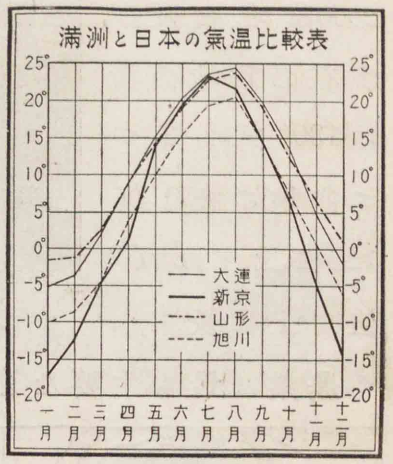
地形　北西部には**興安嶺**(Khingan Mts.)があつて西部の蒙古高原に續き,南東部には**長白山脈**(Changpai Mts.)・本幹山脈が連つてゐる。中央には滿洲の**大平野**が開け,非常に低平な分水嶺によつて北滿洲平野と南滿洲平野とに分れ,前者には**松花江**(Sungari R.)がその支流・嫩江(Non R.)を合せて北東に流れ,黑龍江に注ぐ。後者には**遼河**(Liao-ho)が南流して遼東灣に入る。これ等の河川は何れも流れがゆるやかで舟楫の便を與へることが大きく,冬季は結氷して車馬



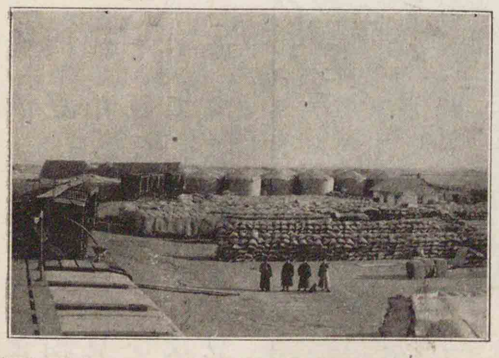
滿洲大平原　鐵道沿線から少し離れた所は未開墾地で放牧が行はれる

や橇の往來が頻繁である。

湖沼にはシベリアとの境に興凱(ハンカ)湖があり,興安省にある呼倫(コルン)湖・貝爾(ベイル)湖等と共に魚類を產する。また興安省內には鹽の湧出する小湖がある。



氣候・產業　**緯度**の比較から云へば滿洲は我が奧羽から樺太にかけての地方に相當し,氣候も稍〻似てゐるが,東部に山脈があつて海洋の影響を妨げ,寒*・暑の差が大きく,大陸性の氣候を呈する。冬季は三寒四溫の現象がある。雨量は一般に少いが,その大部分が夏季高溫な時期に降る爲,植物の生育は盛んであつて,農耕に適する部分が多く,その可耕地面積は

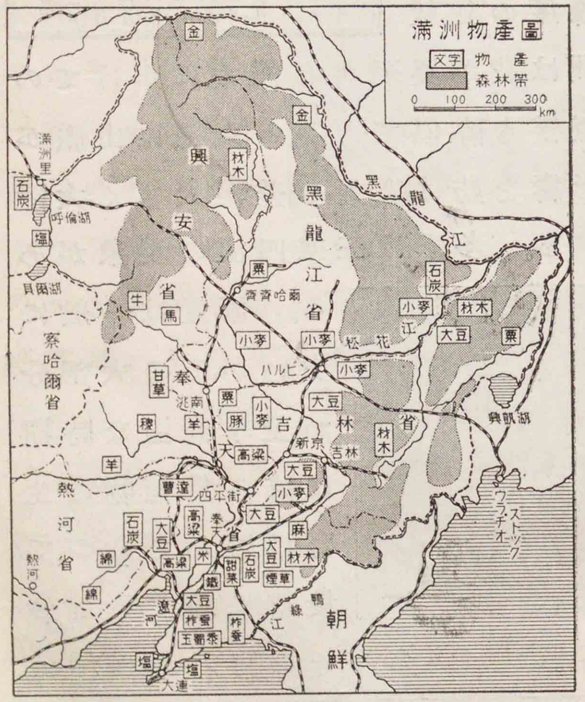

大豆の積出　新京と共に大豆の二大集散地たる開原驛の景で每年冬季が出廻り期である

* 滿洲の冬は氣溫が零下30°內外に下ることは珍らしくないが屋內にはオンドル・ペチカその他の暖房設備が完備してゐるから反つて凌ぎよく且つ戶外と雖も濕氣が少い爲に身體に感ずることは割合にひどくない。

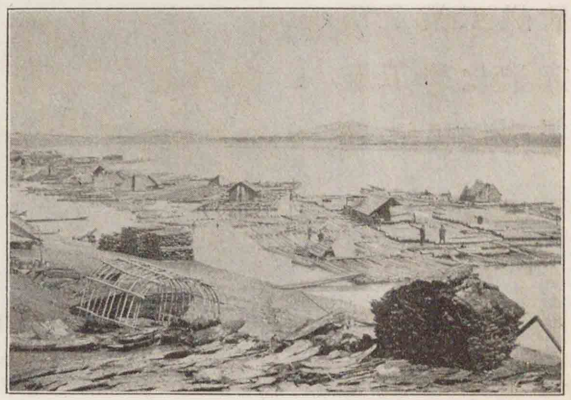
2500萬ヘクタールに及び,現在の耕地面積は1300萬ヘクタールあつて内地の600萬ヘクタールに比すれば2倍以上に及ぶ。

高粱畑 高粱は住民の常食で酒の原料となり莖は燃料及び家屋の築造に用ひらる

***農業**は最も主要な產業である。南滿洲の平野では大豆·**高粱**(Kaoliang)·玉蜀黍を多く產し,特に**大豆**は世界總產額の6割以上を產し,それに從つて豆粕·豆油が製造せられる。我が國は年々多量の大豆及び豆粕を輸入する。柞



蠶の飼養も盛んである。近時綿·米·甜菜の栽培も興つて來た。



松花江の筏 東部山地から伐出したもので所は吉林の河岸

北滿洲の平野は未開拓の所が多いが,土地は肥沃で開けた所では小麥·粟·大豆等を產する。

雨量の多い東部山地と北部の興安嶺とには**森林**がよく茂り,鴨綠江(Yalu Kiang)上流地方は良材を產するを以て名高い。

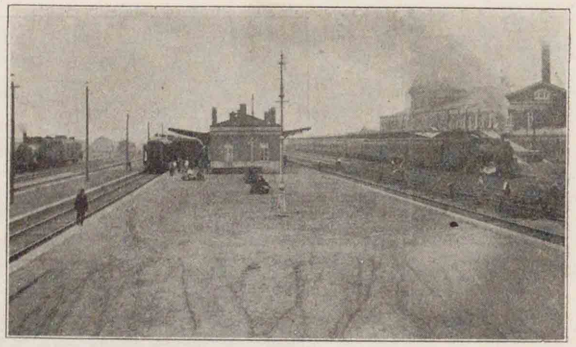
牧畜は各地に行はれ牛(青島を經由して我が國に輸入するものが多い)·馬·騾(ラ)·驢(ロ)·豚·羊等の飼養が行はれるが,特に雨量の少い西部地方で主要な生業となつてゐる。

鑛物は主として南滿洲の東部山地に產し,石炭·鐵は最も名高く,北滿洲には砂金の產がある。

工業は近時勃興したものが多く,開原(Kaiyuan)·安東·奉天·新京等の油房業(豆粕及び豆油製造)及び鞍山·本溪湖(Penshihu)の製鐵業以外に,ハルビン·新京の製粉業,奉天の製麻業,各地に於ける釀造業(高粱酒及び粟よりとる黃酒)等があり,柞蠶絲·麻·綿等の

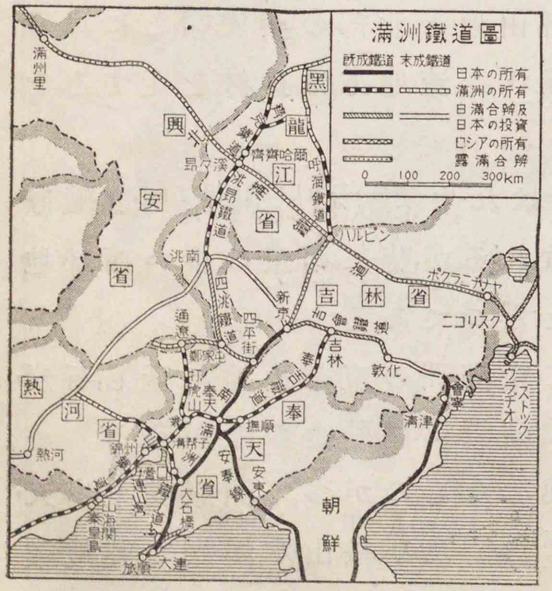
* 粗放農法で牛·馬·騾等を使役し肥料には未だ化學肥料を用ひない。滿鐵は公主嶺と熊岳城に大農事試驗場を設け農作物·家畜及び果樹の適應改良試驗を行つてゐる。

貿易 輸出 四億四千八百万円 入 日本から 三億三千九百万円
輸入 五億一千四百万円 支那 七千九百八十万円
アメリカ 二千六百九十万円
出 日本へ ~~三億三千九百万円~~
二億九百七十万円
支那へ 七千百万円
獨 六千六百万円


新京停車場 圖は滿鐵と北滿との連絡ホームで，右が滿鐵左が北滿鐵道

紡織工業及び窯業・化學工業(肥料・マッチ)等も諸所に興つてゐる。

滿洲に於ける各種資源は未開發のものが頗る多く，我が國は將來國策上滿洲の開發に與つて，食料・衣料及び燃料の如く我が國に不足するものをこの地に仰がねばならぬ。



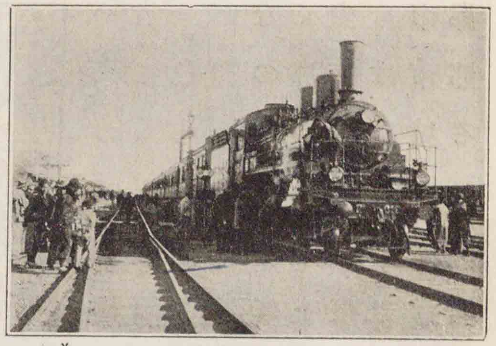
交通・商業 道路の築造は未だ幼稚で，夏季は降雨の爲に泥濘深く交通を妨げるが，冬季は地面が氷結して反つてよい橇道となる。**鐵道**[*]の敷設は支那よりもよく行きわたり，南部には我が**南滿洲鐵道**(South Manchurian Railway)及び安奉線を初め，滿洲國の奉山鐵道・奉吉鐵道及び日滿合辦の諸鐵道があり，沿線の開發[*]を大いに助け，北支那からの移民の流入と相俟つて，近時の發展は驚くべきものがある。北にはロシアの專ら經營する北滿鐵道(東支鐵道)(Chinese Eastern Railway)がある。

最近日滿合辦により航空[▲]事業を開始した。

外國貿易は營口・安東(Yingkow Antung)及び關東州の大連，ロシアのウラヂオストックの四港を門戶として行はれ，大豆・豆粕・豆油・石炭等を輸出し，綿絲・綿布・金屬製品等を輸入する。我が國はその輸出入總額の過半を占める。その他シベリアとの國境を越えて行はれる陸路貿易もある。

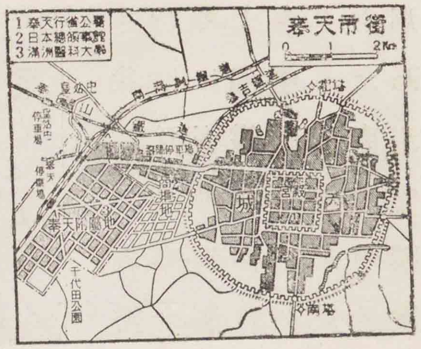
都邑 主要な都邑は河川または鐵道の便のある所に多い。漢民族の移住に伴つて興つた新興

* 鐵道の敷設は土地開發上非常に重要である。我が國の經營及び利權を有する鐵道は南滿洲鐵道・安奉線及び吉長・吉會・四洮・洮昂・金福・開海(開原・海龍)・新洮(新京・洮南)・吉海(吉林・海龍)・洮熱(洮南・熱河)・洮索(洮南・索倫)等の諸鐵道である。


北滿鐵道 滿鐵線は4呎8吋半の標準軌道，北滿線は5呎の廣軌である

* 滿洲に於ける鐵道は我が國・滿洲及びロシアの三國によつて經營され政治・經濟上互に利害關係を異にしてゐるので鐵道政策は重要な國策となつてゐる。

▲ 朝鮮新義州・奉天・新京・ハルビン・チチハル間と大連・奉天間に定期航空輸送を始めた。



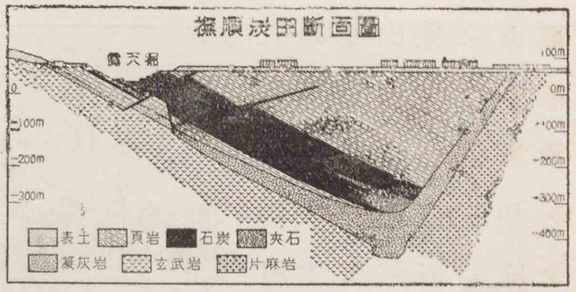
都市も少くない。古い都市は支那の特色である城壁をめぐらすものが多く,これを**城内**と呼び區劃が亂雜で,南滿洲鐵道や東支鐵道の**附屬地**にある街衢の整然とした新市街とよい對照をなしてゐる。一般人文景觀は北支那に似てゐる。

奉天省の省都*奉天(瀋陽)(Fentien (35))は南滿洲に於ける軍事・經濟の中心地で我が滿・蒙開發の一策源地である。城内は商業が盛んで,我が南滿洲鐵道の附屬地及び▲商埠地の新市街には各種の工業が勃興してゐる。附近には日露戰爭及び滿洲事變の戰跡が多い。

奉天附屬地 奉天驛前から東に向ふ邦人商店街

奉天の東には**撫順**(Fushun (7))の大炭

* 奉天の東郊に清の太祖の陵たる東陵があり北西郊には太宗の北陵がある。
▲ 商埠地とは開國前支那政府が條約により外人の雜居及び保護を認めて特に指定した地域をいふ。

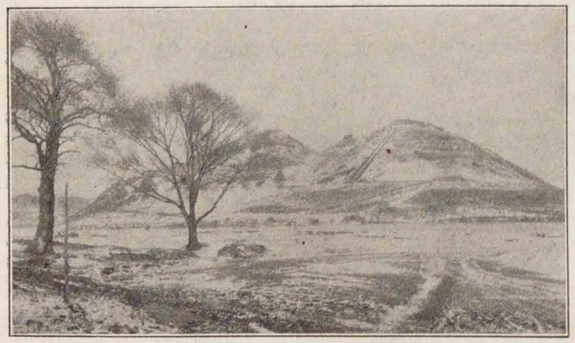


田があつて,埋藏量凡そ10億トンと見積られ,我が南滿洲鐵道會社の*採掘にかかり,年産約400萬トンである。

撫順炭田の露天掘 炭田で働く勞働者は皆支那人の苦力

▲**鞍山**(Anshan)附近には鐵鑛を產し壯大な製鐵所がある。**蓋平**(Kaiping)は柞蠶絲の集散が多く,附近の海岸からは鹽を產する。

大孤山 鞍山製鐵所の原鑛採掘所で鉢卷き段に山を切り採つてゐる,貧鑛である



遼河の流域平野の農產物は奉天を初め,鐵嶺(Tiehling)・開原・四平街(Ssupingchieh)・新民・遼陽(Hsinminhu Liaoyang (8))等に於て集散せられ,遼河の河口に近い**營口**(11)(牛

* 撫順炭田の採炭規模は東洋一と稱せられ採炭及び關係事業に從事する人員は約45000人ある。近時同炭田の油母頁岩から石油を採取してゐる。
▲ 鞍山の南には湯崗子の溫泉がありその東方には千山の勝地がある。

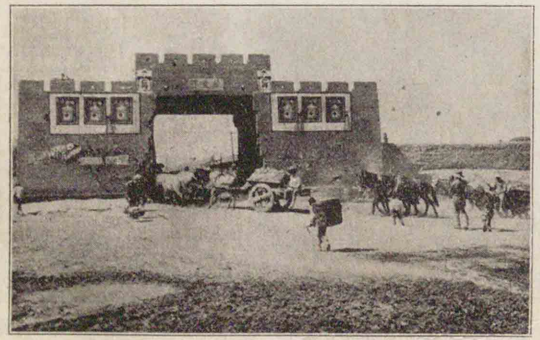
營口の埠頭　大連の競爭港であるが淺くて氷結する不便がある

莊)から輸出せられるものが多い。安東は朝鮮の新義州と相對して鴨綠江を流して來る木材の集散が盛んであり,製材が行はれる。

奉山鐵道に沿ふ錦州(Kinchou)の南方には葫蘆島の不凍港があり,近時築港が行はれてゐる。

內蒙古は滿洲と蒙古の推移地帶で遼源(鄭家屯)(Chengchiatun)・通遼(Tungliao)(白音太拉(パインタラ))・洮南(Taonan)等は何れも近時漢民族によつて創設された新興の都市である。

洮南の東門　洮南の街は周圍に土城壁を繞し八つの門がある



吉林省の省都吉林*(Kirin (16))は松花江に臨み,木材の集散が多く,附隨工業が興つてゐる。附近に煙草・人蔘の產がある。

新京(長春)(12)は新

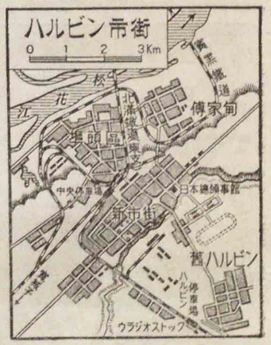
* 吉林から敦化を經て朝鮮の會寧に延びる吉會鐵道は既にその大部分が完成し將來北滿洲の物資の輸出路の一つとして重要視されてゐる。

新京城內　支那町特有の雜然たる感じと滿洲名物の馬車とを見よ

たに滿洲國の首都となりほぼ滿洲の中央に位し,鐵道の要驛に當る。大豆その他の農產物の大集散地である。附屬地は放射線狀の街衢をなす。我が關東軍司令部及び關東廳は大使館と共にここに置かれる。

ハルビン(哈爾賓)(Harbin (42))は北滿洲に於ける交通商業の中心地で,これまでロシアの北滿洲開發の根據となつた所で,市街の規模が大きい。嫩江に沿ふ伯都訥(ペトナ)(Petuna)及び牡丹江(Mutan R.)に沿ふ寧古塔(ニングタ)(Ninguta)は共に農產物の集散が行はれる。シベリアとの國境

ハルビン市街　ハルビン埠頭區の最も繁華なロシア町キタイスカヤ街



齊々哈爾 街路に面した建物を拔けて中に入ると支那特有の廣い庭が見えてゐる

に近くポグラニチナヤ（Pogranichinaya）（綏芬）の要驛がある。朝鮮との境界にある**間島地方**には多數の朝鮮人が移住して拓殖に從事してゐる。龍井村・局子街（Lungchingtsun Chuitzukai）等はその中心である。

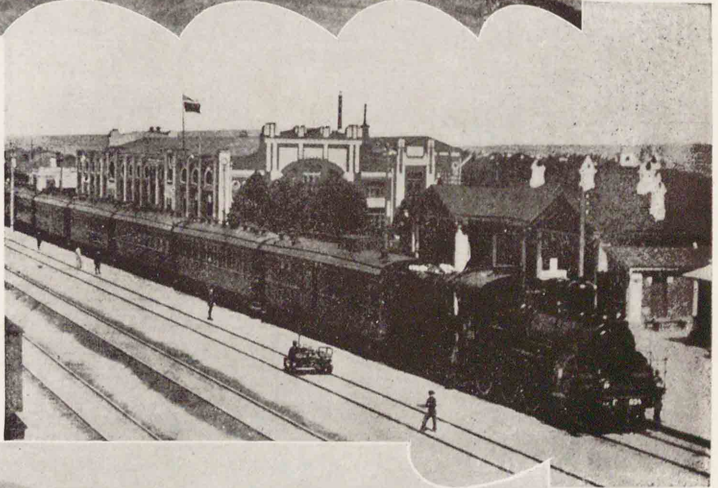
黑龍江省の省都**齊々哈爾**（チチハル Tsitsihar）は清朝時代に將軍府が置かれてから發達した都市で,北滿洲に於ける軍事上重要なる地點である。その南にある昂々溪（Angangki）は鐵道の要地に當り,近時の發展が著しい。

興安省の省都（實際政治は齊々哈爾で行ふ）**海拉爾**（ハイラル Hailar）は家畜・羊毛が集散され,シベリアとの國境に近い**滿洲里**（マンチユリー Manchouli）はロシア人の建設した町で,愛琿（Aigun）と共にシベリアとの貿易が行はれる。

海拉爾郊外の蒙古包 海拉爾の町は主に支那人とロシア人の町であるが郊外には圖に見るやうに蒙古人が住む

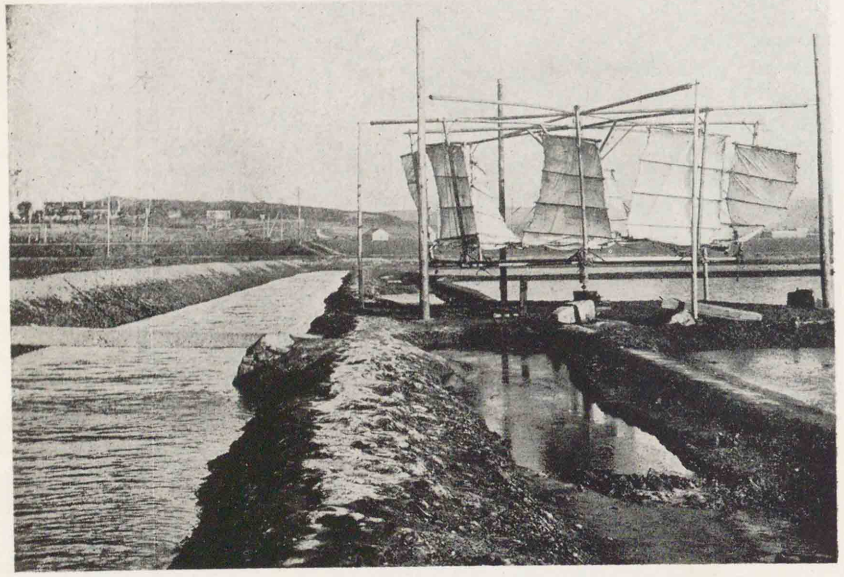
熱河省の省都**熱河**（Jehol）は支那との貿易が行はれ,赤峰（Chihfeng）は交通の要路

間島の中心都市局子街（滿洲吉林省）



滿洲里驛 シベリアとの國境に近き（滿洲興安省）

嘗て清朝の離宮のありし熱河（滿洲熱河省）



關東州の鹽田

所謂天日製鹽で海水を貯水池から蒸發池・結晶池に移し最後に出來上つた鹽を堆鹽場に送る。圖は普蘭店に於ける海水汲上げ風車。（關東州）

大連の埠頭

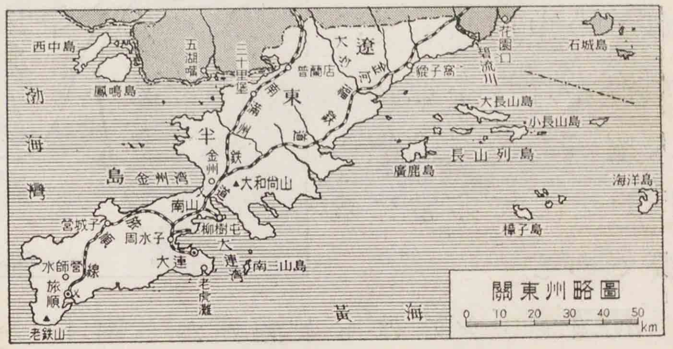
滿洲及び蒙古の大玄關とも稱すべき大連港の施設は，滿鐵がロシアの港灣計畫を踏襲したもので，三條の埠頭を造り船車連絡に便してゐる。（關東州）

に當る。

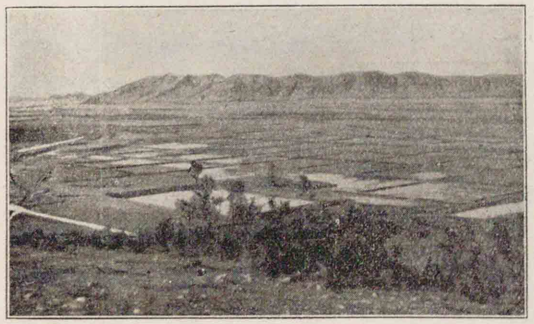
第三章　關東州（日本租借地）

Kwantung Chow

面積3950方km　人口133萬

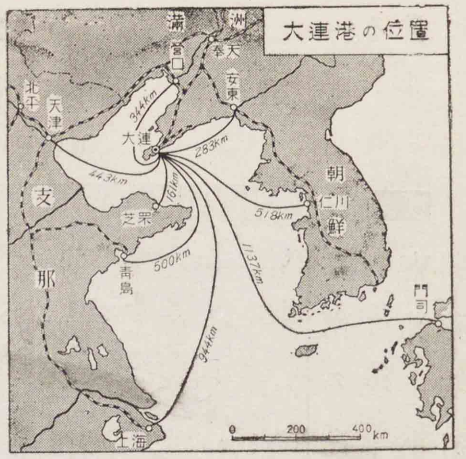


境域　關東州は滿洲の南端に在る遼東半島（Liaotung Pen.）の一部を占め西は渤海灣（G. of Pohai），南東は黄海に面し，直隷海峽を隔てて支那本部の山東半島に對してゐる。**面積**は伊豆半島の2倍に等しい。準平原の地形を呈し，大和尚山その他の殘丘があり，一般に低平であるが平地に乏しい。海岸線は複雜で，東岸には屬島も多い。



關東州の地形　圖は金州附近における內地人最初の移住農村愛川村

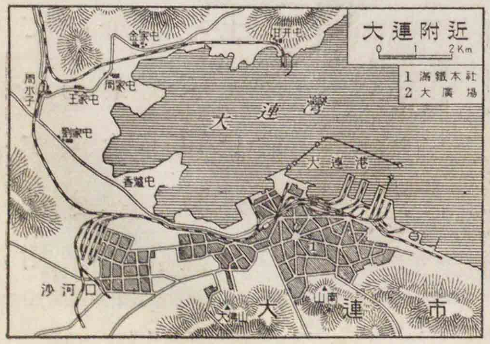
土地が瘠せてゐて玉蜀黍・高粱・粟・豆類等を產する外見るべきものが無いが，果樹の栽培には適してゐる。



かくの如く關東州は面積は小さいが,その**位置**は我が國と支那との中間に在り,また海岸には不凍港の大連があつて滿洲の門戶として非常に重要である。

沿革　ロシアはもと滿洲から南下してこの地を租借し,東洋に於ける軍事・商業の根據地としたが,日露戰爭の結果我が國はロシアの權利を受けついでこの地を租借し,その後更に支那との條約によつて租借期限を西曆1997年まで延長した。

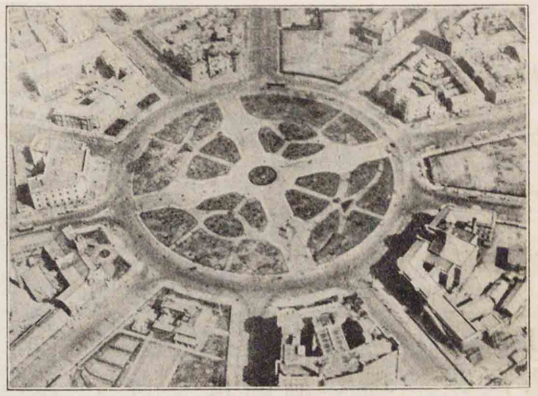
我が國は關東軍司令官を任じ,州內及び滿鐵附屬地の行政と防備とを司どらしてゐる。



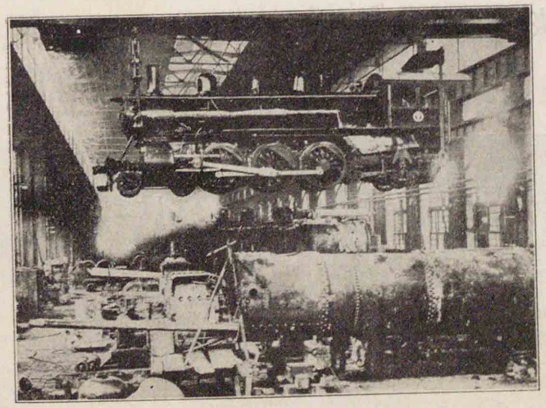
住民の大部分は支那人で我が國人は11萬である。

都邑　**大連市** (Dairen) (24) は支那本部・朝鮮・我が內地との水上交通の要衝に當り,自由港で港灣の設備がよく整ひ,街衢の規模も壯大な新式都市である。南滿洲鐵道の起點と內地及び滿洲國間の定期航空輸送の發着地で滿洲の重要な門戶をなし,常に輸出超過を示し,大豆・豆粕・石炭等を輸出し,我が內地からは綿織物・機械類等を輸入する。市內には南滿洲鐵道株式會社*や多數の油房があり,市の西郊沙河口には壯大なる鐵道工場がある。市の北西にある周水子 (Choushuitzu) にはセメントを產する。

大連市の南方



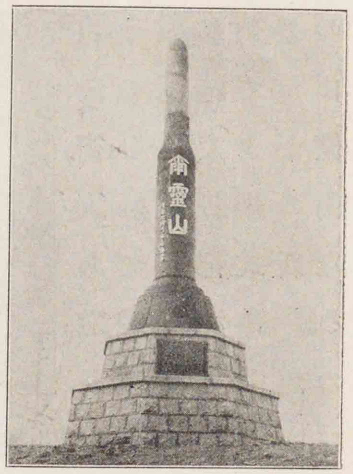
大連大廣場　ここから十條の大路が四方に放出する



沙河口鐵道工場　鐵道に關するすべての製造・修理を行ひ附近は人口2萬の工業都市となつた

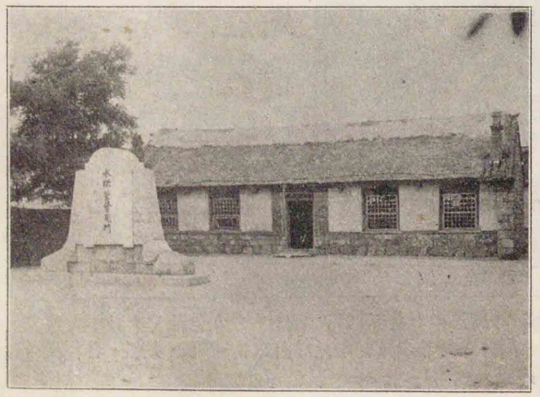
* 南滿洲鐵道株式會社は資本金4億4000萬圓從業員35000人を擁する大會社で本社を大連に置き滿洲に於ける鐵道・鑛山・製鐵・海運・港灣等の經營をなす外市街・學校・病院・各種調査所及び試驗場等をも經營してゐる。

には老虎灘・星ヶ浦等の勝地がある。


爾靈山　二〇三高地は實に旅順の生死を握つた地點

旅順市(Ryojun(2))(Port Arthur)は開港場で,周圍に丘陵をめぐらした自然の要塞である。日清・日露の役に我が軍が苦戰奮闘した所であつて,二〇三高地,東鷄冠山等の戰跡が多く,北方には名高い水師營の會見の跡がある。旅順新市街には工科大學がある。

金州(Kin chou)は金州地峽を扼し,附近の南山は日露の役に名高い。貔子窩(ヒシクワ)(Pitzuwo)及び普蘭店(フランテン)(Pulantien)の附近は天日製鹽が行はれ,東方海上の長山列島(Changshang Is.)は漁業が行はれ海洋島(Haiyang I.)附近は日清の役の古戰場として名高い。


水師營　時は明治38年1月5日乃木將軍とステッセル將軍の劇的會見の場所

第四章　支　那(中華民國)
China

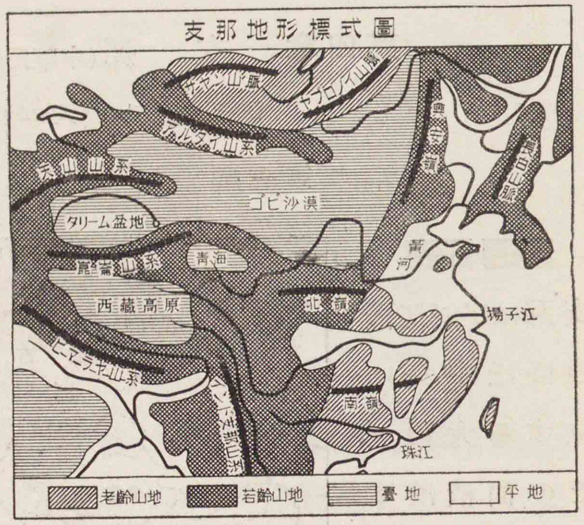
面積990萬方km　人口4億2000萬

第一節　概　說

境域・地文　支那はアジア洲のほぼ中央に位する大國で,その面積はヨーロッパ洲よりも稍廣く,支那本部・蒙古・新疆・青海・西藏の諸地方から成る。

國の南西部はヒマラヤ(Himalaya Mts.)・インド支那(Indo China Mts.)の大褶曲山系により限られ,その內部に西藏・青海の大高原がある。**崑崙山系**(Kuenlun Mts.)はその北に橫はり,北東に延びて興安嶺となり滿洲に續く。この兩山脈の北にはタリーム盆地(Tarim Basin)・

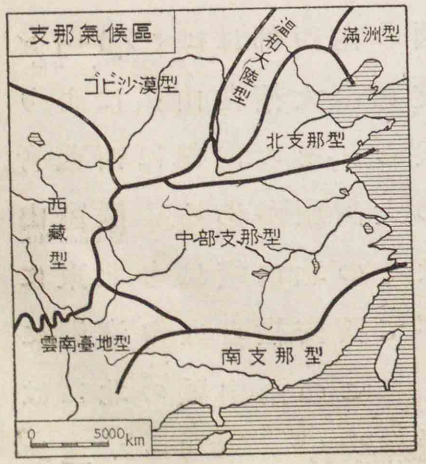
崑崙山系　長さ4000km,高さ4—6000mの大山脈である



支那地形標式圖

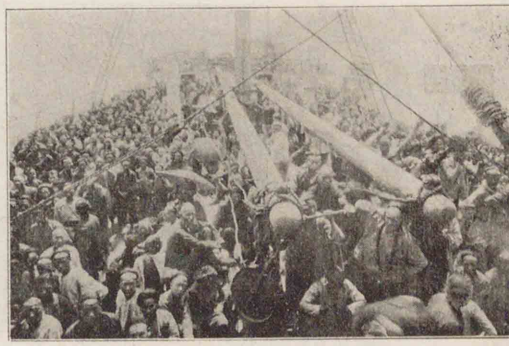
ゴビ沙漠(Gobi Desert)が連り,その北邊は天山・アルタイ・サヤン・ヤブロノイ(Tianshan Mts. Altai Mts. Sayan Mts. Yablonoi Mts.)等の山脈によつてシベリアと境す。

これ等の山脈と高原とは地形を複雜ならしめ,氣候上では海洋からの影響と相俟つて,支那全土に種々の**氣候型**を生ぜしめた。概して云へば興安嶺からインド支那山系へかけて引いた線の以西では甚しく大陸性氣候を呈し,雨量も僅少で植物の生育に適せず,從つて人口の密度も小であるが,この線より東及び南するに從つて氣候が溫暖多雨となり,平野も廣いので農產物に富み人口も稠密である。

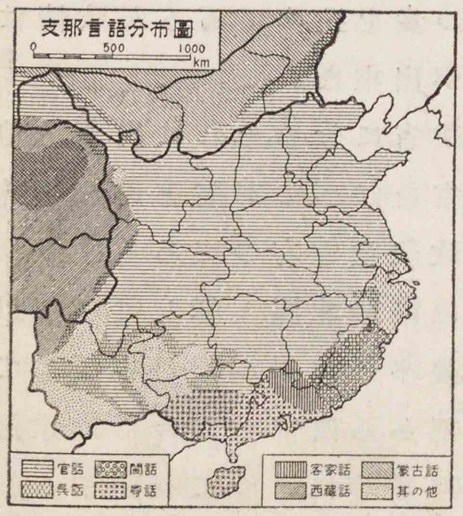


支那氣候區

住民　住民の大部分は**漢族**で,主に支那本部に住む。教育が普及せず,種々の弊[*]風があるが,氣候馴化の力強く,世界到る處に移住し,華僑と稱し,殊にインド支那からマレー諸島にかけて根強い發展振りを示す。


支那移民　あたかも家畜の群を積んだ如くに彼等は出て行く

蒙古族は蒙古及び新疆に,西藏族(Tibetans)は西藏及び青海に住んでゐる。その他新疆にはトルコ族が住み,支那本部の南西部山地には原住民たる苗族が住む。

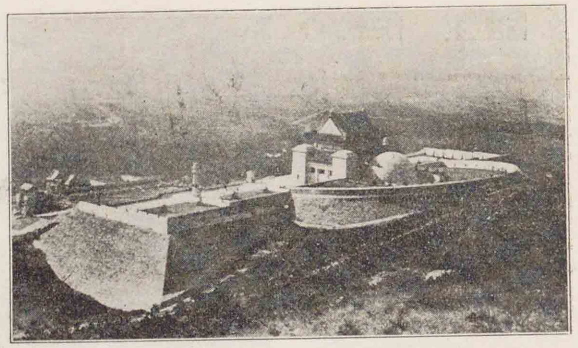


支那言語分布圖

種族の異なると共に**言語**・**宗教**[▲]も頗る多種多樣であつて,國家の統一を困難にして

* 女子の纏足は殆どすたれたが阿片吸煙は未だ禁令が行とどいてゐない。

▲ 支那本部には儒敎・道敎・佛敎が行はれ西藏・蒙古には喇嘛敎新疆には回敎(マホメット敎を支那にては回敎といふ)が行はれる外種々の邪敎がある。



中山陵　南京城外にある中華民國建國の祖孫文の陵墓である

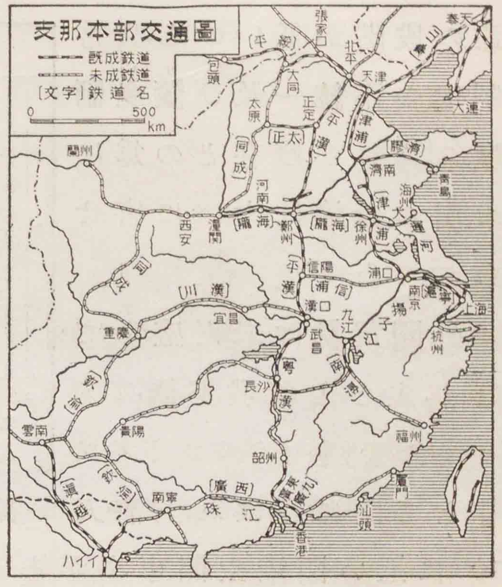
ゐる。

政治　易世革命と稱して古來幾多の王朝が興亡して來た。1912年滿洲人の淸朝が革命の爲に倒れて中華民國と呼ぶ共和國となつた。併し地方の軍閥が割據してゐて內亂が絕えず,中央政府の權力は微弱である。近時國民政府*が優勢で**首府**を南京(Nan-King)に移し,全國統一の步を進めてゐるが,政情は常に安定を保つことが出來ない。

地方は支那本部を19省に分ち,それに內蒙古地方の3省,新疆省·青海省を加へて24省とする。外蒙古·西藏は特別の行政組織を有つてゐる。

交通　古來支那では**南船北馬**と稱して,中部以南では**揚子江**(Yangtze-Kiang)を初め,幾多の河川湖沼が相通じて舟楫の便が大きく,北部から西部へかけては水運の便を缺く故,馬·驢·騾·駱駝等によつて交通する。

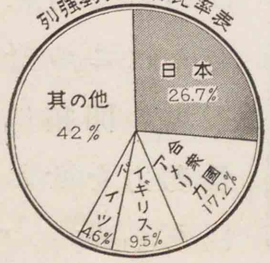
* 中華民國の主權は三民主義(民族·民權·民生)を奉ずる國民黨全國代表大會にありその下に委員組織による國民政府があつて行政·立法·司法·考試·監察の5院及び參謀本部·軍事參議院等から成る。政府代表者を國民政府主席といふ。各省には省政府委員がある。



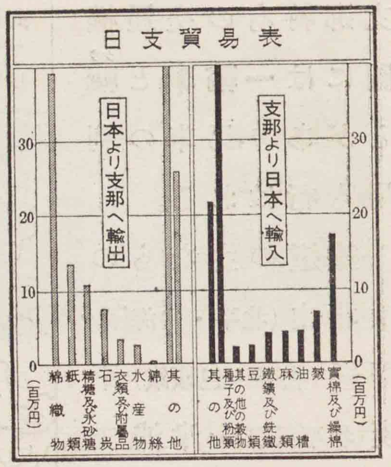
支那特有の交通機關には**一輪車**と**轎**(ケウ)とがあり,馬車の利用も行はれる。

鐵道の主なものは北山(北平·山海關)·平綏(北平·包頭鎭)·平漢(北平·漢口)·津浦(天津·浦口)·膠濟(青島·濟南)·滬寧(コネイ)(南京·上海)等の諸線である。その他南北縱貫線の一部たる粤(エツ)漢(カン)鐵道(武昌·廣東),東西聯絡線たる隴海(ロウカイ)線(潼關·海州)及び計畫中の川漢線(漢口·四川)等があり,別に日支合辨の南潯鐵道(九江·南昌),フランス經營の滇越(テンエツ)鐵道がある。一般に鐵道網の發達は幼稚である。

沿海及び揚子江の**航路**では我が日本郵船·大阪商船·日淸汽船及び支那·イギリス等の汽船が互に競爭してゐる。



商業　國人は天性商業に長じ,國內には大なる資源を擁してゐながら,開發が十分でなく,產業發

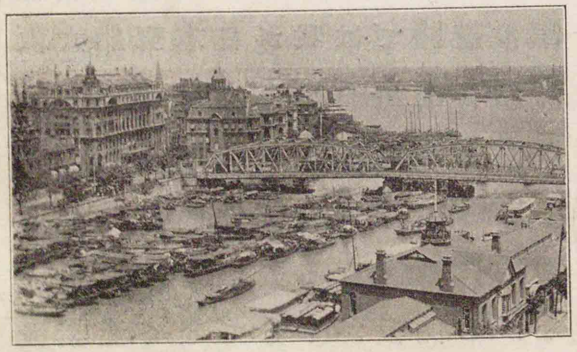


達の段階が低いのと,貨幣制度の不統一及び釐金(リキン)制度(一種の通過税制度)の殘存との爲に取引の發達は大いに害せられてゐる。

外國貿易は未だ盛んでなく,主として我が國・アメリカ合衆國・イギリス・ドイツ等との間に行はれ,上海・天津・廣東・漢口・青島その他100に近い開港や開市場がある。輸出品の主なものは大豆・油粕・生絲・絹製品・鷄卵・茶・綿・石炭等で,輸入品の主なものは綿製品・砂糖・綿・金屬・米・石油・煙草・毛織物・薬品等である。

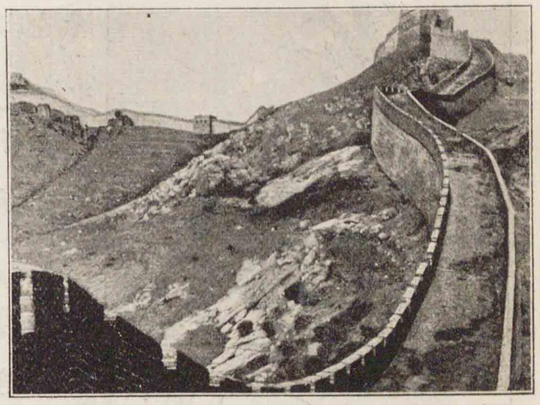
支那は我が國にとつては重要な取引先でその貿易額はアメリカ合衆國に次いで第二位にある。將來吾々はこの好市場の開拓に益〻努力をせねばならぬ。

上海港　昔は淋しい一漁村であつたが1842年開港以來めざましく發展し東洋のロンドンと呼ぶ



第二節　支那本部

面積397萬方km　人口4億1000萬



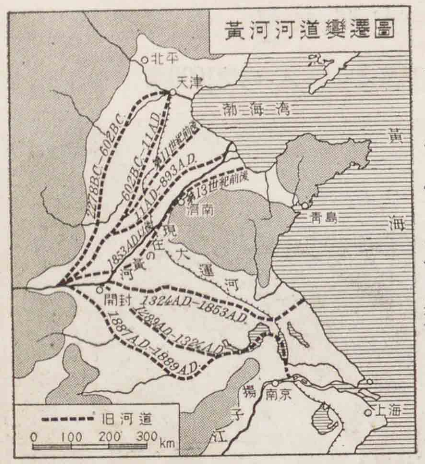
萬里長城　秦の始皇帝の築造で東は山海關から西は嘉峪關に至る全長3200km

境域　北は萬里の長城によつて蒙古及び滿洲に境し,東及び南は海に臨み,西は青海(Kuku Nor)の高原及びインド支那山系に續く。面積は全領土の約4割に過ぎないが,人口は9割以上を占め,本國に於て最も重要なる地域である。地形の上から北支那・中支那・南支那の三つに分ける。

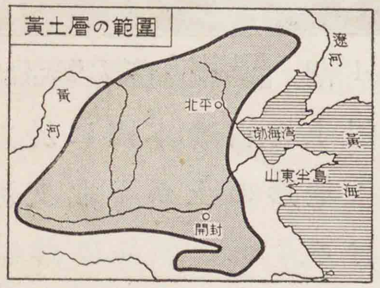
省名	省都	省名	省都
河北	北平	甘肅	蘭州
山西	太原	河南	開封
陝西	西安	山東	濟南

北支那　主として黄河(Hwang-ho)の流域を占める。西部は一大地壘山地をなして諸所に地溝や盆地を抱き,東部は黄河の沖積平野と黄海(Yellow Sea)・渤海灣(Gulf of Pohai)を分つ山東半島(Pen. of Shangtung)の地壘とから成る。南には北嶺(Chinling)(秦嶺山脈)が横はつて,揚子江流域との分水嶺を作る。

北支那の大部分は**黄土**(Loess)の層に蔽はれ,時として



その厚さは數百mに達する。*黃河はこの▲黃土層を切つて流れ,河水が常に黃濁して下流に大三角洲を造り,所謂北支那の大平原を形成してゐる。

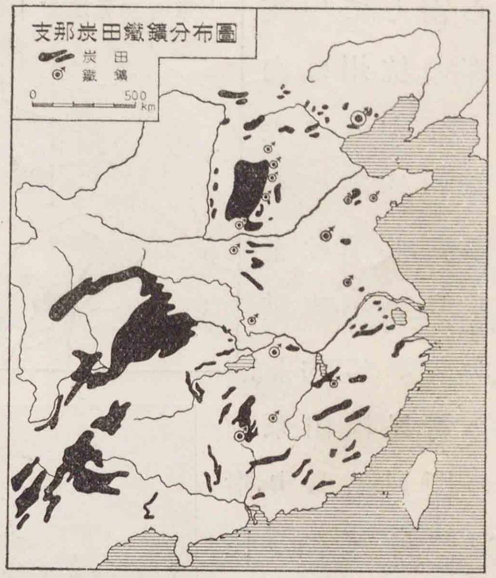


冬季は氣溫が低く,白河の如きは凍結するが夏季は高溫であり,且つ雨期に相當するので,一般に農業がよく行はれ,高粱·玉蜀黍·大豆·小麥等を產することが多く,煙草·綿の栽培も行はれる。西部山地には牧畜が盛んで,羊毛を產する。山東半島には柞蠶絲も多い。山西省の石炭,陝西省の石油は埋藏量が多いことで著名であり,北部には天然ソーダの產がある。山東半島には鐵·石炭の產がある。

北支那は文化が古く且つ久しく政治上の中心

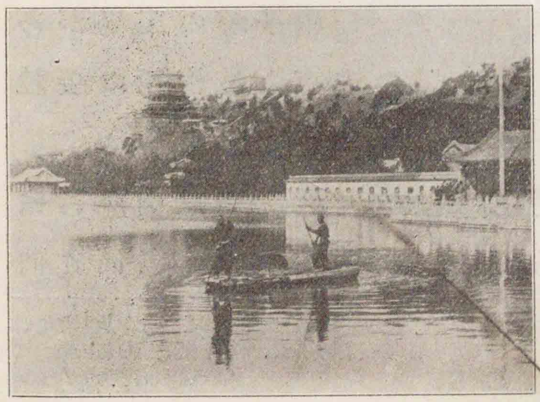
* 黃河は昔から河道の變遷が多く氾濫して凶年饑饉の原因となる。
▲ 黃土地方には黃土層を切り拔いた隘路や浸蝕されて分水となつた𛀙渡り道が出來穴居生活も見られる。端味は肥沃であるが灌漑を要する場合が多い。

地であつた爲,舊都や歷史上に名高い都邑が多い。

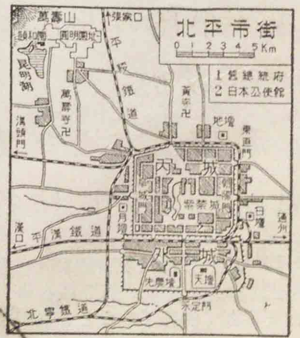


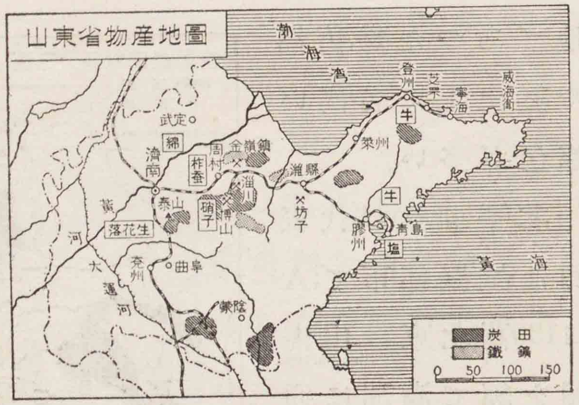
北平(Peiping)(北京)は代表的な城壁都市で,人口130萬,北東は山海關(Shankaikuan)を經て滿洲に通じ,北西は居庸關(Kuiyangkuan)及び張家口(Changkikou)を經て蒙古に通ずる要路に位する。東方に開平(Kaiping)の炭田がある。**天津**(Tientsin (80))は北支那第一の商港で,北平の門戶として發達したのであるが,大汽船が白河(Peiho)を溯航し得ないのと,冬季凡そ3箇月間氷結する不便がある。

北平萬壽山　清朝の離宮で山下には圓明園がある

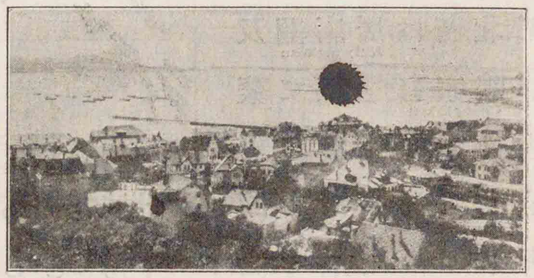


大運河はここか





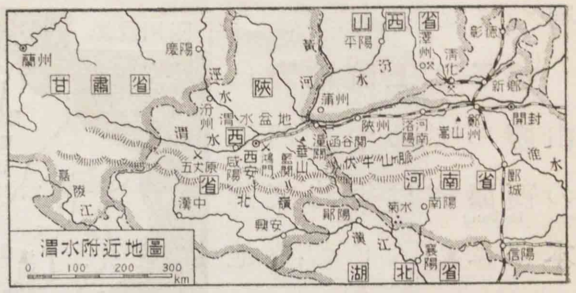
ら南して中支那の杭州に向ふ。大沽(Taku)は天津の外港であるが,冬季は秦皇島(Chin-Wang-Tao)の不凍港がこれに代る。


青島市街　ドイツ人の建設した近代的都市である

*青島(Tsingtao (2.7))は山東省の門戸に當り,附近には邦人の住するものが多く,我が國との貿易も盛んであつて,山東牛・鹽等を我れに送り,綿布・綿絲等を我れから輸入する。近時大工業が起り,紡績・釀造・セメント・硝子等の工場がある。半島の北岸には芝罘(Chihfu)の港市と威海衞(Weihaiwei)の要地とがある。

濟南(Tsinan)は交通の要地に位し農產物の取引が行はれ,その南方には名高い泰山(Taishan)と孔子廟に名高き曲阜(Kufou)とがある。

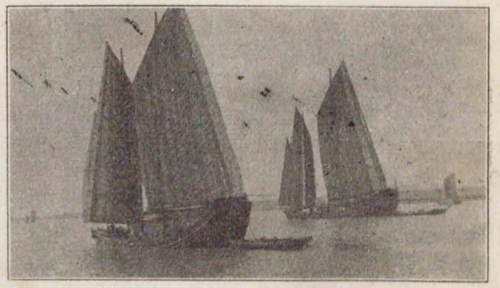
* 1914年の日獨戰爭の結果我が國はドイツが山東省に有する權利一切を得たが1922年これを支那に還附し鐵道は賠償を得て支那に讓り淄川・博山(石炭)及び金嶺鎭(鐵)等の鑛山は日支合辦で經營することとなつた。



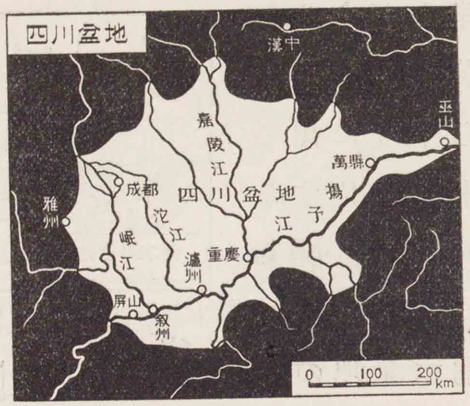
黃河が山地から平地に出る附近に位する河南(Honan)(古の洛陽)・開封(Kaifeng)(古の汴京)は渭水(Weishui)の岸にある西安(Hsian)(古の長安)と共に史蹟に富む。渭水盆地の咽喉を扼する潼關(Tungkuan)と函谷關(Kuankokuan)は歷史上名高い。西方の蘭州(Lanchou)は新疆を經て中央アジアに至る隊商路の要驛である。

省名	省都	省名	省都
江蘇	鎭江	湖北	武昌
浙江	杭州	湖南	長沙
安徽	安慶	四川	成都
江西	南昌	西康	康定

中支那　*揚子江流域を占め,北嶺(Tsinling)と南嶺(Nanlin)との間を占むる一大地溝帶である。氣候が溫暖で,雨量も豊かな爲,農業が甚だ盛んである。米・茶・生絲・綿・麻・砂糖・煙草等の產が多く,鐵(大冶(Tayue)・桃冲(Taochung))・石炭(萍鄉(Pingsiang))も產出して,從來の手工業の外に大工業も諸所に


揚子江の戎克

* 揚子江は長江または江と稱し長さ凡そ5000km世界第四の長流で漢口までは2000トン宜昌までは1000トンの汽船が溯り小汽船は更に四川盆地に達する。支流・運河・湖と相俟つて支那の大動脈と稱すべきである。

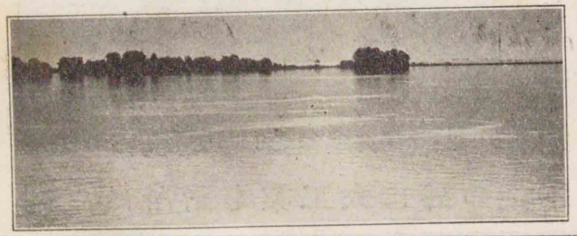


興つてゐる。

*揚子江上流地方は山勝ちであつて,西方の西康省(Hsikang)は近時支那本部に編入され,荒地が多く人煙が稀である。その東の**四川盆地**(巴蜀盆地)は1000m以上の山地に圍まれた500m内外の丘陵地で,土地は肥沃であるが,灌漑を要する場所が多い。石油・岩鹽を産する。**成都**(Chengtu (40))は盆地の中心都市で名高い蜀江錦を産し,**重慶**(Chungking (63))は盆地の門戸を爲し,茶・生絲等を輸出する。

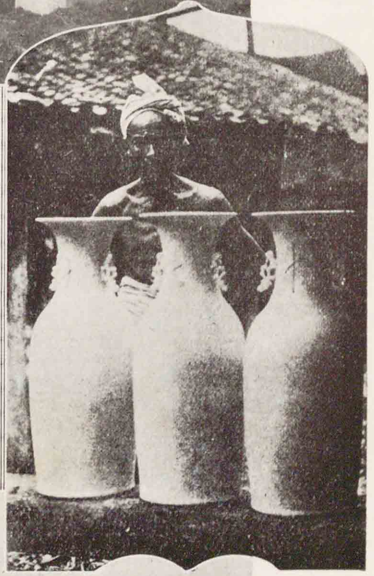
揚子江中流地方は湖廣平野(湖南・湖北を含み古への雲夢澤の地域である)を中心とした地域で土地が低く幾多の湖沼がある。

洞庭湖(Tungting L.)は湘(ショウ)江(Hsiangkiang)・沅(ゲン)江(Yuenkiang)等の水を集め,附近に▲名勝が多い。


洞庭湖　我が琵琶湖の4倍の大きさで夏季は增水のために湖面が廣くなる

漢江(Hankiang)が揚子江に注ぐ處に

* 四川盆地で岷江・嘉陵江を入れた後三峽の險を過ぎ湖廣平野に出で洞庭湖に通じて漢江を容れ更に鄱陽湖等の水を受けて東流し東支那海に入る。
▲ 瀟湘八景と赤壁とは最もよく知られてゐる。

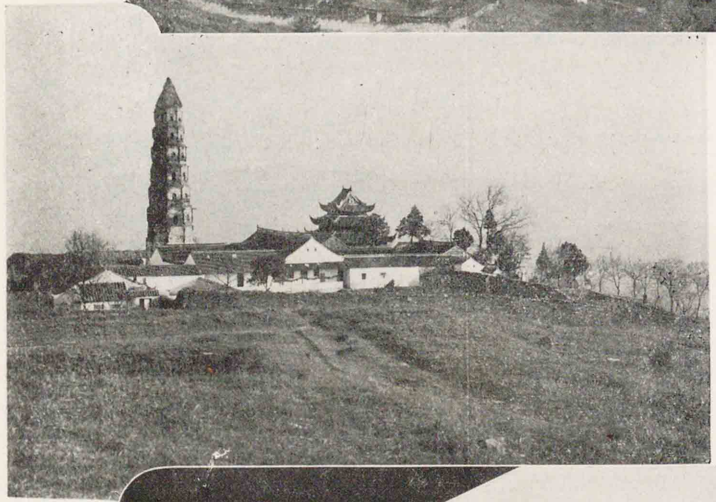


上　重慶市街と揚子江
（支那本部）

中　景德鎭の陶器
（支那本部）

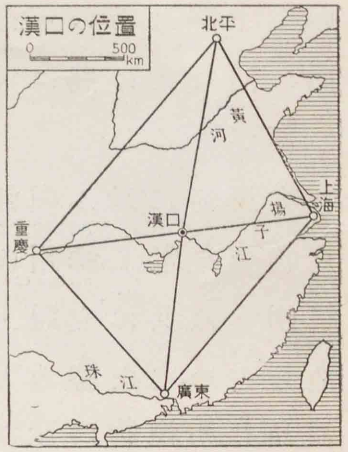
下　漢陽の製鐵所と漢江
（支那本部）

杭州 葛嶺より西湖を隔てて左方に杭州市街を望む(支那本部)



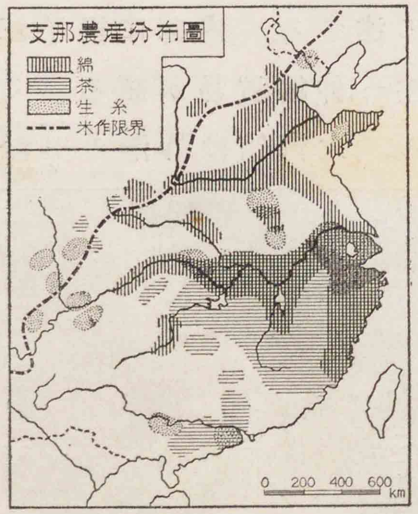
蘇州 呉王闔閭の墳墓のある蘇州郊外虎邱の靈巖寺(支那本部)

上海 國際都市上海の一名物たる競馬場(支那本部)



漢口(夏口)・武昌・漢陽の三萬が鼎立する。その位置と水・陸交通の便との爲に商業が盛んに行はれ,磚(セン)茶・綿の輸出が多く,我が國からは綿織物・綿絲を輸入する。工業も近時發達し,漢陽には大製鐵所*がある。
(Hankow　Wuchang Hanyang (3市を合して78萬))

鄱陽(ハヨウ)湖に注ぐ贛(カン)江の流域には茶の産が多く,九江から輸出せられる。南昌は紙を產し,景德鎭は陶器で著れてゐる。
(Poyang L.　Kankiang　Kiukiang　Nanchang　Kingtechen)



揚子江下流地方は人口稠密な地方で農業がよく行はれ,支那に於ける最も富裕▲な地方である。**南京**(江寧)(52)は最近國民政府の首都となつた所で,昔から度々帝都が置かれ,附近に史蹟が多

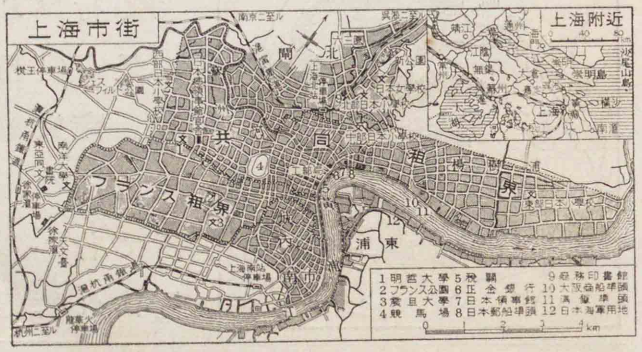
* 漢陽製鐵所は大冶鐵山から採掘された鐵鑛を原料とし萍郷の石炭を用ひて製錬するものですべて漢冶萍公司の經營にかかり我が國人はこれに多額の投資をなしてゐる。大冶の鐵鑛は盛んに八幡製鐵所へも輸送される。

▲ 支那に『江浙實ラバ天下飢エズ』の語がある。

い。下關(シアクワン)は市の埠頭で對岸の浦口(Pukou)との間に連絡船の便がある。

大運河に沿ふ鎭江(Chinkiang)は農產物を集散し,**蘇州**(Suchou)(姑蘇)*と**杭州**(Hangchou)とは共に交通上の要地を占め,また勝地▲として知られ絹織物の產が多い。運河によつて東すれば紹興(Shiaohsing)(紹興酒の產地)を經て寧波(ネイハ)(Ningpo)(昔時我が國との交通が行はれた)に達する。

上海(Shanghai)は揚子江口に近く,黃浦江(Whangpoo R.)に臨み,支那第一の港市で,總人口267萬に達する。內部に揚子江流域の廣大なる背域を控へ,仲繼貿易が頗る多く,生絲・鷄卵・綿・茶を輸出する。大汽船は外港の吳淞(ウースン)(Wusung)に碇泊する。近時紡績・造船等の大工業も大いに興つてゐる。我が國人の



* 蘇州・杭州・南京等は何れも城壁都市で昔は市街の美を以て稱せられたが長髮賊の亂以後度々の內亂に慘禍を蒙り昔のおもかげはない。
▲ 蘇州附近に太湖・楓橋・姑蘇山・寒山寺があり杭州附近に西湖・錢塘江がある。

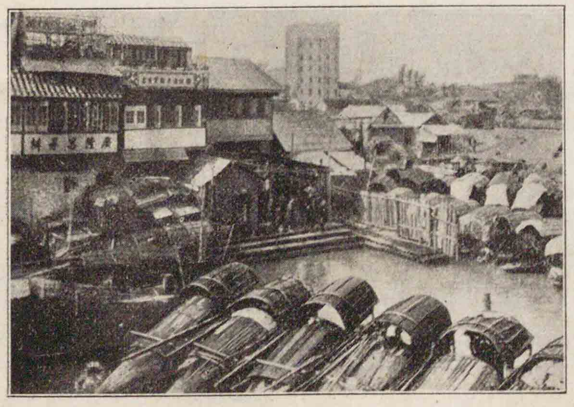
住するもの3萬に近く,各種の事業を經營してゐる*。

上海事變當時の邦人婦女子の避難實況　昭和7年1月上海事變が起り我が陸海軍は完全に敵を討伐した

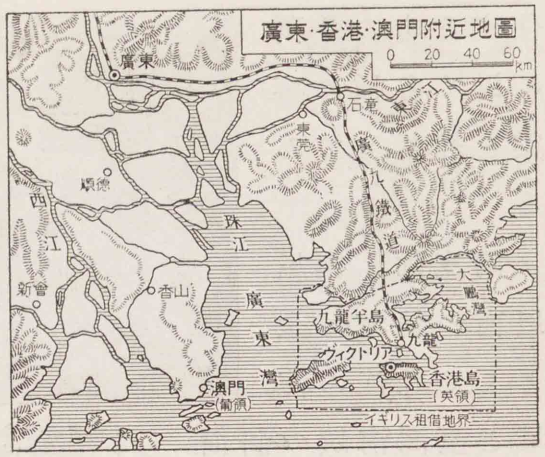
南支那　南嶺以南の地域で主として珠江(Chukiang)の流域と臺灣海峽の斜面とより成る。氣候は亞熱帶に屬し,雨量多く,竹・樟・肉桂等の產がある。平野からは米・茶・砂糖等を產し,養蠶も行はれる。西部山地は交通が不便で文化の程度が低く,住民は牧畜に從事するものが多い。錫・タングステンその他の鑛物が豐富である,南岸地方の

省名	省都	省名	省都
福建	福州	廣東	廣東
廣西	桂林	貴州	貴陽
雲南	雲南		

廣東港　珠江には船上生活をなす所謂蛋民が10萬に及ぶと稱せられる



* 上海市街は縣城・共同租界・フランス租界・閘北・南市・浦東から成る。



廣東（Kuangtung (8 1)）(廣州)は珠江の三角洲の頂點に近く位し,南支那第一の都會で商工業が榮え,生絲·絹織物·茶等を輸出する。

廣東灣（Kuangtung B.）の入口にはイギリス領香港（Hongkong (6·0)）とポルトガル領澳門（マカオ, Macao）(媽港)とがあり,その西の廣州灣はフランスの租借地である。

香港*は東西交通の要路に當り,自由港で軍港を兼ね,東洋に於ける仲繼貿易の大中心を爲し,造船·精糖等の工業も興つてゐる。

香港　1842年阿片戰爭の結果イギリス領となり急に發展して今日の如く盛大となつた

東岸地方の**福建省**（Fukien）は臺灣に關係が深いので,我が國は支那に對して福建省不割讓を約さしめて

* 香港は九龍半島の端にある小島で附近の島嶼及び對岸の九龍半島はイギリスの租借地である仲繼貿易が行はれ我が國からは綿織物·石炭·水産物等を輸入する市街をヴィクトリアといひ支那人が多い。

ゐる。福州（Fuchou (3 1)）は茶を輸出し,厦門（アモイ, Amoi）は臺灣との貿易が盛んで茶·砂糖を輸出する。この地*方は人口が稠密で生産力が極限に達してゐるので,海外へ出稼または移住するものが多い。

西部山地にある雲南（Yunnan）は交通·商業の中心をなし,鐵道によつてフランス領インド支那のハノイに通ずる。龍州（Lungchou）·蒙自（モウジ, Mengtze）·思茅（シボー, Ssumao）·騰越（トウエツ, Tengyueh）等はインド支那との貿易市である。

第三節　蒙　古
Meng-ku (Mongolia)

面積354萬方km　人口180萬

支那の北部に位する高臺で平均の高さは1000mを超え,アフリカ·アジアを連ねる乾燥地帶に屬するゴビ（Gobi）沙▲漠が橫はり,沙漠の南を内蒙古（Inner Mongolia）,北を外蒙古（Outer Mongolia）といふ。

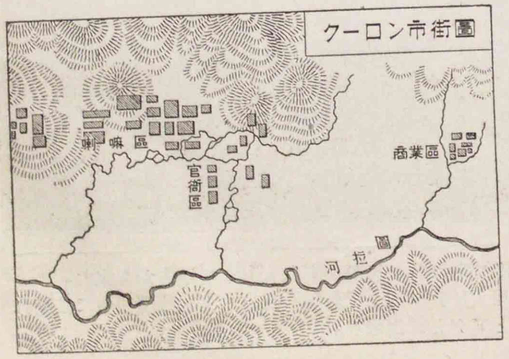
蒙古の高原　蒙古の高原は著しい山は無くて沙漠や草地がつらねる牧羊が主たる產業である

* 厦門·福州·汕頭は移民の出發港として著れ我が臺灣の本島人もこの地方から來た。
▲ 沙漠では屢々强風が起つて沙塵を捲上げ我が國まで影響を受けるまた沙漠の中には流れ口のない盆地が形成され多くの鹹湖とワヂとが出來る。

住民は**蒙古**人であつて,今は元氣がなく,主として蒙古包に住み遊牧をこととする。南東部地方の住民は漢族の習俗に慣れ,定着して農業を營み,粟や高粱を耕作してゐる。

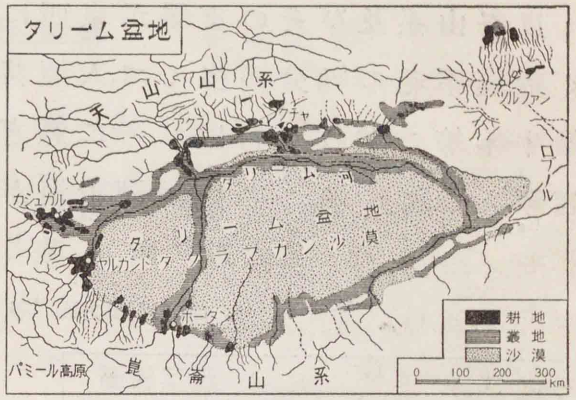
内蒙古には漢人の移住するものが多く,次第に中央政府の治下に入り,今日は察哈爾(チヤハル)・綏遠(スヰエン)・寧夏の3省が置かれてゐる。多倫諾爾(ドロンノール Dolonnor)・平地泉・歸化城(Kueihwacheng)等は滿洲及び支那本部との間に商業が行はれる。

外蒙古は種々の部族に分れ,ロシアの勢力が伸びて自治の姿になつてゐる。**クーロン**(庫倫)(Kulon (Urga))は外蒙古に於ける政治・商業(隊商が集り,張家口へ自動車を通ずる)・宗教(喇嘛教の大寺院がある)の中心地であり,**買賣城**(マイマチン Maimatchin)はシベリアのキャフタに對し,茶と毛皮を交換する。



第四節 新疆(伊犂)
Hsinkiang (Ili)

面積142萬方mk 人口252萬



新疆省は支那の西部に位し,古の西域の地で支那と中央アジア及びインドとの交通の要路に當り,**天山山系**(Tienshan Mts.)によつて天山北路と天山南路とに分れる。氣候は著しく乾燥し,南路の*タリーム盆地(Tarim Basin)は內陸盆地で中央にはタクラマカン沙漠(Takla Makan D.)がある。

住民の多くはトルコ人で回教を奉じ,農・牧を業としてゐる。

天山南路のカシュガル(Kashgar)(喀什噶爾・疏勒)・ヤルカンド(Yarkand)(葉爾羌)・ホータン(Khotan)(和闐)等は何れも交通の要路に當り泉地を中心に發達した聚落である。ホータンの附近から崑崙の**玉**を產する。**天山北路**には省都**ウルムチ**(Urumtsi)(烏爾木齊・廸化)がある。

* 周圍の大山地は雨量が多くまた氷雪が溶けて河流があり山麓では灌漑によつて綿・葡萄・瓜等を耕作する河流にはワヂが多く最も大なるタリーム河はロプノル(羅布湖)に終る。盆地には昔榮えて今は砂に埋沒してゐる都邑があり氣候が乾燥した爲と考へられてゐる。

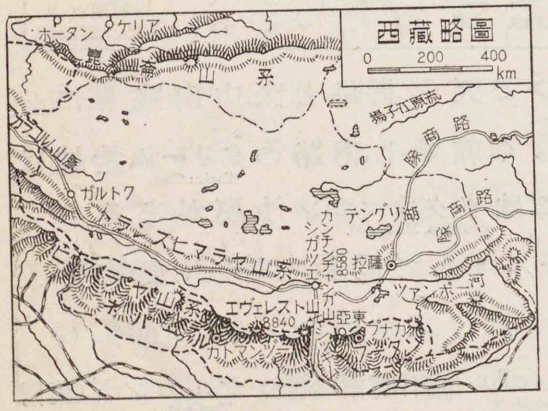
第五節 青海(Kuku Nor)

面積80萬方km 人口100萬

崑崙山系及びその支脈が東西に走り,土地が高く荒漠不毛の部分が多くて,人煙甚だ稀である。犛牛・羊等の遊牧が行はれるに過ぎない。省都を西寧(Hsining)といふ。その西に鹹湖青海(Kuku Nor)がある。

第六節 西藏(Tibet)

面積100萬方km 人口250萬



ヒマラヤ山系と崑崙山系との間に横はる世界第一の廣大な**高原**で平均4000mの高度を有する。寒暑の差が甚だしく,降水量も少くて不毛の原野が多く,一般に犛牛・羊・山羊等を飼養する。ツァンポー河(Tsangpo R.)の流域のみは稍〻開けて果物・麥類の栽培が行はれる。

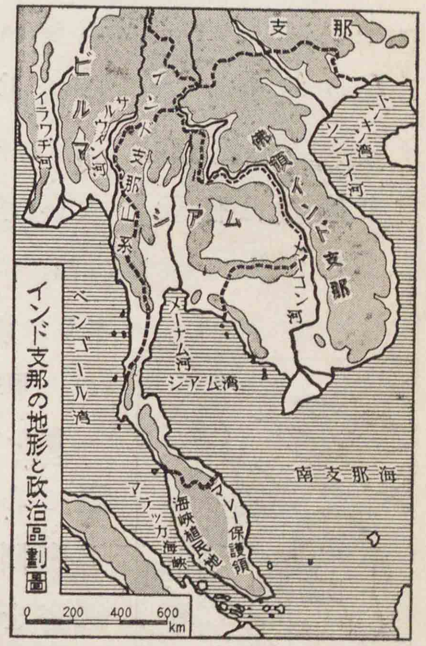
住*民は**西藏族**で喇嘛教(Lamanism)を信じ,その教主は政・教二權を握る。近時イギリスの勢力が強く,その監督

* 地形と國人の排外思想の强烈との爲に入國が頗る困難で世界の祕密境と稱せらる。

のもとに自治を行つてゐる。**首府**を拉薩(ラッサ, Lhasa)といひ,亞東(ヤツン, Yatung)はインドとの互市場である。

第五章 インド支那(Indo-China)

第一節 概説



インド支那はアジア洲の南東部に突出する大半島で,南支那海(South China S.)とベンゴール灣との間に挟まれてゐる。東部はフランス領,西部及び南部はイギリス領であつて,中部にシアム王國がある。

インド支那山系(Indochina Mt. System)は幾條もの山脈をなしてこの地方を縦走し,その間をソンコイ(Songkoi R.)・メーコン(Mekong R.)・メーナム(Me Nam R.)・サルウィン(Salween R.)・イラワヂ(Irrawaddy R.)等の諸河が縦谷をなして流れる。山地には**チーク材**及び種々の鑛物・寶石類を產出し,河岸の洪涵平野及び河口の大三角洲からは**米**を產し,餘剩が多くて東洋の穀倉をなしてゐる。

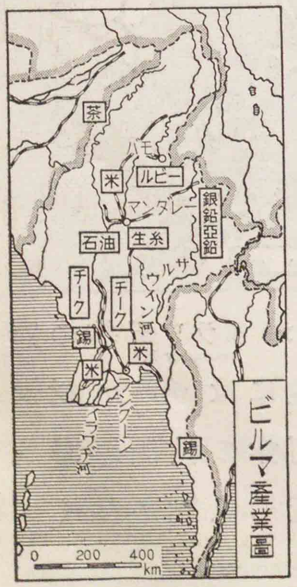
氣候は熱帶季節風帶に屬し,一般に夏は雨期となり,冬は乾期となる。氣溫は一年中變化が少く,夏の雨期よりも4月または5月が最も暑い。

住民はインド支那族と總稱され,東部にアンナン人,中部にシアム人,西部にビルマ人があり,南部のマレー半島にはマレー人が多い。支那人は各地に居住して商業及び勞働に從事し經濟上の實權を握る。インド文化·支那文化及びマレー文化の接觸地帶に當り**宗教**は佛教に次いでマホメット教が行はれる。

第二節　各　說

I　イギリス領インド支那

面積81萬方km　人口1700萬



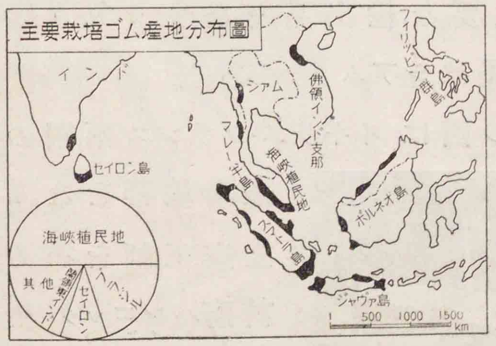
ビルマ產業圖

ビルマ(Burma)(緬甸)　もと獨立の帝國であつたが,今は行政上インド帝國の一部を爲し,イギリスは總督を**ラングーン**(Rangoon (34))に置いて治めてゐる。ラングーンはイラワヂ河三角洲の底邊の一頂點を占める貿易港で米·チーク材を輸出する。舊都マンダレー(Mandalay)は內地に於ける商業·交通の中心地であ

る。共に寺院が多く特殊の景觀を呈す。

マレー半島

マレー保護領　マレー半島の南部にあるマレー聯合州(Federated Malay States)とイギリス保護州とから成り,共にイギリスの保護を受けてゐる。**錫**の產が夥しく,附近の產額を併せると,世界總產額の半ばを占める。近時**ゴム***その他の熱帶性作物の栽培が盛大となり,ジョホール(Jehore)州には邦人經營のゴム園が多い。

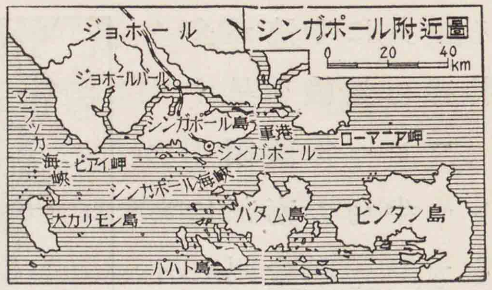


主要栽培ゴム產地分布圖

海峽植民地(Straits Settlements)　マレー半島の南西岸に散在するシンガポール(新嘉坡)·マラッカ(Malacca)·ペナン(Penang)その他を含む。イギリスはこれ

* 世界のゴムはもとコンゴー及びアマゾンの森林に自生するゴムの木から採取せられてゐたが今では世界のゴムの大部分は栽培ゴムとなりマレー半島及び附近はその主要產地となつた。

を直轄領とし,總督を置いて治める。

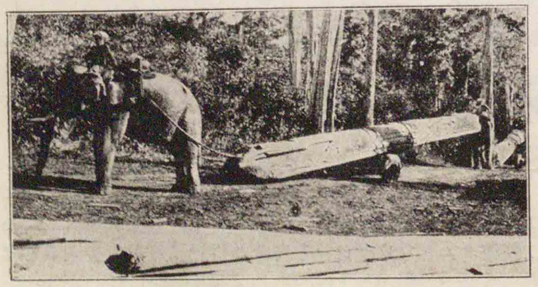


シンガポール(Singapore (35))はマレー半島の南端にある同名の島に發達した港市で,世界交通の要衝に位し通過貿易が盛んに行はれる。錫・ゴム・香料等の集散が多い。軍港としても著れ,イギリスは最近しきりにその防備に努めてゐる。マラッカ・ペナンと共に我が汽船の寄港地である。

II シアム(暹羅)(Siam)

面積52萬方km 人口1006萬

メーナム河が國の中央を流れてシアム灣(Gulf of Siam)に注ぐ。チーク材と米とは主要な輸出品をなす。象・水牛の飼養が多い。**住民**はシアム人である。


チーク材の運搬 象はチーク材の運搬に必要な動物である

この國はイギリス・フランス兩國の**緩衝地帶**をなし,立憲王制を布く。**首府**バンコック(盤谷)(Bangkok (93))はメーナム河に跨り水都とし

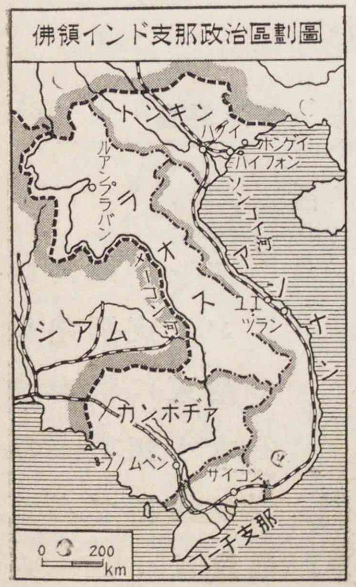
て知られ,河口のパクナム(Paknam)を外港とする。尖塔を持つ寺院と蛋民とはこの地に於ける特殊の文化景觀である。*我が國はこの國から米・チーク材を輸入し,綿製品その他を輸出する。

シアム略圖

III フランス領インド支那

面積74萬方km 人口2150萬

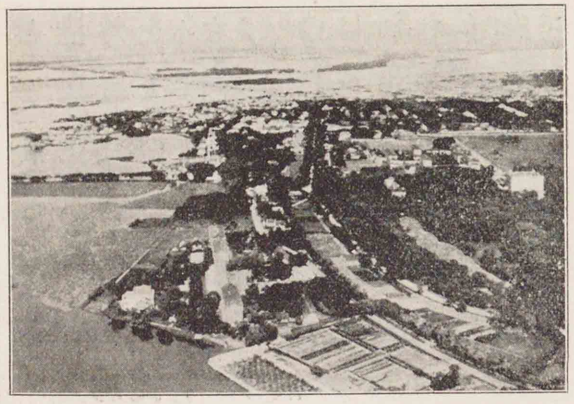
コーチ(交趾)支那(Cochin China)植民地とトンキン(東京)(Tongking)・アンナン(安南)(Annam)・カンボヂア(東埔寨)(Cambodia)・ラオス(老撾)(Laos)の四保護領とから成る。**住民**は主としてアンナン人で,支那文化の影響を受けてゐる。



山地からはチーク・紫檀・黑檀等の良材を產し,フランスは綿・甘蔗・煙草・コーヒー・ゴム・カカオ等の栽培を土人に奬勵してゐるが,現在最も重要な產物は**米**で,その產額の半ばを輸出し,我が國もこれを輸入す

* 嘗て我が山田長政は王室の爲に武功をたてた今は互に通商條約を結ぶ。

る。サイゴン米・トンキン米の名が著れてゐる。

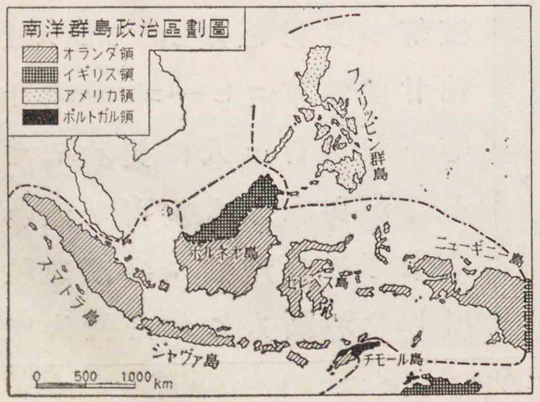


ハノイ市　フランス人街は近代的な施設を有し學校・博物館・植物園等がある

首府ハノイ(Hanoi)(河内)はソンコイ河三角洲のほぼ頂點にあつて,フランス領インド支那の總督がゐる。河口のハイフォン(Haiphong)(海防)はその外港である。附近のホンゲイ(Honguey)(鴻基)は無煙炭を出し,我が國に輸入せられる。

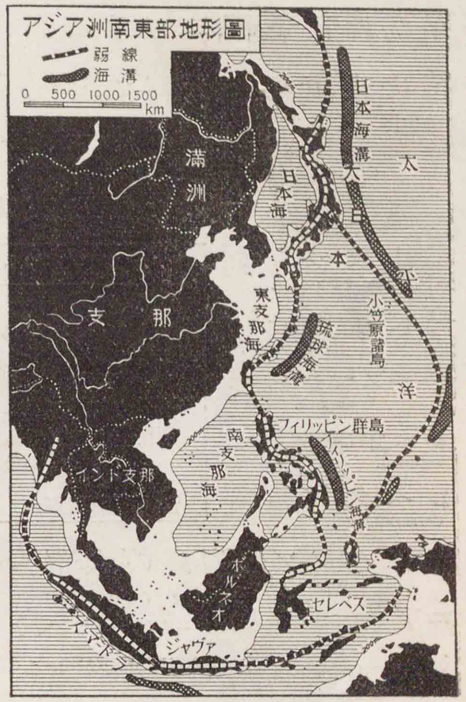
第六章　マレー諸島 (南洋群島)
Malay Archipelago

第一節　概　説

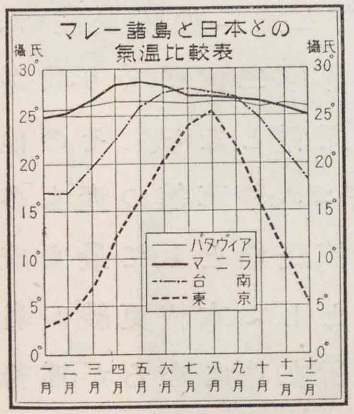


マレー諸島はインド支那半島の南東に散布する大小無數の島嶼の總稱である。**住民**はマレー人(Malays)種が最も多く,主として

マホメット教を奉じ,文化の發達段階が低く支配階級は小數のヨーロッパ人である。歷史的關係からオランダは最も大なる部分を領有し,他はアメリカ合衆國・イギリス・ポルトガルに分屬する。



地形は概ね山地または丘陵地である。



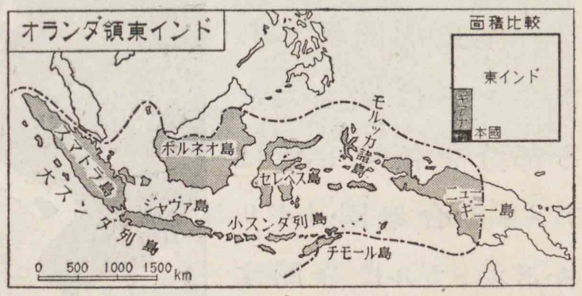
インド支那山系の續きが大褶曲をなし,その弱線に沿つて*火山や地震が多く,ジャヴァ島の如きは100餘座の火山がある。全部熱帶に屬し,氣温が常に高く,年中の較差が殆どない。雨は熱帶驟雨で,一

* ジャヴァ・スマトラ兩島の間にあるクラカタウ島は1883年に大爆發をなし面積が$\frac{1}{3}$となり同時に大津浪が起つて附近の島嶼に及び36000人以上の人と295の村落を滅した。火山灰は風によつて殆ど全地球上にひろがつた。

年がほぼ乾・雨の二季に分たれる。植物が繁茂し特に火山島に豊富である。

第二節　オランダ領東インド

面積190萬方km　人口5365萬



大スンダ列島(Greater Sunda Is.)に屬するジャヴァ(Java I.)・スマトラ(Sumatra I.)・ボルネオ(Borneo I.)(南部)・セレベス(Celebes I.)等の諸島に小スンダ列島(Lesser Sunda Is.)の大部分・モルッカ諸島(Moluccas Is.)及びオセアニア洲にあるニューギニー島の西半を合して*オランダ領東インドといふ。

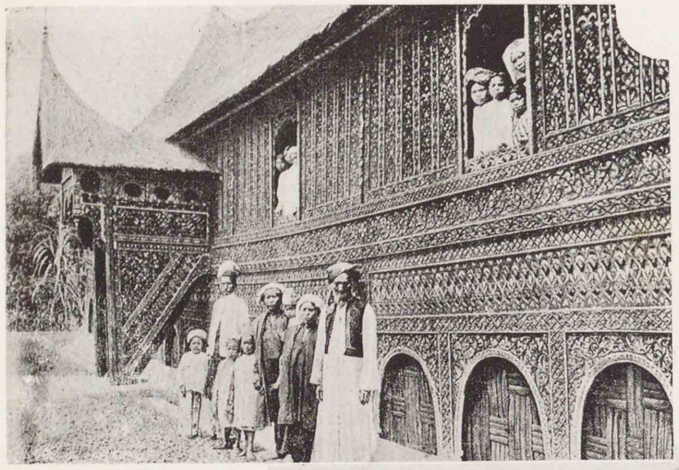
▲**ジャヴァ島**は附近のマヅラ島(Madura I.)と共に地味豊饒・人口稠密で,**甘蔗糖**の產額は世界第二位にあり,我が國へも輸入せられて精糖の原料となる。その他規那(產額世界第一)・米・タピオカ・コヒー・茶・ゴム・煙草等の產も多く强制勞働制度による栽培植民地として最も成功した好例である。工產物として木綿更紗が名高い。**バタヴィア**は總督府の所在地であるが,總督

* 全面積は我が帝國の約3倍に當りオランダ本國の60倍に及ぶ。
▲ 第19世紀の初めからオランダは强制勞働によつて土人をして熱帶植物の栽培を行はしめ大いに成功して今日はオランダの寶庫と稱せられる。

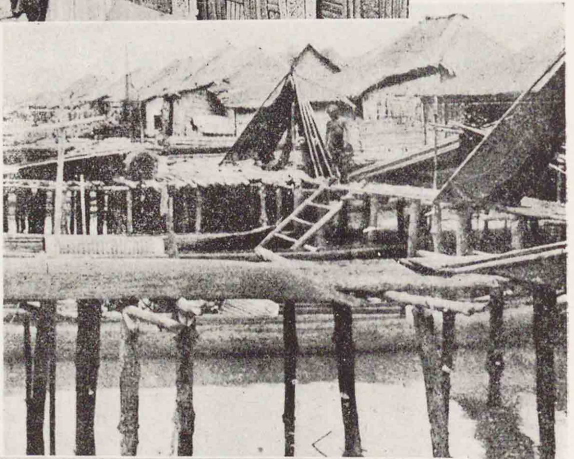
バタヴィアの埠頭タンジョンプリオクの俯瞰（ジャヴァ）

ジャヴァ婦人の更紗かき（ジャヴァ）

開化せるマレー人種（ジャヴァ）



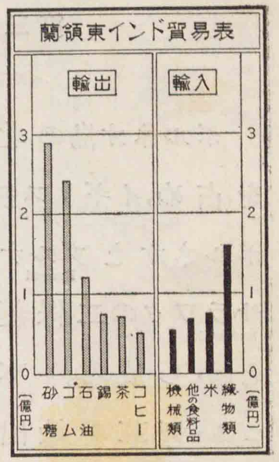
富有階級の家屋（スマトラ）
スマトラ島北西部山地の



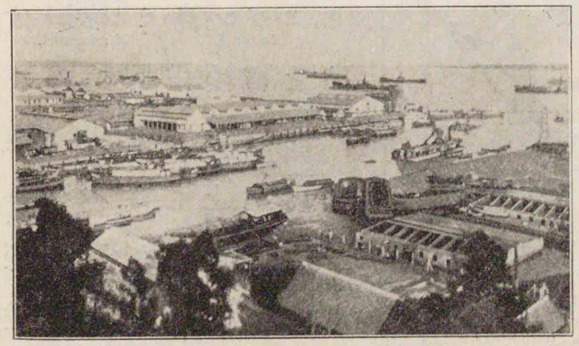
ボルネオ土人の水上家屋（ボルネオ）

マニラ港の埠頭（フィリッピン）

は常は植物園で名高い**ボイテンゾルグ**(Buitenzorg)に居る。また**サマラン**(Samarang)**・スラバヤ**(Surabaya)と共に貿易が行はれ,何れも我が商船の寄航地である。



スマトラ島は**石油**を産し,我が國へ輸出せられる。ゴム・煙草の栽培もある。マレー半島の續きであるバンカ(Banka I.)・ビリトン(Biliton I.)の二島は錫を産することが多い。**ボルネオ島**は世界第三の大島で未開拓の處が多く,石油・金・胡椒・ゴム・燕窩(海燕の巣で支那人の愛好するもの)等を輸出する。**セレベス**[*]島はコヒー・椰子油・籐を産し,近海からは鼈甲・眞珠貝等を出す。マカッサル[▲]はその商港である。**モルッカ諸島**は香料諸島とも稱し,各種の香料を産する。チモール島(Timor I.)の一部はポルトガル領である。



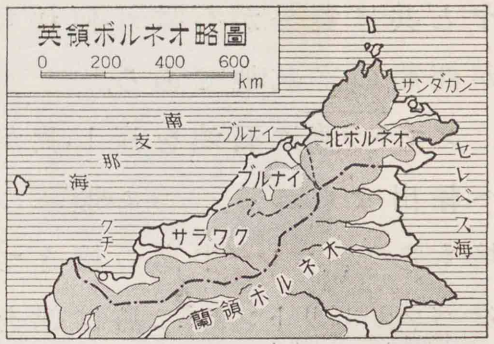
スラバヤ港　砂糖の輸出に著れ我が領事館がある

* ボルネオ島とセレベス島との間には深い海があつてワレス線と稱しアジアとオーストラリアとの動・植物の境界線をなしてゐる。

▲ 丁字・肉荳蔲(ニクヅク)・胡椒・肉桂等を産しアンボイナから輸出する。

第三節 イギリス領ボルネオ

面積19萬方km 人口90萬

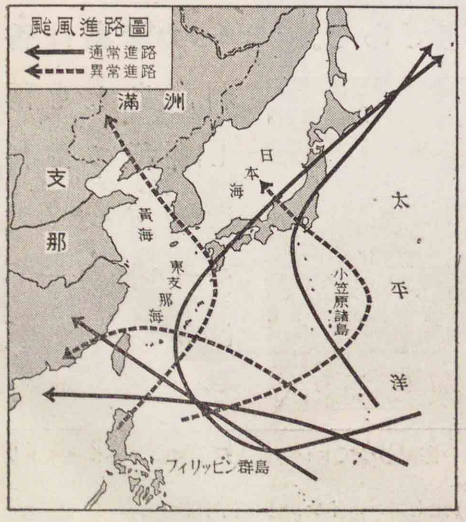


ボルネオ島の北部を占め,イギリス領北ボルネオとブルナイ(Brunei)・サラワク(Sarawak)の二保護領とから成る。木材・ゴム・煙草を輸出する。北ボルネオの首府をサンダカン(Sandakan)と云ひその南方のタワオ(Tawao)には邦人經營の農園がある。

第四節 フィリッピン群島

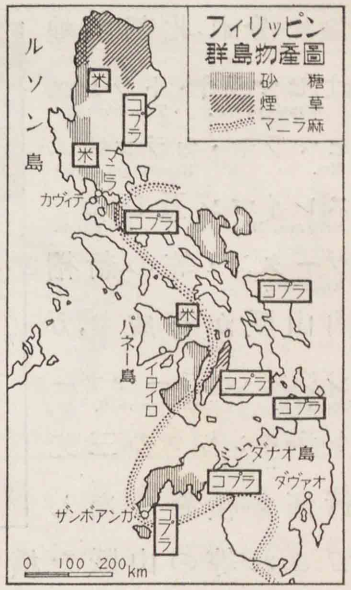
Philippine Is.

面積30萬方km 人口1200萬



アメリカ合衆國に屬し,ルソン島(Luzon I.)・ミンダナオ島(Mindanao I.)を初め山勝の多くの島嶼から成る。地體構造上ではバシー(Bashi Chan.)海峽を隔てて我が臺灣に續く。**氣候**は暖濕で近海は屢,我が國や支那を襲ふ**颱風**の

發生地として知られてゐる。



主要な產物は**マニラ麻**(Manila Hemp)・煙草・砂糖・コプラ等であつて,**首府**マニラ(Manila)から輸出する。太平洋橫斷の海底電線はマニラに起りグヮム島を經て北アメリカの西岸に達する。附近のカヴィテ(Cavite)はアメリカ海軍の根據地である。ダヴァオ(Davao)附近には邦人が多い。

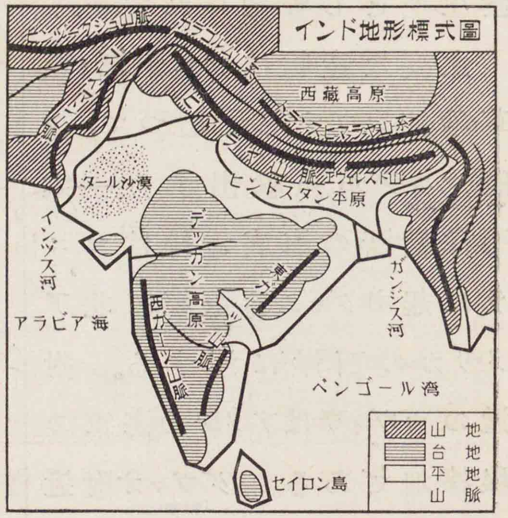
第七章 インド(印度)

India

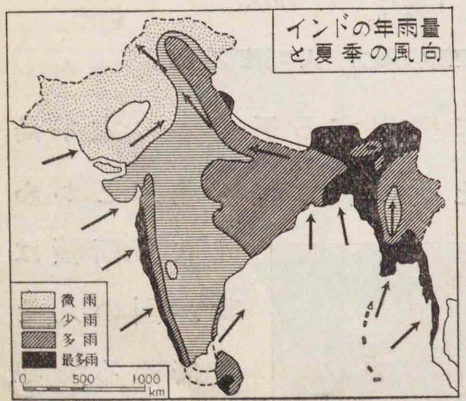
面積430萬方 人口3億1200萬

地文 インド洋(Indian Ocean)中に突出する三角形の大半島とその北に續く地方とから成立ち,面積は我が國の凡そ6倍ある。地形上から北部山地・中央低地・南部高原の三

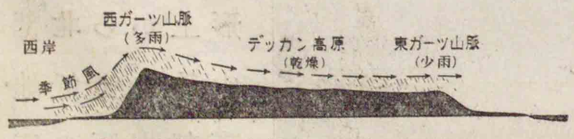
ヒマラヤ山系 エヴェレスト・カンチンジャンガ等の如き高峰が連る



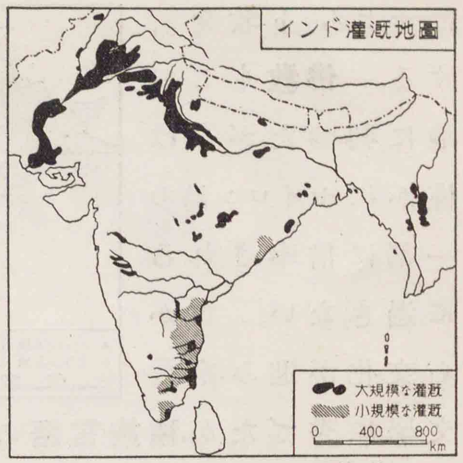
つに分れ,北部山地はヒマラヤ(Himalaya Mts.)・トランス(Transhimalaya)ヒマラヤ・カラコルム(Karakoram Range)・スレイマン(Sulaiman Mts.)及びヒンヅークシュ(Hindu Kush Mts.)等の新褶曲山脈から成り,ガンジズ(Ganges R.)・ブラーマプートラ(Brahmaputra R.)・インヅス(Indus R.)の三先行河が横谷をなしてこれ等の山脈を横切り,中央低地たる**ヒンドスタン**(Hindustan)の沖積大平野に出る。ヒマラヤ山脈には世界最高の**エヴェレスト山**(Mt. Everest)がある。



南部の**デッカン高原**(Plateau of Deccan)は熔岩臺地を含む古い地塊から成り,西端に西ガーツ山脈(Western Ghats Mts.)があり,アラビア海(Arabian Sea)に面して急斜する。河流は西ガーツ山脈から發し



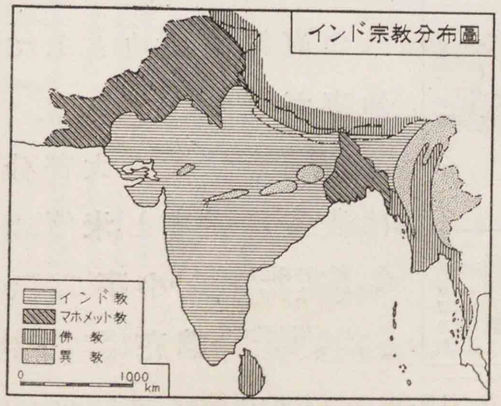
南西季節風と地形及び雨量の關係



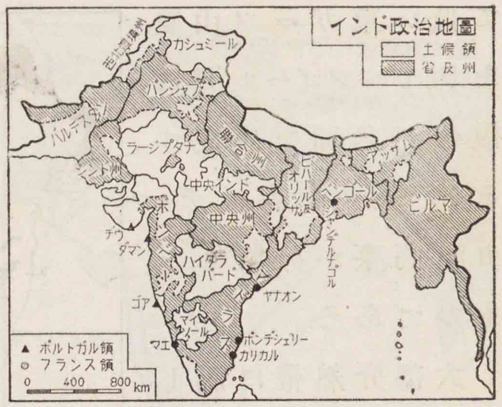
て低い東ガーツ山脈(Eastern Ghats Mts.)を切りベンゴール灣(Bay of Bengal)に複合三角洲を形成する。**セイロン島**はデッカン高臺が分離したものである。

大部分熱帶に屬し,**氣候**は炎熱であるが,夏季は南西季節風がインド洋の濕氣を持來して*雨期となり,冬は反對の季節風が吹いて乾期となる。北西部のインヅス河の流域は季節風の區域外にあつて年中雨が少くタール沙漠(Thar Desert)を形成する。

住民·政治 最も多いのは北西から侵入したヒンヅー族(Hindus)で,ヒンヅー教(Hinduism)(インド教)を奉じ,原住民であるドラーヴィダ族(Dravidians)はデッカン高原の中央に住んで自然教(異教)を奉ずる。北部のイラン族



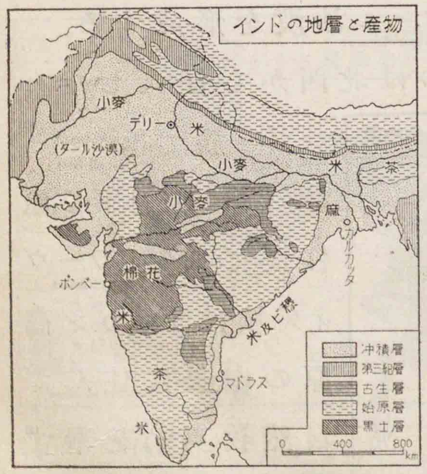
* アッサム州及びベンゴール州の如きは世界最多雨地の一つである。



インド政治地圖

はマホメット教を信ずる。**佛教**もこの地に興つたが今は僅かにセイロン島の一部に信奉されるに過ぎない。古から文化が進み宗教・文學に秀でたが,**種族・言語**の多様と**階級**の別とは統一を困難にし,イギリスの支配下に立つに至つた。

イギリスはインド・ビルマ・バルチスタン(Baluchistan)を併せて*インド帝國と稱し,イギリス王はインド皇帝を兼ね總督を派して治めさせる。セイロン島は別にイギリスの直轄植民地として知事が置かれてある。

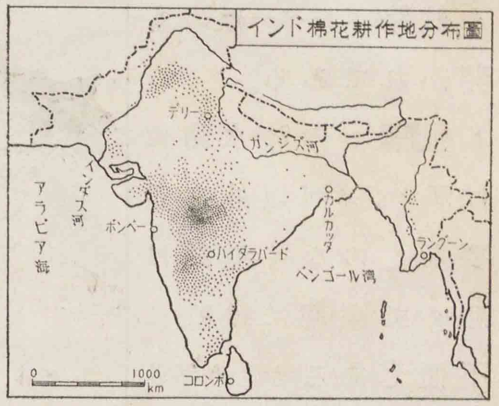


インドの地層と産物

産業　住民の大部分は農業に從事し,**米**(ガンジズ河谷及び東・西兩海岸の水利の便のよい沖積平野)・**小麥**(パンジャブ地方とガンジズ河中流の雨量の少い部分)・**棉花**(デッカン高原の黑土層)・

* 國内は直轄州と藩屬地とに分れ前者は總督の任命する知事が治め後者は舊來の土侯がイギリスの駐在官の監督を受けて治める近時次第に國民が覺醒して來て獨立の氣運が濃くなり上・下兩院から成る議會も設けられるに至つた。

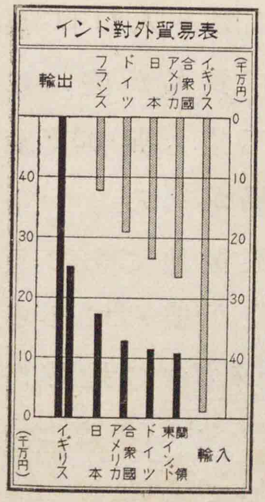
黃麻(ガンジズ河下流地方)・**茶**(アッサム地方及びセイロン島の傾斜地)・コヒー(南部地方とセイロン島)・甘蔗・煙草・油實・藍・阿片等の産が多い。



インド棉花耕作地分布圖

牛・山羊の飼育も盛んに行はれ,牛は食用よりも農耕・運搬に使用せられることが多く,牛皮の産も夥しい。

鑛産にはデッカン高原に石炭・金・鐵等があり,セイロン島からは石墨が出る。原料と勞力が豊富な爲**工業**は次第に盛大となり,綿絲紡績・黃麻紡績等が興つてゐる。

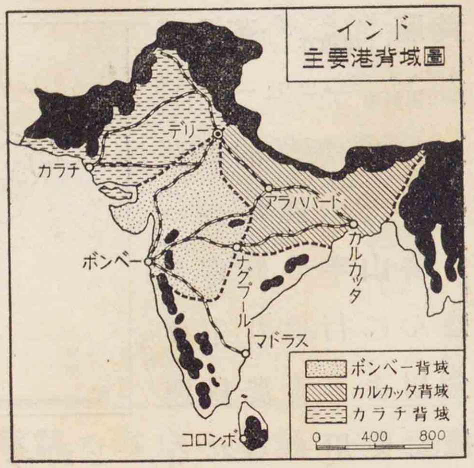


インド對外貿易表

外國貿易も盛んで,黃麻・棉花・米・油實・茶・皮革等を輸出し,綿製品・金屬・機械器具・砂糖・石油等を輸入する。我が國は*棉花・鐵・黃麻等を輸入し,綿布・メリヤス・絹織物・綿絲・雜貨を輸出する。我が歐洲航路の汽船はコロンボに寄航する。カルカッ

* デッカン高原の北西部は火山質の土壤に被はれ濕氣の固執力が強い爲インドの乾期に於ける棉花の栽培を可能にする。我が輸入棉花の約半ばはインド棉花でそれはインドの産額の3割に當る。我が綿製品のインドに行くことは英本國のものよりも多い。

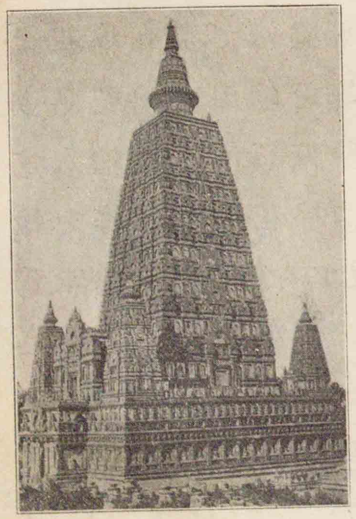
タ航路・ボンベー航路も開かれてゐる。



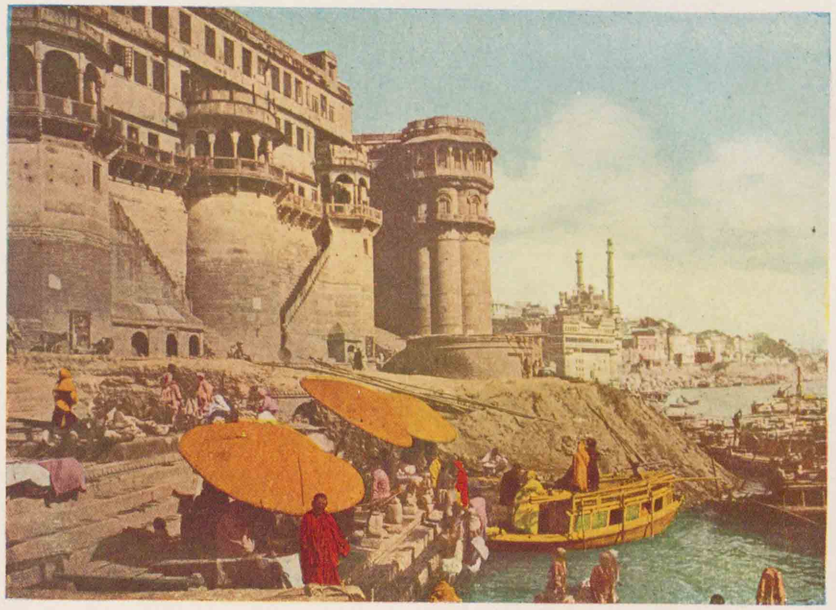
都邑　内陸水路にはガンジズ河以外に重要なものなく,道路は悪くて雨期には殊に不便であるが,イギリスの大なる努力により多くの**鐵道**が敷設されて商業が盛大となり,主要都市の多くはそれに沿つて興つた。

カルカッタ(Calcutta)はガンジズ河の一分流に臨み,人口113萬,豐沃な背域を控へて貿易が盛んに行はれ,近時工業も興り,黄麻紡績の大工場がある。パトナ(Patna)は米の大集散地であり,且つ阿片の製造が盛んである。その南にブッダガヤ(Budhagaya)の遺跡がある。西方のベナレス(Benares (20))はヒンヅー教の聖地である。

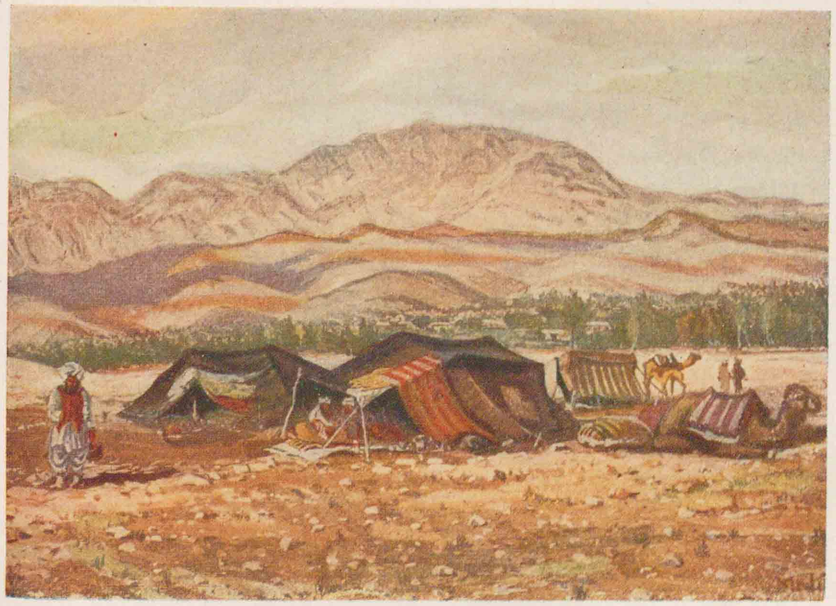
ブッダガヤ　釋迦成道の菩提樹の傍にある大塔



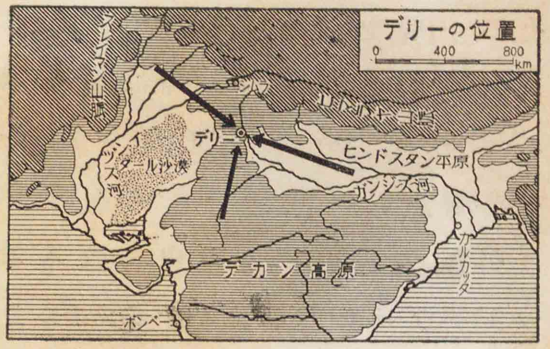
デリー(Delhi (30))はインヅス・ガンジズ兩河の分水界に近く位し,シム(Simla)



ベナレスに於けるヒンヅー教徒の沐浴　(インド)



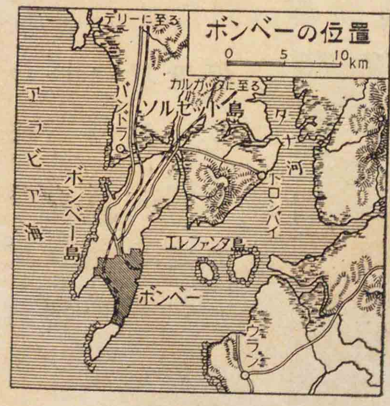
カブール附近に於ける遊牧民の宿營　(アフガニスタン)



ラの好避暑地を控へて1912年以來インド帝國の首府となり總督(大守)が駐在してゐる。

パンジャブ地方(Punjab)にはラホール[*](Lahore),**カシュミール山間盆地**(Kashmir)にはスリナガル(Srinagar)の都邑がある。インヅス河の三角洲にあるカラチ(Karachi)は小麥の輸出に知られてゐる。

ボンベー(Bombay)(孟買)は東部のカルカッタ(Calcutta)に相對して鐵道の大中心を爲し,人口118萬,この國第一の都市である。綿の輸出が盛んに行はれ,近時綿絲紡織が興つた。南東岸のマドラス(Madras)(53)はイギリス人が最初に占領した根據地で皮革・綿を輸出する。



セイロン島(Ceylon I.)(錫蘭)と本土との間には珊瑚礁から成るアダム橋があつて,鐵道は

---

* ラホールはパンジャブ地方の中心で小麥の産が多くスリナガルはカシュミール地方の中心でカシュミール織を産する。その西方のペシャワルはアフガニスタンに通ずるカイバー越を控へて嚴重な要塞がある。

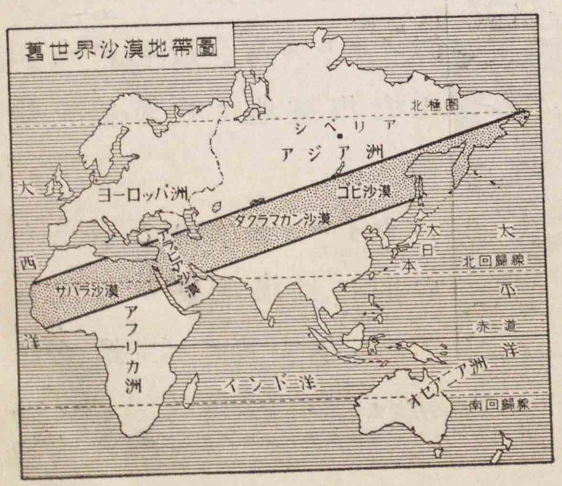
その一部を渡船によつて渡る。**コロンボ**(Colombo (24))はセイロンの首府で,海運の要衝に當り,本島で產する茶・ゴム・コプラ・椰子油及び石墨を輸出する。西側のマナール灣(G. of Manar)からは眞珠を產する。

外國領　植民の歷史を語るポルトガル領ゴア(Goa)・ダマン(Daman)・ヂウ(Diu)及びフランス領ポンヂシェリー(Pondicherry)・シャンデルナゴール(Chandernagore)・ヤナオン(Yanam)・カリカル(Karikal)・マエ(Mahe)等の小地域がある。

ネパール(Nepal)・ブータン(Bhutan)　共にヒマラヤ山中にある小獨立國で酋長が治める。牛皮革・阿片・米・玉蜀黍等を產する。イギリスの勢力範圍に屬する。

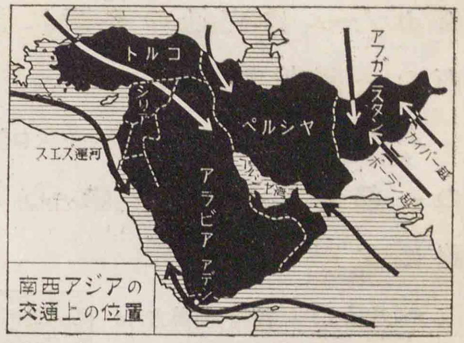
第八章　南西アジア

第一節　概說



舊世界に於ける乾燥地域のほぼ中間を占める地方で,自然・人文共に乾燥地特有の景觀を現す。北部にはスレイマン(Sulaiman Mts.)・ヒンヅークシュ・

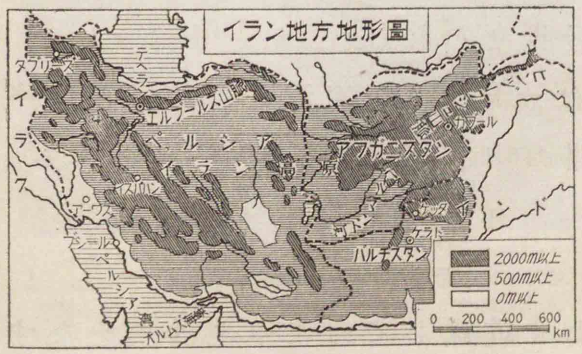
エルブールヅ(Elburz Mts.)等の若い褶曲山脈に抱かれるイラン高原(Plateau of Iran)と小アジア高原(Plateau of Asia Minor)とがあり,南部には古いアラビア高原(Plateau of Arabia)があつて,その間に**チグリス**(Tigris R.)**・ユーフラテス**(Euphrates R.)**兩河**の灌漑する平原がある。



住民はイラン族(Irans)・トルコ族(Turks)・アラビア族(Arabs)等分布が複雜であるが,その多くはマホメット教を奉ずる。嘗て勢力を振つたトルコに代つて今日はイギリスの勢力が強い。本地方は經濟上の價値は少いが,古から東西交通の要衝に當り,政治・軍事上重大視され,近世は英・露間に幾度か紛爭の的となつた。

第二節　地方誌

I　イラン地方(Iran)

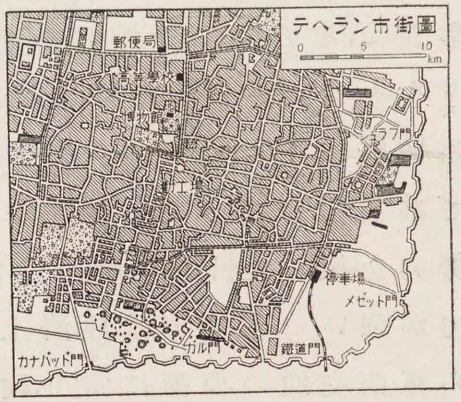


アフガニスタン(Afghanistan)(面積63萬方km　人口700萬)イラン高原の北東部に位する王國で高山が多く,首

府カブール(Kabul)は交通の要路に當り,インドに對する北西の一關門である。

バルチスタン(Baluchistan)(面積14萬方km 人口38萬)行政上インド帝國の一部をなす。インドからアフガニスタンに至る通路にケッタ(Quetta)がある。

ペルシア(Persia)(面積164萬方km 人口900萬) 立憲王國であるが,イギリスの勢力が強い。大部分沙漠・草地をなし,羊・山羊・駱駝等の遊牧が行はれ,名高いペルシア絨毯(Persian Carpets)の產がある。緣邊の山脈の麓や河谷には灌漑によつて米・綿・煙草・阿片等の耕作が行はれ,北部では養蠶も行はれる。近時**メソポタミア平原**(Mesopotamia)に近く豐富な油田が發見せられた。

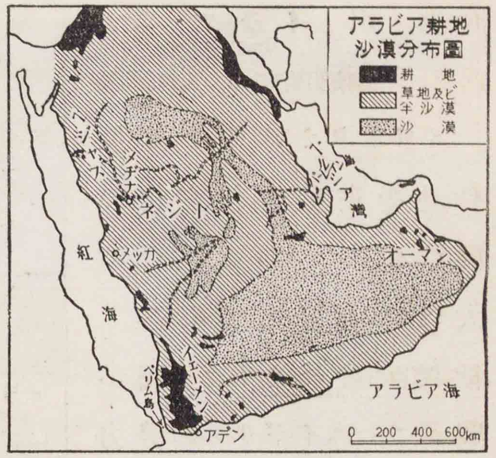


首府テヘラン(Tehran)はマホメット教國特有の城壁と迷路とを持ち,隊商路の中心で外港をブシール(Bushire)といふ。

II アラビア
Arabia

面積260萬方km 人口700萬

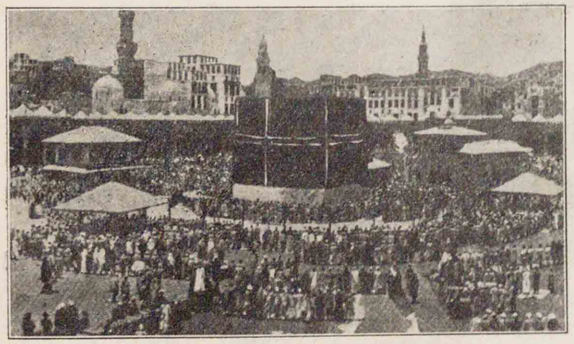
氣候が甚だしく乾燥してゐて草地沙漠をなす



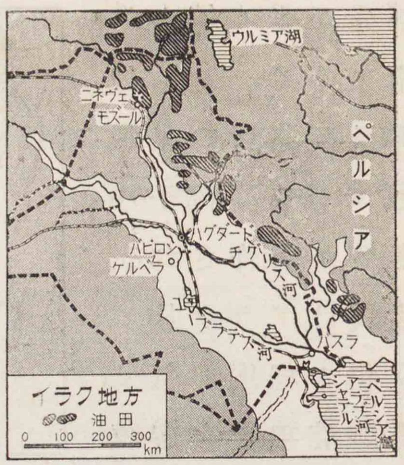
部分が多く,僅かに南東のイェーメン(Yemen)地方及び諸所の泉地でコヒー・棗椰子・小麥等が耕作される。**住民**は*アラブ族で文化の程度が低く,馬・駱駝・羊等を**遊牧**し,性質が慓悍である。幾多の酋長國に分れ概ねイギリスの保護を受ける。ネジド(Nejd)と,オーマン(Oman)酋長國とが最も優勢である。

メッカ(Mecca (8))はマホメット教主マホメットの生地で,メヂナ(Medina)はその墳墓の地である。共に巡禮者が多い。西南隅の▲イギリス領アデン(Aden)は紅海の入口を扼し,交通の要路に當る。

メッカの寺院 中央の黑いものの中にマホメット教徒の最も神聖視する隕石がある



* 今から約1000年前は東・西兩世界の中間に居つて通商貿易の利を占め文化も發達しマホメット教も興つたがその後統一を失ひ今は幾多の酋長國に分れた。
▲ ペルシア灣内のバーレイン諸島もイギリス領で眞珠を產する。



III　イラク
Iraq

面積30萬方km　人口330萬

メソポタミア（河間地の意）平原の地を占め,古代文化の興つた所であるが,今は大いに荒廢してゐる。

世界大戰後イラク王國が興つたが,イギリスの勢力が強い。河川の近くでは綿・小麥・煙草等の栽培が行はれ,また棗椰子の產が多い。北部には油田がある。バグダード(Baghdad)鐵道(Railway)は小アジアより來り首府*バグダード(Baghdad)を經て,ペルシア灣(Persian Gulf)頭のバスラ(Basra)（バソラ）港に達する。

バグダード チグリス河と土人の草舟

IV　シリア諸國
Syria

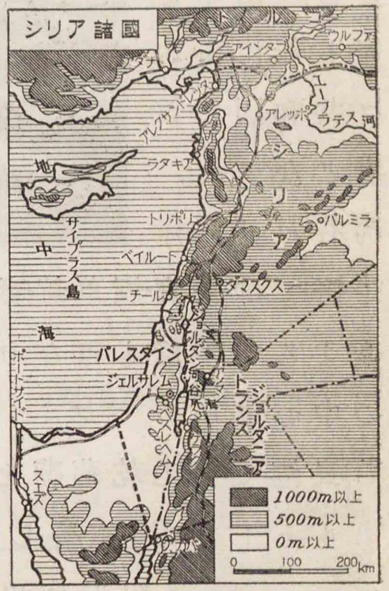
面積26萬方km　人口335萬

地中海の東岸に沿ひ,山地及び臺地から成り,南方のジョルダン河谷(Jordan Valley)はアフリカに續く地溝帶の一部をなす。この河谷中の死海(Dead Sea)は海面下約400mにあつて鹽分が多く,魚類を產しない。

---

* バグダードはアラビアンナイトで名高くその南にバビロンの遺跡がある。またチグリス河上流のモズールは黑海からペルシア灣へ出る通路と地中海からカスピ海へ出る通路の交る所でその對岸にはアッシリアの古都ニネヴェがある。

死海斷面（普通の海水の鹽分は3.5%であるのに、死海のは約2[illegible]%である）

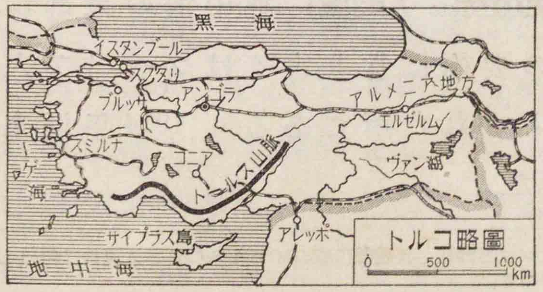


シリアはフランスの委任統治を,パレスタイン(Palestine)はイギリスの委任統治をうける。その東にケラク(Kerak)（トランスジョルダニア）がある。パレスタインの首府ジェルサレム(Jerusalem)は地壘の上にありキリスト(Christ)の墳墓がある。

V　トルコ
Turkey

面積74萬方km　人口1280萬

海岸地方は適度の雨がある爲に森林があるが,



内部の高原は氣候が乾燥して草地を爲し,羊・山羊等の牧畜が行はれる。アンゴラ(Angora)（ア

ンカラ)は臺地の中央にあつて良質の山羊を產し,新にトルコ共和國の首府となつた。河谷及び海岸平野では果實·煙草·綿·麥類等を產する。養蠶も可なり行はれ,ブルッサ(Brusa)は生絲工業の中心である。スミルナ(Smyrna)(イズミル)はエーゲ海(Ægean Sea)に臨む良港で,羊毛·乾葡萄を輸出する。

スミルナ港 ヨーロッパトルコにあるイスタンブールに次ぐ第二の港市

もとドイツの經營した**バグダード鐵道***はスクタリ(Scutari)(ユスキュダル)の附近に起り,トールス山脈(Taurus Mts.)を橫切り,ペルシア灣に達するもので,世界大戰後はイギリス·フランスが主としてこれを管理し,大部分落成した。

サイプラス島(Cyprus I.)(面積9000方km 人口31萬) 地中海の東部に位する軍事·交通の要衝に當り,古くはフェニキア人(Phoenicians)によつて植民地とされた所である。1914年以來イギリス領となつた。

* バグダード鐵道はドイツがトルコと密約して建設に從ひイギリスのスエズ運河に對抗して東洋に發展せんとしたものである。

第九章 アジアロシア
Asiatic Russia

面積1668萬方km 人口3625萬

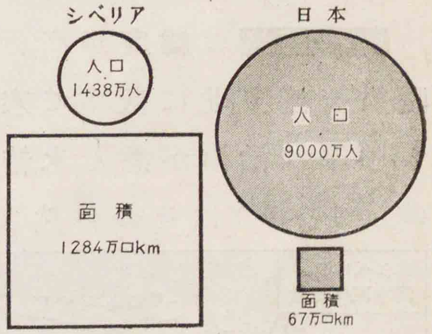
アジアロシアは支那の北及び西に連つてゐるロシア(ソヴィエット社會主義共和國聯邦)の領土であつて,面積はアジア洲の約4割を占め,地形上シベリア·中央アジア·コーカシアの三部に分れる。

第一節 シベリア
Siberia

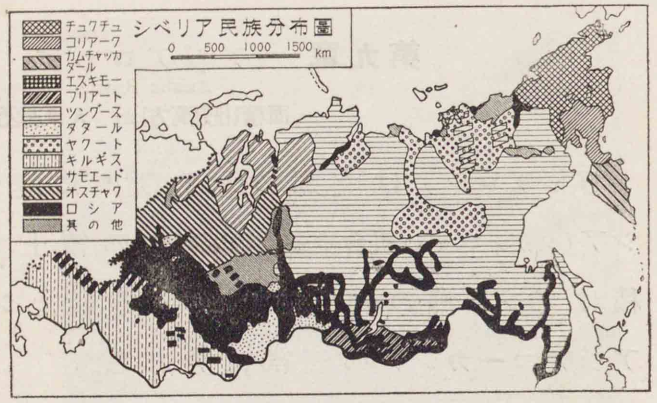
面積1284萬方km 人口1438萬

境域·開發 アジア洲の北部を占め,東はベーリング海峽(Bering Strait)を隔ててアメリカ大陸に對し,西はウラル山脈(Ural Mts.)によつてヨーロッパロシアに境する。

シベリアと日本との面積人口比較

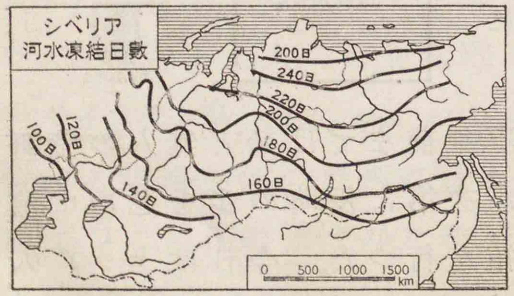


この地は今から350年前までは殆ど無人の荒野であつたが,ロシアが次第に侵略の步を進めて,流刑植民地として開拓を行つた。今日はロシア人の移住者が多く,大部分は鐵道沿線に住む。土人は少く,且つ文化の程度が低い。ツングース(Tunguses)·タタ(Tatars)

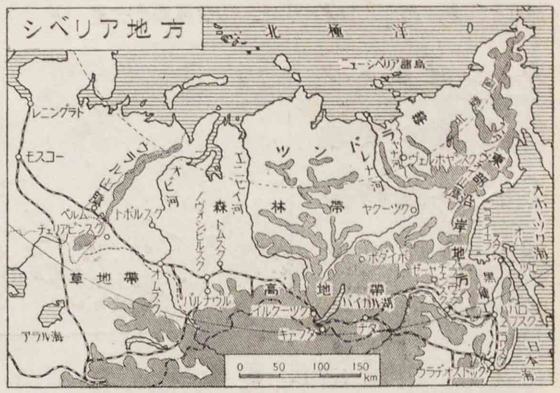


ール(蒙古)及びその一派ブリアート(Buriats)・ヤクート(Yakuts)・サモエード(Samoyedes)・キルギス(Kirghiz)等の諸族が住む。世界大戰後一時本國の政令が行はれず,各地に獨立共和國をたてるものがあつたが,今はソヴィエット聯邦の下に統轄されてゐる。

産業・都邑 緯度が高い上に地形が南に高くて暖風を遮り,北に低くて寒風に開放されてゐるから,冬*季は沿海が悉く氷結して不凍港は一つも無い。シベリアはその自然と産業との關係から,ツンドラ帶・森林帶・草地帶・高地帶及び東部沿岸地方の五地域に分つことが出來る。



* レナ河の下流附近は世界の寒極と稱せられヴェルホヤンスクの年平均氣温は零下16.°3で1月の平均氣温は零下50.°5であるが7月の平均氣温は15.°4であつて我が本州の4月の氣温に等しい。



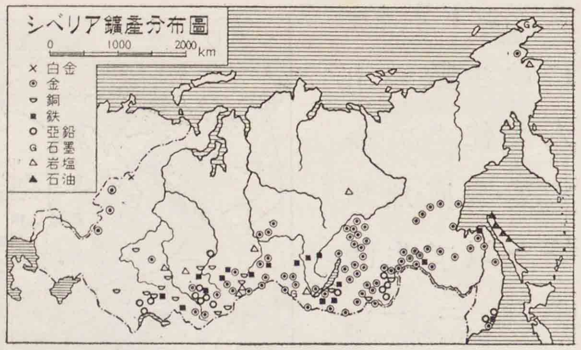
ツンドラ(凍地)(Tundra)には少數の土人が住んでゐて,熊・馴鹿・魚類等を以て生活する。ニューシベリア諸島(New Siberian Is.)及びレナ河(Lena R.)下流附近からはマンモス象の牙が採られる。

森林帶*(タイガ)(Taiga)は世界で最も多く毛皮・獸皮を出す地帶で狐・貂・狼・熊等が多い。ヤクーツク(Yakutsk)が集散地である。西部のウラル山脈も森林に被はれ,金・白金を産する。ペルム(Perm)はその中心である。

草地帶(ステップ)(Steppes)は主として西部のオビ河(Obi R.)上流の地方をいひ,**黒土**(Black Soil)と稱する肥沃な土壤があり,雨量も可なりあるので,農業がよく行はれる。トムスク(Tomsk)・オムスク(Omsk (18))はその中心

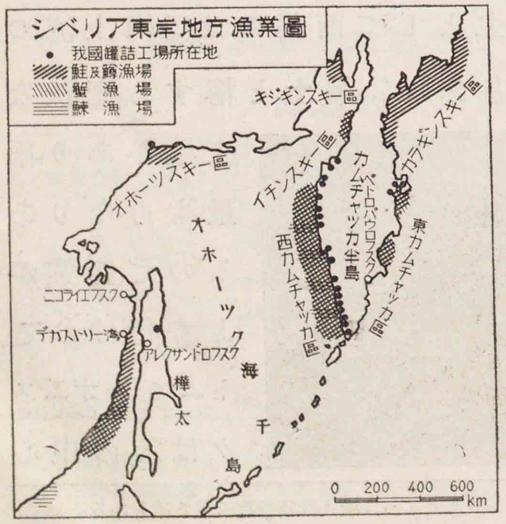
シベリアの平原 白樺の林と整つてゐない道路と馬車

* 世界最大の針葉樹林帶で西に延びてヨーロッパに續き近時耕地になる所もある。



地である。**ノヴォシビルスク**(Novosibirsk (12))は交通の要地を占め,近時急速に發展した都市で,西部シベリアの政治·商業の中心地である。

高地帶は最南部にある山嶽または高臺から成立ち,鑛物の產に富み,金(ゼーヤ·ボダイボの金鑛)·石炭·石墨を產する。**イルクーツク**(Irkutsk (10))はエニセイ(Yenisei R.)河の一支流に沿ひ,この地帶の中心都市である。黑龍江に臨むブラゴヴェシチェンスク(Blagovyeshchensk)は滿洲の黑河·愛琿との貿易が行はれる。

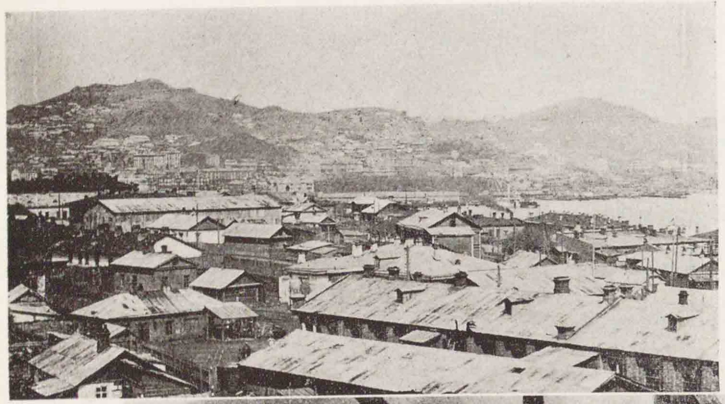


東部沿岸地方はオホーツク海(Sea of Okhotsk)·日本海に面する地方で,カムチャッカ半島(Kamchatka Pen.)より樺太島北部を含む重要な地域である。沿海及び諸河川は,鮭·鱒·鰊·蟹等の漁業が盛んに行はれ,邦

トムスク市街（シベリア）

ヴェルホヤンスク附近の雪景（シベリア）

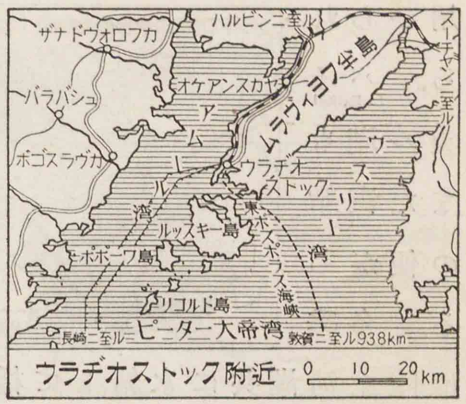
ハバロフスク市街（シベリア）



ウラヂオストック港（シベリア）

カムチャッカに於ける邦人の漁業（シベリア）

レナ河の汽船（シベリア）

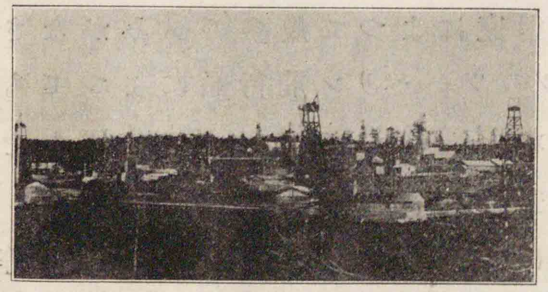


ウラヂオストック附近

人の出漁するものが多い。ペトロパウロフスク (Petropavlovsk)・ニコライエフスク (Nikolayevsk)（尼港）等は漁港として著れ,コマンドル諸島 (Commander Is.) は膃肭獸の繁殖地として名高い。

黒龍江 (Amur R.) の下流に位するハバロフスク (Khabarovsk) は水・陸交通の要衝に當り,政治上の中心地である。

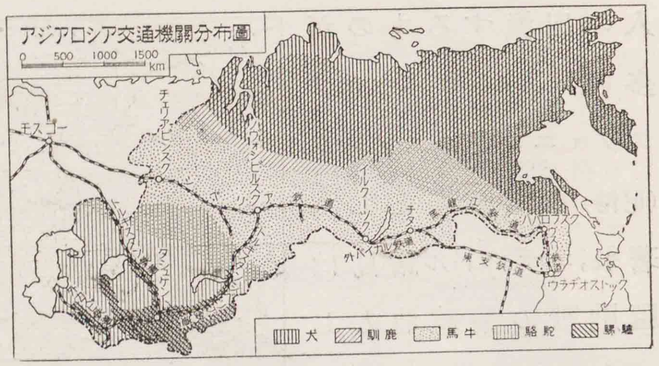
ウラヂオストック (Vladivostok)（浦潮斯德）はシベリアの門戸をなし,シベリア鐵道の終點で,我が敦賀との間に定期船が通つてゐる。*北樺太の主邑を**アレクサンドロフスク** (Alexandrovsk) といひ,邦人が在留する。



オハ油田　我が北樺太石油會社の採油にかかる

交通・商業　域内にはオビ・エニセイ・レナ・黒龍江等の大河が多く,夏季は何れもよい航路となり,特に中流・上流が多く

* 我が國は日露戰爭の結果沿海州に於ける漁業權を得た外に大正7年のシベリア出兵と大正9年の尼港の慘劇の結果北樺太の石油・石炭の採掘權を得た。オハ油田・ヅエ炭坑は最も名高い。



用ひられる。バイカル湖 (L. Baikal) もまた汽船の便がある。冬季は陸上・河湖共に氷結して橇道となる。

但しコーカシア地方を除く

陸上では諸種の家畜が交通機關として用ひられ,鐵道には極東よりヨーロッパ洲への最捷路たる*シベリア鐵道 (Great Siberian Railway) があつて,沿線の開發を促し,シベリアを農業植民地とした。

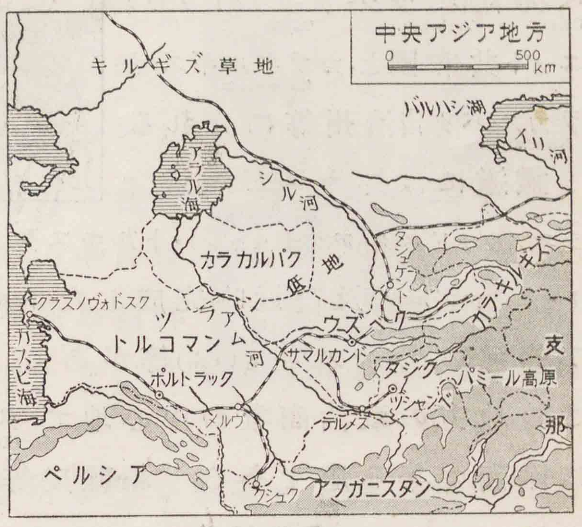
海運は盛んでない。北東航路(スウェーデン人ノルデンシュルドが開いた)は實際上利用されない。歐・亞連絡の航空路も我が國や西歐諸國の飛行家によつて幾多の試みがなされ,最近にはドイツのツェッペリン飛行船によつても航空路が開拓された。シベリアとロシア本國とを連絡する定期航空が行はれてゐる。

貿易は餘り振はない。穀物・毛皮・鑛物・水產物等を輸出し,加工品・製茶等を輸入する。

* シベリア鐵道の東部は外バイカル鐵道・黑龍江鐵道・北滿鐵道等に分れる。軍事上の目的で敷設されたので最捷路を取り多くの都邑が沿線から殘されたが今日は沿線にも新しい都邑が發達した。

第二節 中央アジア
Central Asia

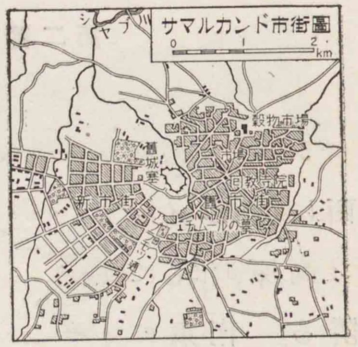
面積350萬方km 人口1330萬



シベリアの南西に接し,イラン高原の北に隣る。南東にパミール高原があり,次第に北西に低下して**ツラン** (Tourane) (トルキスタン)低地・準平原キルギズ草地 (Kirghiz Steppe) となり, その西に世界第一の大湖**カスピ海** (Caspian Sea) (裏海)がある。その水面は海面下26mにある。アム (Amu Darya)・シル (Syr Darya) 兩河はアラル海 (Aral Sea) に,イリー河 (Ili R.) はバルハシ湖 (L. Balkhash) に注ぐ。すべて內陸流域に屬する。

氣候は大陸性で雨量も少く,大部分は貧弱な草地をなし,*キルギズ族が駱駝・牛・羊・馬等を**遊牧**してゐる。河谷の沃地にはトルコ族が定着して農業を勵み,穀物・葡萄・綿等を栽培する。

* 遊牧民と農業民との間には意志の疏通が無く一致の行動に出ることが出來なかつたからロシアはこの地方を比較的容易に征服することが出來た。



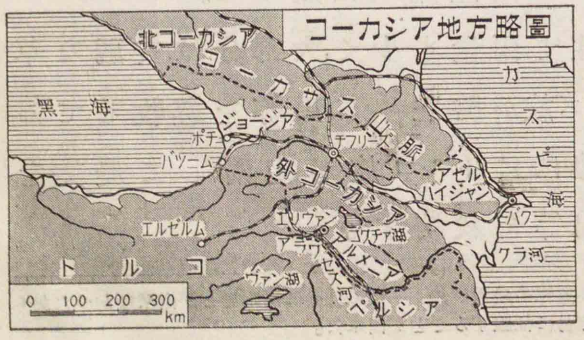
この地方はソヴィエット聯邦の一部をなし,行政上ウズベク(Uzbek)・トルコマン(Turkoman)・タジク(Tajih)のソヴィエット共和國と,カラキルギズ(Karakirghiz)・カラカルパク(Karakalpak)自治州等に分れる。

鐵道には外カスピ鐵道(クラスノヴォドスク・アンヂジャン)・トルキスタン鐵道(タシュケント・オレンブルグ)及び近時完成したトルキスタンシベリア鐵道(トウルクシブともいふ)等がある。**サマルカンド**(Samarkand)はこの地方の政治・商業の中心地で,タシュケント(Tashkent)と共に隊商の集る處である。絹・鞣皮等の産がある。

第三節 コーカシア (Caucasia)

面積47萬方km 人口1300萬

カスピ海と黒海(Black Sea)との間に挾まれた地方で,コーカサス山脈(Caucasus Mts.)によつて南・北に分れる。北部は**北コーカシア**といひ,自治州であつて,南部は**外コーカシア**と呼び,アゼルバイジャン(Azerbaijan)(首府バクー)・アルメニア(Armenia)(首府エリヴァン(Erivan))・ジョージア(Georgia)(首府チフリーズ)の三共和國から成り,合して**トランスコーカシア聯邦**を組織し,首府をチフリーズ(Tiflis (29))に置いてゐる。コーカシア地方の**住民**は極めて複雑で,山中に住むものは古來不屈の精神に富んでゐることを以て知られてゐる。

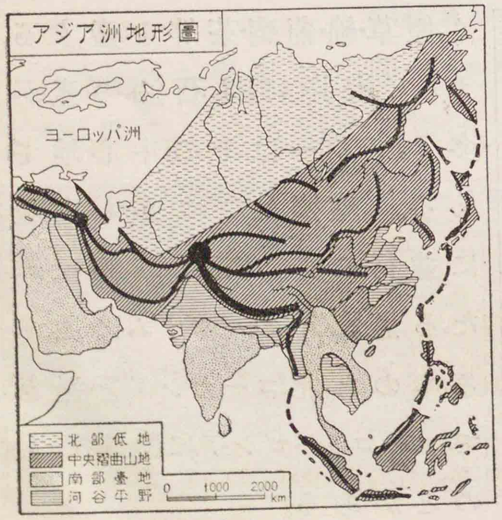


コーカサス人 容貌の秀麗なのを以て知られてゐる

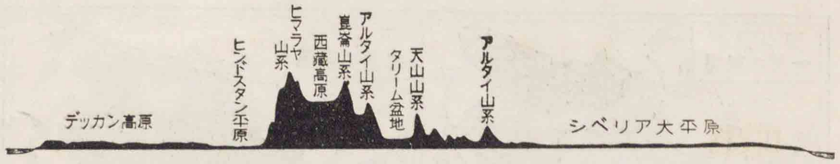
北部は氣候が稍寒冷であるが近時開墾が大いに進み麥類の産がある。南部は溫暖で雨量も多く,煙草・綿・葡萄・茶等を産する。カスピ海岸には**石油**の産が多く,**バクー**(Baku (45))はその中心地である。**鐵道**はここから山脈に並行に走り,石油の輸出港たる黒海岸のバツーム(Batum)に達するものと,北コーカシアを過ぎてヨーロッパロシアに達するものとがある。

第十章　アジア洲總括

地形　アジア洲は世界**最大の大陸**であつて軀幹に對する肢節の割合はヨーロッパ洲に次いで大きい。太平洋岸からインド洋岸にかけて多くの半島が何れも南方に突出して,その間に多くの**沈降海灣**を抱いてゐる。弧狀列島が南東に連る。



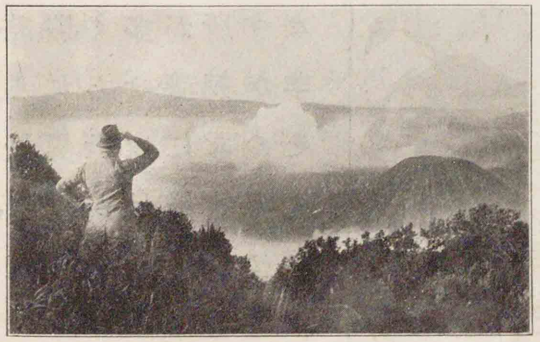
シベリアの北部低地と,デッカン及びアラビア半島の南部臺地は,共に地殼の變動が少かつた爲に,地形が單調であるが,その中間に挾まれた部分と,南東部の島嶼部とは地



アジア洲斷面圖(インドの南端から北してシベリアの北東岬附近にかけての斷面圖)

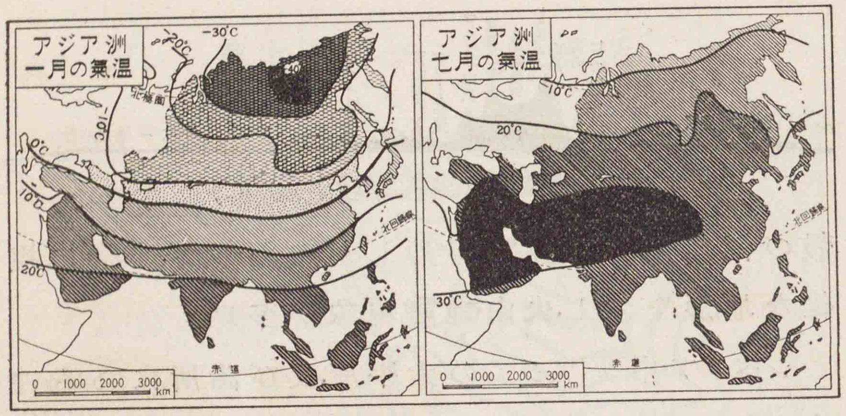
殼の褶曲や昇*降運動が烈しかつたので,非常に複雜な地形を示し,**火山·地震**現象が多い。

シベリア·中央アジアの大平原,及び諸所にある冲積平野を除いては,アジア洲の大部分は**山脈**や**高原**で出來てゐて,平均高度は950mに及んでゐる。中央部は特に高く,**世界の屋根**と稱せられるパミール高原から多くの山系が東西に延びてゐる。山系はヒマラヤを最高として北東に向つて,段階狀に低くなるもの多く,その間に幾多の廣大な高原を抱いてゐる。


ジャヴァ島には100餘座の活火山がある

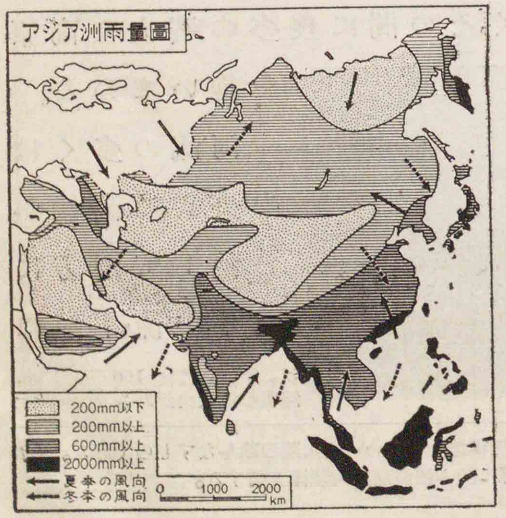
河流の多くは中央部の高地から發して四方に流れ,中流·下流に肥

* 日本列島やマレー諸島の如きは地體構造上からいへば大陸の縁をなすものである。また黄海·南支那海の南部の如く大陸の縁に沿ふ淺海部を大陸棚と稱する。



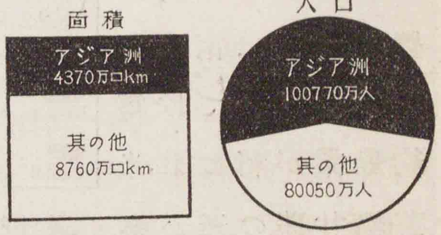
沃な沖積平野を作る。中部から西部にかけては内陸河系が發達し,鹹湖がある。

氣候・生物　土地が廣く,地形が複雑で高低の差が大きいので,氣候及び生物は多種多様である。中央部・南西部は一般に**大陸性氣候**を呈し,雨量が少くて沙漠・草地をなす所が多く,駱駝・羊が飼養せられる。その北には世界最大の寒帯林があり,更にその北部は凍土帯をなす。シベリアの北東部には世界の**寒極**がある。



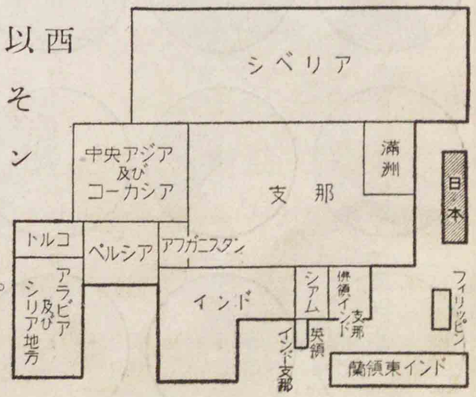
東部と南部との季節風帯は温暖多雨で,世界に於ける米の主産地であり,また人口の最も密なる地方である。動・植物の繁殖も著しく象・虎・犀・鰐・毒蛇等の巨大な動物や,各種熱帯植物を初めとして,殆どあらゆる動・植物がある。

アジア洲と世界の面積人口比較



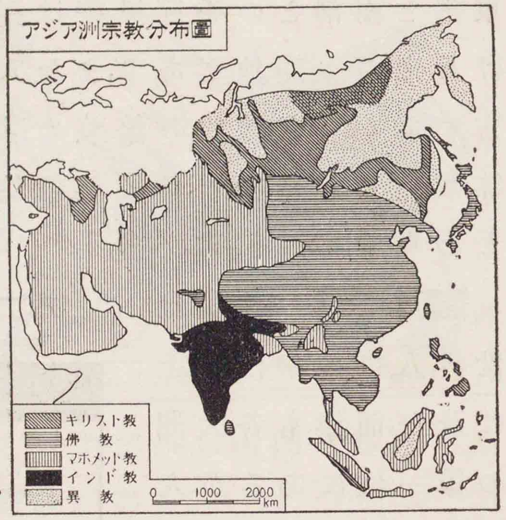
住民・宗教　住民は世界人口の半ば以上に及び,面積も各大洲の第一位にあるが,人口の密度はヨーロッパ洲よりも小さい。地形上多くの地區に分たれ人口の密度もこれに應じて區々である。住民の凡そ$\frac{3}{4}$はアジア人種で東部から中部に住し,ヨーロッパ人種はこれに次いで多く,インド半島及びその以西に多い。マレー人種はその數が非常に少く,インド支那半島からマレー諸島にかけて住む。

アジア洲面積標式圖



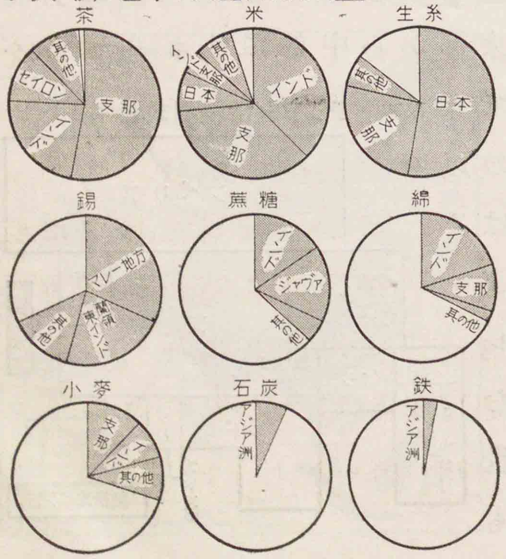
宗教は早く興り,世界の大宗教は何れも

アジア洲から發した。佛教は最も盛んで,インド教・マホメット教(回教)・キリスト教等がこれに次ぐ。



アジア洲宗教分布圖

産業　天產物が豐富で殊に南東部の季節風帶では**集約農業**が行はれ,米・茶・綿・甘蔗の產が多く,養蠶業も亦勞力の安價なこの地帶の特色である。中部と西部とは遊牧地域で,近時河川の沿岸や鐵道の沿線では次第に農業が行はれて來た。

アジア洲と世界の天產物比較(□はアジア洲の產額)


我が國や支那・インド等では古くから**工藝品**の見るべきものが多いが,大工業は我が國の外は未だ幼稚である。

併し各種資源が豐富であり,人口が稠密だから將來は大いに*工業が勃興しよう。

アジア洲交通圖

交通　まだ古い乘物や動物の助をかりる地方が多い。近時自動車が次第にこれに代りつつある。**鐵道**網は我が國・インドが稍ゝ發達し,支那や西部地方では外國資本で敷設せられたものがある。南北を連ねる鐵道はまだ一つもない。

南西アジアの沙漠地方では航空路が發達した。

海運は極東を中心として,スエズ經由地中海航路・喜望岬經由南米航路・太平洋航路・濠洲航路・南洋航路等がある。**電信**は陸上・海底共に他の大陸との連絡が出來,無線電信も利用せられてゐる。

* 併し今ではまだ原料品の生產地で製造品の消費地であるから世界の工業國は競ふてアジア貿易の發展につとめてゐる。我が國も同様に近いアジアへ製品の販路を開拓せねばならぬ。

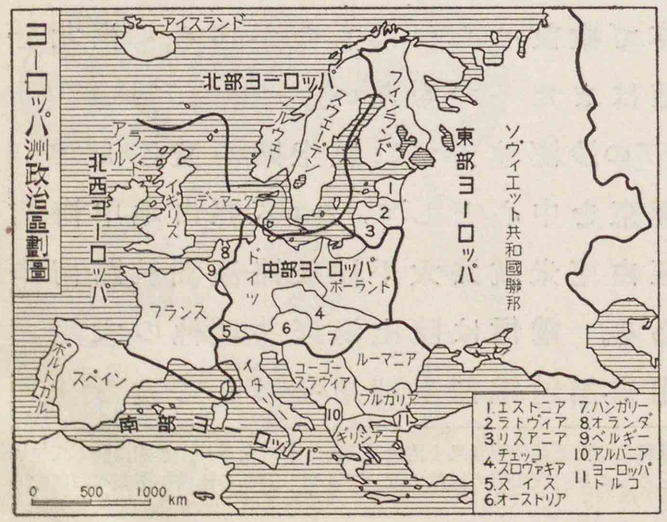
第七篇 ヨーロッパ洲(歐羅巴洲)
Europe

面積980萬方km 人口4億7600萬

第一章 序 說

ヨーロッパ洲はユーラシア大陸の一半島を爲し,面積はアジア洲の$\frac{1}{4}$に過ぎず,支那よりも小さい。六大洲の一つとして取扱はれる理由は自然的關係よりもむしろ人文的關係による。

地形が複雜であり,人種も多くの種族に分たれてゐる爲に,面積の小なるに拘はらず國家の數は30餘の多きに達する。一般に氣候が溫和で人類の活動に適し,その上各民族に元氣があるので,現代最も文化の進んだ諸國家を形成し,海外到る處に領土と植民地とを有する。

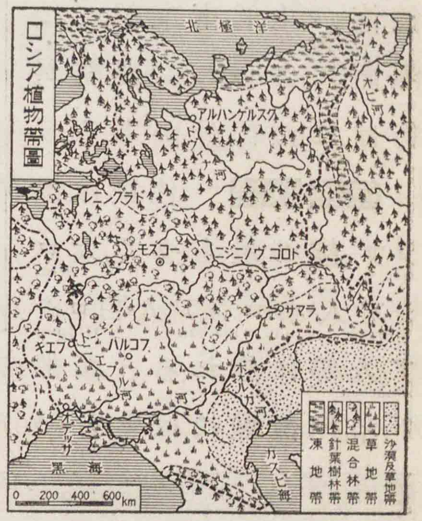


第二章 東部ヨーロッパ
Eastern Europe

第一節 ソヴィエット聯邦(ロシア)
Union of Socialist Soviet Rep. (Russia)

面積430萬方km 人口1億650萬

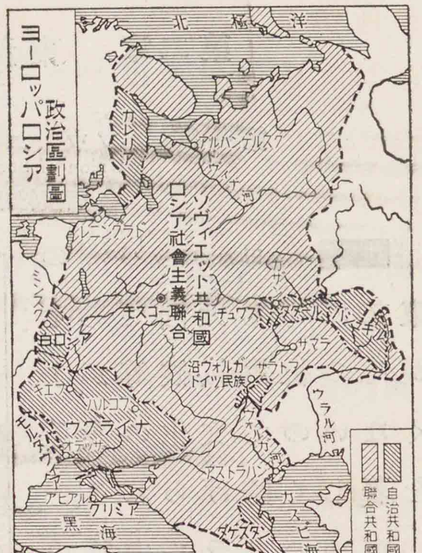
地文 ヨーロッパ洲の東部にある大國*であるが,その位置・氣候等がよくないので,文化の發達を著しく妨げられる。



東部の**ウラル山脈**の一部を除いては,國の大部分は老年期臺地で,中央の分水嶺をなすヴァルダイ丘陵(Valdai Hills)の如きも,その最高は僅かに400mに過ぎない。從つて河流は蛇行してゆるやかなものが多く,航行に便利である。この國第一の長流**ヴォルガ河**(Volga R.)はカスピ海に入り,ドン河(Don R.)はアゾフ海(S. of Azov)に,ドニエプル河(Dnieper R.)は黑海に注ぐ。

國の大部分が海洋から遠く隔たるので,寒・暑の差が甚だしく,冬季は河水が氷結して航行が不可

* 他のヨーロッパ諸國の總面積の$\frac{3}{4}$アジアロシアを合すれば地球陸地の凡そ$\frac{1}{6}$を占める。

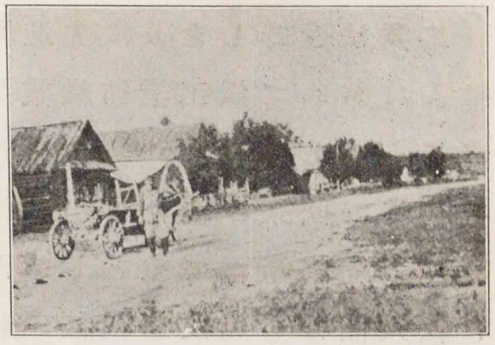


能となり，バルト海(Baltic S.)・北極洋の沿岸も大部分は氷*結する。降雨は十分でなく，時折り旱魃の爲に饑饉が生じ，南東部では灌漑によらねば農耕が行はれぬ部分がある。

住民・政治　住民は**スラブ族**(Slavs)が最も多く，大ロシア人(Great Russians)・小ロシア人(Little Russians)・白ロシア人(White Russians)等に分れる。西部・南部にはユダヤ人(Jews)が多く，ドン河流域にはコサック人(Cossacks)が住み，アジア人種に屬するものも北部・東部に分布してゐる。一般に教育の程度が低く，久しい間貴族が專制政治をしたので，世界大戰(1917年)中革命が起つて帝政を覆へし，

モスコー市　クレムリンの舊宮殿，その一部分をソヴィエット政府が使用してゐる

* 白海は9箇月間フィンランド灣は4・5箇月間氷結する。
ロシアは氷で鎖されない海への出口を求めんとして昔から幾度も外國と衝突した。トルコとの戰爭も我が國との戰爭もそれであつた。


ロシアの農村

各種族をもとにした共和國が幾つも獨立した。併し今日は兵士・勞働者・農民から成る委員會即ちソヴィエットのもとに統一されて，國名をソヴィエット社會主義共和國聯邦*(Union of Socialist Soviet Rep.)と稱し，**首府**をモスコー(Moscow)に定めた。

産業　**農業**は最も重要な産業で，國民の大部分はこれに從事する。草地帶及び草地帶と森林地帶との推移地帶たる**黑土地方**には**麥類**の産が多く，亞麻・大麻・甜菜も多い。國土の $\frac{1}{3}$ は**森林**に被はれてゐるから，木材の産にも富む。乾燥した南東部の草地では羊・牛・馬の飼養が盛んである。

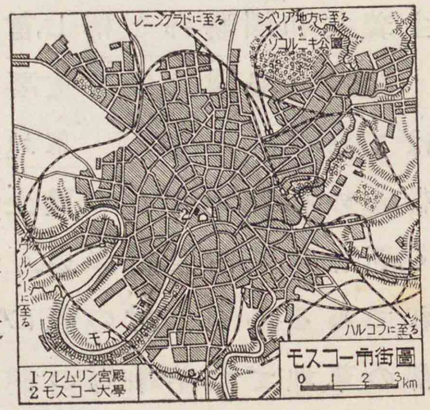
鑛産物はウラル山脈地方の金・白金の外に，中部・南部には鐵・石炭を産する。南部からは岩鹽も出る。(別にコーカシアには石油がある)

ロシアとヨーロッパ洲との農産物比較

* 聯邦はウクライナ・白ロシア及びアジアにある諸共和國と多くの自治州とから成りそれ等の共和國や自治州は各々代表者を首府モスコーに送つて聯合ソヴィエット大會を開きこれが選定による中央執行委員會が立法・行政・司法の權力を有してゐる。

工業は近時しきりに先進國の機械と技術との輸入に努めて,鐵工業·紡織業·製粉及び精糖業等の發展を來した。これ等の生產機關は外國貿易と共に總て國家*の經營にかかはる。輸出品は木材·石油·穀物·畜產物で主として西ヨーロッパ(Western Europe)諸國へ行き,輸入品は金屬及び機械類·化學製品·食料品·織物類で,ドイツ·アメリカ合衆國から來るものが多い。

都邑　**首府モスコー**(モスクワ)は人口240萬,帝都としての位置はほぼ完全な重心型で,水路·鐵道の集中點に當る。綿·羊毛·麻の紡織業の外に近時鐵工業が勃興した。



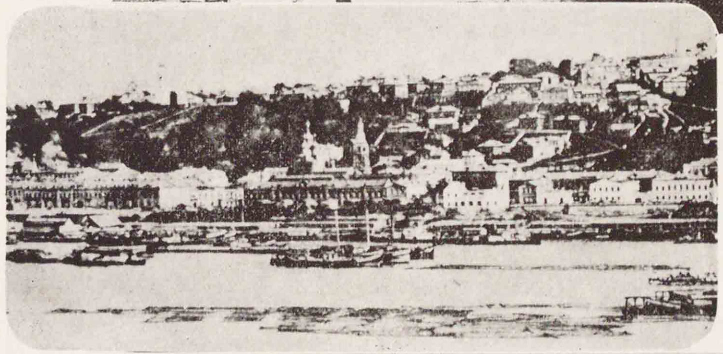
モスコーの東にあるニジニノヴゴロド(Nizhiny Novgorod)(ニジェゴロド)は水運の便がよく,夏季の定期市商業に著れてゐる。

レニングラド(Leningrad)(元ピータースブルグ)は人口160萬,バルト海への唯一の出口であるが冬季氷結の不便がある。運河によつて外港クロンスタット(Kronstadt)に通ずる。

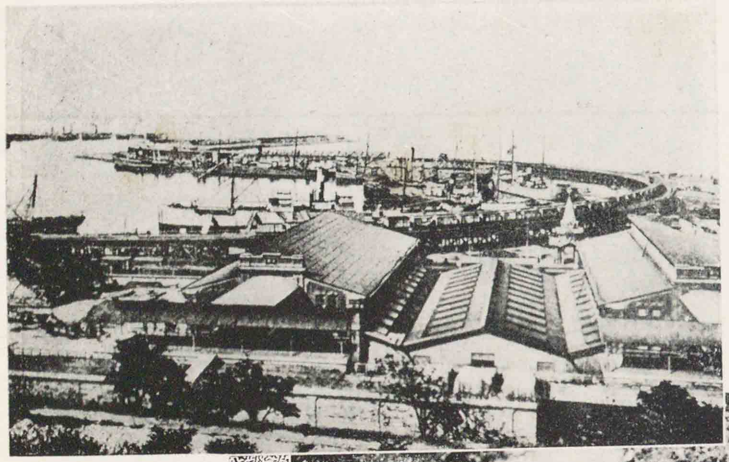
草地帶の中心都市はキエフ(Kiev (51))·ハルコフ(Kharkov (42))及び新興の

* 1928年以來所謂產業5箇年計畫を樹て非常の勢でその振興を圖つてゐる。

レニングラド市街（ロシア）


ニジニノヴゴロド（ロシア）

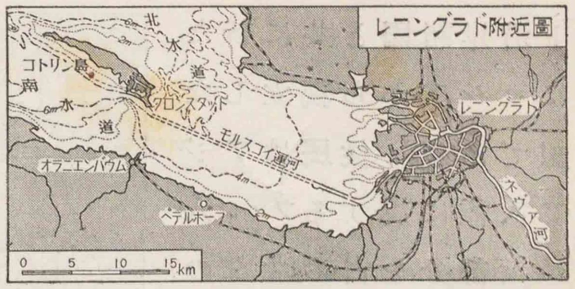
ヴォルガ河の漁業（ロシア）



オデッサ港（ロシア）

ラップ人の生活（ヨーロッパ洲の極北地方）

ヘルシングフォーズ（フィンランド）

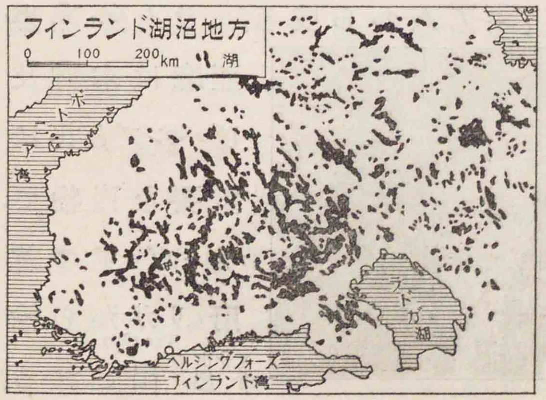


スターリングラード(Stalingrad)で,共に農業附隨工業が行はれる。黒海に面する**オデッサ**(Odessa (42))は小麥の輸出港として名高く,ヴォルガ河口のアストラハン(Astrakhan)は水產物の市場である。

第二節　フィンランド (Finland)

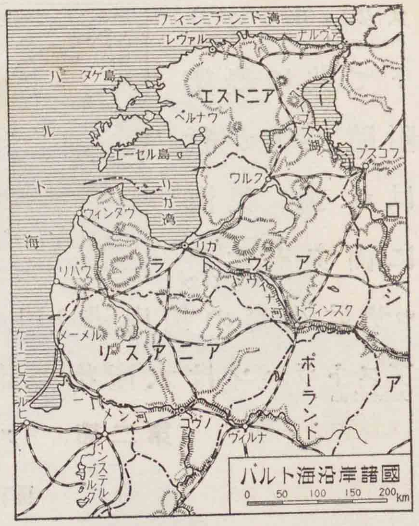
面積39萬方km　人口358萬

南部はバルト海に突出して,ボトニア灣(G. of Bothnia)とフィンランド灣(G. of Finland)とを分ち,北部はスカンヂナヴィア半島への渡廊をなしてゐる。土地の大部分は太古**氷河**がその上を流れ,丘陵性で土地が瘦せ,且つ**氣候**が寒冷だから農耕に適する部分は少い。牧牛が行はれ,バターを輸出する。南部の**湖沼地方**は大部分森林に被はれ,木材·パルプの產が多い。



この國はバル

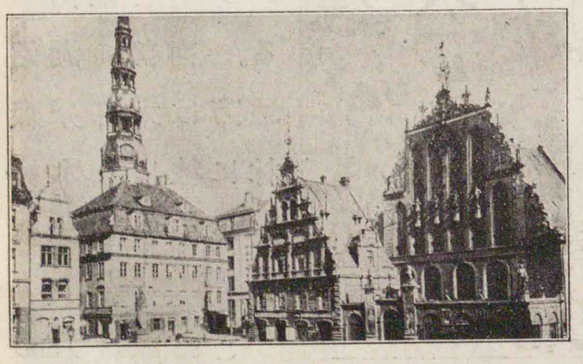
ト沿岸諸國と共に新たにロシアから獨立した國である。**住民**はアジア人種に屬するフィン人(Fins)が大部分を占め,北部のラップランド(Lapland)にはラップ人(Lapps)が住む。**首府**ヘルシングフォーズ(Helsingfors (2 3))(ヘルシンキ)(Helsinki)は主要な商港である。



第三節 バルト沿岸諸國

面積17萬方km 人口528萬

バルト海の東岸に並ぶ**エストニア**(Estonia)(面積5萬方km 人口112萬)・**ラトヴィア**(Latvia)(面積9.9萬方km 人口188萬)・**リスアニア**(Lithuania)(面積5.5萬方km 人口228萬)の三小國であつて,**住民**は主としてエストニア人・レット人・リスアニア人から成る。ライ麥・燕麥・亞麻は木材及びパルプと共に重要な産物で,ラトヴィアの**首府**リガ(Riga (3 8))から輸出される。


リガ市市廳

第三章 北部ヨーロッパ
Northern Europe

第一節 スカンヂナヴィア半島
Scandinavia Pen.

面積77.2萬方km 人口887萬

區劃・住民 スカンヂナヴィア半島の東部は**スウェーデン**(Sweden)(面積44.8萬方km 人口609萬),西部は**ノルウェー**(Norway)(面積32.4萬方km 人口278萬)であつて,もと一國をなしたことがあるが,今は別れて兩國共に立憲王國である。*兩國民は共に**ゲルマン族**(Germans)であつて,海事に秀で,また多くの世界探檢家を出してゐる。

地形 **スカンヂナヴィア山脈**(Scandinavia Mts.)が南北に走り西岸に向つて急斜する。この山脈は古い臺地で氷蝕が烈しく,幾多の氷河渠を造り,それが沈水して西岸には多くの峽灣(Fjord)が出來,東部の斜面には狹長な湖

* 北人と稱して嘗ては海を渡つてイギリスに侵入しそこに植民地を作りまたその水夫はアイスランドを經てグリーンランドに至り更にコロンブスよりも早くアメリカ大陸を發見した。現在ノルウェーはイギリスに次いで貨物船を多く持つ。

沼があり,河流はこれ等を經て,山地から海岸平野に出る。

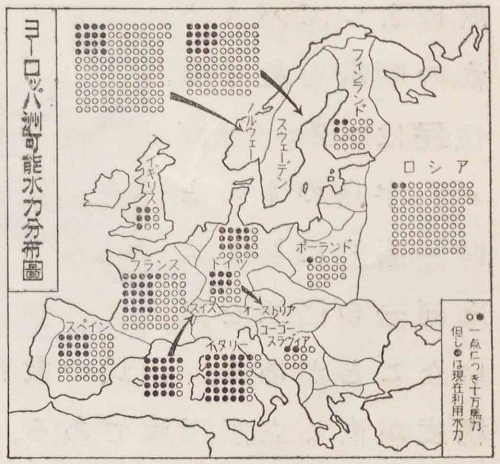
峡灣　舊氷河の浸蝕と土地の沈降の結果海水が谷に入りこんだ

氣候・産業　西風が溫暖なメキシコ灣流上の空氣と濕氣とをもたらし,ノルウェーの海岸は溫和で純海洋性氣候を呈するが,大部分が山地で農耕に適しない。スウェーデンは廣い平地があるが,氣候が寒冷で大陸性氣候を呈し,國の南半を除いてはこれまた農業は餘り價値がない。兩國共に牧畜が行はれ,また**林業**が盛んで木材・パルプ・紙は重要な輸出品である。また**水力**が頗る豐富で,製材・製紙・マッチ・空中窒素等の工業が興り,スウェーデン北部の鐵も半ばは本國で製鐵される。

峡灣地形圖（ライス峡灣）

峡灣には長さ130kmに達するものがあり水深は甚だ大で兩岸は時として1000m以上の絶壁から成立ち諸所に瀑布が懸り小河流の出口には小三角洲があつて小聚落が發達し外界との交通は水路による

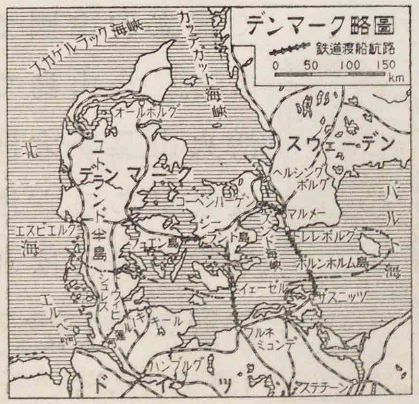
ノルウェーの海岸は到る處好漁場で,鱈の産が多く,ロフォーデン(Lofoden Is.)諸島の附近は殊に有名である。



ヨーロッパ洲可能水力分布圖

都邑　ノルウェーの都邑は主として海岸にある。**首府**オスロー(クリスチァニア)(Oslo (Kristiania) (2 6))は風光の美しい貿易港である。ベルゲン(Bergen)は漁港として著れ,ハンメルフェスト(Hammerfest)は大陸最北の都市で冬季も海水が氷結せず,夜半の太陽・極光に名高い。

スウェーデンの都邑は主として南部に發達してゐる。**首府**ストックホルム(Stockholm (4 4))は湖・運河・鐵道によつてこの國の主要都市と連絡される。ゲーテボルグ(Goteborg)はこの國第一の商港で,不凍港である。



デンマーク略圖

第二節　デンマーク (Denmark)

面積4.3萬方km　人口348萬

ユトランド半島(Jutland Pen.)の大部と數多の島嶼とから成る。面積は我が九州よりも稍大きい。カッテガット(Kattegat)・スカゲルラック(Skager Rak Str.)の兩海

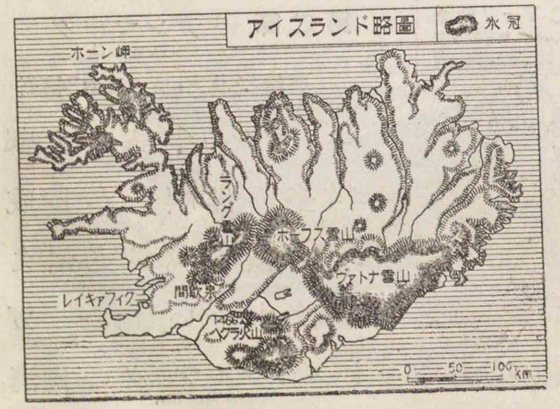
峡によつてバルト海の咽喉を扼する。**住民**はスカンデナヴィア半島のものと同一系統に屬し,もと同一の國王を戴いたことがある。國民の教育程度が高く立憲王政である。(フェル諸島及びグリーンランドの南西岸はこの國に屬する)

デンマークの農村　小農組織の模範で公民教育が行届いてゐる

地味は瘠せ,**氣候**は寒冷であるが,土地の利用がよく行はれて**農・牧業**は甚だ盛んである。バターの輸出額はこの國總輸出高の半ばを占める。

首府コーペンハーゲン Copenhagen (59) (商人の港の意)はズンド海峡 Strait of Sund に臨み,バルト海の門戸を扼する商港である。

アイスランド(面積10萬方km　人口10萬) Iceland



デンマーク王を戴く獨立君主國である。火山島で活火山及び大間歇泉がある。漁業・牧羊が行はれ,**首府**をレイキァフィク Reykjavik といふ。

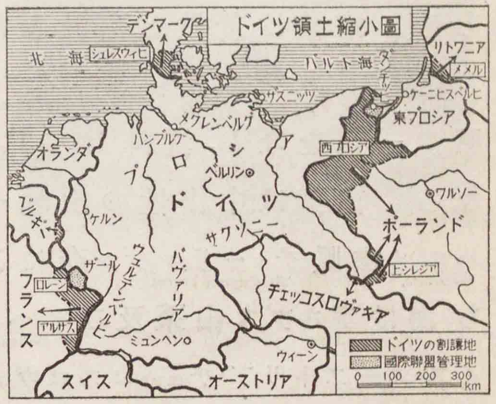
第四章　中部ヨーロッパ*

Central Europe

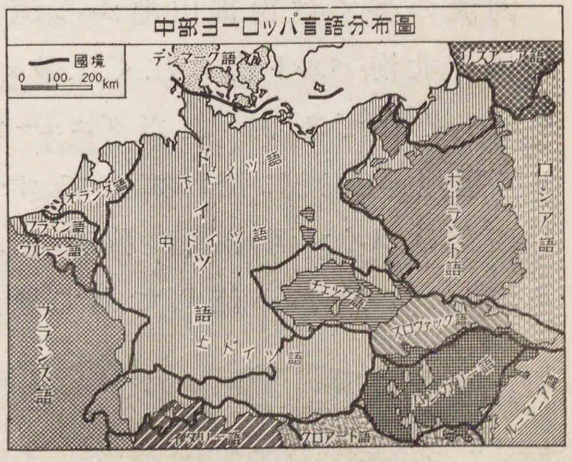
第一節　ドイツ　(獨逸)

Germany

面積47萬方km　人口6344萬



政治・住民　ヨーロッパ洲のほぼ中央に位し,極めて形勝の位置を占める國である。世界大戰の結果領域を縮少し,また海外にあつた領土の全部を失つた。大戰後帝政が廢せられて,聯邦共和國(プロシア・サクソニー・バヴァリア・ウュルテンベルヒ以下17箇國から成る)となつた。面積人口共にほ



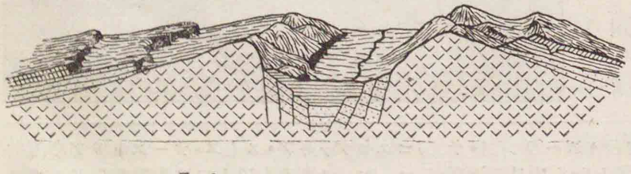
* 中部ヨーロッパはドイツ・ポーランド・チェッコスロヴァキア・スイス・オーストリアの五共和國及びハンガリー王國とから成り總面積はヨーロッパ洲の$\frac{1}{8}$で人口は$\frac{1}{4}$であるドイツ語は全人口の$\frac{1}{2}$以上の住民によつて話される。

ぼ我が內地に等しく,人口增加率の大なることも我が國に似てゐる。國民は**ゲルマン族**でドイツ語を用ひ,勤儉·尙武の氣風に富み,學問·藝術に秀で,大なる農業國であると同時に盛んなる商·工業國である。**宗教**は新教と舊教とが並び行はれる。

地文 **北部**は所謂北ドイツ平原(N. German Plein)でヨーロッパ大平原(The Great Plain of Europe)の一部をなし,沈降して**北海**(North Sea)·バルト海の淺海となる。南部は中山性の山地や臺地であつて,北はハルツ山脈(Harz Mts.)·チューリンゲン森(Thuringian Forest)によつて北部平原を分ち,南は**アルプス山系**(Alps)及びボヘミア森(Boheman Forest)等によつて,スイス·オーストリア·チェッコスロヴァキア等に境する。

河流の多くは南部山地から流れて,北部平原を貫流し,北海·バルト海に注ぐ。ウェーゼル(Weser R.)·エルベ(Elbe R.)·オーデル(Oder R.)がそれである。ただダニューブ河(Danube R.)のみはバヴァリア臺地(Bavarian Upland)から東に流れて來て,オーストリアに入る。

西部は**ライン河**(Rhine R.)流域の狹長な地域をなす。ライン河はスイスから流れて來て,地壘山脈たる黑林とフランスのヴォージュ山脈(Vosges Mts.)との間に細長い地溝帶



ライン河谷斷面圖

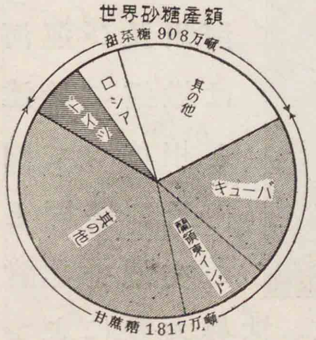
を作り,下つて支流マイン河(Main R.)を入れる。その下流は名高いラインの峽谷で史蹟と傳說に富む勝地である。

ドイツの甜菜耕作
粕は家畜の飼料となる

氣候は一般に溫和であるが,東するに從つて大陸性となり,北海の沿岸は冬季凍結する。中部以西の氣溫は比較的平均してゐるが,ライン河谷は特に溫暖である。雨量は一般に適度である。

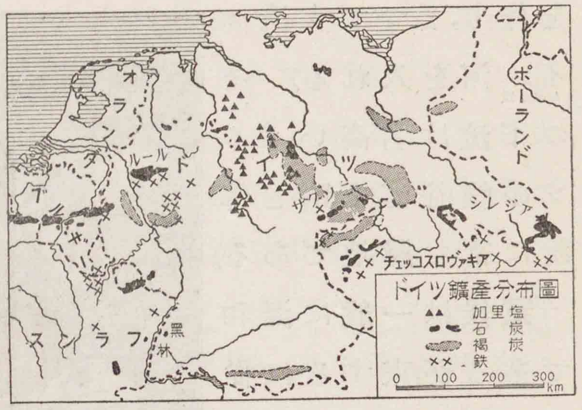
產業 耕地*は全國の半ばを占め,麥類·馬鈴薯は主要な穀物で到る處に作られる。甜菜·ホップの產も多く,これを原料とする**甜菜糖**の產額及び**ビール**の釀造量は共に世界第一である。溫暖なライン流域の山腹では葡萄の栽培が多い。

世界砂糖產額



牧畜も盛んで,牛·豚·羊·家禽が

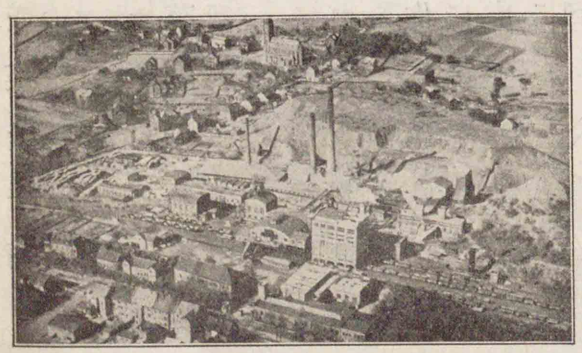
* ドイツ平原の大部分は氷河に運ばれた瘠土であるが スタッスフルト附近から肥料製造に重要な加里鹽を多量に產するので農耕に都合がよい。加里鹽は外國に輸出されるものも多い。



飼養される。

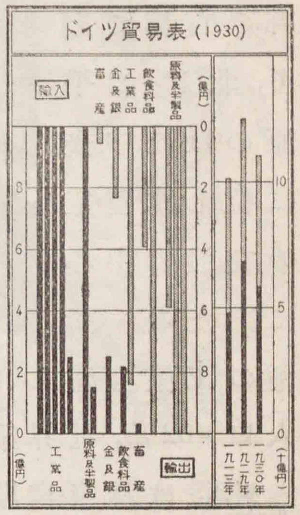
南部山地に於ける**林制**は世界の模範と稱せられる。

北部平原と南部山地との推移地帶からは*石炭(アメリカ合衆國・イギリスに次いで世界第三位)・**鐵鑛**(輸入鐵鑛と共に製鐵の原料となつて銑鐵の産はアメリカ合衆國に次いで世界第二位)を産すること多く,その結果機械・造船等の**工業**が盛大である。この國はまた▲**化學工業**・紡績業・出版業に秀でてゐる。主なる工業地帶はライン(Rhine)・シレジア(Silesia)・サクソニー(Saxony)等の諸地方である。


ルール工業地帶　ルール河に沿ふドイツ第一の工業地帶

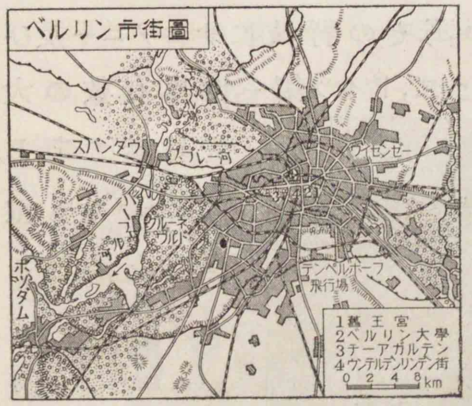
交通・商業　河川及び運河は鐵道の發達と相俟つて國內及び隣國との交通を非常に便利にする。世界大戰によつ

* ドイツでは褐炭を煉炭にして家庭や工場で使用す。從つて褐炭の産額は世界第一である。
▲ 化學工業で特に著れてゐるのはコークス製品の副産物たるコールタールから染料・藥品をとるのと空中から窒素をとる工業である。



て大打撃を受けた**海運業**も近時大いに回復し,現在所有する汽船のトン數は,我が國と共に世界第三位を爭つてゐる。**航空交通**の普及發達は世界第一である。

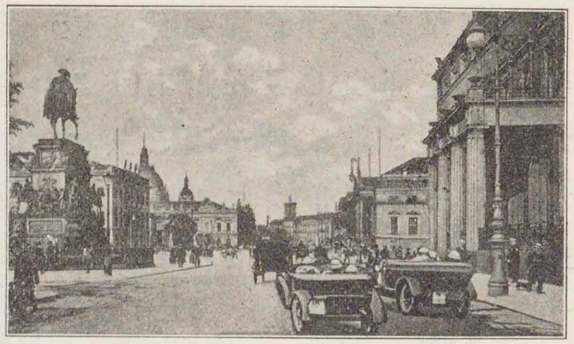
ドイツはその周圍に製品の好市場を有する外,世界到る處に商路を開き,海運業と同樣に大戰後*****貿易**の復活がめざましく,貿易額世界第三位を占め,最近は輸出超過を示してゐる。輸出品の主なものは鐵製品・機械・化學製品・織物・皮革・硝子・玩具等であり,輸入品の主なものは綿・銅・小麥・麥粉・石油・羊毛・皮革・木材・パルプ等である。



都邑　**ベルリン**(伯林)(Berlin)はプロシア(Prussia)の首府であると同時にドイツ聯

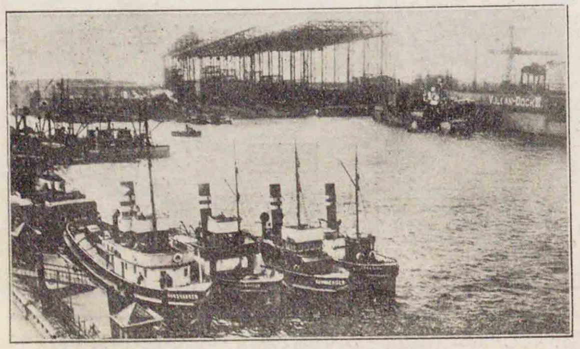
* 我が國とドイツとの貿易に於て我が國から輸出するものは魚油・寒天・䔍・眞田等僅かに1000萬圓にすぎないが彼れから我れに輸入するものは鐵・硫酸アンモニア・毛絲・染料・藥品等1億圓以上に達する。

邦の首都であり,北ドイツ平原のほぼ中央に位し,水·陸·空の交通の中心にあたる。諸種の工業も盛んに行はれ,人口402萬,世界第四の都市である。西南郊のポツダム(Potsdam)は林泉·宮殿の美を以て知られ,北西のナウエン(Nanen)には大無線電信局がある。西方のマグデブルグ(Nagdeburg(30))は製糖業の中心地である。



ベルリン市 ウンターデンリンデン街で街路の美觀と家屋の整正を以て知られてゐる

ハンブルグ(Hamburg)(漢堡)はエルベ河の下流に位し,中世からの大港市で人口108萬,その背域にサクソニー及びチェッコスロヴァキアを控へて,ドイツ第一,世界有數の大貿易港である。ブレーメン(Bremen (29))も重要な商港でその外港ブレーメルハーフェン(Bremerhaven)は遠洋航路の起點に當つてゐる。オーデル河



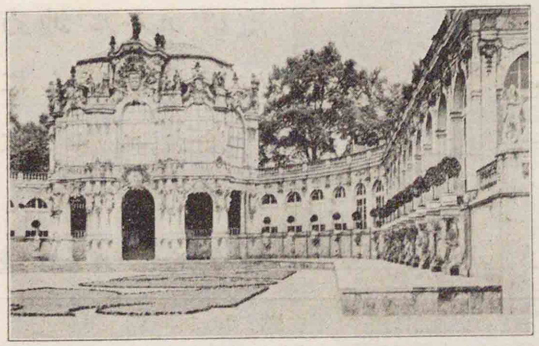
ハンブルグ港 港の一部分を自由港とし河岸には櫛の齒の如く埠頭がつらなる

口のステチーン(Stettin)はシレジア工業地帶の出口に當り,造船が行はれる。ユトランド半島の底部にある**キール運河**(Kiel Canal)は現在は國際運河になつてゐる。

東プロシアには農·牧が行はれ,主邑ケーニッヒスベルヒ(Konigsberg)は海港で,大哲學者カント(Kant)の生地である。

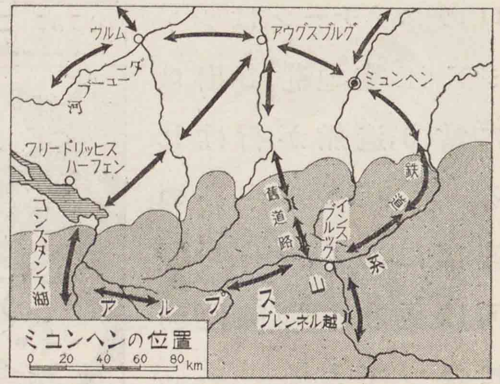
シレジア地方は鑛業及び鐵工業が盛んであつて,ブレスラウ(Breslau (60))はこの地方の中心都市である。

サクソニーの**首府**ドレスデン(Dresden (62))は美術と工業とで知られ,その北西の**ライプチッヒ**(Leipzig (68))は大學と出版業に著れる。ケムニッツ(Chemnitz (33))は綿絲紡績に名高い。



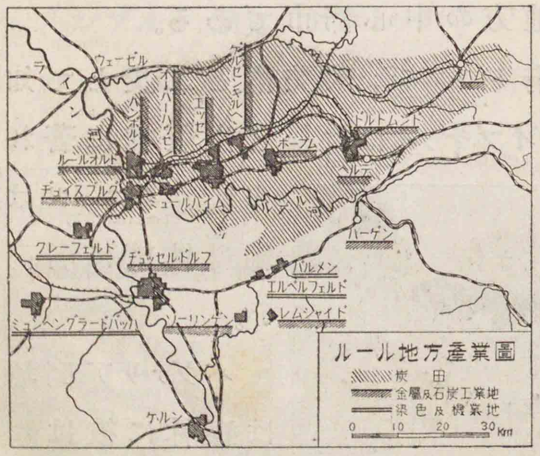
ドレスデンの繪畫館 世界的の名畫が多く藏されてゐる

バヴァリア高地は森林に被はれた丘陵と肥沃な谷とから成る。工業が盛んで,レ

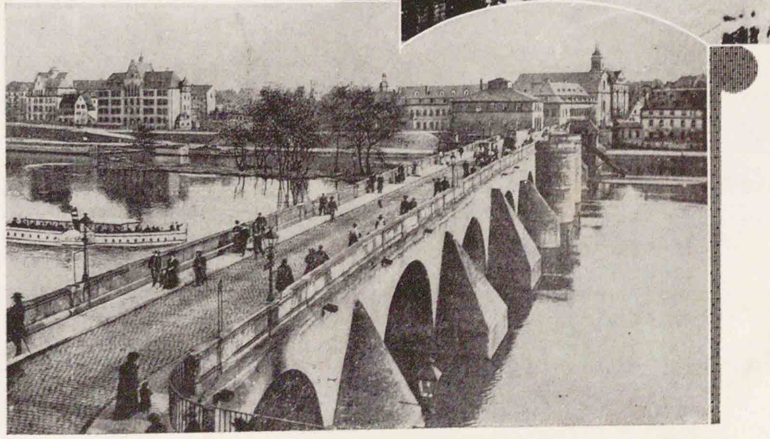


ンズ・光學機械・玩具・鉛筆等を産し，ニュルンベルヒ(Nurnberg (3 9))は其の中心をなす。バヴァリアの**首府**ミュンヘン(Munchen (6 9))は交通の要路に當り，ビール の醸造に名高く，ウュルテンベルヒ(Wurttemberg)の**首府**スツットガルト(Stuttgart (3 4))は樂器の製造や出版業に名高い。

ライン河流域はドイツで最も生産的な地方である。フランクフルト(Frankfurt (5 4))は中部ライン地方の中心都市であつて，文豪ゲーテ(Goethe)の生地である。ライン河下流の**ルール地方**(Ruhr)は工業が盛んに行はれ，エッセン(Essen (6 3))はその中心をなし，有名なクルップ鐵



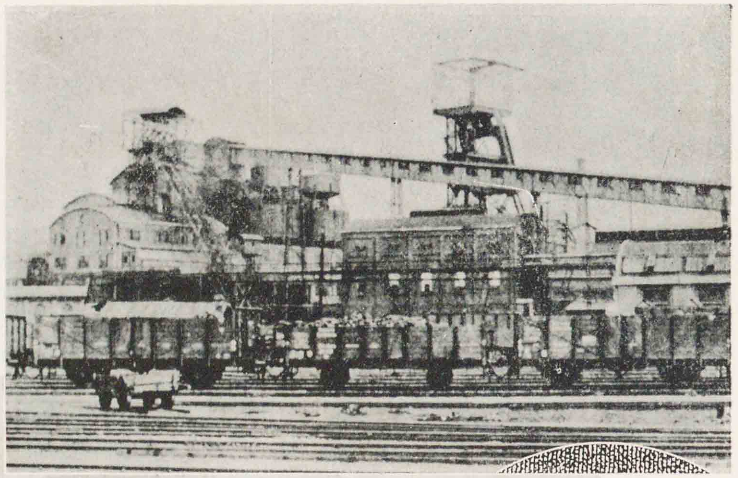
* ニュルンベルヒは中世イタリーとの交通路に當つた城郭都市である。
▲ ドイツ人はライン河を呼んで父ラインと稱する程であるから常にドイツとフランスとの間に爭奪の目的地となつた。



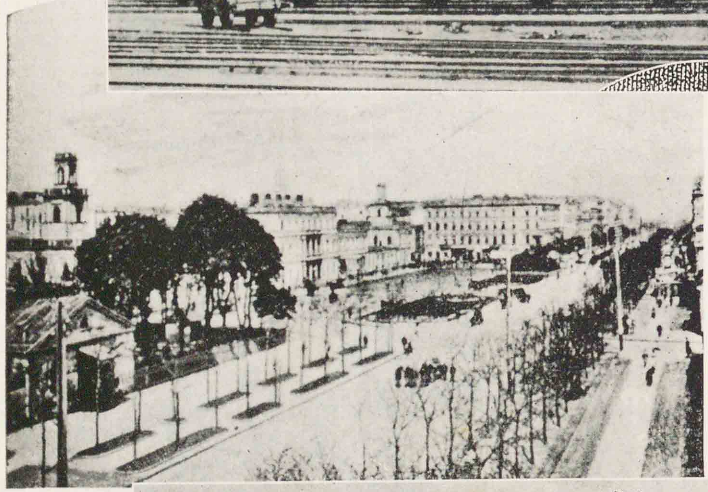
上　ライプチッヒ市大觀（ドイツ）

中　ミュンヘン市廳（ドイツ）

下　フランクフルト市とマイン河（ドイツ）



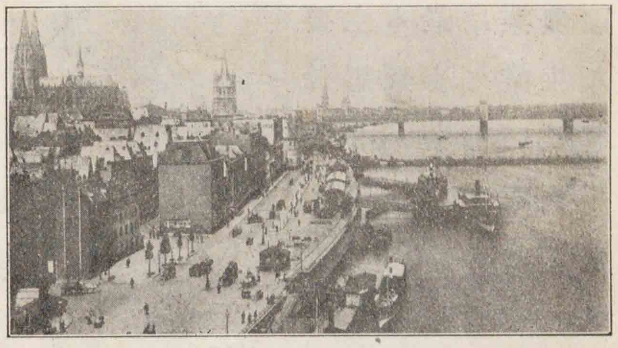
エッセンの炭坑（ドイツ）



ワルソー市（ポーランド）

アルプス山脈の氷河（中部ヨーロッパ）

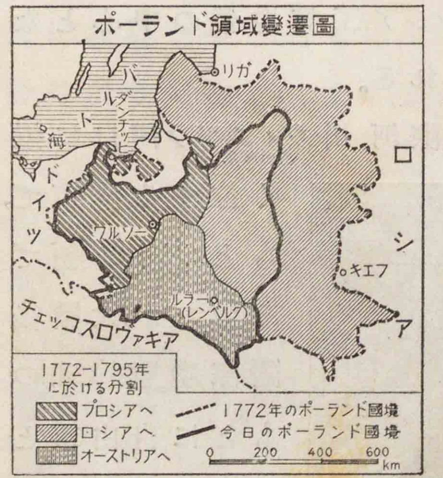
工場がある。*西岸では紡織業が盛んに行はれ,クレーフェルド Krefeld (13) は絹織工業に名高い。**ケルン**はこの地方の南端にある大都市で,平野への出口に位し水･陸交通の要衝に當つて商業が盛んである。



ケルン市　左方にそびえる建物は名高い大寺院でライン河に架した橋はホーフェンツオルレルン橋である

第二節　ポーランド Poland

面積38,8萬方km　人口3021萬



ドイツとロシアとの推移地帶にある平原國で,他國の侵略を受け易い。世界大戰の結果復活した國家で,現在は共和制を布く。**住民**は大部分スラヴ族に屬するポーランド人 Pole である。

* 鐵鑛の一部分はフランスのロレーン地方やスウェーデン・スペイン等からライン河によつて輸入せられる。デュッセルドルフは重要な河港である。

農業は最も主要な生業で,麥類・馬鈴薯及び甜菜が多い。牛・豚・家禽の飼養も盛んである。**鑛業**はシレジア地方に盛大であつて,石炭・亞鉛・鐵を産し,岩鹽・石油の産もある。

首府ワルソー(Warsaw (94))は國のほぼ中央に位し,水・陸交通の要路に當つて商業が盛んである。ロツ(Lodz (45))は紡績業に知られ,クラカウ(Krakau (18))はシレジア工業地帯の中心となつて機械の製造が行はれる。

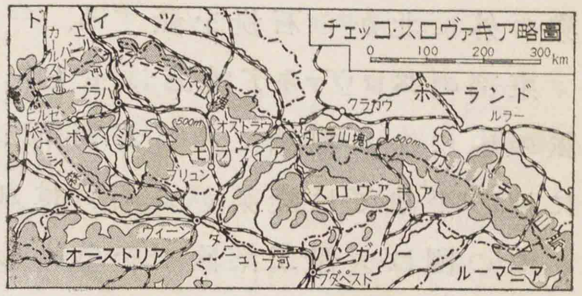
ダンチッヒ自由市(Free city of Danzig (23)) 國際河川ウィスツラ河(Vistula R.)口に近く位する港市で,もとドイツ領であつたが,大戰後國際聯盟管理のもとに自由市となり,ポーランド人は自由にその港を使用する。

ダンチッヒ 附近の海岸は古來琥珀の産を以て知られてゐる

第三節 チェッコスロヴァキア

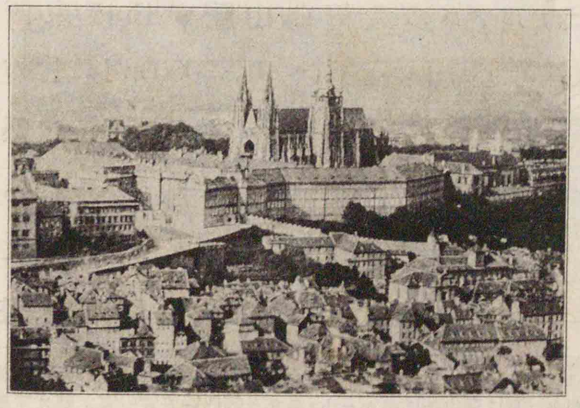
Czecho-Slovakia

面積14萬方km 人口1444萬



大戰後オーストリアから獨立した共和國で,西部に**チェック人**(Czecks),東部に**スロヴァック人**(Slovaks)がある。共にスラヴ族に屬するが,國境に近い地方は何れも**民族的渡廊**をなし,國際問題が多い。國民は一般に元氣である。

西部の**ボヘミア地方**(Bohemia)は古い臺地が浸蝕されて,中央に盆地を生じたもので,エルベ河が流れる。河谷は農・牧に適し,また石炭・鐵を産し,ヨーロッパ有數の工業地帶をなし機械・鐵工・材木・硝子等の工業が盛んである。**首府**プラハ(Plaha (68))はその中心をなす。西方のカールズバード(Carlsbad)は溫泉に著れ,


プラハ市 ボヘミア盆地に在り盆地は臺地が切られて出來た

南西のピルゼン(Pilsen)はビールの產に名高い。

中部のモラヴィア地方(Moravia)は一般に山勝であつて,農業の外に,北から石炭を產する。

東部の**スロヴァキア地方**は主としてカルパチア山脈(Carpathians)の中にある地域であるが,南部のハンガリー平原に連る平地では農業がよく行はれる。

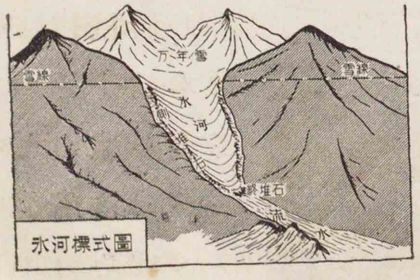
この國は大體工業國であるから外國貿易としては,綿·羊毛·小麥の如き原料品や食料品を輸入して,織物類·鐵製品·精糖·ガラス器等の製品を輸出する。エルベ·ダニューブ及びオーデル等の國際河川はこの國と海洋との交通に便を與へる。

第四節 スイス (瑞西)

Suisse (Switzerland)

面積4.1萬方km 人口400萬

國の南半には*アルプスの大褶曲山脈がほぼ東西にわたり,3000m以上の高峰が相連り,氷河を懸けて,山容が壯大である。



氷河模式圖

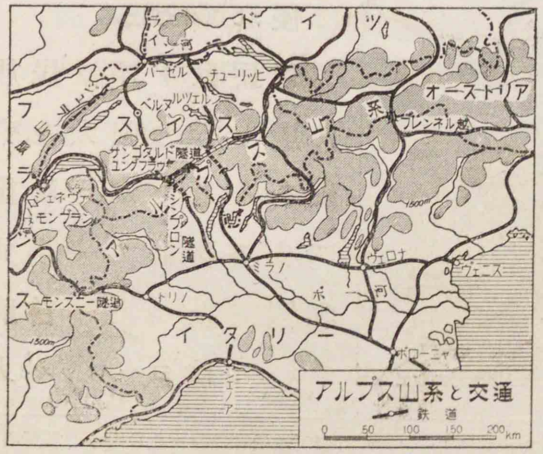
(谷には氷河の堆石の爲に小湖を生じてゐる)北西境にはジュラ山脈(Jura Mts.)が弓形を畫

* 牧草に被はれた山腹ユングフラウ·マッテルホーン·モンテローザ等の高峰·氷河·懸谷及び瀑布の奇勝·碧玉の如き湖水。夏は登山冬はスケート·スキー等四時遊覽の客が絕えず旅客の落す金はこの國の重要な收入となつてゐる。

いて,アルプス山脈との間に細長い臺地を挾み,その間にジェネヴァ(レマン)(L. Geneva)·チューリッヒ(L. Zurich)·ルツェルン(L. Luzern)·ボーデン(L. Boden)·ヌーシャテル(L. Neuchatel)等多くの湖を湛へる。面積は我が九州よりも稍〻大きい。

スイス地形斷面圖

アルプス山地には耕地が少く,住民の大部分は牧畜·酪農業を生業とする。北西部の臺地上には農耕が稍〻行はれ,水力を利用して工業も興り,ジェネヴァ(Geneva (13))は時計製造に,チューリッヒ(Zurich (22))は製織業に,バーゼル(Basel (14))は化學工業に著れる。我が國へは時計·機械·藥品·ミルク等を輸出する。內陸國であるが,ラインの國際河川は北海を結び,アルプス山脈を橫切る**鐵道**はサンゴタルド(St. Gotthard)·*シンプロン(Simplon)等の大トンネル(Pass)を貫いてイタリーの海港に到る。



アルプス山系と交通

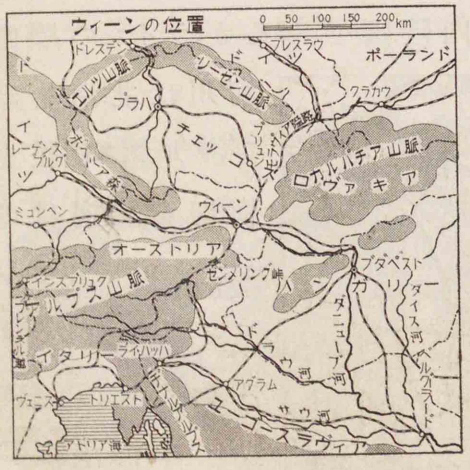
* シンプロンのトンネルは世界最長で約20kmあり我が清水越は約9.5kmである。

この國は共和國であつて,**住民**はドイツ・フランス・イタリー諸民族の混合であるが四隣列強の緩衝地帶として獨立を保ち,**永世局外中立國**となり,國際間の平和事業の中心地に利用せられてゐる。**ジュネヴァ**には萬國赤十字社及び國際聯盟本部(The League of Natoins)がおかれ,**首府**ベルヌ(Berne (11))には萬國聯合郵便事務局がある。

第五節　オーストリア(Austria)(墺地利)

面積8.3萬方km　人口668萬

アルプス山系が國内に連なり,山間では牧牛が行はれ,農業は東部の平野及び谷間で營まれる。馬鈴薯の產が多い。良質の鐵鑛と石炭とを產し,機械・被服・樂器等の製作に優れてゐる。



住民はドイツ民族に屬し,もと强大な帝國をなしたが,大戰後四分五裂して一小共和國となつた。**首府**ウィーン*(Vienna)はヨーロッパ大

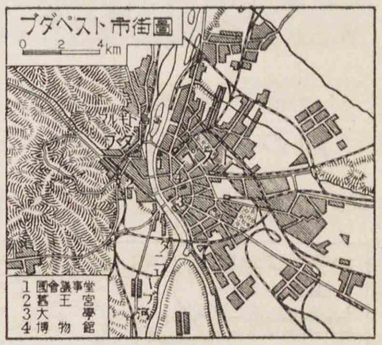
* ウィーンはもとオーストリアハンガリー帝國の首府で政治・經濟・文化の大中心地であつた。その大學は古くより知られ美術・音樂の都としても名高い。我が北海道よりも小なる國の都市として人口184萬を有するのはこの文化關係からである。

十字路の一つに當り,人口184萬,商・工業の中心をなし,またヨーロッパに於ける文化の中心地である。

スイスとの境に**リヒテンスタイン公國**がある。

第六節　ハンガリー(Hungary)(洪牙利)

面積9.3萬方km　人口852萬



住民はマジァール(Magyars)族と云つてアジア人種に屬するが,今では全く歐化してゐる。世界大戰後獨立して立憲王國となつた。宗教は舊教を奉ずる。**首府**ブダペスト(Budapest (93))はダニューブ河に跨り,製粉業が行はれる。

國の大部分は**ハンガリー平原**(Hungarian Plain)で,その外側がカルパチア・デナルアルプス(Dinaric Alps)等の山脈に圍まれる爲に大陸的氣候を呈し,夏が暑く,ヨーロッパ中で最も**小麥**がよく出來,また玉蜀黍・甜菜の產もある。**プスタ**(Puszta)と稱する部分で

ハンガリー平原の牧畜

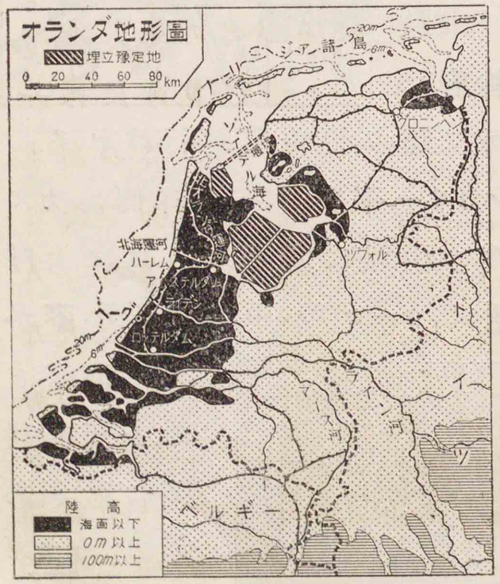
は牛・羊・豚の牧畜も盛んである。國民の$\frac{3}{4}$は農・牧に從事し,工業は振はない。穀物・肉類は國內の需要を充した餘分を西ヨーロッパ諸國へ輸出する。

第五章 北西ヨーロッパ*
North Western Europe

第一節 オランダ(和蘭)
Holland

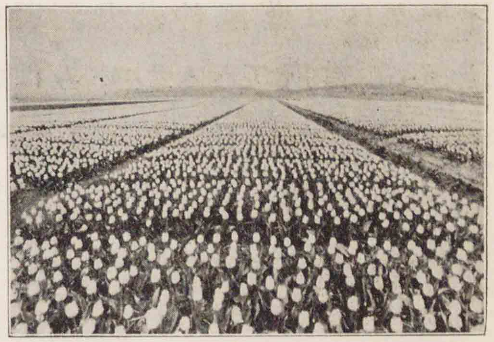
面積3.4萬方km 人口763萬

國の大部分はライン・マース(Maas R.)二大河の下流に出來た三角洲の上にあり,海面以下の土地が多く,海水や河水の氾濫を防ぐ爲には,砂丘と廣大な堤とにより,また低濕の地から排水する爲には無數の溝渠が掘られ,風車が用ゐられる。低濕の地の開拓されたものをポルダー(Polder)といふ。



* オランダ・ベルギー・イギリス三王國とフランス共和國とから成り大部分は溫和帶に屬して雨量も適當にあり住民は元氣があつて經濟上の發達が目覺しく中部ヨーロッパと共に世界に於ける最大の工業地帶であり人口の稠密な一地域である。

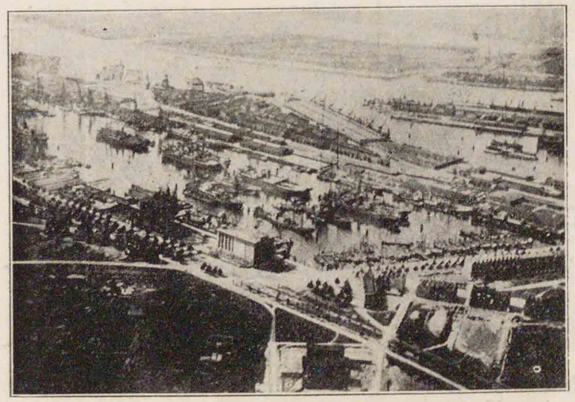
排水のよい土地では農耕が行はれ,また**花卉**の栽培が多く,各地へ輸出される。卑濕な土地では**牧畜**が盛んに行はれ,バター・チーズの產が多く,この國の主要輸出品である。



ハーレムの花卉栽培 球根は世界到る處へ輸出せられる

鑛物に乏しいが近隣の諸國から石炭が得られるので,造船・製糖業・釀造業等が興つてゐる。

國民は古來航海・商業*に長じ近世の初めには一時世界の海上權を握つたことがある。人口密度の大なることは世界第二位にあり,立憲君主政體で,ヨーロッパ列强の緩衝國として



ロッテルダム ライン河の咽喉に當り,通過貿易が盛んである

* 今尙その位置がよいのと海外に廣い植民地を有するのとで貿易は盛んに行はれ通過貿易も多い。この國の面積はほぼ我が臺灣に等しいが海外には本國に60倍する植民地を有する。

ヘーグ(The Hague (43))には萬國仲裁裁判所の開かれる平和殿がある。**首府**アムステルダム(Amsterdam (75))は古くから知られた商港であるが,今日ではライン河口のロッテルダム(Rotterdam (58))が位置の關係から最も主要な商港となつた。

第二節　ベルギー*(白耳義) Belgium

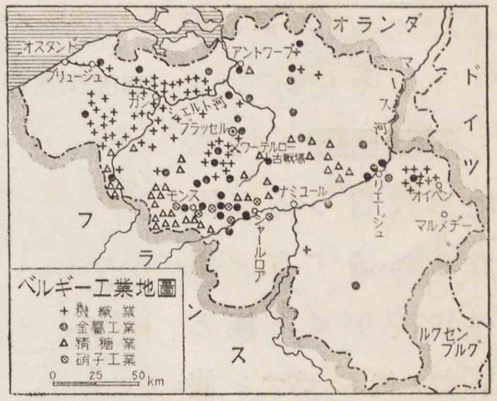
面積3萬方km　人口763萬

北西部は土地が低平で,南東に向つて次第に丘陵を増し,遂にフランスに續くアルダンヌ高原(Ardenne Plat.)となる。マース・シェルト兩河(Schelde R.)が北流する。

住民は北部にチュートン族(Teutons),南部にラテン族(Latins)が住み,**言語**を異にして,古來幾度も政爭の巷となつた。立憲王國で,アフリカに廣大なコンゴー植民地を有する外,世界大戰中は所謂西部戰線となつた。**人口密度**は鐵道密度と共に世界第一である。

農・牧が盛んで,**亞麻**・甜菜の耕作及び馬の牧畜が

* ベルギーはその位置が列强の間に介在する爲に古來戰場となつたことが多く近くは世界大戰に於てドイツはこの國の中立を破つて侵入し所謂西部戰線の一部となつた。



多い。南東部は鐵・石炭に富み,且つ人口が稠密で,交通が便利な爲に**工業**は甚だ盛んである。**首府**ブラッセル(Brussels (83))はリェージュ(Liege (17))と共に鐵工業に著れ,またレースを產する。シャールロア(Charleroi)は硝子工業に,アントワープ(Antwerp (30))は麻・綿の紡織工業に著れる。

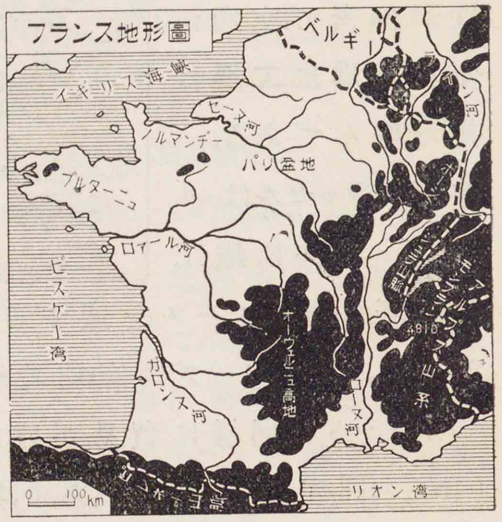
オランダと同樣に貿易が盛んで,**アントワープ**はヨーロッパ洲屈指の商港であり,我が汽船が寄航する。

アントワープ　シェルト河口から96kmの上流にあり大洋汽船も溯航する

附**ルクセンブルグ**(Luxemburg)(面積2600萬方km 人口27萬)ベルギーの南東に位し,世襲の大公を戴き1院制の議會によつて治められてゐる大公國である。農業が行はれる外に,**鐵**の產がある。住民はドイツ人が多い。

第三節 フランス(佛蘭西)(France)

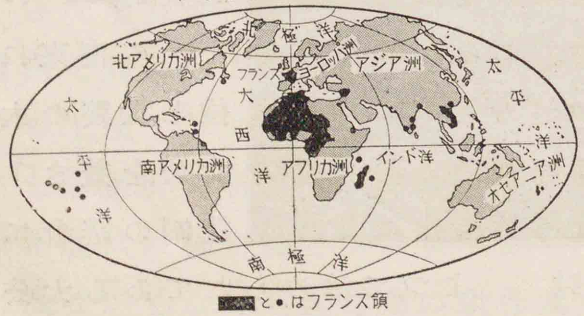
面積55.1萬方km 人口4100萬



住民・政治 境域※地形は自ら獨立國たるに適する。原住民を**ケルト族**(Celts)といひ,後にラテン族に征服同化せられた。國民性は稍々輕浮であるが,美術に長じ,その言語は列國の外交上に用ひられる。舊教を奉ずる。

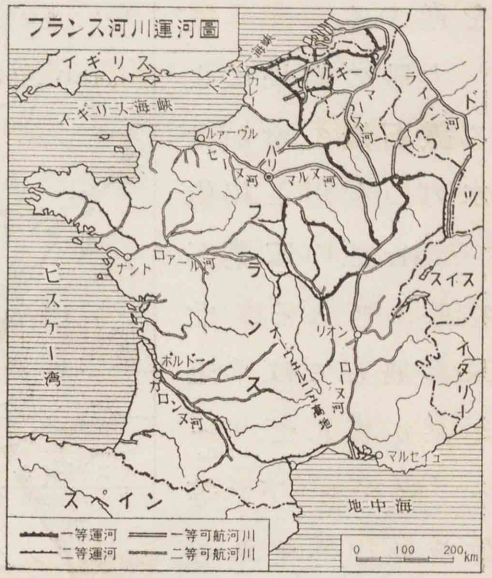
古來幾度か政體を變じたが,現在は共和制を布く。領土が廣く,大戰後▲國勢が盛んとなり。強大な陸・海軍と空軍とを有してゐる。

フランス海外領土圖



* 北西と南は海に瀕しスペインとはピレネー山脈スイス・イタリーとはアルプス及びジュラ山脈ドイツとはヴォージュ山脈及びライン河によつて各々境してゐる。

▲ 領土及び委任統治領を合すればその領地は本國の23倍ある。

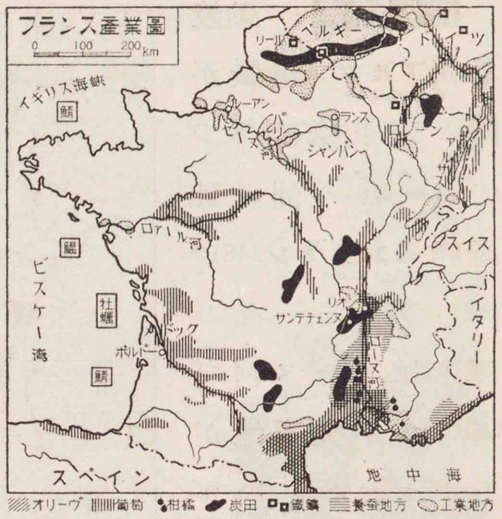


地形・産業 高峻な西アルプス山脈(Western Alps)が國の南東境にあつてヨーロッパ洲の最高峰**モンブラン**(Mont Blanc)(4810m)が聳える。その西にはローヌ河(Rhone R.)を隔てて**中央臺地**があり,セーヌ(Seine R.)・ロアール(Loire R.)・ガロンヌ(Garonne R.)等の大河は何れもこの高地から發して北西の平野をゆるく流れ,**運河**で連絡されて,交通の便が大きい。

國の凡そ$\frac{3}{4}$は平野をなし,地形の關係から西風はフランスの全部に雨を降らせ,**農業**に都合がよく,小麥は重要作物であるが,國民の需要を充すに足りない。メドック(Medoc)地方とシャンパン(Champagne)地方とには葡萄の栽培が多く,**葡萄酒**は産額・品質共に世界第一である。ボルドー(Bordeaux (25))はその輸出に著れる。溫暖な南部の海岸とローヌ河谷とにはオリーヴ・柑橘類等が栽培せられ,養蠶も行はれ,**リヨン**(Lyons (50))は絹織物を産する。

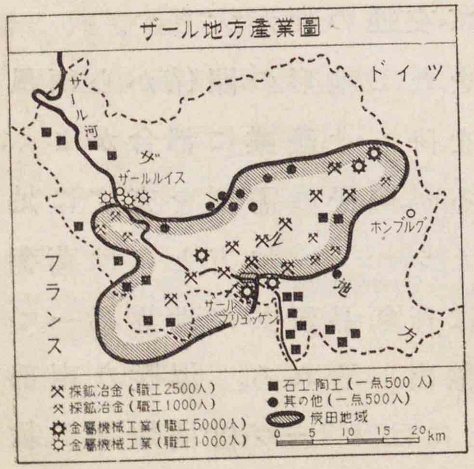
牧畜も稍々盛んである。ビスケー灣(Bay of Biscay)には鰮・牡蠣等

を產する。



上圖は穀物と畜產とを除く

大戰の結果による*鐵・石炭の增加は水力の利用と相俟つて,各種の**工業**が勃興してゐる。北東部地方では羊毛工業が盛んで,リール(Lille (20))・ランズ(Reims (10))・ルーアン(Rouen (12))等はその中心である。ルーアンと東部地方とには綿工業も行はれる。中央臺地には鐵工業が行はれ,サンテチェンヌ(St. Etienne (19))はその中心地である。



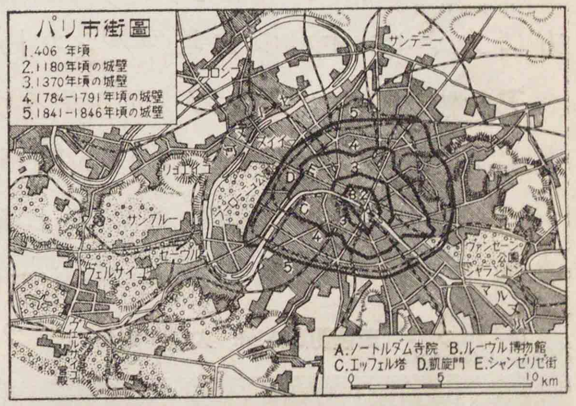
商業は甚だ盛んで原料品・食料品を輸入し,製造品を輸出する。我が國はこの國へ生絲・絹織物・陶磁器等を出し,毛絲・機械・アルミニ

* 大戰の結果アルサス・ロレーンの鐵とザールの石炭とを獲得した。
ザール地方は國際聯盟の管理のもとにあり1919年より15年の後人民投票によつてその所屬を決することになつてゐる。

ウム・葡萄酒・香料等をこの國から輸入する。

都邑　首府パリ*(Paris)(巴里)はパリ盆地(Basin of Paris)の中央を占め,セーヌ河に跨り,人口287萬,本洲第三の大都市で,この國の政治・學術・商業・交通の大中心地である。美術の都として知られてゐる。南西郊のヴェルサイユ(Versailles)の宮殿は世界大戰の媾和條約の調印された所で,今は大部分博物館として用ひられる。

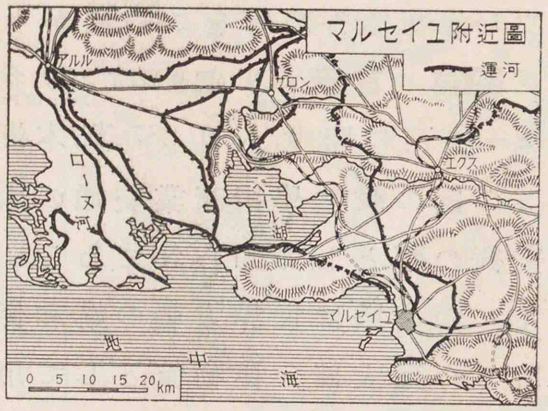
ルアーヴル(Le Havre (16))はパリの門戶をなし,北東のカレー(Calais)はドーヴァ海峽(St. of Dover)に臨み,イギリスに渡る要津である。



アルモリカン山地(Armorican Mts.)(ノルマンデー・アルターニュ兩半島)は沈水してリアス式の海岸をなし,良港多く,シェルブール(Cherbourg)・ブレスト(Brest)は地中海のツーロン(Toulon (11))と共に軍港として知られる。

パリ盆地斷面圖

* パリはセーヌ河の一小島に要塞として發達し城壁は次第に擴大されて今は市域がもとの數百倍に擴つた。市内には凱旋門・ルーヴル博物館・オペラ劇場・エッフェル塔があり美術工藝が盛んで所謂パリ雜貨は世界の流行の源をなす。

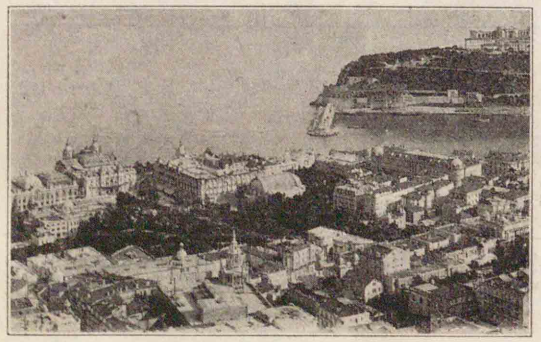


ロアール河口に近くナント(Nantes (18))の港市があり,その上流のオルレアン(Orleans)は古戰場である。

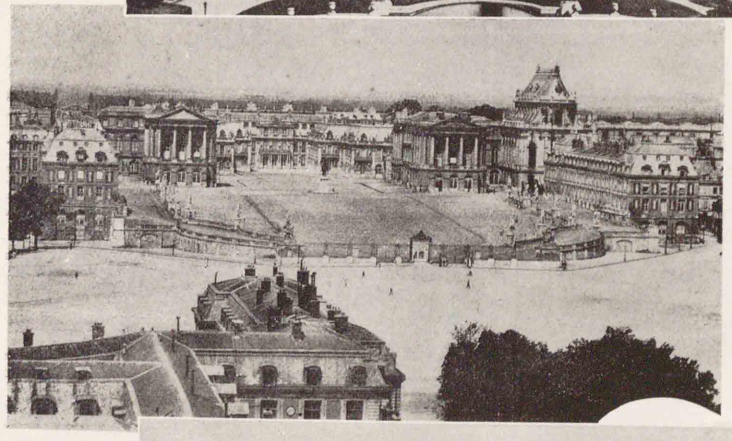
地中海岸の**マルセイユ**(Marseille (65))はフランス第一の商港で我が汽船の寄航地である。東方のリヴィエラ(Riviera Coast)海岸は避寒地として著れてゐる。南方に大ナポレオン(Napoleon)の生地コルシカ島(Corsica I.)が横はる。

アルサス・ロレーン地方(Alsace Lorraine)　アルサスは農產物を多く產し,ストラスブール(Strasbourg (17))はその中心都市である。ロレーンは世界に於ける最も豊富なる鐵鑛產地の一つで,鐵工業が盛んに行はれ,ナンシー(Nancy (11))を主邑とする。

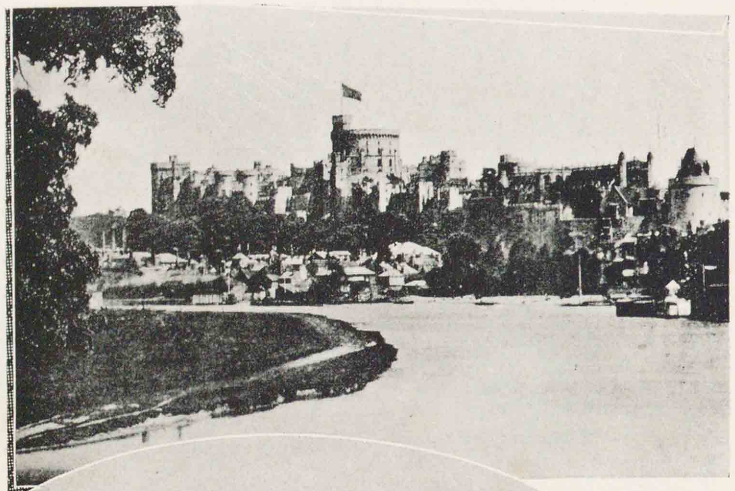
附 モナコ(Monaco)(面積20萬方km　人口25萬)　フランスの南東岸にある世界最小の獨立公國で,西方のニース(Nice)・カンヌ(Cannes)等と共に保養・遊樂の地として名高い。


モナコ　有名な海洋博物館がある

パリ市街とエッフェル塔（フランス）


ヴェルサイユ宮殿（フランス）

ルアーヴル港（フランス）



テムズ河とウィンザー城（イギリス）

ロンドン橋（イギリス）

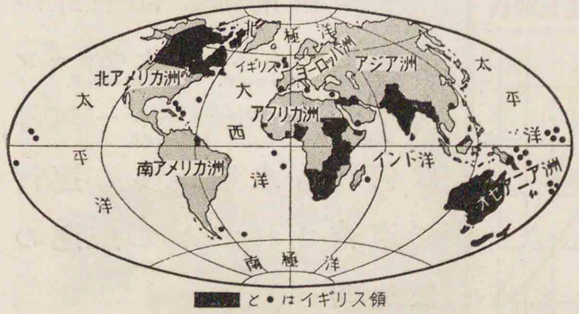
ダブリン市　右方はアイルランド銀行（アイルランド）

第四節　イギリス（英吉利） United Kingdom

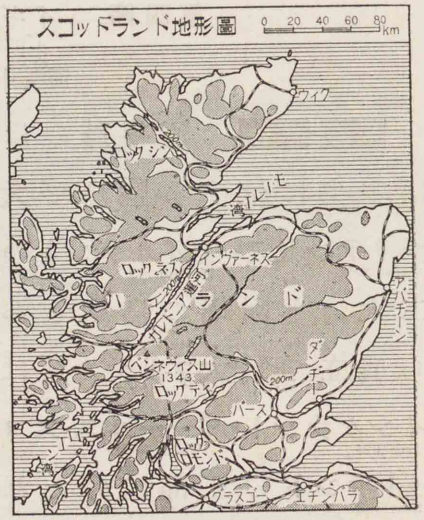
面積31.3萬方km　人口4859萬

區劃・政治　陸半球のほぼ中央に位する陸島で,**大ブリテン**(Great Britain)及び**アイルランド**(Ireland)の二大島と附屬の島嶼とから成立つ。大ブリテン島は**イングランド**(England)・**ウェールス**(Wales)・**スコットランド**(Scotland)の三部に分たれ,面積・人口共に我が本州にほぼ等しい。アイルランド島は北アイルランド(Northern Ireland)とアイルランド自由國(Irish Free State)とから成つてゐる。**住民**を**アングロサクソン人***(Anglo-Saxons)と云ひ,古くから政治的訓練を受け世界最古の立憲君主國を組織し,立憲政體の模範と稱せられる。大ブリテンと北アイルランドとを合せてイギ

イギリス海外領土圖



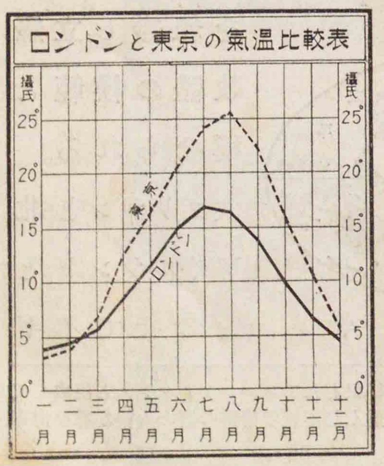
* 原住民をケルト族といひ第5世紀以來この島を征服したアングロサクソン人と混血して今日のイギリス人となつたもので勤勉着實信義を重んじ不屈の精神に富み人格を尊び海事思想に富み海外に移住するものが多い。



リス王國と稱し,これに1920年以來自治を許されたアイルランド自由國及び海外にある諸領土を合せて**大英帝國**と稱し,世界陸地の$\frac{1}{4}$と人口の$\frac{1}{4}$とを擁し,イギリス王はインド皇帝と全領土の元首とを兼ねてゐる。

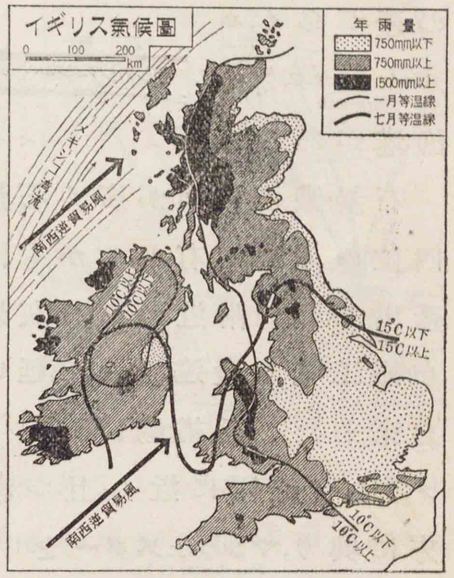
宗教は一般にキリスト新教が行はれる。人口密度は世界第三位にある。

地文 イギリスは古く氷河の浸蝕を受け,海岸には**三角江灣**が發達する。一般に丘陵狀の地形をなすが,南東部には平野があつて,テムズ河(Thames R.)・セヴァーン河(Severn R.)・ハンバー河(Humber R.)・マーシー河(Mersey R.)等は何れも水量が多く,運河で連結されてゐて舟運の便を助ける。

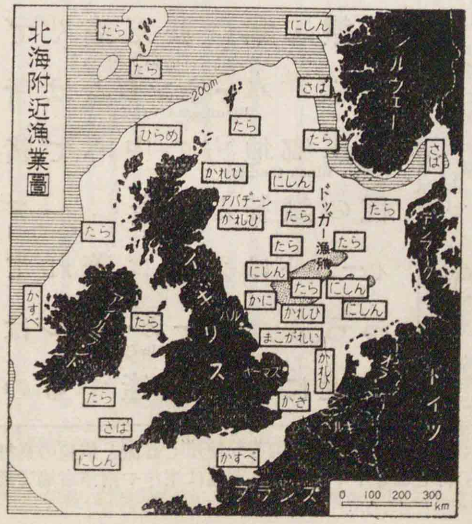


北部のスコットランドは山勝であつて,**ロック**(Loch)と稱す

る多くの湖水がある。アイルランドは周圍に低い山地があつて,中央部は平地をなし,多くの湖沼がある。

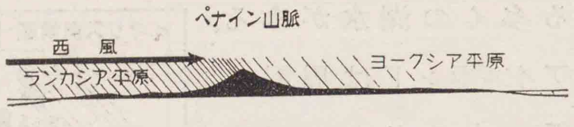


氣候は緯度から云へば北樺太と等しい位置にあるが,**暖流**とその上を吹く**風**との關係から溫和である。降雨も適度にあつて西岸は東岸よりも多い。一般に霧が深く快晴の日は少い。



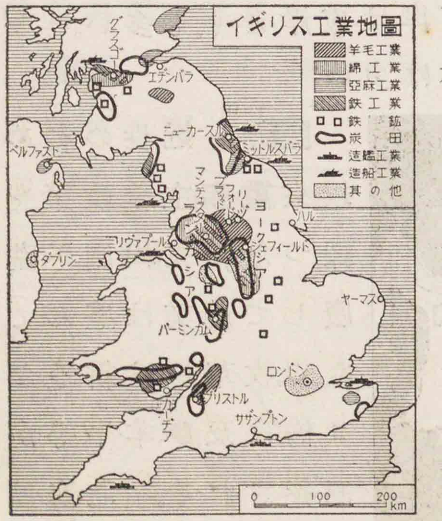
産業 近世の初め以來**重商主義**政策を採つた結果,田園が荒廢して農業は盛んでなく,牧草地は耕地の2倍に及び,羊・牛等が飼養される。北海は大陸棚の一部をなし,**漁業**が盛んで鰊・鯖等

の産が多く,ハル(Hull)・ヤーマス(Yarmouth)等の漁港がある。



ペナイン山脈と氣候

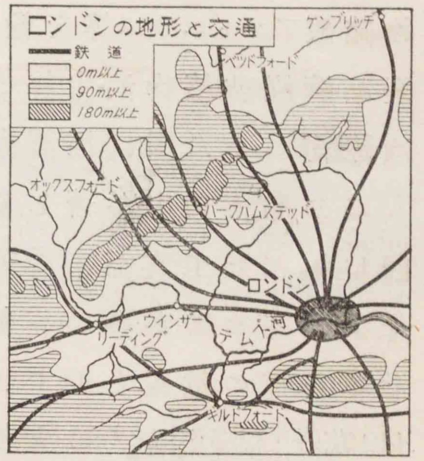
石炭・鐵の分布が廣く,**石炭**は世界第二位,**鐵**は第四位の產額を有し,しかも兩者が互に相接近して產出し,且つ附近から石灰岩も得易いので,早くから鐵工業の發達を促し,延いては各種工業の發展を來した。毛織物はリーヅ(Leeds (4.6))を中心とし,*綿工業*はアメリカ合衆國に近く,且つ濕氣の多いランカシア(Lancashire)地方に興り,**マンチェスター**(Manchester (7.3))を中心とする。北アイルランドのベルファスト(Belfast (4.3))は麻布製造が盛んである。



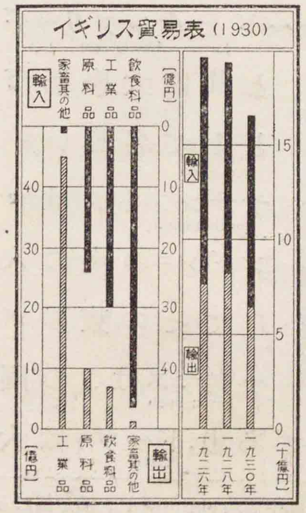
鐵工業は甚だ盛んである。**バーミンガム**(Birmingham (9.2))は所謂黑鄉地方(Black Country)の中心で,諸種の鐵製品を產し,シェフィールド(Sheffield (4.9))は刄物に著れてゐる。ニューカースル(Newcastle (2.8))は附近に原料を產するの

* イギリスの綿工業はアメリカ合衆國やエヂプト產の優良棉花を使用し器械と氣候の良好なのと相俟つて高級品を作るに適する。併し近時イギリスの綿製品は東洋や南洋市場で低廉なる我が製品に敗けてゐる。

みでなくスウェーデンからの鐵鑛の輸入もあつて,鐵工業及び造船業が行はれる。スコットランドのグラスゴー(Glasgow),北アイルランドのベルファストも造船業が盛んである。



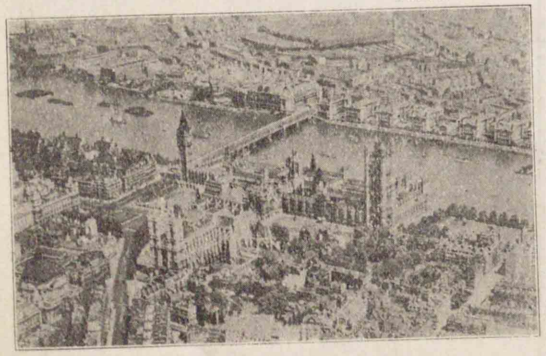
交通・商業　**鐵道**はイギリスが世界の元祖であつて,ロンドンはその大中心をなし,河川・運河の便と相俟つて國內の交通は便利である。**海運**は世界第一であつて,その商船の數は世界商船總數の3割以上を占める。この國は世界經濟の一大核心をなし,英語は商業語として世界到る處で使用される。**貿易**は植民地及びアメリカ合衆國を初め各國と行はれ,飲食料品・原料品を輸入して,工業品・石炭等を輸出する。*我が國は彼らの機械・鐵類・毛織



* この國は我が國の海事・商事に關する方面の啓發に大なる貢獻をした。

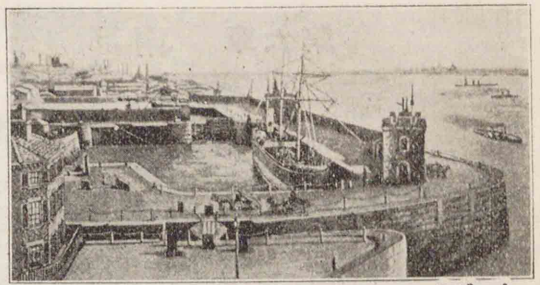
物·硫酸アンモニウム等を輸入し,我が絹織物·メリヤス製品·罐罎詰·植物油·生絲等を輸出する。

都邑　この國は經濟發達段階の最高度に達し,人口の都市集中が著しく,殆ど8割は都市に住む。既に述べた工業都市の外にイギリスには海港都市に大なるものが多い。**首府ロンドン**(London)*(倫敦)は大陸に近く,首都の位置としては偏在型に屬する。人口442萬(郊外を合せた大ロンドンは790萬の世界第一)の大都市である。水·陸交通の便がよく世界貿易·金融の一核心をなす。王宮·圖書館·博物館·國會議事堂·イングランド銀行(Bank of England)等を初めとして,歷史上の遺跡が多い。東郊のグリニッチ(Greenwich)は天文臺に著れ,附近の**オックスフォード**(Oxford)と**ケンブリッヂ**(Cambridge)と共に大學都市として名高い。サザンプトン(Southampton)はロンドンの南の入口でその東のポーツマス(Portsmouth)はこの國第一の軍港であり,ドーヴァ(Dover)は大


ロンドン市　中央の橋は大ロンドン市の基礎となつたロンドン橋である

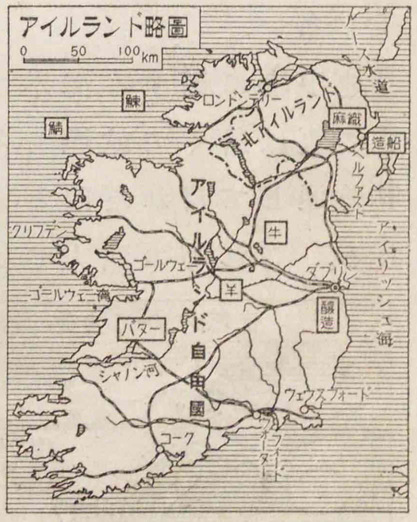
* ロンドンは早くから要塞地として知られ,今から800餘年前最初のロンドン橋が架せられてから發展の基礎がつくられた。古い都市であるから街路は不規則であるが地下鐵道が全市の交通を助ける。

陸との連絡に便利な位置にある。


リヴァプールのドック

西岸の**リヴァプール**(Liverpool)(86)は内部に大工業地帶を控へて新大陸との取引が甚だ盛んに行はれ,マンチェスター運河及びバーミンガム運河によつてマンチェスター及びバーミンガムに通ずる。

ウェールスの南岸には無煙炭の輸出に名高いカーヂフ(Cardiff)の港がある。スコットランドの中央の地溝帶にある**グラスゴー**はクライド河(Clyde R.)に跨り人口103萬,(イギリス第二の都)鐵工業の中心をなし,東岸のエヂンバラ(Edinburgh)(42)はフォース灣(Firth of Forth)に臨み,美しい都で學術都市として著れる。

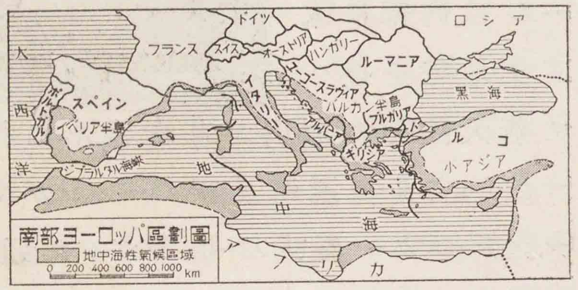


***アイルランド自由國**は大都市が少い。**首府**ダブリン(Dublin)(42)は本國との間に取引が行はれ,ビールの釀造に名高い。

* アイルランド人は海外移住が多く今は人口300萬で大都市はダブリンのみである。

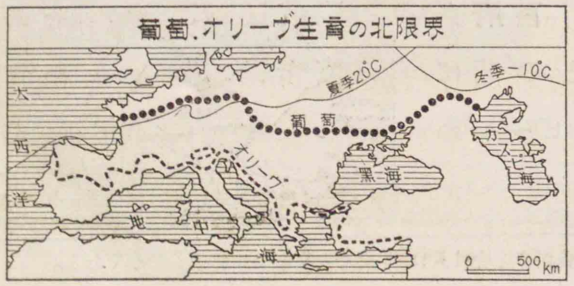
第六章　南部ヨーロッパ
Southern Europe

第一節　概　說



世界最大の内海たる**地中海**(Mediterranean Sea)に面する地方で,フェニキア(Phenicia)以來通商航海が盛んに行はれ,多くの大航海探檢家を出した。また所謂地中海文明は嘗て世界文化の中心をなしたが,今日はイタリーを除けば概ね文化の程度が高くない。

地中海に面する海岸は所謂**地中海性氣候**と稱して,夏は暑くて乾燥し,冬は溫和で雨もある。一年を通じて晴れた明るい天氣の多いのが特色である。これ等の地方では夏季に葡萄・オリーヴ・無花果・オレンヂ・レモンの如き所謂地中海性果物が生育し,特に**葡萄類**は



この地方全體の主要物產となつてゐる。

第二節　イベリア半島
Iberian Pen.

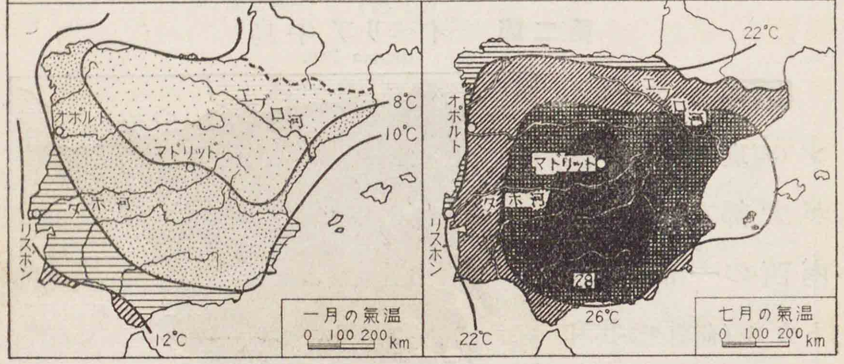
概說　スペイン(西班牙)共和國が大部分を占め,南西の一部をポルトガル(葡萄牙)共和國が領する。*兩國民は嘗て世界探檢時代の前期に於て海上に雄飛し,我が國との關係も深かつたが,今は共に國勢が衰へ,海外の領地の大部分を失つた。

シェラネヴァダ山脈
乾燥した土地の樣子を見よ

北部にはピレネー(Pyrenee Mts.)山脈及びカンタブリア(Cantabrian Mts.)山脈が延び,南部にはシェラネヴァダ(Sierra Nevada)山脈があつて,その間に**メセタ**(Meseta)と稱する臺地を抱く。多くの褶曲山脈が

* ポルトガル人は鐵砲を スペイン人は キリスト教を共に始めて我が國に傳へた。鎖國以前兩國の商船によつて西歐文物の傳へられたもの多くカステラ・メリヤス・金巾・羅紗・合羽等の言葉はこれ等兩國語から來たものである。

イベリア半島の氣候

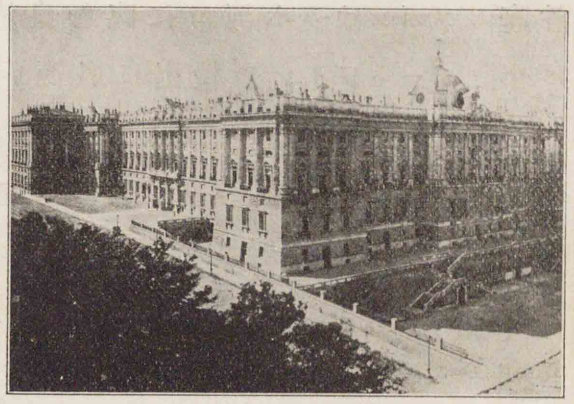


東西に走り,河流は何れも東西に流れ,ドウロ(Douro R.)・タホ(Tajo R.)・グヮダルキヴィール(Guadalquivir R.)の諸河は大西洋に,エブロ(Ebro R.)河は地中海に注ぐ。平地は河川の流域と海岸とに僅かに存する。臺地の中は大陸性氣候を呈する。雨量は西風の影響により北西岸に多く,内部と無風帶に當る南部とは乾燥する。

スペイン(Rep. of Spain)(面積50.5萬方km　人口2244萬)

スペインに於けるコルクの採取

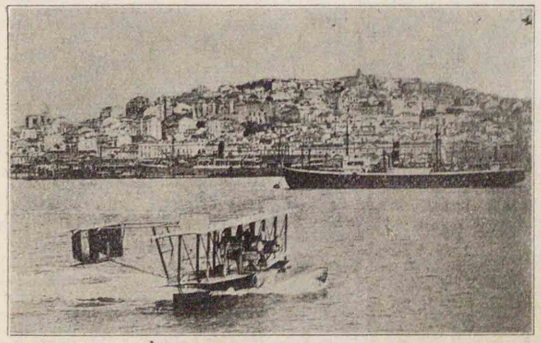
自然的環境に從つて,臺地では牧羊が行はれ,南東部の海岸では灌漑によつて麥類・玉蜀黍・綿・米及び地中海性果物の產が多い。諸所に**コルク樫**があつて,コルクを出す。鐵・鉛・銀・銅・水銀等の**鑛產**に富むが,多くは外人の資金と經營とによる。石炭の不足と經濟發達段階の低いのとで工業は幼稚である。



マドリッドの舊王宮

首府マドリッド(Madrid (83))は帝都の位置として標式的なる重心型に屬し鐵道の集中點に當る。他*の都市の多くは海岸にある。バルセロナ(Barcelona (78))は紡績業の中心をなし,ヴァレンシア(Valencia (27))は絹布の產がある。

ポルトガル(Rep. of Portugal)(面積9萬方km　人口584萬)



リスボン港　軍港を兼ねた良港でコルク・果物の輸出がある

海岸の平地では農業が行はれ,河谷では葡萄が栽培され,北部の多雨地帶では牧牛が盛んである。

＊大西洋に面する南端のカヂスは往時繁盛を極めた港市である。南部山中のグラナダには舊サラセン帝國の宮殿アルハンブラがあつてその建築が莊麗なので知られてゐる。

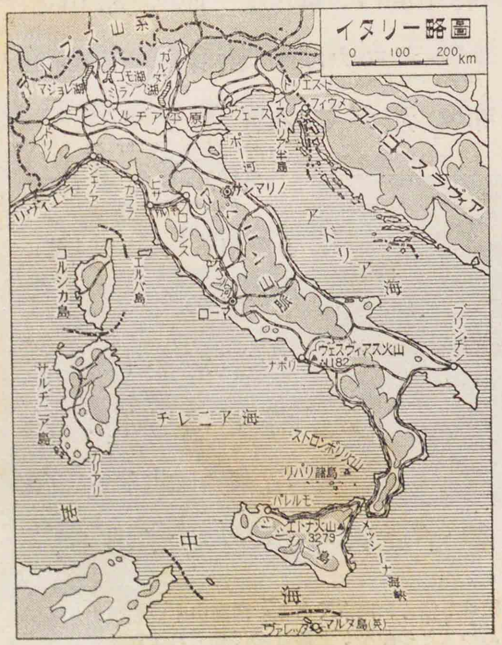
首府リスボン(Lisbon (59))はタホ河口に臨む良港で,北方のオポルト(Oporto (22))はポートワインの輸出に名高い。

ジブラルタル(Gibraltar)(面積5方km 人口2萬)はジブラルタル海峡(Str. of Gibraltar)に臨む小半島で1704年以來イギリスに屬する。地中海の咽喉を扼し,イギリス艦隊の根據地である。

アンドラ(Andorra)(面積453方km 人口5000)はピレネー山中にある小獨立共和國で,五つの村から成り,住民をバスク人(Basks)といふ。フランス・スペイン兩國が監督する。

第三節 イタリー
Italy

面積31萬方km 人口4080萬



境域・政治 南部ヨーロッパのほぼ中央に位し,アドリア海(Adriatic Sea)とチレニア海(Tyrrhenian Sea)との間に突出するイタリー半島と附屬の島嶼とから成る。面積・人口共に我が本土の凡そ$\frac{1}{2}$に當る。

住民はフランスと同樣に**ラテン民族**

1800年間ローマの文明をその麓に保存せるイタリーのヴェスヴィアス火山(上)と、オーストリア皇太子射殺事件が起り世界大戰の導火線となつたユーゴースラヴィアのサラエボ市(下)

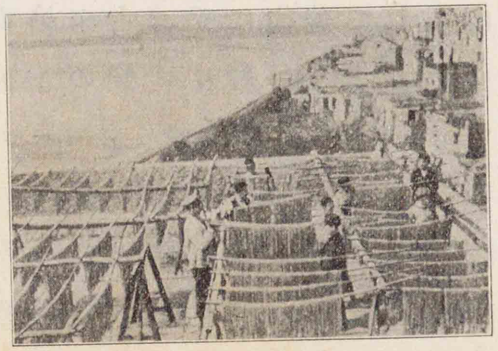
に屬して美術に秀で,古來繪畫·彫刻·建築等の大家を出し,また一般に音樂の才能を有してゐる。嘗てローマ帝國を建設してヨーロッパ文明の中心をなしたが,その後分裂して幾多の王國が割據し,再び統一されて立憲王國となつたのは今から約60年前に過ぎない。世界大戰後國勢が急に高まつた。*▲

地文·產業　アルプス山脈と**アペニン山脈**(Apennines)との間に挾まれたポー河(Po R.)流域の**ロンバルヂア平原**(Plain of Lombardy)は地中海性氣候外にあつて,土地が肥え,小麥·玉蜀黍·**米**を產し,**養蠶**も盛んであつて,多角農業に著れてゐる。

アペニン山脈は半島を縱貫してシシリー島(Sicily I.)に及び,その兩側の弱線に沿つて火山が噴出し,**ヴェスヴィアス火山**(Mt. Vesvius)·エトナ火山(Mt. Etna)及びリパリ諸島(Lipari Is.)中のストロンボリ火山(Mt. Stromboli)等は名高い。同じ地帶に地震も多い。

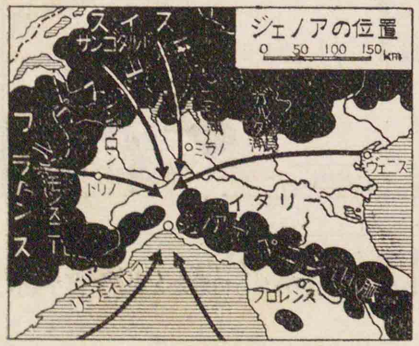
---

* 首相ムッソリーニはファッシストを率ゐて獨裁政治を行つてゐる。
▲ 人口が多く最近は一年に約25萬人が外國へ移住する。國外からの送金と旅客の落す金はこの國の重要な財源となつてゐる。

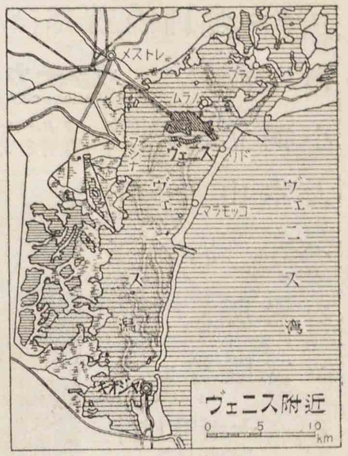

マカロニの製造 イタリーうどんとも稱し，各地へ輸出せられる

一般に半島部は地中海性氣候を呈し,アルプス山脈の南斜面と共に葡萄・**オリーヴ**の栽培が行はれ,**葡萄酒**の產はフランスに次ぐ。中部から取れる小麥は**マカロニ**(Macaroni)の製造に適する。

アペニン山脈の北部には名高いカララ(Carrara)の大理石があり,シシリー島からは硫黄を產する。石炭・鐵を缺くけれども,水力の利用と,勞力の豐富なこととによつて**工業**は盛んである。從つて棉花・羊毛・鐵・石炭等の原料品及び小麥・玉蜀黍等の食料品を輸入し,綿製品・毛製品・レーヨン等の工業品と,果物・生絲・大理石・硫黄等を輸出する。我が國からはこの國へ屑絲・眞綿・製帽用眞田等を送り,この國は我が國へ自動車及び毛織物・帽子を送る。

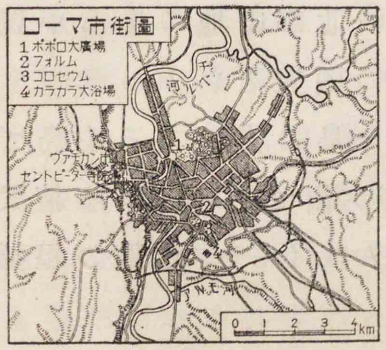


都邑 北イタリーの都邑は何れもアルプスを越える鐵道の要路に當る。**ミラノ**(Milano (97))及び**トリノ**(Torino (60))は工業の中心をなし,**ジェノア**(Genoa (63))はイタリー第一の貿易港である。ポー河三角洲の北にある**ヴェニス***(Venice (26))は水都として知られ,交通系の變化により昔時の如き繁盛はない。



イストリア半島(Istria Pen.)の頸部にあるトリエスト(Trieste (25))及びフィウメ(Fiume)の港市は,もとオーストリアハンガリー(Austria-Hungary)領であつた。

アルプス山脈の南麓には氷河湖(コモ湖・マジョレ湖・ガルダ湖)があつて風景がよく,フランスに續くリヴィエラ海岸は避寒地として名高く,共に保養遊覽の小都市がある。



半島部の都邑は山脈の西側に多い。**フロレンス**(Florence (32))は山間の古都でイタリー美術の中心地をなし,西方のピサ(Pisa)は斜塔に名高い。**首府ローマ**(Rome (93))はチベル河(Tiber R.)に跨り舊

* ヴェニスは中世ヨーロッパ大陸からの侵略を免れる必要から島上に作られた商業市でアジア洲との貿易が盛んであつた。アフリカ迂回航路が發見されてから忽ち衰へスエズ運河の開通によつて稍〻復活したが今は位置と港灣の優れたジェノアに敗けた。

ローマ帝國の首都として歷史上の遺蹟及び建築物に富む。**ヴァチカン市**(Vatican city)はローマの西部を占める小獨立國(面積44ヘクタール，1929年イタリー政府がローマ敎會の支配にまかしたところ)でローマ舊敎の大本山セント(St. Peter)ペテロ寺,法王(Abbey)の居所ヴァチカン宮殿等がある。**ナポリ**(Napoli (98))は半島南部の中心都市で,近く*ヴェスヴィアスの活火山を控へて風光が美はしい。半島の南東端にあるブリンヂシ(Brindisi)は北西ヨーロッパから東洋への郵便線路に當る。

ナポリの風景　イタリーの俚諺に曰く，ナポリを見て死ねと

サンマリノ(St. Marino)(面積61方km 人口1萬3000)　半島の北部山地にある小獨立共和國で,ヨーロッパ最古の國家といふ。

マルタ島(Malta I.)(面積300方km 人口23萬)　シシリー島の南にある小島で,地中海の要衝に當り,イギリス領である。軍事植民地の一例で,その港ヴァレッタ(Valletta)はイギリス艦隊の根據地である。

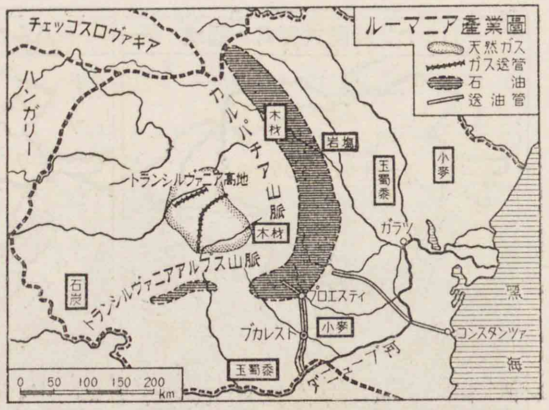
* ヴェスヴィアス火山は西曆79年に大噴火をなし麓にあつたポンペイ及びヘラクラネウムの町を埋沒した。1860年以來漸次發掘されて現在ではその大部分の原形が知られローマ帝國時代の市街や建築更に當時の風俗を想像することが出來る。

第四節　バルカン半島(Balkan Pen.)

概說　バルカン半島は所謂近東(Near east)の地であつて,ヨーロッパ洲と南西アジアとの一大渡廊をなし,太古から人類の往來が盛んであつたのと,域内に多くの山脈が連亙して地勢が細分されてゐるので,民族・言語が甚だ複雜で統一を困難にし,幾度かヨーロッパ列强間の政治問題となり,戰亂を起した。從つて產業・交通はヨーロッパ中最も發達がおくれてゐる。

今日は四つの王國(ルーマニア・ユーゴースラヴィア・アルバニア・ブルガリア)と二共和國

(ギリシア・ヨーロッパトルコ)とから成る。

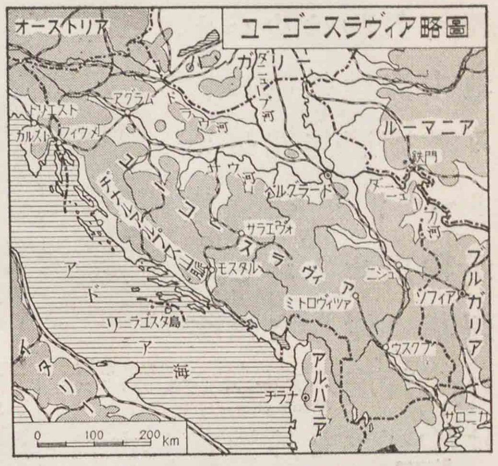


ルーマニア(Romania)(面積29.5萬方km 人口1769萬) バルカン諸國中最大の國で、**ラテン族**が主である。西部はカルパチア山脈及びトランシルヴァニアアルプス山脈に抱かれたトランシルヴァニア高地(Transylvania Plat.)をなし、東部はダニューブ河下流(鐵門の隘路より下流)の平野で、ワラキア(Walachia)地方には麥類・玉蜀黍の產が甚だ大きく、盛んに西ヨーロッパへ輸出される。カルパチア山脈の東麓には石油・岩鹽を產する。**首府**ブカレスト(Bucharest (89))はバルカン第一の大都市で、この國の商・工業の中心をなし、黒海に臨むコンスタンツァ(Constantsa)はこの國第一の貿易港である。*ガラツ(Galatz (8))の河港もまた商港である。

ユーゴースラヴィア(Yugo-Slavia)(面積24.8萬方km 人口1320萬) この地方は**南スラヴ族**(ユーゴー Yugo-Slavs)の住地で、世界大戰前はオーストリアの支配下にあつたが、大戰後同族居住の地を合せて王國を作つた。**首府**ベルグラード(Belgrade (23))は交通上の要

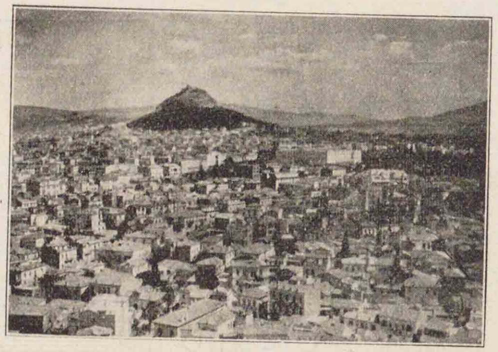
* ダニューブ河は國際河川として重要であるからガラツに國際管理委員がある。

地を占める河港で、バルカンの鍵(The Key of Balkan)と稱せられる。ニシュ(Nish)は鐵道の分岐點、サラエヴォ(Sarajevo)は世界大戰の起源地として知られる。アドリア海に面し、ヂナルアルプスの西斜面はダルマチア(Dalmatia)海岸と云ひ沈水海岸で、良港はあるが、背域との交通が不便な爲に、取引の多くはギリシアのサロニカ港を經由する。北方に連なる**カルスト地方**(Karst)は石灰岩の荒地で、カルスト輪廻の名稱はこの地から出たのである。

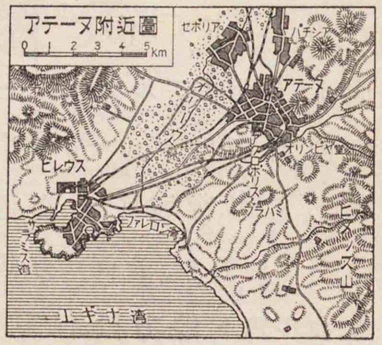


アルバニア(Albania)(面積4.5萬方km 人口85萬) 住民をアルバニア族(Albanians)といひマホメット教を奉ずる。首府をチラナ(Tirana (3))といふ。

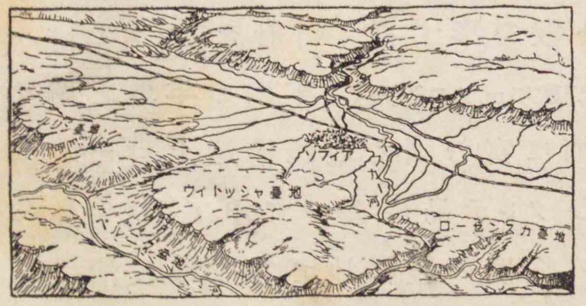
ギリシア(Greece)(面積12.7萬方km 人口620萬) **半島の半島**と稱せられ、水平的肢節に富む國で、地體構造上エーゲ海(Ægean Sea)の陷落地帶及びクレテ島(Crete I.)によつて小アジア半島(Pen. of Little Asia)に續く。ヨーロッパ文明の發祥地で嘗ては政治上に活躍したこともあるが、今は國勢が振はない。**住民**(Greeks)はギリシア族で政體は共和制である。國內が山


アテーヌ市街とアクロポリス丘

勝で穀物は少いが,地中海性果物に富み,乾葡萄・無花果・オリーヴ油・葡萄酒等が輸出せられる。煙草の産もまた多い。首府アテーヌ* (Athenes (45)) はピレウス (Piraeus) を外港とし,古代ギリシア文明の遺蹟が多い。サロニカ (Salonika (24)) はバルカン半島西部の門戸をなす。



ブルガリア (Bulgaria)（**面積10.3萬方km　人口560萬**）　バルカン山脈の北はルーマニアの平地に續いて農業が盛んに行はれ,玉蜀黍・小麥を產する。山脈の南は氣候が溫暖でマリッツァ河の流域では煙草が栽培せられ,また薔薇油の特



ソフィア附近の地形

* アテーヌの西のコリント地峽は同名の運河によつて切り開かれてゐる。

サロニカ市街（ギリシア）

コリント地峽運河（ギリシア）

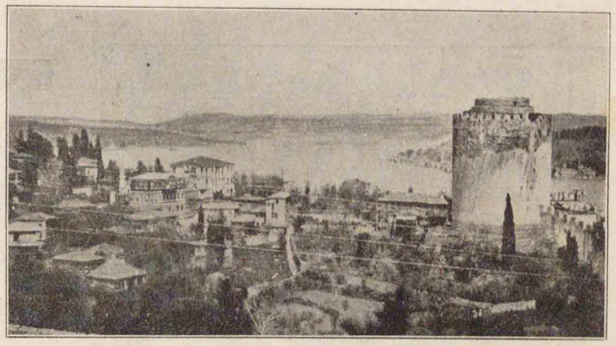
ソフィア市の大寺院（ブルガリア）

イスタンブール市と金角港（ヨーロッパトルコ）

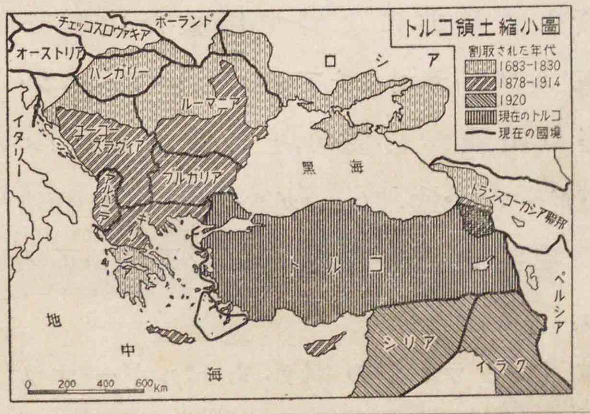
薔薇花の採取（ブルガリア）

今日のスパルタ（ギリシア）

產がある。**住民**はスラヴ族に屬し,**首府**ソフィア(Sofia (21))は山間の小盆地にあり,交通·商業及び政治の中心をなしてゐる。



ヨーロッパトルコ（European-Turkey）（面積2.4萬方km　人口105萬）トルコはもとバルカン半島の大部分を領したが,今はその東端の小部分に限られ,**ダルダネルス**(Str. of Dardanelles)**·ボスポルス**(Str. of Bosporus)**兩海峽**（ボルボルス海峽）及びその中に抱かれたマルモラ海(Sea of Marmora)によつて本國アジアトルコに對してゐる。***イスタンブール**（コンスタンチノープル）(Istambul (Constantinople) (69))は久しくトルコ帝國の首府であつた所で交通上·軍事上極めて重要な位置にある。

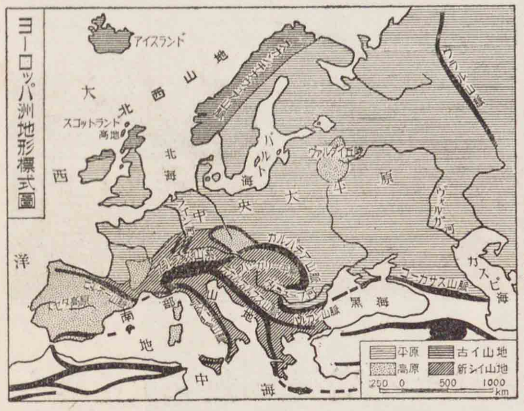


マリッツァ河に臨むアドリアノ(Adrianople)ノ

＊東・西文化交涉の地と稱せられ古いトルコ風の町と新しい歐風の町とから成る。

ーブルは煙草・薔薇油の取引が盛んである。

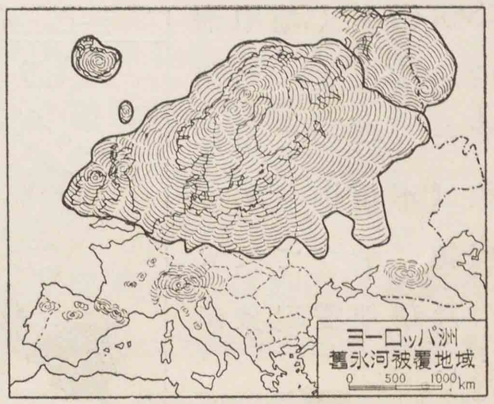
第七章 ヨーロッパ洲總括



地形 地形上北西山地・中央大平原・南部山地に三大別することが出來る。**北西山地**はカレドニア山脈と呼ぶ古い山地が浸蝕されたもので,諸所に臺地狀の原形をとどめてゐる。スカンヂナヴィア半島・スコットランド山地等はそれである。ウラル山脈も古い低い山脈である。

南部山地は新しく褶曲によつて出來た山脈から成り,ピレネー・アルプス・カルパチア・バルカン・アペニン・ヂナルアルプス等の山脈から成り,その間に高原(メセタ・オーヴェルニュ・ボヘミア)・盆地(ハンガリー)・陷落地(西地中海・エーゲ海)等の地塊を抱いて,遂にアジア及びアフリカ洲に延びる。

中央大平原はイングランドの南からベルギー・オランダ・ドイツを經て,ポーランド・ロシアに擴るもので,バ

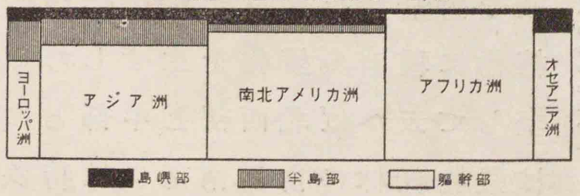


ルト海と北海とはその一部分が沈降したものである。その他諸所に河成の平原があつて,これ等ヨーロッパ洲に於ける平地の面積は全面積の凡そ$\frac{2}{3}$に及んでゐる。大平原の北部と北西山地とは舊氷河の被覆を受け,湖沼が多い。

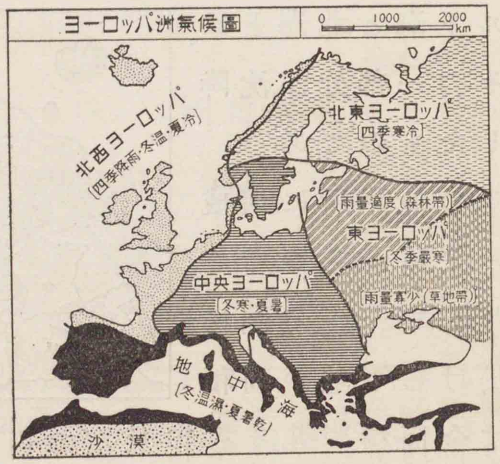
河川はロシアのヴァルダイ丘陵及び南部山地から發するものが多く,何れも流れがゆるやかで水量多く,且つ運河によつて連ねられ,舟運を助ける。

海岸線は甚だ複雜で大陸の軀幹に對し肢節の割合は各洲中第一位である。北西部山地の海岸の出入は主として氷蝕と土地の沈降の爲であり,陸棚は好漁場となり,河川の內部には良い海港が發達した。バルト海沿岸には潟湖が多い。

各大陸の軀幹と肢節との割合

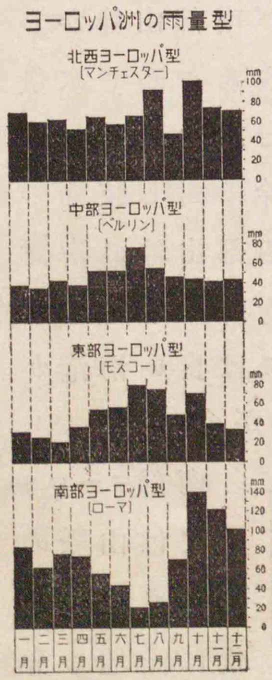


南部ヨーロッパでは山脈の形成された時代に土地の昇



降が激しく,地中海は陷落によつて出來た。從つて海岸線は不規則であり,弱線に沿つては火山及び地震現象が多い。

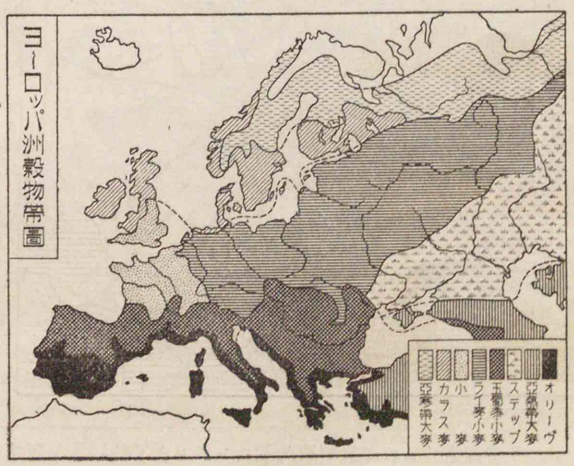
氣候・生物　北西部から中部へかけては緯度の割合に**氣溫**が高く,灣流の影響を受けて一月の等溫線は緯度に直交する部分がある。氣溫の較差は東する程大きい。**降雨**は**偏西風**の影響を受けて一般に西より東するに從つて減じ,また風上は風下より多い。別に地中海沿岸は所謂**地中海性氣候**を呈する。かくて幾つかの氣候區や雨量型を作り,これに伴つて植物に種々の變化を生ぜしむる。概して云へば北西部と中部とには穀物・森林に富み,南部には特殊



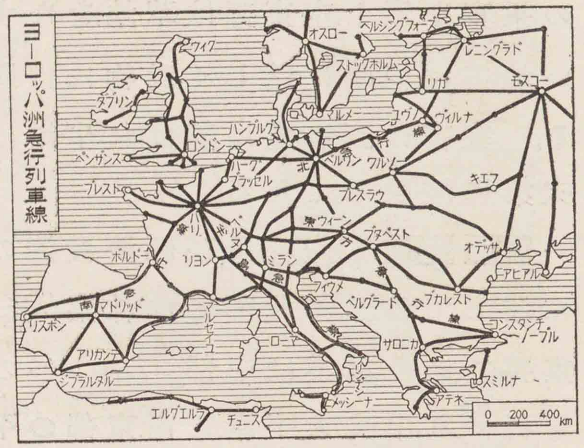
の果實を產し,南東部は草地をなす。北極洋に近い地方は植物に乏しく,動物には馴鹿と犬とがある。家畜は到る處に養はれ,牛・馬は殊に多く,羊は次第に減少してゐる。

產業・交通　產業及び經濟發達の段階は最高度に達してゐる。北部では林業(主として天然林)と水產業が重要であり,林業は中部ヨーロッパの山地(主として人造林)にも行はれ,中央大平原と南東部の平野では農業が盛んであるが,一般に北西ヨーロッパでは穀物が不足し,南東部ヨーロッパ及び他洲よりの輸入に賴る。

中部から北西部にかけての地方は鐵・石炭等の鑛產に富み,世界第一の**大工業地帶**で,物資の出入が多く,從つて取引も榮えて,世界に於ける**商業**及び**金融**の一大中心地をなす。

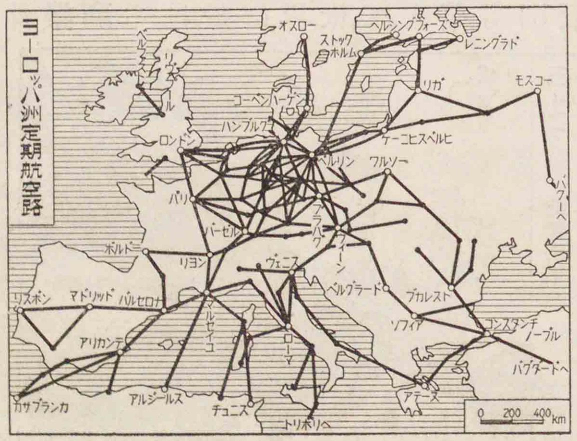


交通の發達は產業の發達,從つて人口の多少と正比例し,ヨーロッパ洲の鐵道網の密



ヨーロッパ洲急行列車線

なことは他にその比を見ない。**國際急行鐵道線**・連絡船等によつて國際間の交通も行はれ,*アジア洲との連絡鐵道もある。パリ・ロンドン・ベルリン・モスコー・ウィーン等は鐵道の中心をなす。航空路はパリ及びベルリンを二大核心として他の主要都市との間の定期航空が行はれる。水運も至便で,**國際河川**によつてすべての内陸國は海洋への出口を有する。海運は北海に面する諸國が最も盛んであつて,北アメリカ洲との交通が

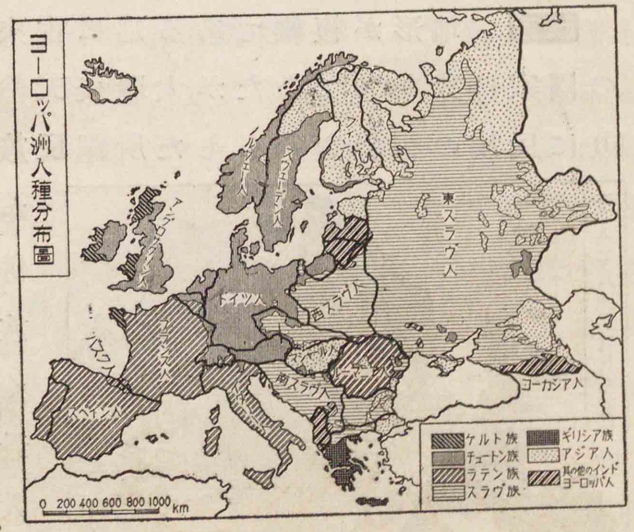


ヨーロッパ洲定期航空路

* シベリア鐵道によれば我が國からロンドンまで約15日を要する。

最も激しい。通信は陸上・海底共によく備はり,無線電信も各大陸と連絡通信が出來る。

住民　人口は4億6000萬に達し,密度は六大洲中第一に位する。密度の大小は産業發達の段階とほぼ一致する。大部分はヨーロッパ人種(ユーラフリカ人種)でその他諸所にアジア人種の**民族島**(マジャール・フィン・ラップ)がある。*ヨーロッパ人種中ラテン族は南西部に多く,チュートン族は中部・北部に住み,スラヴ族は東部に多い。別にケルト・ギリシア等の古代民族の殘存せるものもある。今日では各種族とも混血及び同化が劇しく外形上はむしろ北歐型・ヂナルアルプス型・アルプス型・地中海型等に分つのを便利とする。



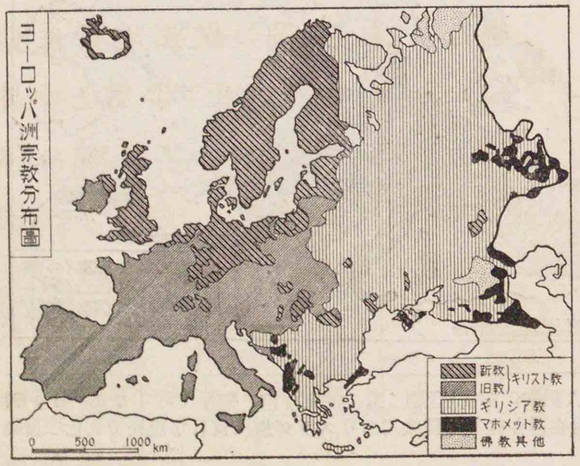
ヨーロッパ洲人種分布圖

* ラテン族は最も早く開けた種族で美術・音樂に秀で性質は稍ゝ輕浮でありチュートン族は着實・勤勉・學問に秀で現在最も優勢な種族でありスラヴ族は質朴な農民で文化の發達は前二者に及ばない。

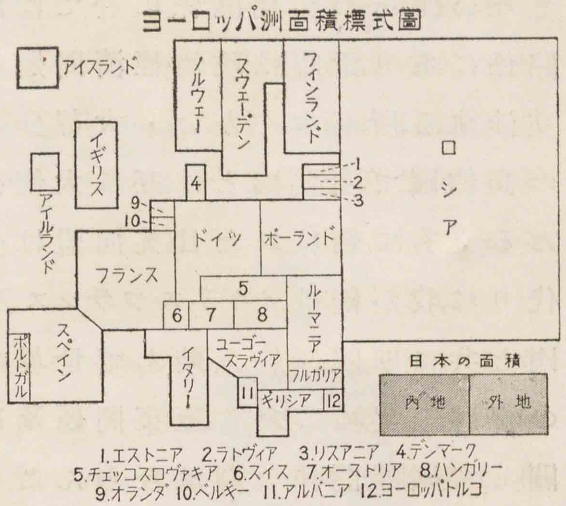
宗教はキリスト教が最も廣く行はれラテン族は舊教を,チュートン族は新教を,スラヴ族はギリシア教を奉ずる。別にマホメット教があつてロシアの南東部とバルカン半島に行はれ,ユダヤ教は各地に散在するユダヤ人の間に信奉せられる。

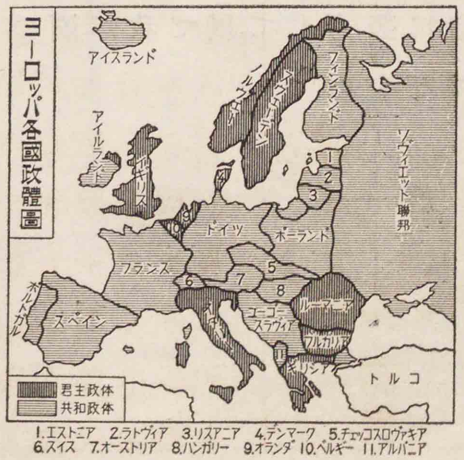
ヨーロッパ人種　左は北歐型右はヂナル型である

政治　地形が複雜である爲に古來非常に多くの國家に分たれてゐたが,大戰後天然的境界の代りに民族の相異を基とした所謂**民族主義**の國家が形成された。併し各地に民族の交錯が多く,國際關係の最も緊張した大陸である。30餘の獨立國中君主政體と



共和政體の國は殆ど相半ばし,イギリス・フランスは最も優勢であり,イタリーも大戰後國勢が振ひ,ドイツは戰後の經營に力を盡し,ロシアは革命によつて獨特の產業組織をたてた。中部ヨーロッパ諸國はバルカン半島の諸國と共に政治上の問題が多くて國力の進展が妨げられ,バルト沿海諸國や,オランダ・ベルギー・スイス等は列強間の緩衝地帶に當り,イベリア半島とスカンヂナヴィア半島の諸國は自然的條件が國力の發展を妨げる。





ヨーロッパ洲と我が國とはその位置的關係に於ては左程密接

でないが,その文化關係に於ては離るべからざる關係にあり,近時は政治·經濟問題に於ても常に相交渉する所が少くない。大部分の國家は我が國の條約國で,主要國とは互に大使·公使を交換してゐる。嘗て結ばれた日英同盟は今は無くなつた代りに,我が國はイギリス·フランス及びアメリカ合衆國と共に四國條約を結んで世界の平和,殊に世界の視聽を集めてゐる極東問題及び太平洋問題に關して,國際關係の圓滿ならんことを期してゐる。

今や世界は一つの大なる有機體として,その一局部に起つた政治·經濟·學術等の諸問題も,忽ちにして全世界にその影響を及ぼすことを忘れず,我々は光輝ある日東帝國の歴史をけがさざるやう世界的日本文化の創造に努力して,以て我が國の國際的地位を高めねばならぬ。

——終——

新制外國地理
乙表準據

昭和七年十月一日印刷
昭和七年十月五日發行
昭和八年一月二十三日訂正再版印刷
昭和八年一月二十八日訂正再版發行

著作權所有
檢印

定價　金壹圓貳拾錢

著者　石橋五郎

發行者　合資會社　冨山房
東京市神田區保神町一ノ三

代表者　坂本嘉治馬
同所　合資會社冨山房社長

印刷者　須磨勘兵衛
京都市下京區北小路通新町西入

發行所
合資會社　冨山房
東京市神田區神保町一ノ三
振替口座東京五〇一番
電話神田 2.171 2.172 2.173 2.174 2.175 2.176 2.177 2.178

京都　內外出版印刷株式會社　印刷

水雷部作業係工場仕上工 [illegible]

西尾秀人

広島大学図書
2000067150